

中学社会

歴史

未来をひらく





教育出版

歴史的分野／もくじ

歴史のなかの言葉 …… 巻頭 1 巻頭 2
歴史の学習を始めよう …… 巻頭 3
プロローグⅠ～地球の歴史 …… 巻頭 4
プロローグⅡ～点字のれきし …… 巻頭 5
「歴史」教科書の使い方 …… 4

第 1 章　歴史の移り変わりを考えよう

「タイムトラベル・サミット　2016」 …… 6
「時代の分け方・年表の見方」を振り返ろう
新たなチームづくりにチャレンジしよう

歴史にアプローチ　～干支や単位，資料を活用しよう … 11
① 年代・時刻・方角の表し方と干支
② 歴史のなかの単位
③ 絵画資料の見方　―絵巻物を読み解く
④ 系図の読み方
⑤ 歴史のなかの植物

第 2 章　原始・古代の日本と世界

1 人類の出現と文明のおこり
1 生きぬく知恵 …… 16
2 エジプトはナイルの賜物 …… 18
3 骨に刻まれた文字 …… 20
4 東と西をつなぐ道 …… 22

2 日本の成り立ちと倭の王権
5 日本列島のあけぼの …… 24
6 楽浪の海中に倭人あり …… 26
7 東アジアのなかの大和政権 …… 28
地域の遺跡や古墳を訪ねて …… 30

3 大帝国の出現と律令国家の形成
8 広がる国際交流 …… 32
9 あつく三宝を敬え …… 34
10 律令国家への歩み …… 36

4 貴族社会の発展
11 シルクロードにつながる道 …… 38
12 木簡と計帳は語る …… 40
13 望月の欠けたることもなしと思えば …… 42
14 「以呂波」から「いろは」へ …… 44
木簡が語る人々の暮らし …… 46
坂上田村麻呂と阿弖流為の戦い …… 47
神話にみる古代の人々の信仰 …… 48

学習のまとめと表現 …… 50
時代の変化に注目しよう！ …… 52

第 3 章　中世の日本と世界

1 世界の動きと武家政治の始まり
1 大陸をまたぐ大帝国 …… 54
2 貴族から武士へ …… 56
3 「一所懸命」の戦い …… 58
4 いざ鎌倉 …… 60
5 祇園精舎の鐘の声 …… 62
地頭を訴える農民／中世の市を訪ねて …… 64
地域の寺社や墓碑を訪ねて …… 66

2 ゆれ動く武家政治と社会
6 海から押し寄せる元軍 …… 68
7 このごろ都にはやるもの …… 70
8 行き交う海賊船と貿易船 …… 72
9 北と南で開かれた交易 …… 74
10 団結する村，にぎわう町 …… 76
11 下剋上の世へ …… 78
12 今につながる文化の芽生え …… 80
働く女性や子どもたち …… 82
戦乱の世の自治と領国経営 …… 83

学習のまとめと表現 …… 84
時代の変化に注目しよう！ …… 86

第 4 章　近世の日本と世界

1 結びつく世界との出会い
1 教会と『コーラン』の教え …… 88
2 中世からの脱却 …… 90
3 太陽の沈まない国 …… 92
4 戦国の世に現れた南蛮人 …… 94
銀で結びつく世界／宣教師が見た日本 …… 96

2 天下統一への歩み
5 天下統一を目ざして …… 98
6 近世社会への幕開け …… 100
7 城と茶の湯 …… 102

3 幕藩体制の確立と鎖国
8 泰平の世の土台づくり …… 104
大名行列と藩の財政 …… 106
9 東南アジアに広がる日本町 …… 108
10 開かれた窓 …… 110
11 身分ごとに異なる暮らし …… 112

4 経済の成長と幕政の改革
12 将軍のおひざもと，天下の台所 …… 114
地域の街道や港を訪ねて …… 116
13 花開く町人文化 …… 118
14 連判状にまとまる人々 …… 120
15 繰り返される政治改革 …… 122
16 「読み・書き・そろばん」の習い …… 124
リサイクル都市・江戸の町人 …… 126

学習のまとめと表現 …… 128
時代の変化に注目しよう！ …… 130



第5章　近代の幕開け

1 近代世界の確立とアジア
1 王は君臨すれども統治せず …… 132
2 代表なくして課税なし …… 134
3 「世界の工場」の光とかげ …… 136
4 強大な国家を目ざして …… 138
5 国をゆるがす綿とアヘン …… 140
2 開国と幕府政治の終わり
6 内と外の危機 …… 142
7 たった四はいで夜も眠れず …… 144
8 新たな政権を目ざして …… 146
9 御政事売り切れ申し候 …… 148
坂本龍馬と横井小楠 …… 150
改革や平等を求めて …… 151
学習のまとめと表現 …… 152
時代の変化に注目しよう！ …… 154

第6章　近代の日本と世界

1 明治維新と立憲国家への歩み
1 万機公論に決すべし …… 156
2 人民に上下の別なき …… 158
3 学問は身を立てるの財本 …… 160
4 ザン切り頭をたたいてみれば …… 162
5 智識を世界に求めて …… 164
6 民撰議院を開設せよ …… 166
7 憲法の条規により之を行う …… 168
山川(大山)捨松と津田梅子 …… 170
アイヌの文化を伝えた人たち …… 171
2 激動する東アジアと日清・日露戦争
8 対等な条約を求めて …… 172
9 朝鮮をめぐる戦い …… 174
10 「眠れる獅子」に迫る列強 …… 176
11 列強との戦い …… 178
12 変わりゆく東アジア …… 180
海外へ移住した日本人 …… 182
人口からみた日本の歴史 …… 183
3 近代の産業と文化の発展
13 近代産業を支えた糸と鉄 …… 184
14 工業化のかげで …… 186
15 西洋文化と伝統文化 …… 188
学習のまとめと表現 …… 190
時代の変化に注目しよう！ …… 192

第7章　二度の世界大戦と日本

1 第一次世界大戦と民族独立の動き
1 クリスマスまでには帰れるさ …… 194
2 パンと平和，民主主義を求めて …… 196
3 成金の出現 …… 198
4 不戦の誓い …… 200
5 わきあがる独立の声 …… 202
2 大正デモクラシー
6 憲政の本義を説いて …… 204
7 デモクラシーのうねり …… 206
8 モボ・モガの登場 …… 208
大正・昭和初期の面影を訪ねて …… 210
3 恐慌から戦争へ
9 独裁者の出現 …… 212
10 日本を襲う不景気 …… 214
11 満州は日本の生命線 …… 216
12 「話せばわかる」 …… 218
13 ぜいたくは敵だ …… 220
4 第二次世界大戦と日本の敗戦
14 枢軸国と連合国の戦い …… 222
15 米・英への宣戦布告 …… 224
16 欲しがりません勝つまでは …… 226
17 軍国主義の敗北 …… 228
後藤新平と杉原千畝 …… 230
学習のまとめと表現 …… 232
時代の変化に注目しよう！ …… 234

第8章　現代の日本と世界

1 日本の民主化と冷戦
1 敗戦からの再出発 …… 236
2 平和国家を目ざして …… 238
3 冷たい戦争の始まり …… 240
4 38度線の緊張 …… 242
5 独立から復興へ …… 244
2 世界の多極化と日本
6 自主・独立・平和を求めて …… 246
7 国際関係の変化 …… 248
8 高度経済成長の光とかげ …… 250
移り変わる戦後の街を訪ねて …… 252
3 冷戦の終結とこれからの日本
9 変動する国際社会 …… 254
隣国と向き合うために …… 256
10 私たちの生きる時代へ …… 258
11 未来をひらくために …… 260
平和を願う人々と平和の祭典「オリンピック」 …… 262
学習のまとめと表現 …… 264
時代の変化に注目しよう！ …… 266

人名さくいん …… 267
事項さくいん …… 269
江戸時代の産業と交通 …… 巻末1
昔の国と，都道府県の対照図 …… 巻末1
歴史年表 …… 巻末2 巻末3
世界地図の歴史 …… 巻末4
各地の主な遺跡・史跡・できごと …… 巻末5 巻末6

「歴史」教科書の使い方

◆各章の構成と学習の流れ　～2章から8章までの七つの章は，時代のおおまかな区切りを表しています。

●これから学習する章（時代）

「とびら」ページ

- これから学習する時代のイメージをつかもう。
- 前の時代との違いを予想しよう。

「本文／特設」ページ

- この時代の動きについて，「何が，どのようになったか。」「それは，どうしてか。」などを追究しよう。
- 前の時代から，どのような転換が生じたかにも着目しよう。

「学習のまとめと表現」ページ

- 学習したことを振り返りながら，この時代の移り変わりを大観しよう。
- この時代の舞台を，地図で確かめよう。
- この時代のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

学習したことを活用して，この時代の特色を考えよう。

- 次の時代への変化に注目しよう。

時代の変化

●次の章（時代）

「とびら」ページ

- これから学習する時代のイメージをつかもう。
- 前の時代との違いを予想しよう。

…

◆本文ページの見方・使い方

導入資料・中心資料
この時間の学習へのきっかけや追究の中心となるような資料を，ふき出しによる問いかけとともに紹介しています。

時代スケール
「この時間で学習する時代」の範囲を色で示しています。

読み解こう
ここに示されている手がかりをもとに，資料を読み取ったり，考えを深めたりしましょう。

学習課題
これからの学習で，何について追究していくのかを確かめましょう。

参照ページ
内容が関連するページや，参考になる巻頭・巻末の資料のページを示しています。

ふりかえる
ステップ1では，この時間で学習したことを振り返って確認しましょう。
ステップ2では，学習してきたことを活用して表現しましょう。



側注解説
本文を補足する解説や，難しい語句の説明をしています。

章のタイトル

歴史の窓
この時間の学習に関連するコラムです（p.5→）。

資料ナンバー
本文記述と資料との関連を示しています。

◆マーク・表記の説明

世界遺産　人類が共有すべき普遍的な価値をもつとして，世界遺産条約に基づいて登録された遺跡や景観などです。

国宝　重文　建造物や美術工芸品などの有形の文化財のうち，重要な文化財として国が指定したものが重要文化財，さらに世界的にも特に価値の高いものが国宝です。

小学校の教科書で登場した人物です。

この教科書で新たに登場する人物です。

- この教科書で取り上げている市（区）町村名やその境界は，2015年3月現在で確定しているものです。



◆学習コラム

歴史の窓　学習から興味や関心を広げていくコラムです。

古代ギリシャの文化 …… 19
古代中国の歴史書に記された倭 …… 27
奥州藤原氏と平泉 …… 57
鎌倉時代の女性の地位 …… 61
オホーツク文化と擦文文化 …… 75
庭園づくりに活躍した人々 …… 81
ほろぼされた中南アメリカの文明 …… 93
野國總管と青木昆陽
　～飢饉から人々を救った甘藷(さつまいも) …… 121
米沢藩の藩政改革 …… 123
革命を支えた思想家たち …… 133
ナポレオンの支配 …… 135
ペリーの那覇・函館寄港 …… 145
幕末の国際交流～海を渡った武士たち …… 149
北海道の開拓とアイヌの人たち …… 163
琉球処分～琉球王国の終わり …… 165
台湾の植民地化 …… 175
産業の発展と豊田佐吉の発明 …… 185
財閥と日本の経済発展 …… 199
日本人がみた三・一独立運動 …… 203
関東大震災 …… 209
中東戦争 …… 241
歴史のなかの在日韓国・朝鮮人 …… 243
キューバ危機 …… 247
アラブの春 …… 255
東日本大震災 …… 259

◆特設ページ

●歴史を掘り下げていくさまざまなテーマ学習を紹介しています。

- 郷土の歴史を探ろう（身近な地域の歴史を調べる活動）《5テーマ》
- 資料から歴史を探ろう《5テーマ》
- 地域から歴史を探ろう《4テーマ》
- 人物から歴史を探ろう《7テーマ》
- 世界から歴史を探ろう《3テーマ》



これから私たちとともに学んでいきましょう。

第1章　歴史の移り変わりを考えよう

「タイムトラベル・サミット　2016」

歴史上の人物たちが，時代をこえて集まり，生まれた年で分かれたチームごとにサミットを開こうとしています。



1　各チームの会場には，どのような人物が集まっているか，小学校での学習を思い出しながら，確かめましょう。

2　たった今到着した次の８人の人物たちは，どのチームの会場に行けばよいでしょうか。それぞれの会場の空席 A ～ D に２人ずつ案内しましょう。



聖徳太子：十七条の憲法をつくりました。



織田信長（重文）：武力で天下統一を目ざしました。



雪舟：水墨画の名作を残しました。



紫式部：かな文字で『源氏物語』を著しました。



福沢諭吉：『学問のすゝめ』を著しました。



足利義満（重文）：明(中国)や朝鮮と貿易を行いました。

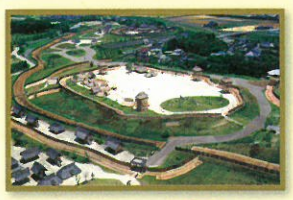


ザビエル（重文）：日本にキリスト教を伝えました。



板垣退助：自由民権運動を主導し，自由党を設立しました。

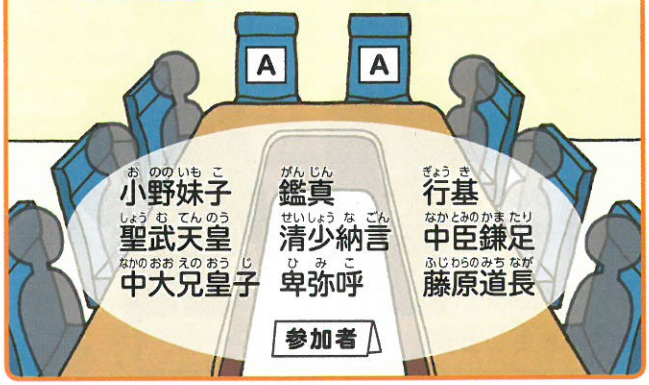
チームA「1～1000年生まれ」



吉野ヶ里遺跡



法隆寺（世界遺産・国宝）



チームB「1001～1500年生まれ」



東大寺南大門（世界遺産・国宝）



銀閣（世界遺産・国宝）

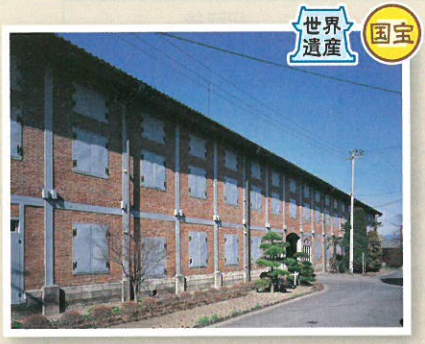


3 各チームの会場には，出席者が活躍していたころに建てられた建造物などの写真が飾られています。次の建造物は，どの会場にあてはめればよいでしょうか。



金閣





富岡製糸場







正倉院





日光東照宮

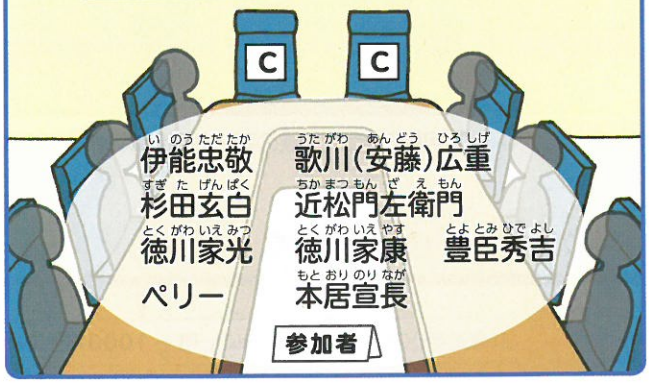
チームC「1501～1800年生まれ」



姫路城



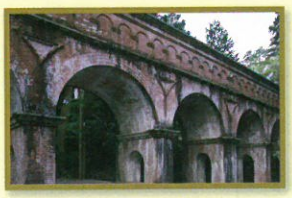
出島



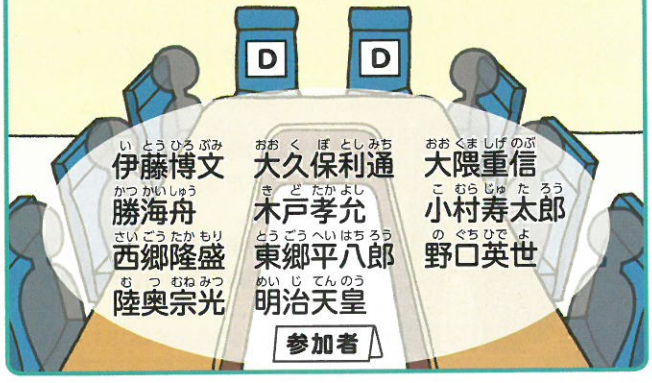
チームD「1801～1900年生まれ」



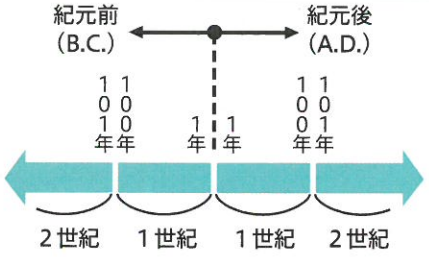
八幡製鉄所



琵琶湖疏水



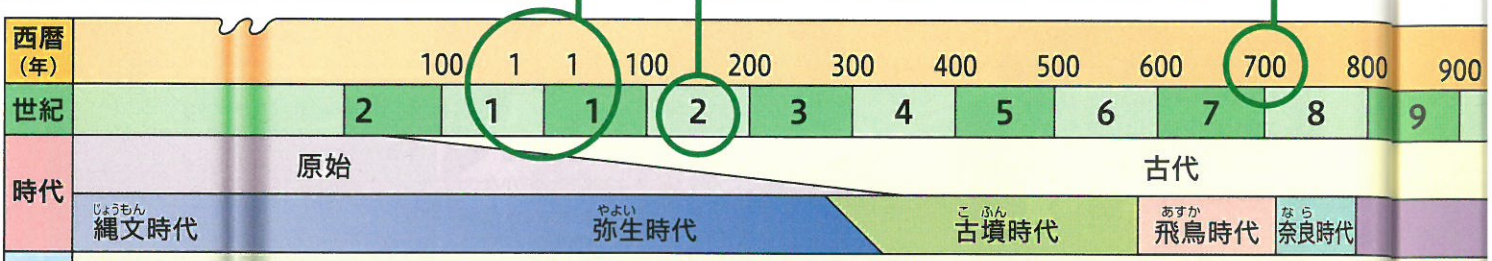
「時代の分け方・年表の見方」を振り返ろう



※「B.C.」は，英語の「Before Christ」(キリスト以前)の略で，「A.D.」は，ラテン語の「Anno Domini」(主の年に)の略です。

西暦：ヨーロッパで考え出された年代の表し方で，イエスが生まれたと考えられていた年を紀元1(元)年とし，それより前を紀元前何年，それ以後を紀元(後)何年と表しています。

世紀：西暦の100年を一つの単位として年代を区切る表し方です。例えば，2世紀は，101年から200年までの100年間です。

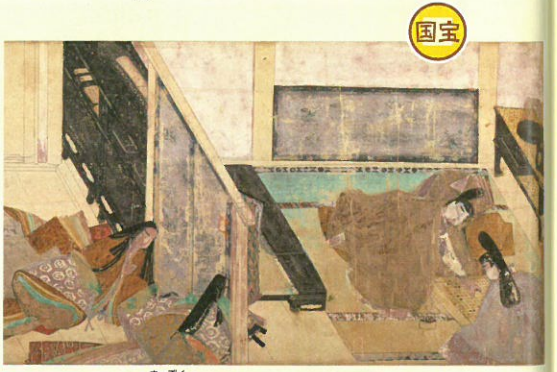


主なできごと

- ▼狩りや漁の生活
- ▼米づくりが広まる
- ■イエスが生まれる
- ■国内の統一が進む
- ▼各地に古墳がつくられる
- ■京都に都を定める(七一〇)
- ■奈良に都を定める



弥生時代のむらの暮らし(p.26→)



平安時代の貴族の暮らし(p.44→)



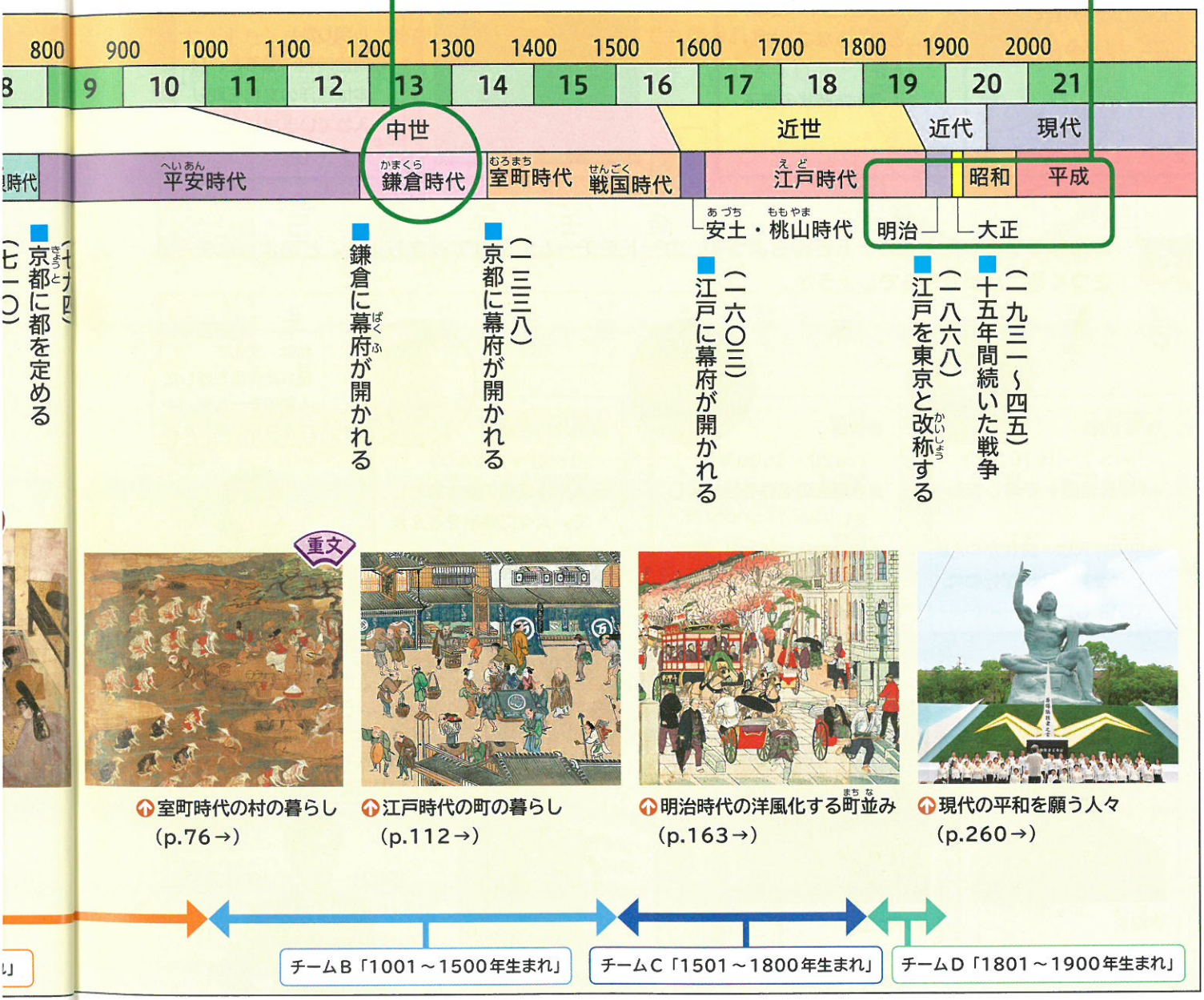
それぞれの時代は，どんな様子だったでしょうか。小学校での学習を思い出してみましょう。

チームA「1～1000年生まれ」

4 6～7ページで学習した，チーム「○○年生まれ」が，どの時代にあたるのか確かめましょう。

時代区分：時代区分には，原始・古代・中世・近世・近代・現代のように，社会のしくみの特徴によって，時代を大きく区分する方法があります。また，特に日本の歴史では，奈良時代・江戸時代のように，その時代の政治の中心がどこであったかによって区分する方法や，縄文時代・戦国時代のように，その時代の文化や社会の特徴によって区分する方法も用いられています。

年号：日本には，明治・大正・昭和・平成のような年号（元号）という年代の表し方があります。これは中国で始まり，日本では７世紀の中ごろから用いられるようになりました。明治以後，天皇の一代ごとに年号は一つと決められています。



室町時代の村の暮らし
（p.76→）

江戸時代の町の暮らし
（p.112→）

明治時代の洋風化する町並み
（p.163→）

現代の平和を願う人々
（p.260→）

新たなチームづくりにチャレンジしよう

5 小学校で学習した人物のなかから一人を選んで，下の例を参考に人物カードをつくってみましょう。つくった人物カードは，前のページの年表のどの辺りに位置づくでしょうか。

表面

人物の写真や絵などのコピーをはる

裏面

【記入する内容】
- ●人物名(生年～没年)
- ▲どのようなことをしたか
- ◆活躍した時代の様子

例



●福沢諭吉
(1835～1901年)
▲『学問のすゝめ』を著しました。
◆明治時代になると，日本は西洋の文化を取り入れていきました。

6 みんなでつくった人物カードを持ちよって，カードをチームに分けてみましょう。どのようなチームをつくることができるでしょうか。



●紫式部
(978？～1016？年)
▲『源氏物語』を著しました。
◆平安時代は，貴族が中心となって，政治が行われていました。



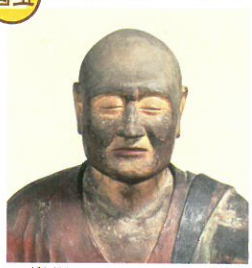
●雪舟
(1420～1506年)
▲水墨画の名作を残しました。
◆室町時代の終わりごろには，下剋上の風潮が広まりました。



●近松門左衛門
(1653～1724年)
▲人形浄瑠璃の脚本家として，人々に感動を与えました。
◆江戸時代は，幕府が全国の大名を統制しました。



国宝



●鑑真
(688～763年)

重文



●ザビエル
(1506～1552年)

？



歴史にアプローチ ～干支や単位，資料を活用しよう

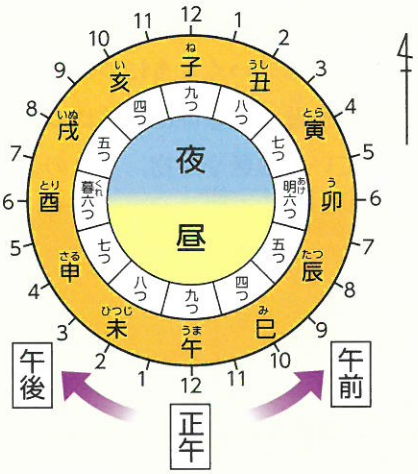


これから歴史の学習を進めていくなかで，みなさんは，現在ではあまり使われなくなった干支や単位などに出合うことでしょう。また，絵や図などのさまざまな資料も，重要な情報源となります。このコーナーでは，それらのうち，教科書に出てくる主なものを紹介します。このコーナーを活用しながら，歴史を楽しく，深く学んでいきましょう。

1 年代・時刻・方角の表し方と干支

干支は，年・月・日などを表す方法で，中国では殷(p.20→)の時代から使われていたとされています。十干と十二支を組み合わせた60通りで表され(「甲子」，「乙丑」など)，60年で一めぐり(還暦)します。また，十二支は，時刻や方角を表す言葉としても使われました。

【例：壬申の乱(672年／p.37→)，戊辰戦争(1868年／p.156→)】



十干					
	きのえ 甲 コウ	きのと 乙 オツ(イツ)	ひのえ 丙 ヘイ	ひのと 丁 テイ	つちのえ 戊 ボ
	つちのと 己 キ	かのえ 庚 コウ	かのと 辛 シン	みずのえ 壬 ジン	みずのと 癸 キ

十二支												
	ね 子 シ	うし 丑 チュウ	とら 寅 イン	う 卯 ボウ	たつ 辰 シン	み 巳 シ	うま 午 ゴ	ひつじ 未 ビ	さる 申 シン	とり 酉 ユウ	いぬ 戌 ジュツ	い 亥 ガイ

2 歴史のなかの単位

長さ

【里・町・間・尺】

1里＝36町＝約3927m

1町＝60間＝約109m

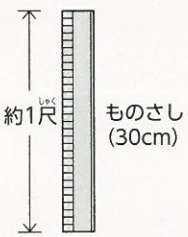
1間＝6尺＝約1.8m

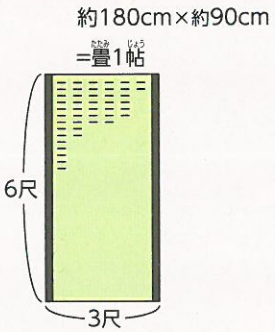
【丈・尺・寸・分】

1丈＝10尺＝約3m

1尺＝10寸＝約30cm

1寸＝10分＝約3cm





重さ

1貫＝1000匁＝3750g

1斤＝0.16貫＝160匁＝600g

通貨

金1両＝銀50匁＝銭4貫(1609年)

1圓(円)＝100銭

1銭＝10厘

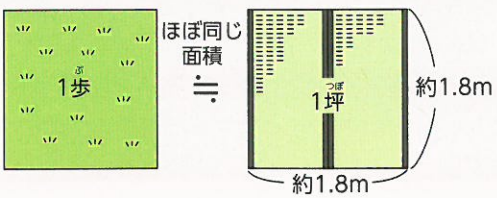
面積

【「太閤検地」(p.100→)以降】

1町＝10段(反)＝約9917m²

1段(反)＝10畝＝約991m²

1畝＝30歩＝99m²



容積

1石＝10斗＝約180L

1斗＝10升＝約18L

1升＝10合

1合＝10勺

3 絵画資料の見方　―絵巻物を読み解く

歴史の学習では，さまざまな資料を活用します。文書や書物など文字で表されたもの以外に，歴史上の人物を描いた肖像画(p.34→など)や屏風絵(p.102→など)，浮世絵(p.118→など)などの絵画や印刷物も，歴史を探るうえでの貴重な資料です。

ここでは，そうした絵画資料のうち，古代～中世の時代に多くつくられた絵巻物(p.44→など)について，具体的に読み解いてみましょう。

絵巻物とは

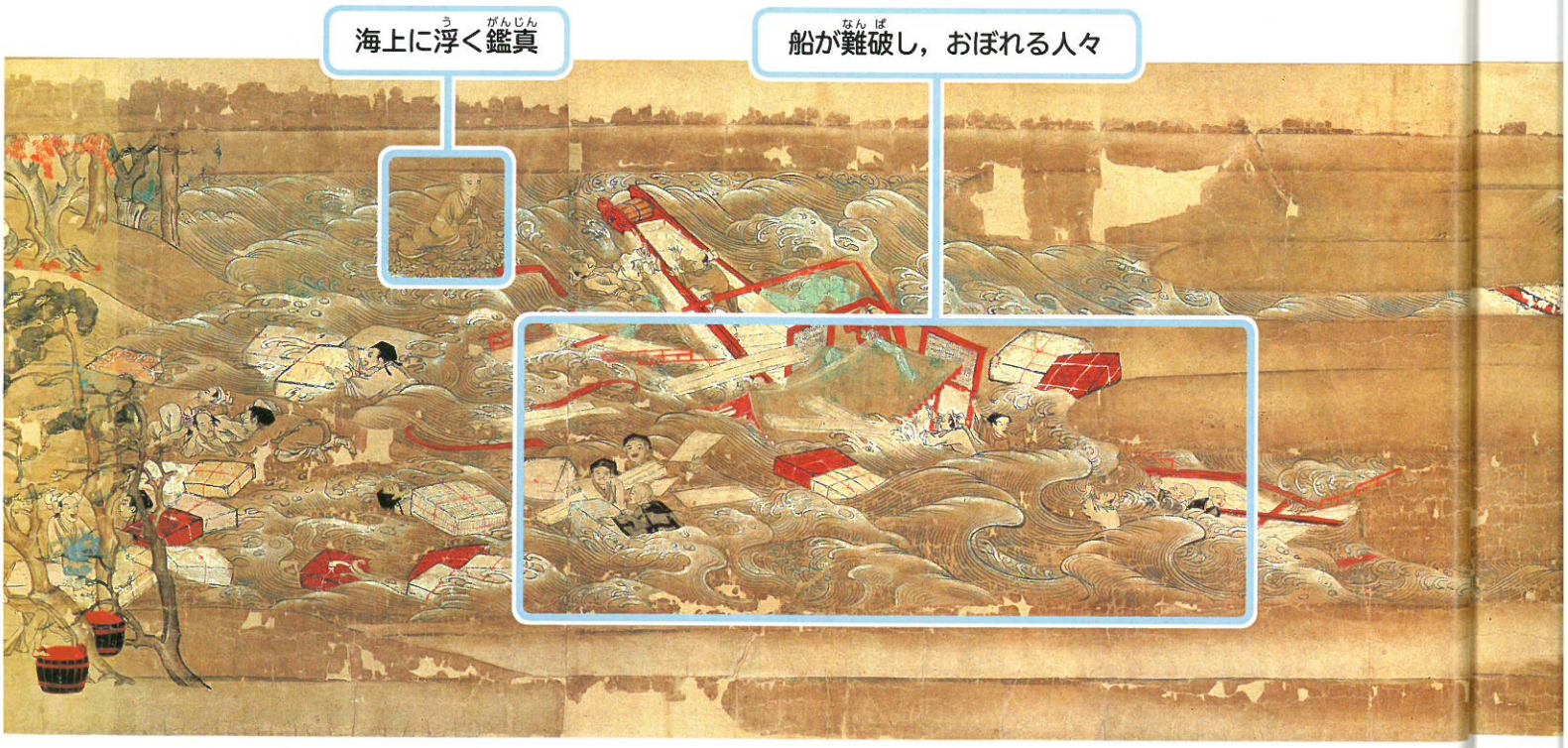
絵巻物は，文章(詞書)と絵が交互につなげられ，物語が展開していくようにつくられた巻物で，紙や絹を何枚も貼りつないで横長につくられています。描かれている風景や建物，人々の姿は，当時の様子を知るための大切な糸口になります。

絵巻物には，平安時代の貴族の世界を舞台にした物語を描いたものや，歴史的な事件や逸話を描いたもの，戦いの様子を描いたものなどがあります。



重文

「詞書」と「絵」
まず詞書があり，その場面を描いた絵が続きます。



『東征伝絵巻』を読み解こう

『東征伝絵巻』は，奈良時代に，中国の僧鑑真が，朝廷からの要請を受けて訪日を決意し，何度も航海に失敗しながらも日本にたどり着いて，仏教の戒律を伝えた様子(p.39→)を描いた絵巻物です。

この絵巻物は13世紀につくられました。全５巻で，全長は82mにもなります。

絵巻物の特徴

下の絵は，鑑真が，日本を目ざして最初の航海に臨み，激しい風と波にあって難破する場面です。右端には，出航を待つ鑑真と準備をする人々の姿が描かれています。そして，画面が左側に進むと，出航した船や，それが難破し，人々や積み荷が海に投げ出された場面になり，左端では，人々が岸に打ち上げられています。

このように，１枚の絵のなかに時間の移り変わりを描き，物語を展開していく方法は，絵巻物の特徴の一つです。絵巻物は左へ開きながら鑑賞するので，絵のなかの時間は，右から左へと流れていきます。また，下の絵のなかには，この絵巻物の主人公である鑑真が，２度描かれています。一つの場面で同一人物を何度も描くことで，物語の進行を表現しているのです。

このほかにも，絵巻物では，霞や海，山並みや樹木などを描くことによって，時間や場所の転換を表現したり，建物の屋根や天井，壁の一部を取り払うことで，室内の様子をわかりやすく見せたりする方法がとられています。



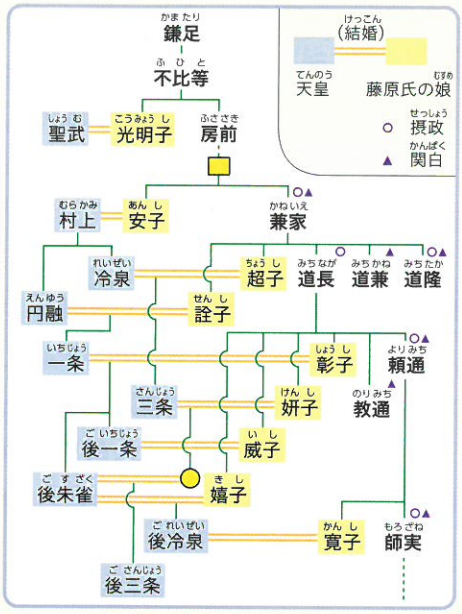


↑『東征伝絵巻』(唐招提寺蔵)

4 系図の読み方

歴史の学習には，多くの人物が登場します。それらの人々の関係や，歴史上のできごととの関わりを理解するのに役立つのが系図です。

系図は，一族の代々の系統を表した図です。一般的には上から下に連なって書かれていて，縦のつながりは親子関係を，横のつながりは兄弟姉妹関係を示します。二重線は婚姻関係を示します。





系図の読み解きにチャレンジしよう

❶藤原道長は，どこに記されているかな。赤丸で囲んでみよう。
❷道長と頼通は，どんな関係だろう。
❸道長の娘は，何人いるだろう。

藤原氏と皇室の系図(p.43→)

5 歴史のなかの植物

みなさんは，「五穀」という言葉を聞いたことがありますか。古来，私たちの祖先が暮らしを営むために栽培してきた主要な穀物のことを，「五穀」といいます。江戸時代には，主に米(稲)，麦・粟・黍(または稗)・豆のことを指していました。

それぞれの起源や伝来について調べてみましょう。





「四木三草」

「五穀」のほかに，暮らしに役立つ七種の農作物を，「四木三草」とよんでいました。主に漆・桑・楮・茶・藍・麻・紅花のことを指し，江戸時代には，商品作物として藩の財政を支える特産品となっていたものもあります(p.114，120→)。



「五穀豊穣」を願って行われる祭りもあるね。

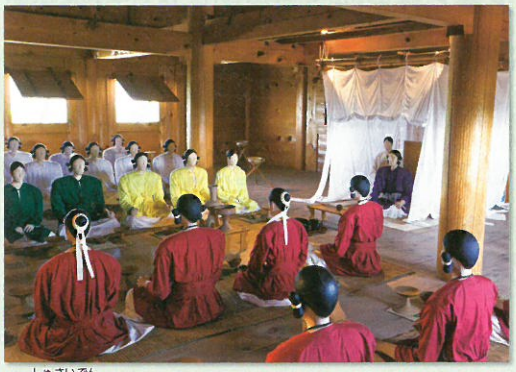
第2章

原始・古代の日本と世界



吉野ヶ里遺跡（佐賀県）





主祭殿の建物の内部（想像）



これから学習する時代

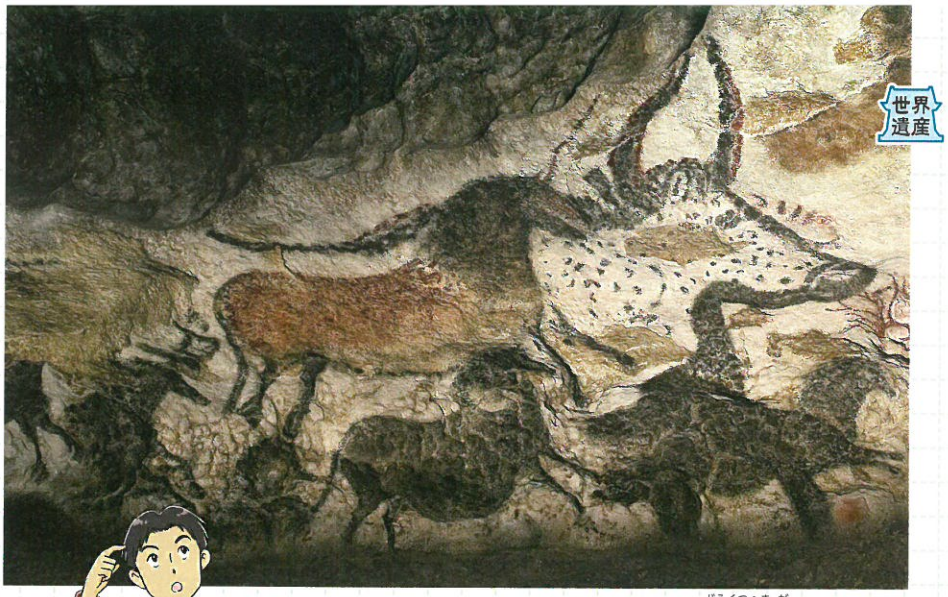
年表

年代	紀元	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100
日本	縄文時代	弥生時代			古墳時代			飛鳥時代	奈良時代	平安時代		
中国	旧石器時代	殷	周	前漢	後漢		三国	晋	五胡十六国	南北朝	隋	唐	五代	（北）宋
朝鮮	春秋・戦国	秦	（楽浪郡）・高句麗			高句麗			新羅		高麗	
			三韓			百済・新羅						

1 人類の出現と文明のおこり



1 約350万年前の猿人の親子の足あと（タンザニア）



世界遺産

2 ラスコーの洞窟壁画（フランス）
約1万5000年前の遺跡です。



何が描かれているかな。

世紀 ▶ 紀元前 1万年 5000年 1年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

① 生きぬく知恵 ▶ 人類の出現と農耕・牧畜の始まり

学習課題 人類は，いつごろ出現し，どのように暮らしを進歩させていったのでしょうか。

人類の生い立ち

地球上に人類が現れたのは，今から約700万年前のアフリカと考えられています。人類の祖先（**猿人**[5]）は，後ろ足で立って歩き[1][1]，自由になった前足（手）で木の棒や石をつかみ，道具として使い始めました。やがて人類は，石を打ち欠いて**打製石器**[3]をつくることも覚え，それを使って動物を狩り，木の実や植物の根を採るようになりました。

1 これを直立二足歩行といいます。重い脳を支えられるようになり，知能が発達しました。

火や言葉の使用

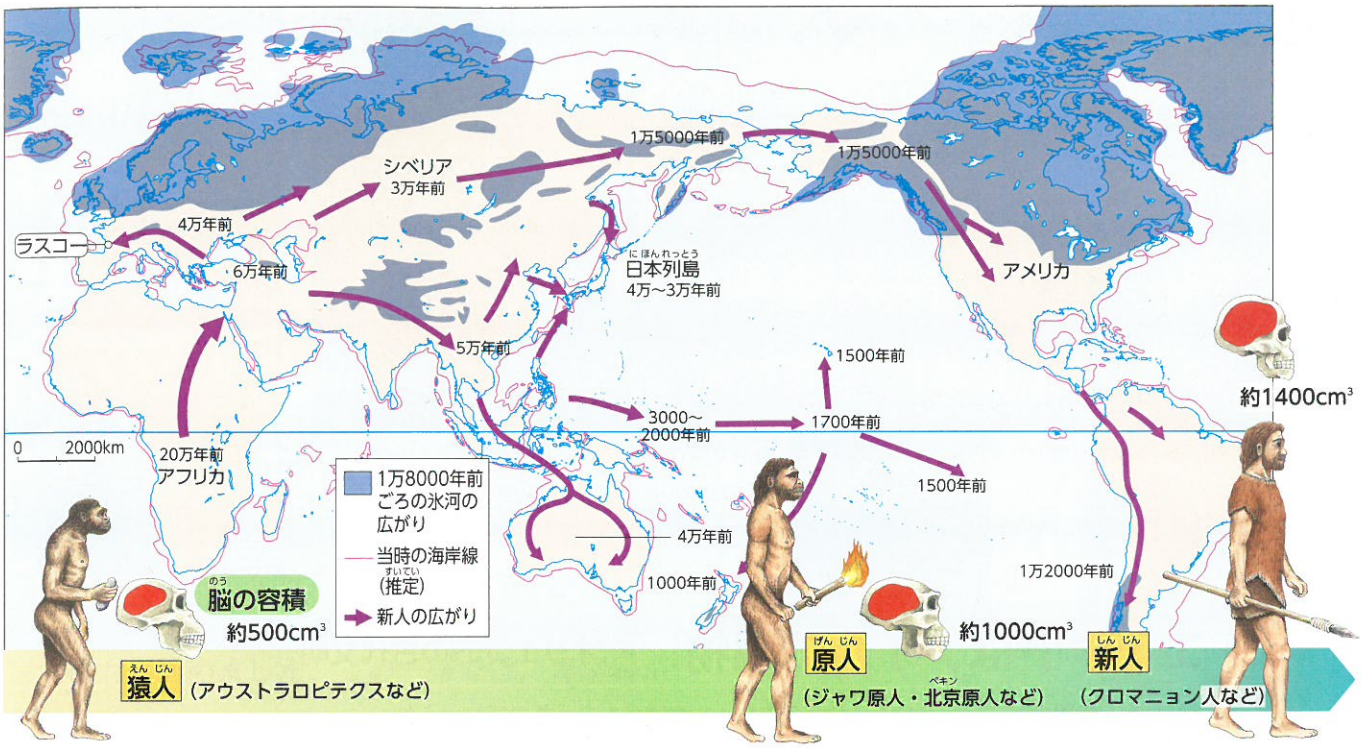
約260万年前から，地球は氷河時代に入り，寒冷な時期（氷期）と比較的暖かな時期（間氷期）が繰り返し訪れました[2]。厳しい環境を生きぬくなかで，人類は**原人**[5]へと進化し，ヨーロッパやアジアにも広がっていきました。原人は，火を使って寒さから身を守ることなどを覚え，互いに助け合って暮らすうちに言葉も発達させました。

2 陸地のおよそ3分の1が，氷河におおわれることもありました。

約20万年前になると，私たちとほぼ同じ骨格や顔の形をもつ**新人**[5]が現れ，やがて世界中に広がりました[5]。新人は，洞窟や岩かげなどに住み[2]，先のとがった打製石器で狩りをしながら，獲物を追って移動していました。このように，人々が打製石器を使い，狩りや採集をしていた時代を，**旧石器時代**といいます。



3 斧のようにして使われた打製石器（左）と，4 磨製石器（右）（新潟県出土　十日町市博物館蔵）



5 人類の進化（想像図）**と広がり**

弓矢と土器の使用

約１万年前に氷期が終わると，地球は温暖になり，現在とほぼ同じ気候になりました。環境の変化によって，マンモスなどの大型動物は減りましたが，小型動物や，木の実などの植物は増えました。

人々は，すばやい小型動物を狩るために，犬を家畜にし，弓矢を使い始めました。また，食料の調理・保存をするための土器[6]や，織物がつくられたほか，石を磨いてつくる**磨製石器**[4]も使われるようになりました。この時代を**新石器時代**といいます[3]。

農耕と牧畜の始まり

やがて，幾つかの地域では，植物を栽培する農耕や，羊・牛などを飼育する牧畜が始まりました。人々は，同じ場所に住みついてむらをつくり，食料を計画的に生産して蓄えるようになりました。

生産が高まり，人口が増えるにつれて，人々の間には蓄え（富）の差も生まれてきました。この富をめぐる戦いや，祭り，農作業などを指揮していた者のなかから，強い権力をもつ支配者（王）が現れ，人々を統治するしくみを整えました。こうした営みのなかで，世界各地に**文明**が形づくられていきました。

[3] 旧石器時代と新石器時代を合わせて，原始時代といいます。

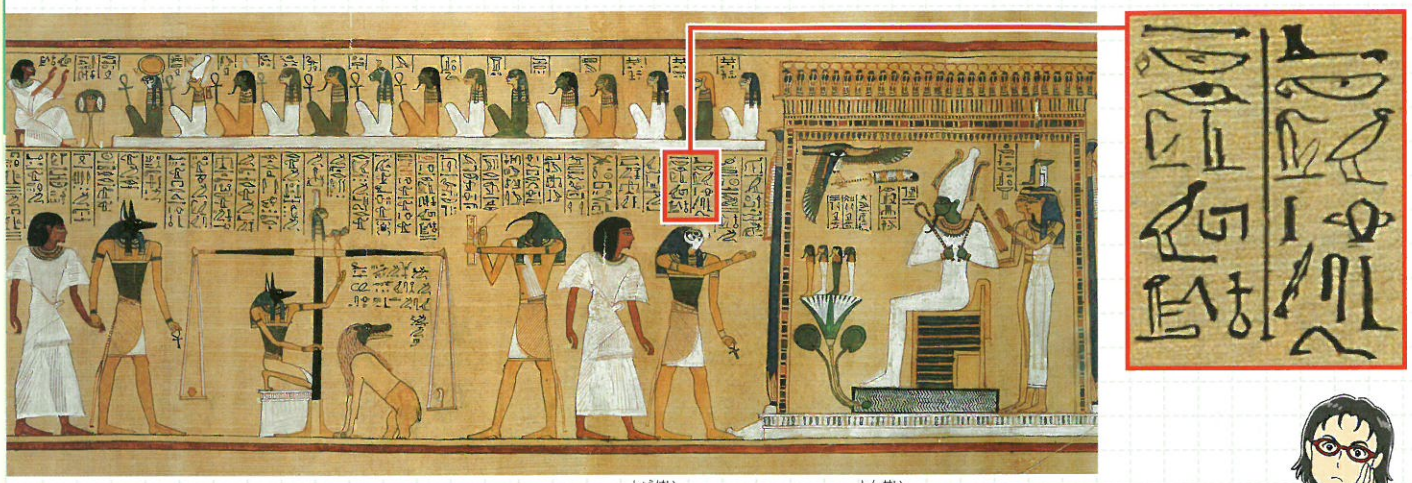


6 約6000年前につくられた土器（イラン）

ふりかえる

ステップ 1 直立二足歩行によって，人類ができるようになったことを確かめよう。

ステップ 2 旧石器時代と新石器時代の暮らしを比べて，どのような共通点や違いがあるか説明しよう。



1 死後の世界の案内書とされる「死者の書」と，象形文字の一つである神聖文字(ヒエログリフ)(エジプト)　死者の生前の善行や復活のための呪文を神聖文字でパピルスに記し，棺に納めました。



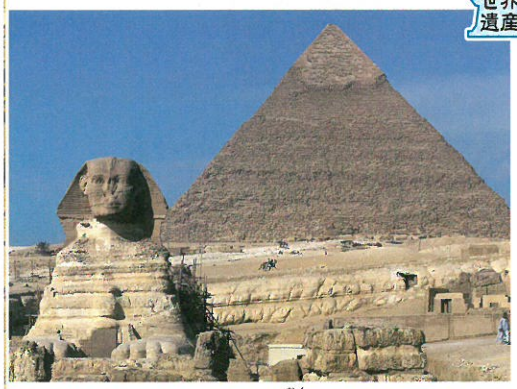
世紀 ▶ 紀元前1万年 5000年 1年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

② エジプトはナイルの賜物 ▶オリエントの古代文明

学習課題　世界のどこで，どのような特色をもった文明がおこったのでしょうか。



2 古代エジプトの農業



世界遺産

3 ピラミッド(奥)とスフィンクス(エジプト)　クフ王のピラミッドは，高さ146m，底辺233mで，平均2.5tの石を約230万個使って築かれています。

オリエントとは

オリエントは，「太陽がのぼるところ」を意味する言葉で，現在は中東や中近東とよばれる地域をさしています[4]。紀元前4000年ごろから，この地域のエジプトとメソポタミアで都市がつくられるようになりました。

エジプト文明

エジプトを流れるナイル川は，毎年夏になると洪水を起こし，水が引いたあとには肥えた土が残されました。川の流域[4]では麦などをつくる農業[2]が盛んになり，紀元前3000年ごろには，小さな国々を統一した国家がつくられました。国王は神としてあがめられ，石造りの巨大な神殿や，王の墓ともいわれるピラミッド[3]が築かれました。

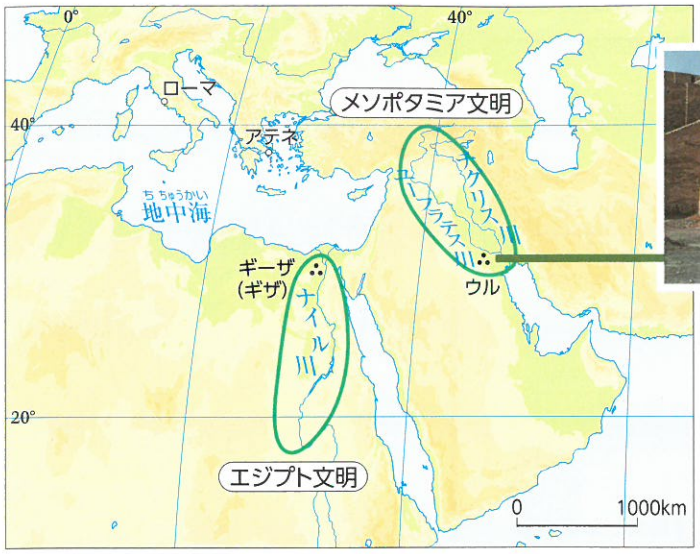
←巻頭1　←p.14

また，洪水のあとの土地を測り直すために，測量の技術や数学が発達し，種まきや刈り取りの時期を予知するために，1年を365日とする暦(**太陽暦**)がつくられました。税などを記録するために，**象形文字**[1]も使われるようになりました。

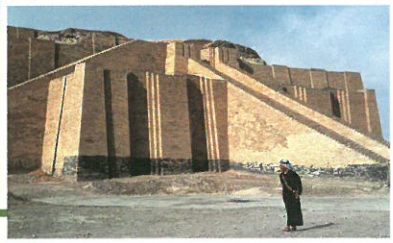
メソポタミア文明

チグリス川とユーフラテス川に挟まれたメソポタミア[4]でも，肥えた土地を利用して早くから農耕や牧畜が始まりました。紀元前3000年ごろには，神殿[5]を中心に城壁で囲まれた都市国家がつくられ，宗教を司る神

巻末4→



4 オリエントで古代文明がおこったところ



5 ジッグラト(復元　イラク)
「高い所」を意味する聖塔で，最上部に神殿がありました。





6 ハンムラビ法典の碑と，くさび形文字　ハンムラビ法典は，厳しい復しゅうのきまりで知られ，その碑には，条文がくさび形文字で刻まれています。

官が権力を強めました。この一帯では，青銅器がつくられ，**くさび形文字**[6]も使われていました。月の満ち欠けをもとにした暦(**太陰暦**)がつくられ，１年を12か月，１週間を７日とし，時間や角度を60進法で計る方法も考え出されました。p.20➡

紀元前18世紀ごろには，ハンムラビ王がメソポタミアの全域を統一しました。ハンムラビ王は大規模な治水工事を行ったほか，ハンムラビ法典[6]をつくって人々を支配しました。

アルファベットとユダヤ教

メソポタミアで交易が盛んになると，象形文字やくさび形文字をもとにアルファベットの原型がつくられました。また，古代のオリエントでは，ほとんどの国々で多神教が信仰されていましたが，ヘブライ人(ユダヤ人)は一神教を信仰するようになり，紀元前６世紀ごろにはユダヤ教として確立させました[1]。

1 信じる神が多数ある宗教を多神教，一つの神のみを信じる宗教を一神教といいます。ユダヤ教は，後にキリスト教やイスラム教の母体となりました。(p.23，33→)

ふりかえる

ステップ１ オリエントでおこった文明を二つあげよう。

ステップ２ 二つの文明の特色で，似ているところを説明しよう。

歴史の窓　古代ギリシャの文化

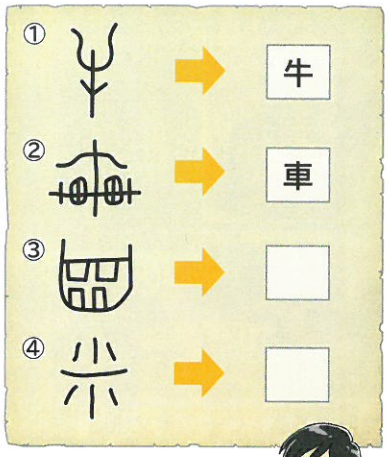
オリエントの古代文明は，地中海を越えて南ヨーロッパにも伝わりました。ギリシャでは，紀元前８世紀ごろから，ポリスとよばれる都市国家が数多く誕生しました。幾つかのポリスでは，成年男子の市民が参加する民主政治が行われました。また，理想の社会や人間像を追究する哲学や芸術が発展しました。古代ギリシャの文化は，ローマ帝国に受け継がれ，後のヨーロッパ文化に大きな影響を及ぼしました。こうしたギリシャやローマの繁栄した社会は，大勢の奴隷の労働によって支えられていました。



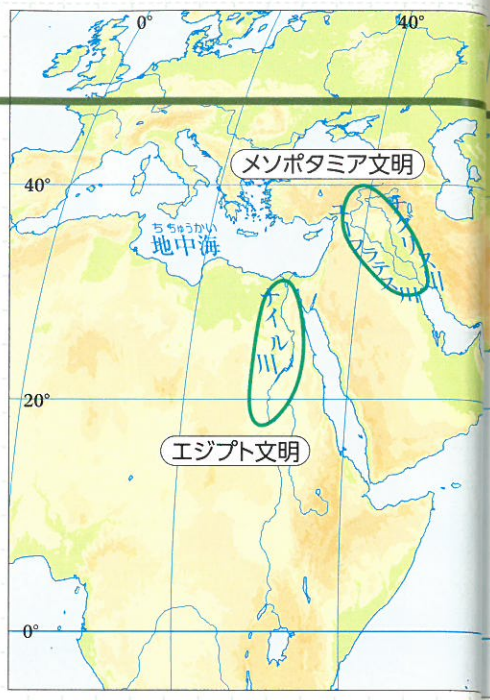
円盤投げ(バチカン美術館蔵)　ギリシャの人々が理想とした身体像を表現しています。



甲骨文字が刻まれた牛の骨 1







世紀 ▶ 紀元前 1万年 5000年 1年 1 100年 2 200年 3 300年 4 400年 5 500年 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

③ 骨に刻まれた文字 ▶ アジアに芽生えた古代文明

学習課題 各地でおこった文明に，共通することがらはなんでしょうか。



殷の時代の青銅器 2

1 青銅は，銅とすずを溶かし，混ぜ合わせてできる金属です。青銅器は，祭りで酒や作物を神に供えるときなどに使われました。

中国文明と儒教のおこり

東アジアで，最も早く文明がおこったのは，中国でした。紀元前6000年ごろ，黄土とよばれる肥えた土が広がる黄河の流域で，土器をつくり，粟や稗などの畑作を行う文化が生まれました。同じころ，長江の流域でも，稲作をともなう文化が生まれました。4 ←p.14

紀元前1600年ごろには，黄河の流域に，優れた**青銅器**1 2の文化をもつ**殷**(商)という国がおこりました。王が政治や祭りを進めた殷では，戦争や狩猟などの大事なことを決めるときに占いが行われ，その記録が亀の甲や牛の骨に文字で刻まれました。この**甲骨文字**1は，現在の漢字のもとになりました。

殷の後には周がおこりましたが，紀元前８世紀になるとおとろえ，中国では，力をつけた各地の国々が争うようになりました。この戦乱の時代に，**孔子**3は，親子・兄弟などの秩序を重んじ，道徳を中心とする政治を説きました。孔子の教えは**儒教**となり，後に朝鮮や日本などに伝えられて，社会や人々に大きな p.29→



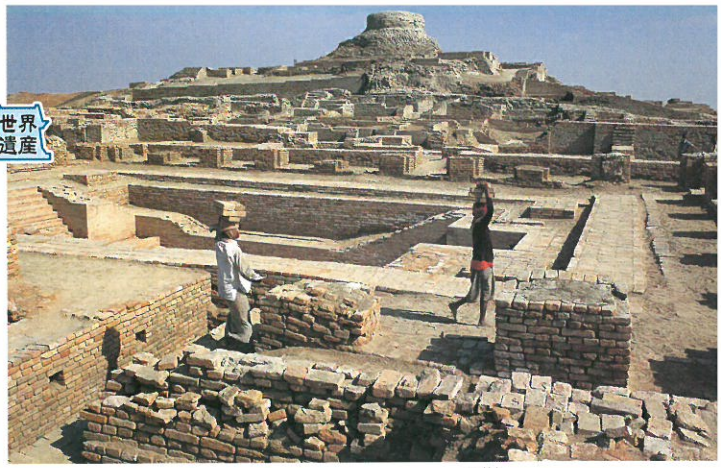
3 孔子
孔子の教えを弟子たちがまとめた書物が，『論語』です。



読み解こう

❶各地域に共通する地形の特色は，なんだろう。
❷それは，文明のおこりとどのように関わっているだろう。

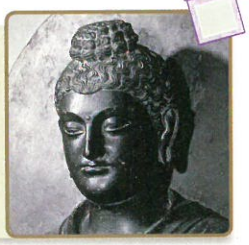
4 古代文明がおこった地域



5 モヘンジョ＝ダロの遺跡（現在のパキスタン） インダス文明の中心都市の一つで，計画的に建設された市街には，道路や下水道などの公共施設も整備されていました。



6 インダス文字や動物が刻まれた印章 粘土に押して用いたと考えられています。



7 シャカ(ゴータマ＝シッダールタ) 35歳で悟りを開き，仏となりました。

影響を与えました。また，鉄製の農具が使われ始めて農業生産が高まり，商業も盛んになって貨幣がつくられました。

インダス文明

南アジアでは，紀元前2300年ごろ，インドのインダス川の流域で文明がおこりました。[4] 麦の栽培や牛の飼育などの農業が行われ，れんが造りの建物や排水溝などを備えた都市[5]が繁栄しました。しかし，石の印章に刻まれたインダス文字[6]は，まだ解読されていないため，多くはなぞに包まれています。

仏教のおこり

インドでは，紀元前６世紀ごろ，**シャカ**[7]が，人は身分[2]に関わらず平等であり，修行をして心の迷いを捨てれば，この世の苦しみから救われると説いて，**仏教**を開きました。仏教は，国王にも保護されて広まり，やがて東南アジアや中国，朝鮮，日本へと伝えられ，多くの人々に信仰されるようになりました。p.29➡

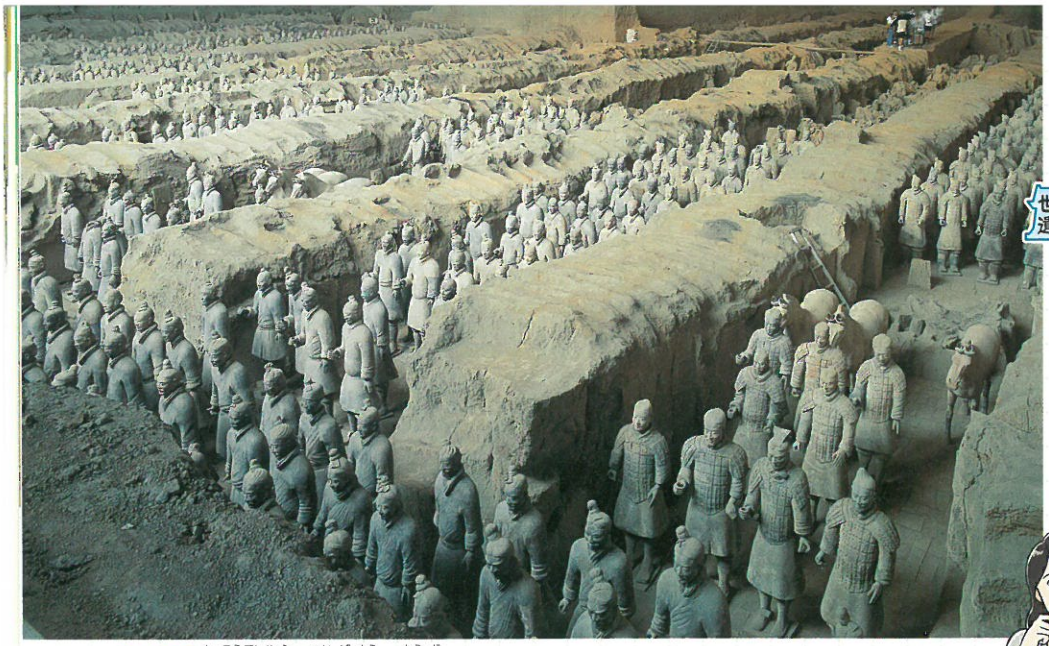
その後インドでは，バラモンの教えをもとにしたヒンドゥー教がおこり，仏教に代わって栄えるようになりました。また，十進法やアラビア数字のもとがつくられ，ゼロの概念も生み出されるなど，数学をはじめとする自然科学が発達しました。

❷ 当時，人はバラモン(神官)・クシャトリア(王族・武人)・バイシャ(平民)・シュードラ(奴隷)の身分に分けられるとする考え方がありました。

ふりかえる

ステップ 1 中国文明やインダス文明で使われた文字をあげよう。

ステップ 2 人類が文字を使い始めたことは，歴史のなかでどのような意味をもっているか話し合おう。

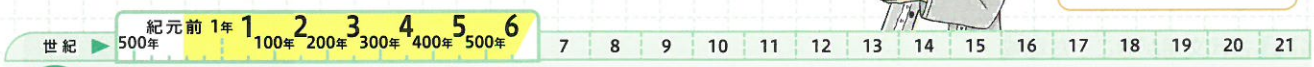






始皇帝が，このような兵馬俑をつくらせたのはなぜかな。

1 始皇帝陵の兵馬俑　陶土でつくられた7000余りの兵士や軍馬の像，実用の戦車などが，始皇帝の墓の近くに埋められていました。



4 東と西をつなぐ道 ▶大帝国の出現と交流

学習課題　紀元前後の世界では，どこで，どのような動きがあったのでしょうか。

古代中国の統一

紀元前３世紀，秦の**始皇帝**[1]が初めて中国を統一しました。秦は，北方の遊牧民族の侵入を防ぐため，万里の長城[4]を築きました。始皇帝は，皇帝を頂点に全国を支配する中央集権体制を実現し[1]，文字や貨幣をはじめ，長さ・容積・重さをはかる基準（度量衡）[2]を統一しました。

続いて中国を支配した**漢**は，領土を中央アジアまで広げて大帝国を築き，周辺の国々の王にも印などを与えて，皇帝の臣下とみなしました。西アジアや地中海地域と中国を結ぶ，**シルクロード**（絹の道）とよばれる交通路が開かれ，中国の絹などがローマ帝国に運ばれました。西方からは馬やぶどう，仏教などが中国に伝えられました。また，漢では，儒教が重んじられ，紙が発明されて，歴史書が著されるなど，文化も発達しました。

p.27➡
p.27➡
←巻頭1

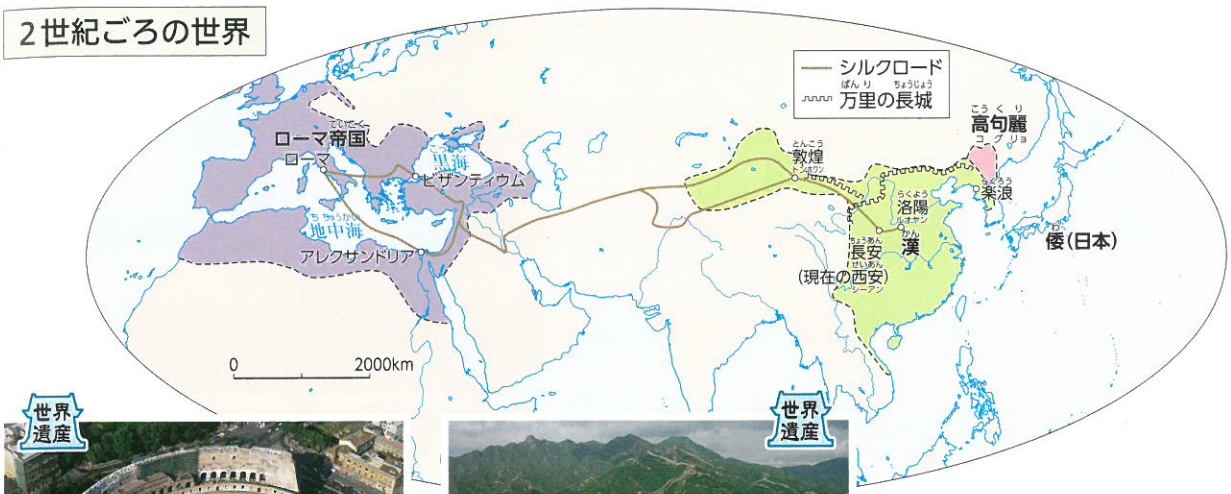
３世紀の初めに漢がほろぶと，中国では，魏・呉・蜀の三国が分立し，５世紀には，南朝と北朝[5]に分かれた国々が争いを繰り返すようになりました。社会への不安が続くなかで，人々の間に仏教が広まり，国の保護も受けて仏教文化[2]が発達しました。

❶ 最初の皇帝として，始皇帝と名のりました。王よりも強大な力を誇示する皇帝の称号は，20世紀の初めまで用いられました。

❷ 度は「ものさし」，量は「ます」，衡は「はかり」のことをいいます。

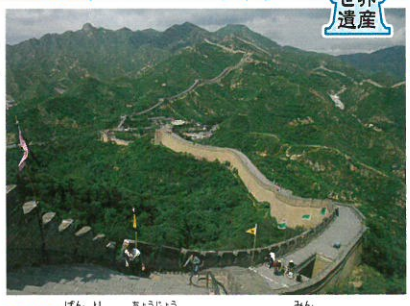


2 竜門の石窟　北朝から唐（p.32→）の時代にかけて，岩壁に大小の仏像が数多くほられました。

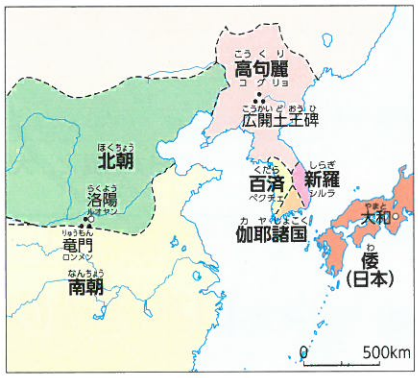




3 ローマのコロッセウム(円形闘技場)　ここで何が行われたのでしょうか。



4 万里の長城　写真は，明の時代に改修されたものです(p.72→)。



5 5世紀ごろの東アジア

朝鮮半島の国々

中国の東北部から朝鮮半島にかけての地域には，漢が楽浪郡などをおき，支配を広げていました。やがて，紀元前後におこった**高句麗**が成長し，４世紀の初めにその勢力を打ち破りました。同じころ，朝鮮半島の南部には**百済**と**新羅**がおこり[5]，百済は倭(日本)と結んで，高句麗や新羅と対立しました。半島の南端には，伽耶(加羅)諸国が分立[5]していましたが，６世紀の後半に新羅にほろぼされ，朝鮮半島では高句麗・百済・新羅の三国が争うようになりました。

ローマ帝国とキリスト教のおこり

東方で漢が栄えていたころ，地中海地域はローマによって統一され，ヨーロッパから黒海に及ぶ大帝国が築かれました。ローマ人は，ギリシャやオリエントの文化を取り入れ，水道橋・闘技場[3]などの建築物や，ローマ法・ローマ字など，実用的な文化を発展させました。巻末4➡

また，ローマ帝国に支配された西アジアのパレスチナでは，１世紀の初めに，**イエス**[6]が，神は苦しんでいる者を救うと説いて，**キリスト教**[6]をおこしました。キリスト教は，４世紀にローマ帝国で公認され，その後，ヨーロッパ中に広まりました。p.88➡



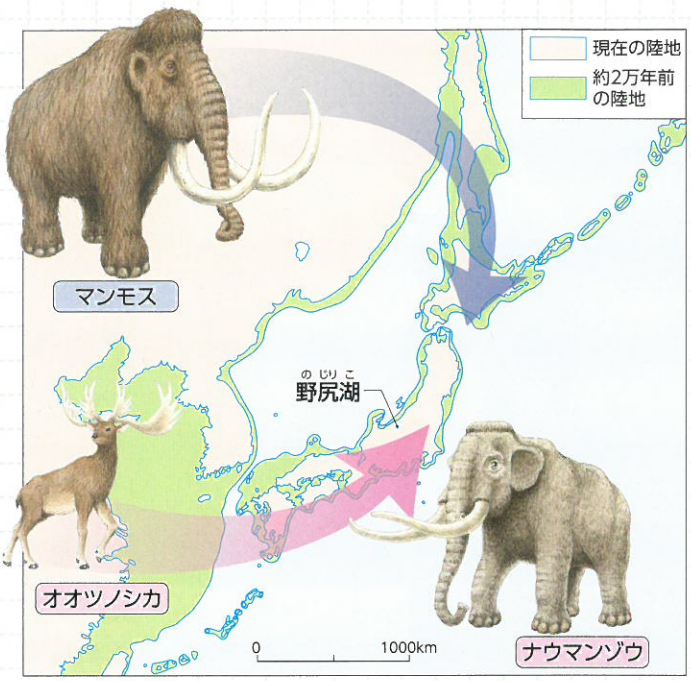
6 イエス
イエスの教えをまとめた『新約聖書』と，ユダヤ教の聖典である『旧約聖書』が，キリスト教の聖典となりました。

ふりかえる

ステップ 1 上の世界地図で，漢とローマ帝国の範囲や，シルクロードがどこを通っていたかを確かめよう。

ステップ 2 シルクロードを通じた東西の交流の様子を，図に表して説明しよう。

2 日本の成り立ちと倭の王権



1 氷河時代の日本列島と，大型動物



2 野尻湖（長野県）の湖底から発掘された動物の化石
高校生が発見したオオツノシカの角（上）とナウマンゾウの牙（下）の化石で，「月と星」と名づけられました。



世紀 ▶ 紀元前 1万年 5000年 | 1年 1 | 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

5 日本列島のあけぼの ▶旧石器時代から縄文時代へ

学習課題 原始時代の日本列島では，人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。



3 槍先形の打製石器（左：群馬県出土 相沢忠洋記念館蔵）と，
4 釣り針（右：神奈川県出土 明治大学博物館蔵）



5 貝塚（断面） 人々が食べたあとの貝がらや，動物・魚の骨が積もってできたものです。

日本列島への移住

氷河時代の日本列島[1]では，気候の変化により，海面が大きく変動しました。地上の雪や氷がとけずに海面が下がり，日本列島が大陸と陸続きになった時期もありました。大陸からは，ナウマンゾウなどの大型動物[1][2]を追って，人々が日本列島へ移住してきました。

旧石器時代の人々は，簡単な小屋や洞窟などに住み，動物や木の実などの食料を求めて移動する暮らしをしていました。道具は主に打製石器が使われ，狩りに用いる槍の先[3]，動物の解体，木や骨の加工など，使いみちに応じたものが工夫されました。

縄文時代の始まり

1万数千年前から，日本列島の人々は，土器をつくり，食べ物の煮炊きや保存などに使うようになりました。このころの土器は，縄目のような文様のついたものが多いことから，**縄文土器**[8]とよばれています。

約1万年前に氷河時代が終わると，海面は上がり，日本列島の形や気候は現在とほぼ同じになりました。世界で新石器時代

←p.16 ←p.16 ←p.16 ←p.17



6 縄文時代のむらの暮らし(上：想像図)と，**7 人々の食べ物**

が始まるころ，日本列島でも，磨製石器などの新たな道具を用いる文化が発達しました。←p.17

大型動物に代わり，シカやイノシシなど小型の動物が増えたので，人々は，弓矢や犬を使って狩りをするようになりました。海や川では，骨や角でつくった釣り針[4]で魚をとり，海岸では貝をとりました[5]。カシやクリなどの木の実も大切な食料でした[1]。

このように，縄文土器を使い，人々が主に狩りや漁，採集で暮らしを営んでいた時代を，**縄文時代**といいます。

竪穴住居のむら

気候が温暖になり，食料を安定して得られるようになると，人々は同じ場所に住み，むらをつくって暮らすようになりました[6]。住まいは，地面を掘り下げた床に柱を立て，草や木の枝で屋根をふいた**竪穴住居**でした。p.30→人々は食料[7]を共同で集めて蓄え，分け合いました。むらの指導者はいましたが，人々の間に貧富の差はまだありませんでした。

また，人々は，厳しい自然の力をおそれながらも，その恵みに感謝し，願いをかなえようと，祭りやまじないを行いました。土偶[9]とよばれる土の人形は，女性をかたどったものが多く，自然の豊かな実りを願ってつくられたと考えられています。



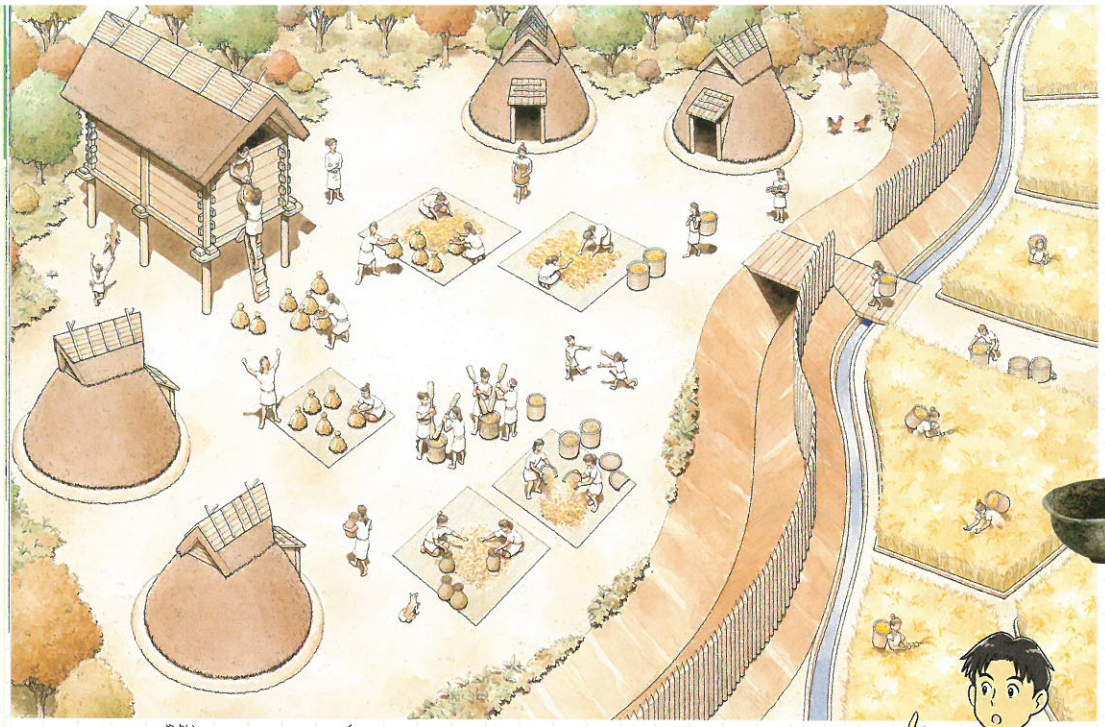
8 縄文土器(左：千葉県出土　南山大学人類学博物館蔵)と，**9 土偶**(右：長野県出土　尖石縄文考古館蔵)

1 どんぐりの仲間は渋味があり，そのままでは食べられないため，水にさらし，土器で煮ることで主食にしました。

ふりかえる

ステップ 1 土器は，どのようなことに使われたのか確かめよう。

ステップ 2 縄文時代の人々は，なぜむらをつくって暮らすようになったのか説明しよう。



1 弥生時代のむらの暮らし(想像図)



2 石包丁(上)と，
3 弥生土器(福岡県出土)
食器用の鉢(左)，貯蔵用の壺(中央2点)，煮炊き用の甕(右)などがあります。



縄文時代(←p.25)と比べてみよう。

世紀 ▶ 紀元前 1年 500年 1 100年 2 200年 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

6 楽浪の海中に倭人あり ▶稲作と「くに(国)」の始まり

学習課題 稲作の広まりとともに，人々の暮らしはどのように変わっていったのでしょうか。





4 銅鐸(左：兵庫県出土　神戸市立博物館蔵)と，銅剣(右：福岡県出土　東京国立博物館蔵)

稲作の伝来

中国で農業生産の高まりとともに人口が増え，国々の争いが激しくなると，その影響は周辺にも及びました。紀元前7～6世紀ごろ，朝鮮半島などから，人々が新たな土地を求めて九州の北部に渡ってきました。これらの人々は，水田での**稲作**や，新たなつくりの土器や農具などの大陸の文化を日本列島に伝えました。

弥生時代の暮らし

紀元前4世紀になると，稲作などの新たな文化は西日本一帯に広まり，やがて東北地方にまで伝わりました。人々は，むらで協力してつくった水田を木のすきやくわで耕し，石包丁[2]で稲の穂を摘んで収穫し，共同の**高床倉庫**や穴蔵に蓄えました[1]。稲作のほかに，粟や豆などの畑作や，縄文時代以来の動植物の捕獲・採集も行われていました。←p.14

このころの土器は，貯蔵・調理・食器などの使いみちに応じた新しい種類のもので，発見された場所[1]にちなんで，**弥生土器**[3]とよばれています。また，**金属器**も大陸から伝わり，青銅器は，

1 現在の東京都文京区弥生。
2 弥生時代の始まりについては，紀元前10世紀ごろとする説もあります。
3 中国では，日本のことを「倭」，日本人のことを「倭人」とよんでいました。

歴史の窓　古代中国の歴史書に記された倭

紀元前２世紀の末に，漢が朝鮮半島の北部に楽浪郡をおくと，倭の国々の支配者は，この楽浪郡を通して中国に朝貢(皇帝に使いを送って貢物をささげ，臣下の立場を表すこと)をするようになりました。中国の歴史書『後漢書』には，１世紀の中ごろ，九州北部の支配者の一人が漢に使いを送り，皇帝から印を与えられたと記されています。江戸時代に志賀島(福岡県)で発見された金印は，その印の実物とされます。また，３世紀の『魏志』の倭人伝にも，卑弥呼が魏に朝貢して，「親魏倭王」の称号とともに，印や鏡などを与えられたと記されています。



金印(実物大　福岡市博物館蔵)

読み解こう

❶印に刻まれた「漢委奴国王」の文字は，なんと読むのだろう。また，どういう意味なのだろう。
❷九州北部の支配者や卑弥呼が，中国に使いを送ったのはなぜだろう。

銅鐸[4]・銅鏡・銅剣[4]などのむらの祭りの道具として，鉄器は，武器や斧などの工具として使われました。

このように，稲作が広まり，弥生土器や金属器を使うようになった時代を，**弥生時代**[2]といいます。弥生時代は，紀元３世紀ごろまで続きましたが，北海道や沖縄では，まだ稲作が行われず，狩りや漁，採集を中心とする独自の文化が生まれました。

むらからくに(国)へ

人々が稲作によって蓄え(富)をもつようになると，むらのなかに，貧富の差とともに身分の区別が生まれてきました。さらに，土地や水の利用をめぐる争いから，むらどうしの戦いも起こり始めました。

むらの指導者は，人々を指揮して水を引き，田をつくり，むらの祭りを行ううちに，人々を支配するようになりました。やがて，そのなかには，むらの財産を自分のものにし，戦いで周りのむらを従えて，各地に小さなくに(国)をつくる者も現れました。中国の古い歴史書には，紀元前後のころ，倭[3]には100あまりの国々があったと記されています。

女王の国

各地の国々は，戦乱を繰り返し，しだいに大きな国にまとまっていきました。中国の歴史書『魏志』の倭人伝には，**邪馬台国**の**卑弥呼**という女性が，国々の争いをしずめるために，各地の支配者に推されて女王となったと記されています[5]。３世紀の中ごろ，卑弥呼は，まじないなどの力も用いて，30ほどの国々を従えていたといいます[4]。

倭では，男は幅の広い布を結び合わせて服にし，女は布の中央に穴をあけ，そこから頭を通して着物にしている。稲をつくり，桑を植えて蚕を飼い，織物をつくっている。…(略)…もとは男子を王としていたが，乱が起こり，戦いが何年も続いた。人々は，一人の女子を王とした。その名を卑弥呼といった。卑弥呼は神に仕え，夫はなく，弟が助けて国を治めている。1000人もの女の召使いをおいている。…(略)…卑弥呼が死ぬと，大きな墓がつくられ，100人余りの奴隷がいっしょにうずめられた。

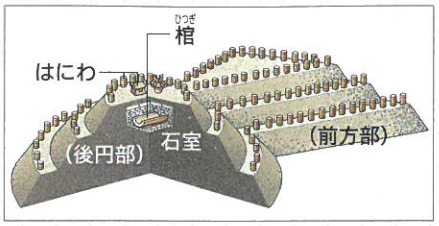
[5]『魏志』の倭人伝に記された邪馬台国(一部の要約)

[4] 邪馬台国の場所については，九州の北部にあったとする説と，大和地方(奈良県)にあったとする説があり，論争が続いています。

ふりかえる

ステップ１　稲作のほかに，大陸から日本に伝わったものを確かめよう。
ステップ２　縄文時代から弥生時代への社会の変化について，「稲作，戦い，くに(国)」の用語を使って説明しよう。





1 つくられた当時のすがたに復元された五色塚古墳(左：兵庫県神戸市)と，前方後円墳のしくみ
墳丘の全長は約194m，後円部の高さは約18mで，表面には約223万個の石が敷きつめられています。



2 大仙古墳(大阪府堺市)



だれが，なんのために古墳をつくったのかな。

世紀 ▶ 紀元前 1年 1 100年 2 200年 3 300年 4 400年 5 500年 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

7 東アジアのなかの大和政権 ▶ 大王の支配と渡来人

学習課題 大陸との交流のなかで，日本列島の国々は，どのようにまとめられていったのでしょうか。

国宝 高さ 130.5cm



3 古墳から出土した埴輪(左：群馬県)と，鉄製のよろい(右：徳島県)
(東京国立博物館蔵)



4 古墳から出土した鉄の延べ板
(奈良県出土　宮内庁書陵部蔵)
大和政権や有力な豪族は，鉄を伽耶諸国から入手していました。

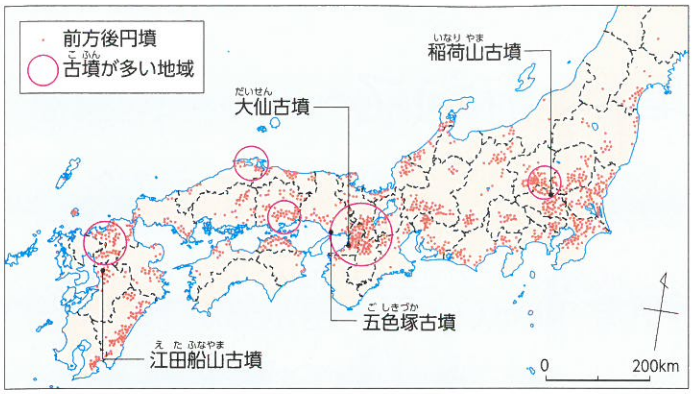
古墳の出現

3世紀の後半になると，近畿から瀬戸内海沿岸を中心とする地域に，**古墳**がつくられるようになりました。古墳は，各地の支配者である**豪族**の墓です。前方後円墳などの決まった形の大きな墳丘をもち，その上には**埴輪**[3]とよばれる焼き物を並べ，内部の棺には，遺体とともに鏡や玉，武具[3]などを納める[1]という特色をもっています。

古墳が盛んにつくられた6世紀ごろまでの時代を，**古墳時代**といいます。大和(奈良県)には，特に大きな古墳があることから，早い時期に有力な勢力が生まれていたことがうかがえます[5]。

大和政権の成立と豪族

大和を中心とする近畿の豪族たちは，やがて，**大王**を中心に連合し，**大和政権**をつくりました。大阪府にある大仙古墳[2](大山古墳，伝仁徳天皇陵)は，5世紀の中ごろにつくられた，大王の墓といわれる巨大な前方後円墳で，大和政権の勢力の強大さをよく表しています。大和政権は，5世紀の後半までに，九州の中部から関東にかけてのほとんどの豪族を従えるようになりました。



5 主な前方後円墳の分布





6 古墳から出土した冠
（左：日本，右：新羅）







7 稲荷山古墳（埼玉県）出土の鉄剣（右：埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵）と，江田船山古墳（熊本県）出土の鉄刀（左上：部分　東京国立博物館蔵）
それぞれに刻まれている「ワカタケル大王」は，５世紀の倭の王「武」と同一人物であると考えられています。

獲加多支鹵大王
ワカタケル
獲□□□鹵大王



8 須恵器（奈良県出土）
窯をつくり高温で焼いた，かたい質の土器です。

大和政権のもとで，豪族たちは，それぞれ氏という集団をつくり，中央の豪族は，先祖代々，軍事や神を祭るなどの仕事を分担しました。また，地方の豪族は，その地域の支配を任されるかわりに，中央に貢物を納め，政権との結びつきを強めました。

朝鮮半島・中国との交流

大和政権は，４世紀ごろ，鉄や進んだ技術を求めて朝鮮半島南端の伽耶諸国と関係を深め[4]，百済とも同盟を結んで高句麗や新羅と戦いました[1]。←p.23 ５世紀に入ると，大和政権の大王は，中国の南朝に何度も使いを送り[7]，皇帝の権威を借りることで，倭（日本）の王としての地位を高め，朝鮮半島の国々との関係を有利なものにしようとしました。←p.22, 23

渡来人の伝えた文化

大陸との交流が盛んになると，朝鮮半島から日本列島に移り住む人々が増えました。これらの**渡来人**は，土木工事や金属加工[6]，絹織物，須恵器[8]とよばれる土器などの新しい技術を伝えました。また，漢字を使って政権の記録や外国への文書をつくるなど，政治の面でも活躍しました。６世紀には，百済から儒教や仏教が伝えられ，後に，日本人の思想や信仰を形づくる骨組みの一つとなりました。

1 高句麗の広開土王（好太王）の功績をたたえた碑には，王が倭の軍と戦い，これを破ったことが記されています。

ふりかえる

ステップ 1 大陸との交流で，日本列島に何がもたらされたか確かめよう。

ステップ 2 地方の豪族は，なぜ大和政権（大王）との結びつきを強めていったのか説明しよう。

郷土の歴史を探ろう ①

地域の遺跡や古墳を訪ねて

鹿児島県鹿児島市に住むゆりさんは，縄文時代の人々の暮らしを体験してみたいと思い，県内の霧島市にある上野原遺跡を訪ねることにしました。上野原遺跡には，縄文時代や弥生時代につくられたむらの跡が残されています。復元された竪穴住居を見学したり，土器づくりや料理づくりを体験したりしながら，当時の人々の知恵や生き方を学んでみましょう。

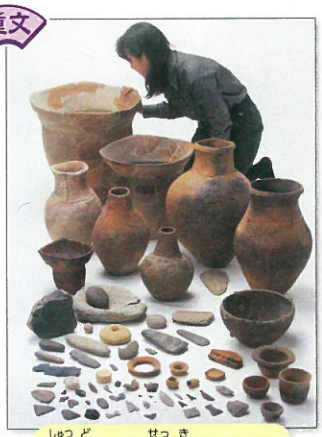


復元された竪穴住居



竪穴住居には，さまざまな形があるんだね。

重文



出土した石器や土器

ポイント　情報を集めて，調査テーマを考えよう

歴史の地域調査を始めるにあたって，まずはテーマを探してみましょう。下の「地域調査の手引き」を参考に，身のまわりの歴史を発見して，調べてみたい課題を決めましょう。

地域調査の手引き①

◆地域の歴史を探すときは

まずは，下の例も参考に，身のまわりに残っている歴史を見つけましょう。

□小学校で学習した地域の人物　□地域の遺跡などの文化財
□地域に伝わる行事　□遺跡の発見などについての新聞記事
□歴史に関するテレビの特集番組

◆さらに情報を集めたいときは

・博物館などで，展示を見学したり，体験活動に参加したりしてみましょう。
・学校や地域の図書館を利用して，書籍や雑誌を読んでみましょう。
・インターネットで検索して，広く情報を集めてみましょう。

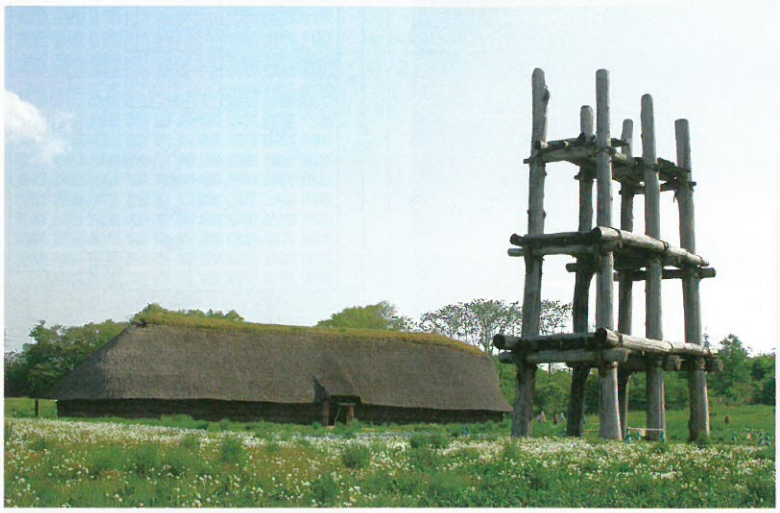
◆遺跡や博物館などを訪ねるときは

・学芸員の方に話を聞いたり，質問したりしてみましょう。
・係の人の指示には必ず従い，保存されている物を大切に扱いましょう。





土器づくり(上)や，料理づくりの体験
縄文時代の人々は，季節に応じた食材を工夫して調理していました。盛りつけには，土器のほかに，木の器や葉，貝がらなども用いました。







青森県青森市にある三内丸山遺跡は，今から約5500～4000年前の縄文時代の集落跡で，広さは約35haに及ぶと推定されています。左の写真の復元された大型掘立柱建物(右側)は，高さが約15m，木の柱の直径が約1mもある巨大な建物ですが，はたしてどのような目的でつくられたのでしょうか。また，同じ青森県の八戸市には，縄文時代の終わりごろの是川中居遺跡があります。右の写真のような珍しい形の土器をはじめ，美しい文様の土器や木製品が多数出土しています。

列島探検～北から南から



1万分の1地形図(2004年発行)

愛知県名古屋市にある断夫山古墳は，県内最大の前方後円墳で，全長が151m，前方部の幅が116m，高さは約16mあります。地形図や航空写真を用いて，その形や規模を調べてみましょう。

この古墳は，6世紀の初めごろ，尾張(愛知県)の南部に勢力を広げていた豪族，尾張氏の首長の墓と考えられています。前方部と後円部の間に「造り出し」とよばれる小さい丘があるのが特徴で，円筒形の埴輪や須恵器も出土しています。



3 大帝国の出現と律令国家の形成





唐の都の長安を訪れた外国からの使節
（上：台湾　故宮博物院蔵）と，**長安城**（右上）



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 **6**（600年）**7**（700年）**8** 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

8 広がる国際交流 ▶ 7～8世紀の世界

学習課題　7～8世紀の世界では，どこで，どのような動きがあったのでしょうか。

隋と唐の中国統一

南朝と北朝に分立していた中国は，6世紀の末に**隋**によって統一されました。隋は，❶**律令**という法律を整え，役人を学科試験で選ぶ制度を始めました。周りの国々では，隋に学ぼうとする動きが高まり，倭（日本）の大和政権からも，国交を求める使節が隋に送られました。

7世紀の前半に隋を倒した**唐**は，隋を上回る大帝国をつくりました。唐は，律令制を確立し，皇帝を頂点として全国を支配する中央集権のしくみを整えました。戸籍に基づいて人々に土地を等しく与え，かわりに税や兵役を負担させました。 p.35➡

唐は，西方のイスラム世界と接するほど広大な地域を支配したことから，シルクロードを通じて東西の交流が盛んになりました。❷都の長安（現在の西安）は，ペルシャ・インド・中央アジアなどから使節や商人が訪れる国際都市となり，❶仏教や詩などの文化が栄えました。倭（日本）からも，使節や留学生・僧が訪れ，唐の進んだ政治制度や文化を学んで持ち帰りました。 ←巻頭1

新羅の朝鮮半島統一

高句麗・百済・新羅が争っていた朝鮮半島では，中国と接する高句麗が，隋や唐の侵攻を p.38, 39➡

❶ 律は刑罰についてのきまり，令は役所のしくみや税の負担など，政治についてのきまりです。



❷ **唐三彩**　褐色・緑・白で彩色された陶器で，唐で盛んにつくられ，西方や日本にももたらされました。



8世紀ごろの世界



3 船で交易をするイスラムの商人



世界遺産

4 石窟庵の石仏　新羅の都の金城(現在の慶州)には，仏教の遺跡が多く残されています。

たびたび受けましたが，これを打ち破りました。７世紀の後半には，新羅が唐と結び，百済・高句麗をほろぼしたため，百済や高句麗から多くの人々が日本列島に逃れてきました。

新羅は，唐の勢力を退けて朝鮮半島を統一すると，唐の律令制を取り入れて中央集権のしくみを整え，仏教を盛んにしました[4]。新羅からは，政治のしくみや仏教文化が日本に伝えられました。また，中国の東北部を中心に渤海がおこりました。渤海は，唐や新羅に対抗するため，日本と盛んに交流しました。

イスラム教のおこりとイスラム世界

一方，西アジアの都市メッカでは，７世紀の初め，**ムハンマド**が，人間は神の恵みに感謝し，互いに助け合わなければならないと説いて，**イスラム教**をおこしました[5]。ムハンマドの後継者は，各地を征服してイスラム教を広め，８世紀には，中央アジアから北アフリカにかけて広大なイスラム世界がつくられました。

イスラム世界では，商業が盛んになりました。イスラムの商人は，インドや中国にも出かけて交易を行い[3]，都のバグダッドは，世界各地の産物が集まる国際都市として栄えました。



5 イスラム教の聖地メッカにあるカーバ神殿　イスラムとは，絶対神アッラーの意志に従うという意味です。アッラーの言葉を記したイスラム教の聖典『コーラン』には，信者の生活のあり方が定められています。

ふりかえる

ステップ 1 上の世界地図で，イスラム世界と唐の範囲や，それぞれの都の位置を確かめよう。

ステップ 2 ８世紀ごろの唐と，東アジアや西方の国々との関係を図に表して説明しよう。





1 7世紀の初めごろの東アジア(上)と，隋の皇帝の煬帝　煬帝は，中国の南北を結ぶ大運河を完成させました。

日出處天子致書日沒處天子無恙云云
「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。つつが無きや…」
①送ります
②お変わりありませんか
(中国の歴史書『隋書』の倭国伝より)

2 倭の王(天皇)から隋の煬帝に送られた手紙



3 聖徳太子と伝えられる肖像画(宮内庁侍従職蔵)



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 **6** 600年 **7** 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

9 あつく三宝を敬え ▶聖徳太子の政治と飛鳥文化

学習課題 東アジアの動きのなかで，大和政権はどのような国づくりを目ざしたのでしょうか。

豪族たちの争い

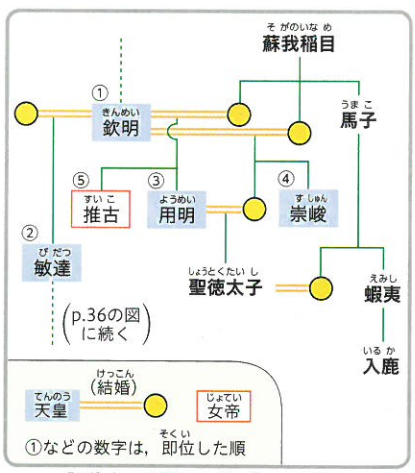
6世紀になると，鉄製農具の普及による農業の発展などを背景に，豪族たちの力が強まりました。地方の豪族のなかには，互いに争う者や，中央に反抗する者が現れたため，大和政権はそれをおさえ，地方に対する支配を強めました。中央でも，豪族どうしの争いが激しくなりましたが，渡来人と結び，中央の財政を受け持った蘇我氏が，反対派の豪族をおさえて大和政権の実権を握りました。←p.29

聖徳太子の政治と遣隋使

中国に隋[1]が成立した6世紀の末，蘇我馬子は，姪の推古天皇を女帝として即位させました[4]。そして，天皇の甥にあたる**聖徳太子**[3](厩戸皇子)が，摂政[1]として天皇の政治を助け，馬子らとともに，中国や朝鮮半島の国々にならった新しい政治を始めました。

7世紀の初め，朝廷[2]では**冠位十二階**の制度[3]が定められ，家柄にとらわれず，能力や功績のある豪族を役人に取り立てる道が開かれました。さらに，聖徳太子は，仏教や儒教の教えをもとにした**十七条の憲法**をつくり，豪族が争いをやめ，天皇を中心←p.20, 21

1 摂政は，天皇に代わって政治を行う役職で，天皇が女性のときや幼少のときに置かれることがありました。
2 朝廷は，天皇が役人と政治を行う場所のことで，政府そのものを指すこともあります。
3 豪族に与えた冠の色や飾りによって，12の階級を表し，朝廷での位を示すようにしました。



4 蘇我氏と皇室の系図

十七条の憲法(一部)

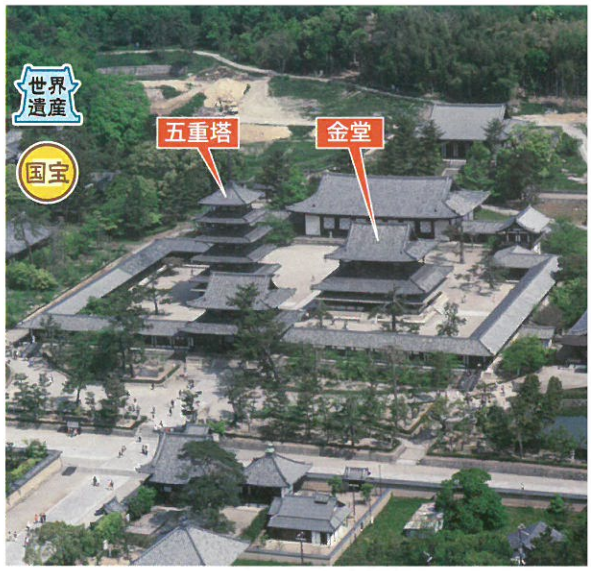
一に曰く，和をもって貴しとなし，さからう(争う)ことなきを宗と(第一に)せよ。

二に曰く，あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法(仏教の教え)・僧なり。

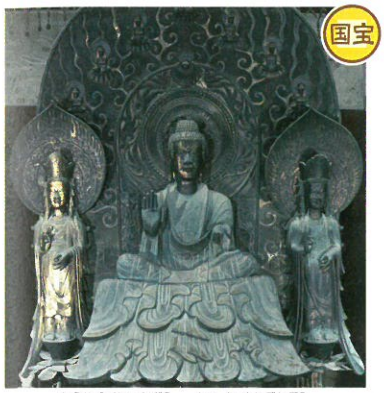
三に曰く，詔(天皇の命令)を承りては，必ずつつしめ。君をばすなわち天とす。臣をばすなわち地とす。



6 玉虫厨子　小さな仏像を納めるもので，玉虫のはねが飾りに使われています。



7 法隆寺　607年に建てられ，火災にあったのちに再建されました。金堂や五重塔などは，現存する世界最古の木造建築物です。



5 法隆寺金堂の釈迦三尊像
金堂は，寺の本尊を安置する所です。

とする政治にはげむように，役人としての心構えを説きました。

また，隋との国交を開き[2]，中国から進んだ文化を取り入れようとして，小野妹子らを**遣隋使**として派遣しました。遣隋使とともに多くの留学生や僧が隋に渡り，政治制度や仏教などを熱心に学びました。



8 日本の弥勒菩薩像(左：広隆寺蔵)と，**新羅の弥勒菩薩像**(右)

飛鳥文化

朝鮮半島から伝わった仏教は，初めのころ，渡来人や蘇我氏に信仰されていました。蘇我馬子や聖徳太子が，飛鳥寺や四天王寺などの寺院を建てるなど，新しい政治のよりどころとして仏教を重んじたことから，皇族や中央の豪族の間にも信仰が広まりました。こうして，推古天皇のころ，朝廷のあった飛鳥[4](奈良県)を中心に，日本で最初の仏教文化がおこりました。これを**飛鳥文化**といいます。

聖徳太子が建てた**法隆寺**[7]には，金堂・五重塔などの建築物をはじめ，釈迦三尊像[5]などの仏像や，玉虫厨子[6]などの工芸品といった，多くの文化財が残されています。これらは，主に渡来人の子孫によってつくられました。飛鳥文化には，朝鮮半島や南北朝時代の中国の文化が大きく影響している[8]ほか，遠く西アジア・ギリシャなどに由来する文化の影響も見受けられます。

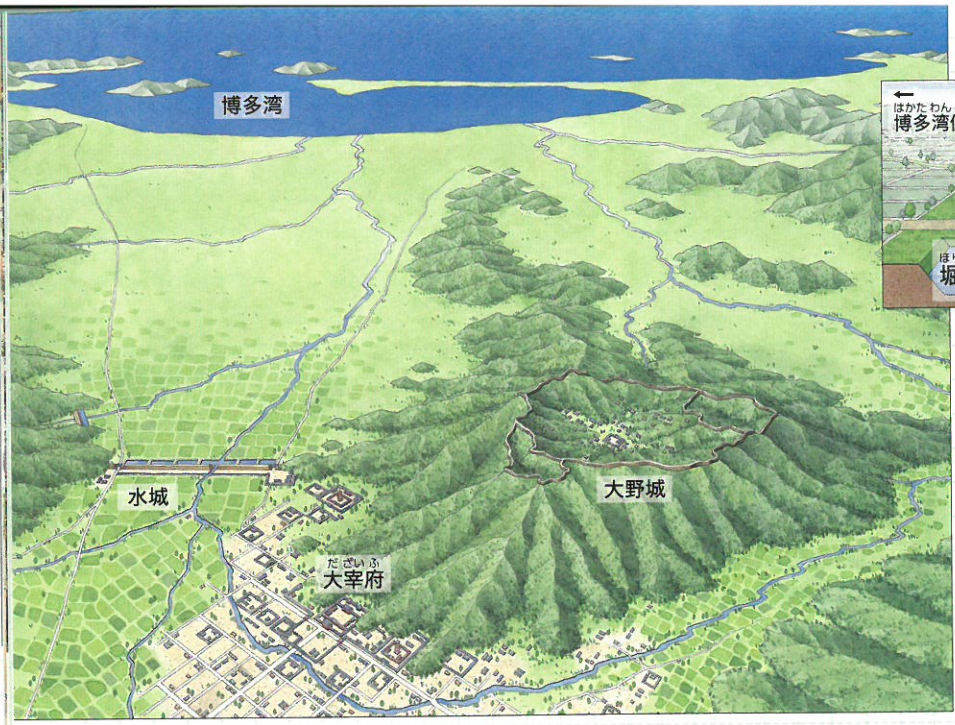
←p.22

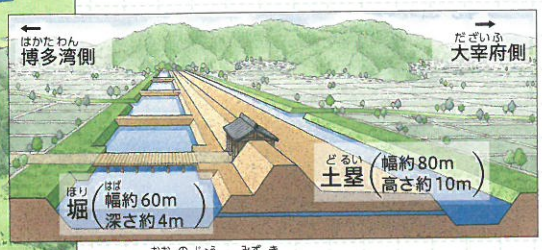
4 6世紀の末から8世紀の初めまでを，飛鳥時代といいます。

ふりかえる

ステップ 1 飛鳥文化には，どのような特色があるか確かめよう。

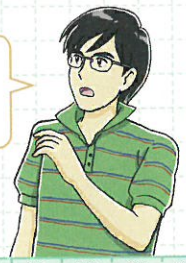
ステップ 2 聖徳太子らが目ざした政治について，「天皇，仏教，進んだ文化」の用語を使って説明しよう。





1 大野城と水城（想像図）
7世紀の後半，九州の博多湾の近くに，土塁・石垣をめぐらせた山城と，土塁・堀からなる水城が築かれました。

2 水城の断面図（想像図）



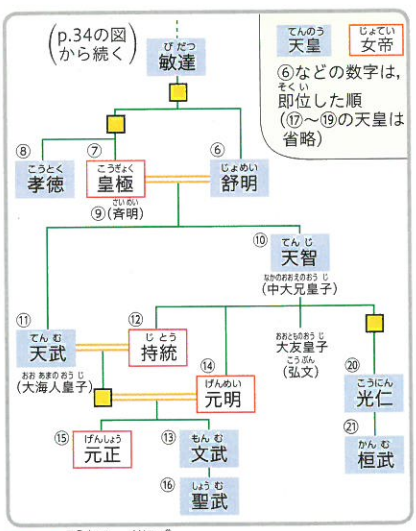
世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 **7** 700年 **8** 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

⑩ 律令国家への歩み ▶ 大化の改新と大宝律令の制定

学習課題 大化の改新をきっかけに，国家のしくみはどのように変わっていったのでしょうか。

1 年号（元号）が，継続して用いられるようになるのは，701年の「大宝」からです。

2 このころ，「大王」に代わる「天皇」という称号や，「倭」に代わる「日本」という国号が，正式に定められたと考えられています。



3 皇室の系図

大化の改新

7世紀の中ごろ，中国で唐が国力を強め，高句麗への攻撃を始めると，東アジアの緊張が高まりました。朝廷では，聖徳太子の死後，蘇我氏が権力をふるっていましたが，唐にならった中央集権の国家をつくり，唐や朝鮮半島の国々に対抗しようとする動きが強まりました。 ←p.32, 33

645年，**中大兄皇子**や**中臣鎌足**（後の藤原鎌足）らは，蘇我氏を倒し，中国から帰った留学生らの協力も得て，政治の改革を始めました。この年，初めて「大化」という年号**1**を定めたとされているので，この改革を**大化の改新**といいます。朝廷は，それまで皇族や豪族が支配していた土地と人民を，国家が直接支配し（**公地公民**），税の制度を整えることなどを目ざしました。 ←p.35

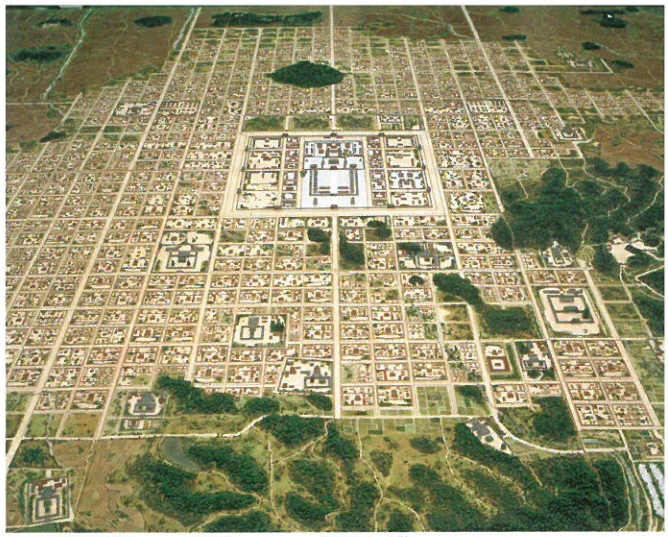
進む国づくり

朝鮮半島で，唐と新羅により百済がほろぼされると，中大兄皇子は，百済の復興を助けるために大軍を送りましたが，663年，白村江の戦い**4**で唐と新羅の連合軍に敗れました。皇子は，唐や新羅の攻撃に備えて，山城や水城を築き**1 2 4**，防人とよばれる兵士を九州の北部に配置しま



4 7世紀の中ごろの東アジア

5 富本銭(実物大　奈良文化財研究所蔵)
天武天皇のころにつくられた，日本で最初の銅の貨幣ですが，どのくらい使われたかは不明です。



6 藤原京(復元模型　奈良県橿原市蔵)
天武天皇の次の持統天皇の時には，飛鳥地方に日本で最初の本格的な都である藤原京がつくられました。

した。その後，即位して天智天皇となり[3]，税や兵士を集めるために，初めて全国の戸籍をつくりました。

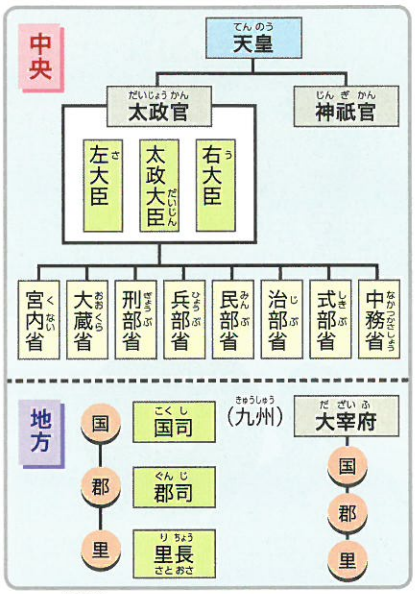
天智天皇が亡くなると，弟の大海人皇子(後の天武天皇)と息子の大友皇子が皇位[3]をめぐって争い，**壬申の乱**が起こりました。この戦いに勝って即位した天武天皇は，天皇の権威を高め，反対する豪族らをおさえて，政治の改革を一気に進めました[5][6][2]。

律令国家の成立

701(大宝元)年，唐の律令にならった**大宝律令**とよばれる法律がつくられ，新しい国家のしくみがようやく定まりました。律令に基づく政治(律令政治)を行う国家を，**律令国家**といいます。政治は，天皇を中心に，皇族や，大和政権以来の中央の豪族によって進められました。皇族や中央の豪族には，役職に応じた多くの給与が支払われ，貴族という特権的な身分が形づくられていました。

←p.32

中央の朝廷には，天皇のもとで政治の方針を決める太政官や，政治のさまざまな実務を分担する八省などの役所がおかれました。地方は国・郡に分けられ，それぞれ国司・郡司とよばれる役人が治めました[3]。国司には中央の貴族が任命され，都から交替で派遣されました。郡司にはその地方の豪族が任命され，国司の監督のもとで民衆を支配しました。こうして，全国を統一して支配する中央集権の国家が生まれました[7]。



7 律令による役所のしくみ

3 国ごとにおかれた役所を国府といいます。

ふりかえる

ステップ 1 大化の改新で，朝廷が目ざしたことを確かめよう。

ステップ 2 律令国家の成立により，中央と地方では，それぞれどのようなしくみで政治が進められるようになったか説明しよう。

4 貴族社会の発展





▲2 復元された大極殿　平城宮にある施設で，天皇の即位などの儀式が行われました。

◀1 平城京（復元模型　奈良市蔵）
東西約6km，南北約5kmで，中央を幅約70mの朱雀大路が通っていました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 | 7 700年 8 | 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

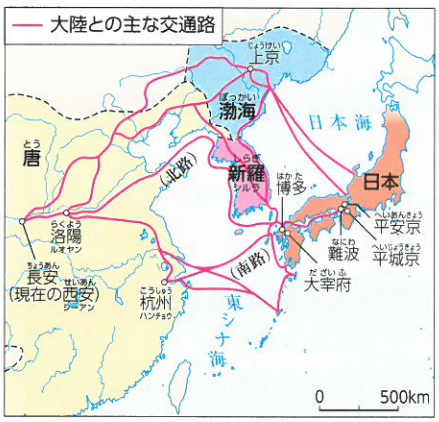
11 シルクロードにつながる道 ▶奈良の都と天平文化

学習課題　政治の中心地となった平城京は，どのように栄えたのでしょうか。

❶ 九州の南部に住む隼人や，南西諸島の人々も，大宰府を通して朝廷の支配下に組み入れました。



▲3 和同開珎（実物大）



▲4 遣唐使船の航路
新羅や渤海とも，使節が行き来するなどの交流が盛んでした。

平城京と国土の支配

710年，律令国家の新たな都として，奈良に❶**平城京**がつくられました。この都を中心に政治が行われた80年あまりの間を，**奈良時代**といいます。唐の都の長安にならった平城京は，広い道路によって碁盤の目のように区切られ，天皇の住まいや役所のある平城宮❷を中心に，貴族の住まいや寺院，民衆の家などが立ち並んでいました。東西におかれた市では，さまざまな品物が売り買いされ，和同開珎❸などの貨幣が使われました。

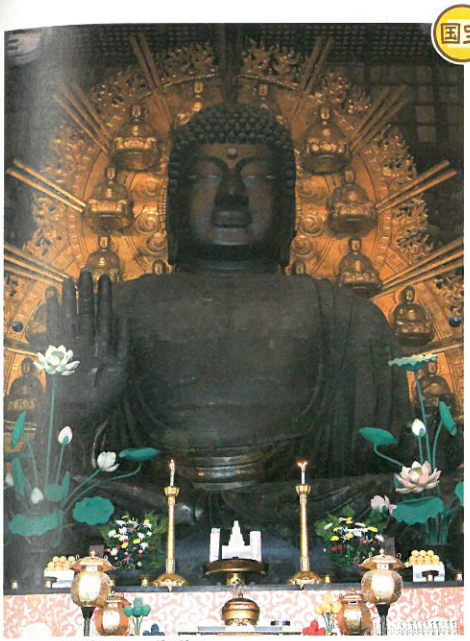
←p.32

都と地方の国々を結ぶ道路も整備され，途中に設けられた駅には，役人が乗り継ぐための駅馬がおかれました。また，朝廷は，東北地方に住む人々を蝦夷とよび，彼らを従わせる拠点として，多賀城（宮城県）などを築きました。九州には大宰府（福岡県）をおき，外交や軍事などを担当させました❶。

←p.36, 37

遣唐使

奈良時代の朝廷は，唐にたびたび**遣唐使**を送りました❹。造船や航海の技術が十分でなかったため，航海には危険がともないました。阿倍仲麻呂のように，遭難して帰国できず，唐で一生を終えた人もいましたが，使節



国宝

↑5 東大寺の大仏（奈良市）　高さは約15mで，延べ200万人以上の人々が造営に関わりました。



←6 螺鈿紫檀五絃琵琶（宮内庁蔵）





重文

↑7 正倉院の鳥毛立女屏風（左：宮内庁蔵）と，中国西部のトルファンの樹下美人図（右：MOA美術館蔵）



国宝

↑8 興福寺の阿修羅像

や留学生らによって，唐の進んだ制度や文化が日本に伝えられました。また，唐の鑑真[9]のように，何度も航海に失敗し，失明しながらも日本に渡って，唐の仏教を伝えた僧もいました。←p.12, 13

天平文化

唐の文化が伝わると，都の貴族を中心に，その影響を強く受けた文化が栄えました。８世紀の中ごろ，**聖武天皇**は，唐の皇帝にならい，仏教の力で国家を守ろうと考え，地方には国ごとに国分寺と国分尼寺を建て，都には大仏[5]をまつる**東大寺**を建てました[2]。東大寺や興福寺などには，新たな技法でつくられた仏像[8]が残されています。さらに，東大寺の正倉院に納められた美術工芸品には，唐や新羅だけでなく，シルクロードを通って伝わった，インドや西アジアなどの文化の影響もみられます[6][7]。←p.22, 32この時代の国際色豊かな文化を，聖武天皇のころの年号をとって，**天平文化**といいます。

一方で，国家のしくみが整った８世紀には，神話や国の成り立ちを記した『**古事記**』・『**日本書紀**』という歴史書や，地方の地理・伝承などを国ごとに記した『**風土記**』がつくられました。また，柿本人麻呂や大伴家持をはじめ，天皇や貴族，民衆の和歌を広く集めた『**万葉集**』もまとめられました[3]。p.48, 49→

国宝

9 鑑真（唐招提寺蔵）
僧尼の守るべき生活の規律などを伝えました。



[2] 行基のように，橋や用水池をつくるなどの社会事業を進めながら，民衆の間に仏教を広めて歩く僧も現れました。

[3] 漢字の音訓を組み合わせて日本語を表現する，万葉仮名が用いられました。

ふりかえる

ステップ 1　遣唐使は，どのような役割を果たしたか確かめよう。

ステップ 2　天平文化の特色を，飛鳥文化との共通点をあげながら説明しよう。



紀伊国无漏郡進上御贄磯鯛八升（きいのくにむろぐんしんじょうみにえいそだいはっしょう）



2 長屋王の邸宅（復元模型　奈良文化財研究所蔵）
長屋王は，天武天皇の孫にあたる皇族で，平城京の一等地に，約250m四方もある広大な邸宅を構えていました。



1 木簡（奈良文化財研究所蔵）　木の板に墨で文字を書いたものです（p.46→）。



3 都の貴族の食事の例（復元　向日市文化資料館蔵）

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 **7** 700年 **8** 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

12 木簡と計帳は語る ▶律令制下の人々の暮らし

学習課題　律令制のもとで，都の貴族や地方の農民は，どのような暮らしをしていたのでしょうか。

貴族の暮らし

律令による国家のしくみが整うと，全国の人々の納めるたくさんの税が，都に集められるようになりました[1][1]。これらの税は，朝廷から貴族に給与として支払われたり，宮殿や寺院の建設，宮中で開かれる行事などに使われたりしました。そのうえ，貴族や役人には，税を免除される特権も与えられていました。都の皇族や貴族の豊かな暮らしは[2][3]，地方から送られた品々によって支えられていたのです。

農民の暮らし

律令制のもとで，人々は，良民（公民）と，低い身分とされる賤民（奴婢[2]など）に分けられました。そして，6年ごとにつくられる戸籍に登録され，**班田収授の法**により，6歳以上の男女に**口分田**[3]が与えられました。口分田は，死亡した時には国に返させました。

農民は，成年の男子を中心に，**租**・**調**・**庸**という税や，労役を負担しました[4][5]。なかでも調・庸は，都に運ばなければならず，地方の人々にとって重い負担でした[6][7][8]。男子には兵役の負担[4]もあ

p.46➡

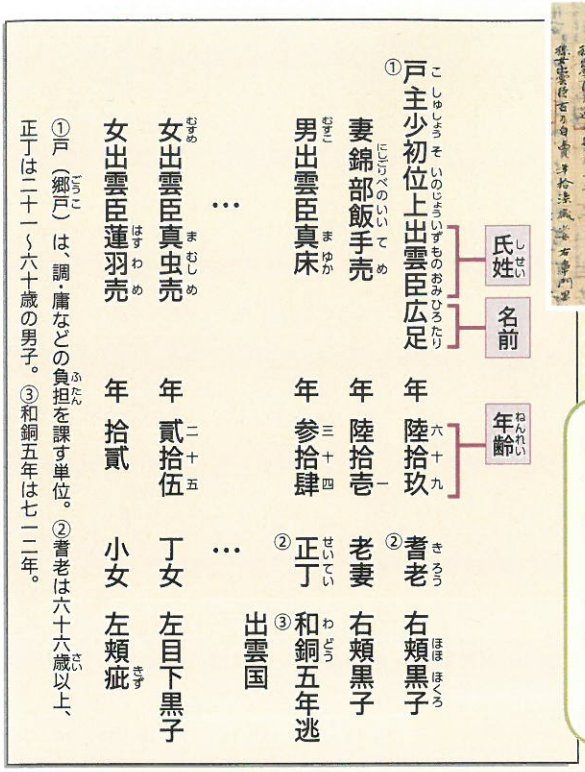
1 都に運ばれた税には，どの地域から，どのような品物を納めたのかを記した木簡が，荷札として付けられていました。

2 奴婢は，貴族や寺社などの財産として売買され，奴婢以外の者との結婚を禁じられました。

3 女子には男子の3分の2，奴婢には良民の男女のそれぞれ3分の1が与えられました。

種類	内容
租	稲（収穫の約3％）
調	地方の特産物（絹・綿，塩，魚・貝・海藻，鉄など）
庸	麻の布（労役の代わり）
労役	雑徭：土木工事などの労働（年間60日以内）
兵役	衛士：都へ（1年） 防人：九州北部へ（3年）

4 農民の主な負担



	氏姓	名前	年齢
①戸主少初位上出雲臣広足			年 陸拾玖（六十九）
妻錦部飯手売			年 陸拾壱
男出雲臣真床			年 参拾肆（三十四）
…			
女出雲臣真虫売			年 貳拾伍（二十五）
女出雲臣蓮羽売			年 拾貳
②正丁			老
…			
②耆老			右頬黒子
老妻			右頬黒子
③和銅五年逃	出雲国		左目下黒子
丁女			左目下黒子
小女			左頬疵

①戸（郷戸）は、調・庸などの負担を課す単位。②耆老は六十六歳以上、正丁は二十一～六十歳の男子。③和銅五年は七一二年。

5 計帳（右上：正倉院宝物）**と，6 計帳に記された内容**（5とは別の部分）
計帳は，調・庸などを課すために，戸籍をもとに毎年つくられた台帳です。

読み解こう

❶計帳には，どんなことが記されているか確かめよう。
❷「右のほほに，ほくろ」など，その人の特徴も記されているのは，なぜだろう。
❸「逃」とは，何を表しているのだろう。右の歌も参考にして考えてみよう。

人並みに田をつくっているのに，海草のように破れた着物を着て，つぶれて曲がった家の中で，地面にじかにわらを敷いている。かまどには煙も立たず，こしき（米を蒸す器）にはクモが巣を張り，飯をたくことも忘れて，ほそぼそとした声をたてているのに，むちを持った里長が税を取り立てようと，戸口までやってきてわめいている。これほどまでにどうしようもないものなのか。この世に生きていくことは。

7 貧窮問答歌（『万葉集』より　一部の要約）　国司を務めたことのある山上憶良が，地方の貧しい農民の暮らしをよんだ歌です。

り，防人として九州北部の守りについたり，蝦夷との戦いや開拓のために東北地方に送られたりする人々もいました。←p.36 ←p.38

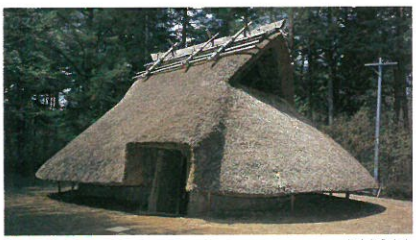
また，都の造営などに働き手を取られることもありました。このため，農民のなかには，労役の場から逃げる者や，税を逃れるために口分田を捨てて，他の土地に移る者が現れました。6

進む開墾

このころ，農村では鉄製の農具がさらに普及し，稲の収穫量が増えてきました。一方で，日照りや水害のため不作になることも多く，耕されずに荒れてしまう田もたくさんありました。人口が増えて，口分田が不足してきたこともあり，朝廷は，人々に開墾を勧めました。743年には**墾田永年私財法**を出して，新たに開墾した土地であれば，開墾した者が永久に所有することを認めました。

しかし，一般の農民には広い土地を開墾する力はなく，実際にそうした開墾ができたのは，中央の貴族・寺社や，地方の豪族，一部の有力な農民たちでした。これらの人々は，貧しい農民を従えて盛んに開墾を進め，所有地を広げていきました。



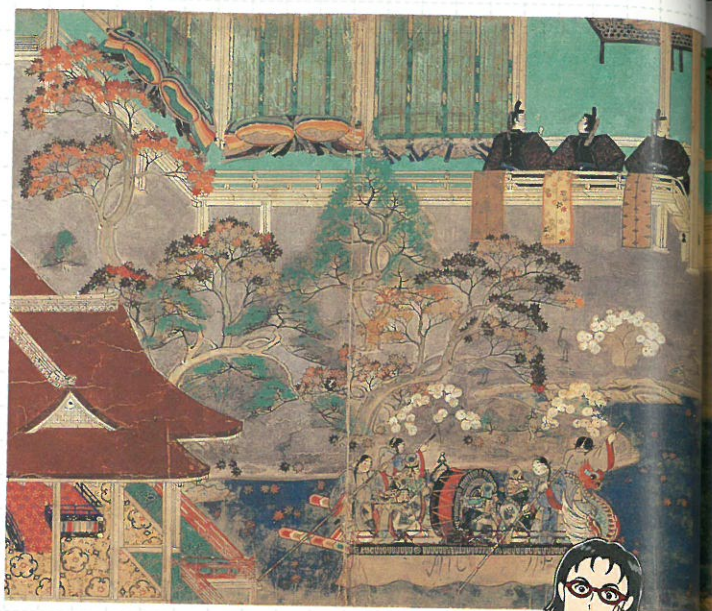


8 農民の食事の例（上：復元　奥村彪生制作　奈良文化財研究所蔵）**と住居**（下：復元　長野県平出遺跡）　地方の人々は，このような竪穴住居に住んでいました。

ふりかえる

ステップ1 墾田永年私財法が出された背景を確かめよう。
ステップ2 奈良時代の「朝廷，貴族，農民」の関係を，図に表して説明しよう。





1 平安京（復元模型　京都市歴史資料館蔵）
唐の都にならってつくられました。東西約4.5km，南北約5.2kmで，中央を幅約85mの朱雀大路が通っていました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 | 8 800年 9 900年 10 1000年 11 | 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

⑬ 望月の欠けたることもなしと思えば ▶ 平安の都と摂関政治

学習課題　律令政治や貴族の勢力は，どのように移り変わっていったのでしょうか。

1 労役の日数を減らすなど，農民の負担も軽くしました。

2 このころ，身分制度もくずれて，奴婢は廃止されました。



2 朝廷の支配の広がり

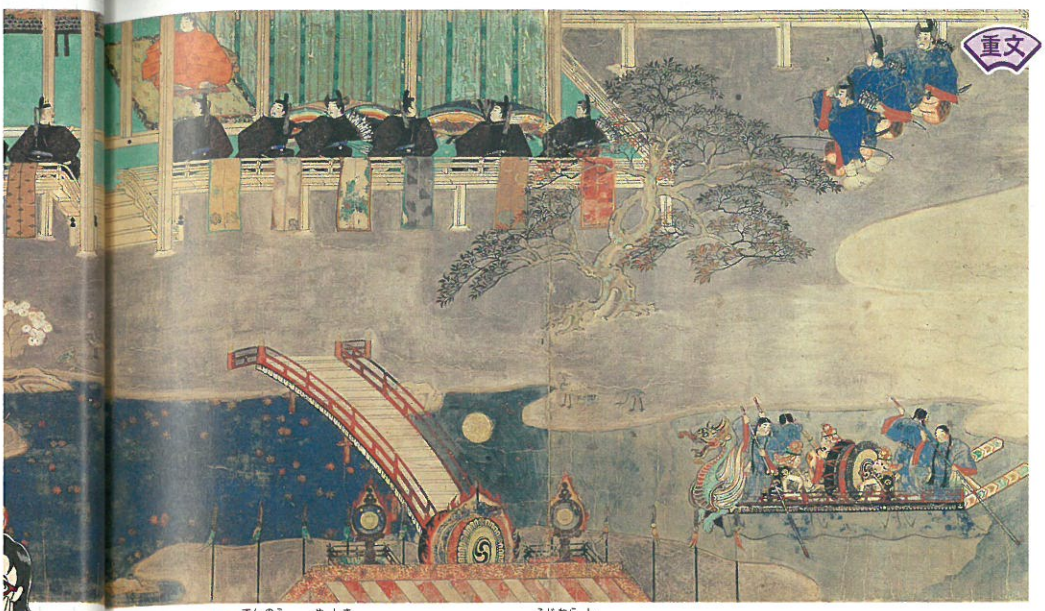
平安京

8世紀の後半，平城京では貴族や僧の権力争いが起こり，地方では国司や郡司が不正を行うなど，政治が乱れました。そこで桓武天皇は，山城（京都府）の長岡京に都を移し，794年には，現在の京都に**平安京**[1]をつくり，新しい都で政治を立て直そうとしました。こののち，鎌倉幕府ができるまでの約400年間を，**平安時代**といいます。 p.58➡

桓武天皇は，乱れていた班田収授の実行に力を入れ，国司らの不正も取りしまって，地方の政治を引きしめました[1]。また，坂上田村麻呂を**征夷大将軍**に任命し，蝦夷が抵抗を続ける東北地方に大軍を送って，朝廷の支配を広げました[2]。律令政治の立て直しは，その後もしばらく続きました。しかし，9世紀には，農民が戸籍に記された土地を離れたり，税を逃れるために男子を女子といつわったりすることも増えて，戸籍は実態と合わなくなり，班田収授を行うことも難しくなりました。 p.47➡

律令制の変化

一部の有力な農民は，開墾を進めて力をつけ，貴族・寺社の所有地や，貧しい農民が手放し



重文

3 天皇を屋敷に招き，もてなす藤原氏
（『駒競行幸絵巻』和泉市久保惣記念美術館蔵）

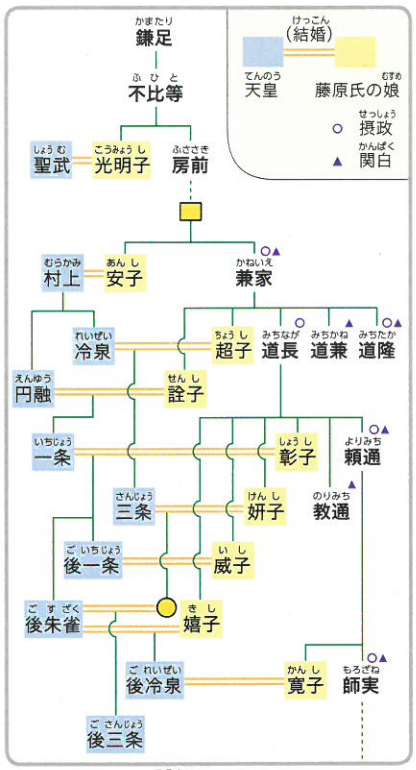


この世をば　わが世とぞ思ふ
望月の　欠けたることも
なしと思へば

※望月は、満月のこと。

重文

4 藤原道長と，道長がよんだ歌　下の図も参考にして，歌の意味を説明してみましょう。



5 藤原氏と皇室の系図（←p.14）

た口分田の耕作も請け負うようになりました。10世紀になると，朝廷は，戸籍や班田収授の制度をやめて[2]，有力な農民に土地を割り当て，税を納めさせることにしました。

また，地方の政治は国司に任され，国司は，定められた額の税を朝廷に納めるだけでよくなりました。国司のなかには，農民から税をしぼり取り，自分の収入を増やす者や，地方に住みついて勢力を伸ばす者も現れました。やがて，朝廷や国司は，中央の貴族や寺社の所有地である**荘園**を認めるようになり，荘園は，貴族や寺社の大きな収入源となっていきました。

藤原氏の摂関政治

都では，９世紀の中ごろから，**藤原氏**が他の貴族を退けて勢力を強めました。藤原氏は，娘を天皇のきさきにし，その子[3]を幼いうちから天皇の位に就けること[5]で，朝廷の実権を握ったのです。10世紀の中ごろからは，一族の有力者が，天皇が幼い時には摂政，成人したのちには関白[5]という職に常に就き，天皇のそばで政治を動かすようになりました。これを**摂関政治**といいます。←p.34

藤原氏は，11世紀前半の**藤原道長**[4]と，子の頼通の時に最も栄えました。朝廷の主な役職を一族で占め，国司からの贈り物や荘園からの収入で，はなやかな生活を送りました[3]。

[3] 貴族の社会では，生まれた子は母の実家で育てられ，母方の祖父が，めんどうをみるのがならわしでした。

ふりかえる

ステップ 1 摂関政治とは，どのような政治のことをいうのか確かめよう。

ステップ 2 平安時代になって，それまでの「公地公民」のしくみは，どのように変わったか説明しよう。



国宝

1 源氏物語絵巻「宿木(一)」(徳川美術館蔵)
『源氏物語』の一場面を描いた絵巻物です。



登場する人物は，だれだろう。
男性と女性は，それぞれ何をしているのかな。

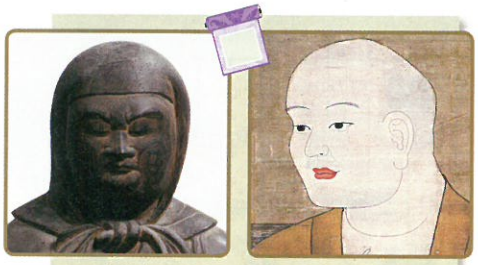
2 寝殿造(復元模型　国立歴史民俗博物館蔵)
部屋は板の間で，間仕切りがほとんどなく，屏風などで仕切られていました。p.42～43の絵と見比べてみましょう。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 | 8 (800年) 9 (900年) 10 (1000年) 11 | 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

14 「以呂波」から「いろは」へ ▶国風文化の誕生

学習課題 平安時代には，どのような文化が生まれたのでしょうか。



3 最澄(左)**と，空海**(右)
最澄は，比叡山に延暦寺(滋賀県)を，空海は，高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てました。



4 菅原道真
894年に遣唐使に任命されましたが，派遣の停止を提案し認められました。学問に優れ，右大臣になりましたが，大宰府に左遷され(←巻頭2)，そこで亡くなりました。朝廷は，道真のたたりを恐れ，道真を神(天神)として祭り，やがて学問の神様として知られるようになりました。

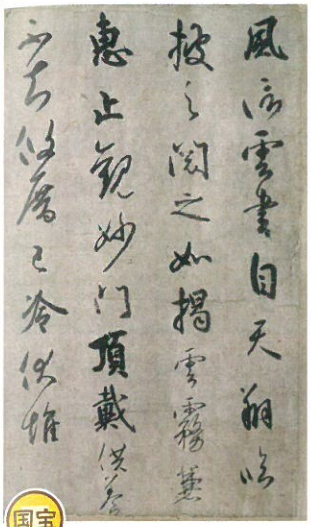
最澄と空海

平安時代の初め，遣唐使(←p.38)とともに唐に渡って仏教を学んだ**最澄**と**空海**が，帰国後にそれぞれ**天台宗**と**真言宗**を開きました[3]。この新しい仏教は，静かな山奥の寺で修行を積み，国家の平安を祈るものでしたが，やがて，個人の願いごとのためにも儀式や祈りを行うようになり，天皇や貴族の信仰を集めました。9世紀には，仏教だけでなく，文学や書道[5]，美術などでも，唐風の文化が重んじられていました。

国風文化

9世紀の末，唐の勢力がおとろえると，朝廷は遣唐使の派遣を取りやめました[4]。まもなく唐がほろんだことから，中国との正式な国交はとだえましたが，大陸の文物は，その後も商人を通じてもたらされました。

一方で貴族たちは，それまでに取り入れた中国の文化を自由につくり変え，日本の風土や生活に合った文化を発達させていきました。これを**国風文化**といいます。貴族は，**寝殿造**[2]とよばれる住居に住み，服装も日本ふうのものになりました。日本の風景や人物を描いた大和絵が生まれ，物語の内容を大和絵で表す絵巻物(←p.12)もつくられました。

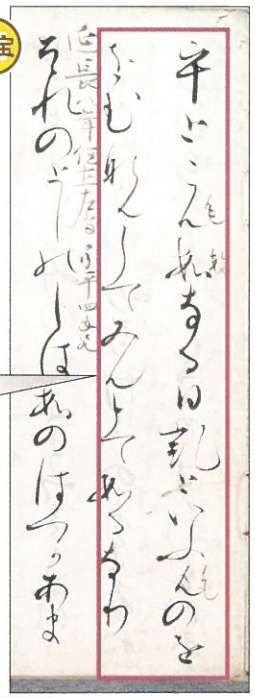


国宝

以呂波 → いろは → アイウ
阿伊宇

6 かな文字の発達
ひらがなは，漢字の草書体から，かたかなは，漢字の「へん」や「つくり」などから発達しました。

5 空海が最澄にあてた手紙
（『風信帖』／部分　東寺蔵）
漢文で書かれています。空海は，唐風の書に優れた達人の一人でした。


国宝

男もすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり

7 『土佐日記』
（冒頭の部分［写本］大阪青山歴史文学博物館蔵）
土佐（高知県）の国司を務めた紀貫之が，都に帰るまでの日々を書きつづった紀行文です。

また，日本語を音声どおりに表す**かな文字**[6]も発達しました。漢字で書かれたそれまでの漢文[5]とは異なり，人々は，自分の考えや感情を，より自由に書き表せるようになりました。かな文字を用いた文学[7]が盛んになり，10世紀には，紀貫之らによって『**古今和歌集**』がまとめられました。11世紀の初めには，**紫式部**の『**源氏物語**』[1]や，**清少納言**の随筆『**枕草子**』など，宮廷に仕えた女性による優れた作品も生まれました。

浄土へのあこがれ

また，社会がゆれ動き，人々の不安が高まった10世紀には，念仏を唱え，阿弥陀仏にすがれば，死後には極楽浄土に生まれ変わることができる，という**浄土の教え**を説く僧たちが現れました。日本では，古来，人が死ぬと，その霊魂はこの世と異なる世界へ行くと信じられていたため，浄土の教えは多くの人々に受け入れられました。特に貴族たちは，極楽浄土への強いあこがれから，阿弥陀仏の像や，それを納める阿弥陀堂を盛んにつくりました。[8]

ふりかえる

ステップ1 かな文字が発達したことで，どのような変化があったか確かめよう。

ステップ2 国風文化の生まれた背景や，その特色について説明しよう。


世界遺産


国宝

8 藤原頼通が建てた平等院鳳凰堂（上）と，阿弥陀如来像（右）

資料から歴史を探ろう ①

木簡が語る人々の暮らし

細長い木の板に，墨で文字が書かれた木簡は，古代の人々の暮らしや社会の様子を今日に伝える貴重な資料です。発掘された木簡から，当時の様子を探ってみましょう。

◉木簡のさまざまな使われ方

紙が貴重だった古代では，書類や手紙など，さまざまな用途に木簡が使われました。なかには，役人の仕事ぶりの評価や，給与を記した木簡も発見されています。

また，40ページで学習したように，平城宮などの遺跡から出土した木簡のなかには，都に運ばれる税の荷札として使われていたものが多くあります。そこに記された内容をみると，どの地域から，どのような品物が納められたか，などを知ることができます。

書きまちがえたり，使い古したりした木簡は，表面を小刀で薄く削り，繰り返し使っていました。木簡の発掘調査では，削りくずもたくさん出土しています。

使い終わって穴や溝に捨てられた木簡は，水分の多い土に埋もれ，空気や日光に触れない状態で1200年以上も守られて，当時の記録を伝える貴重な資料として残ったのです。

◉長屋王の暮らし

下の木簡には，「長屋親王宮鮑大贄十編」と書かれています。長屋王は，奈良時代の初めごろ，平城宮の一等地に広大な邸宅を構え，左大臣として大きな権力を握っていました。長屋王の邸宅跡から発掘された，約3万5000点もの膨大な木簡からは，当時の皇族の暮らしぶりを知ることができます。

長屋王邸には，鮑のほかにも，米や野菜(かぶ，ふき，大根，たけのこなど)，魚介(かつお，あゆ，つぶ貝など)，わかめ，くるみ，栗などが全国から届けられました。長屋王は，牛乳を飲んだり，氷を貯蔵する氷室を使ったりもしていました。邸内では犬や馬，鶴が飼われ，それぞれに飼育係がつけられていたことや，えさとして米を食べさせていたことなどもわかっています。

また，木簡のほかにも，絵や文字を書いた土器なども発見され，当時の様子を現在に伝えています。



給与木簡



長屋王の邸宅(復元模型　奈良文化財研究所蔵)



長屋王邸から出土した木簡

人物と地域から歴史を探ろう ①

坂上田村麻呂と阿弖流為の戦い

8世紀以降，朝廷は，中央集権の国家のしくみを，九州地方や東北地方へも広げていきました。このころ，東北地方ではどのような動きがあったのかを探ってみましょう。



蝦夷と朝廷軍の戦い（『清水寺縁起絵巻』　東京国立博物館蔵）

朝廷による支配への抵抗

東北地方を従えるため，ときには武力を用いて攻めてくる朝廷軍に対して，蝦夷（←p.38）は，さまざまな形で激しく抵抗しました。その最大のものの一つが，阿弖流為の戦いです。

789年，桓武天皇は，蝦夷が本拠地としていた北上川中流の胆沢地方を一気に攻め落とそうと，10万人の大軍を送りました。しかし，蝦夷の族長であった阿弖流為の率いる軍に包囲され，敗退しました。

その後も阿弖流為は，13年にわたって朝廷軍と戦いましたが，802年，征夷大将軍の坂上田村麻呂が率いる軍に降伏しました。坂上田村麻呂は，蝦夷を従えるためには阿弖流為らの協力が必要であるとして，朝廷に助命を願い出ました。しかし，聞き入れられず，阿弖流為は河内（大阪府）で処刑されました。

『続日本紀』に記録された蝦夷との戦いの様子（一部の要約）

「阿弖流為の本拠地に着くと，蝦夷軍は退却したので，彼らと戦いながら，彼らの住居を焼き，巣伏村に進んだ。ここで，さきに北上川を渡った軍と合流する予定だったが，はばまれてまだ到着していない。そこへ，蝦夷の軍勢800人ばかりが次々とやってきて，政府軍をさえぎって戦った。…さらに400人ばかりの蝦夷軍が東山から現れて政府軍の後ろに回った。前後から攻撃されて，戦死25人，矢に当たった者245人，おぼれ死んだ者1036人，裸になって泳いで逃げた者1257人，という損害で，残りは多賀城に逃げ帰った。」

阿弖流為が遺したもの

その後も蝦夷の抵抗は断続的に続きましたが，胆沢城や志波城を築いて支配を強める朝廷のもとに，しだいに従えられていきました。一方，朝廷にとっては，東北地方の蝦夷を従えるための約40年にわたる戦いは，国家財政や民衆に大きな負担を与えるものでした。

阿弖流為の処刑から10年ほどのちに，嵯峨天皇は勅を発し，降伏した蝦夷をさげすんで呼ぶことを禁止し，正式な官位や姓名で呼ぶように命じました。

資料から歴史を探ろう ②

神話にみる古代の人々の信仰

古代の人々は，身のまわりのできごとや，自分たちが所属する社会について，どのように考えていたのでしょうか。『古事記』や『日本書紀』などに記された神話から，当時の人々の信仰やものの見方について探ってみましょう。

日本の神話

神話とは，原始・古代の人々が，宇宙，動植物，人類，国家などの起源や，自然・社会の現象を，神々や英雄のはたらきと結びつけて説明した物語で，日本では，８世紀の『古事記』・『日本書紀』や『風土記』などの書物に記されて伝わっています。

『古事記』や『日本書紀』にみえる神話は，登場する神々の名前や細かな部分に違いもありますが，どちらもおおよそ，イザナギ・イザナミという夫婦の神による国生み，太陽の女神アマテラスとその弟スサノオの天上界（高天原）での争いと，スサノオの地上への追放，スサノオの子孫のオオクニヌシによる地上での国づくり，アマテラスの子孫のニニギの地上への降臨などの物語からなります。そして最後に，ニニギの子孫であるカムヤマトイワレビコが東に旅して大和に入り，土着の豪族を倒して，最初の天皇（奈良時代の中ごろから神武天皇とよばれるようになります）として即位したことが語られています。これらのうち，天の神の子孫が地上に天下り，長い距離を旅したのちに都の地を定め，初代の王となるという部分は，古代の近隣の国々の建国神話と共通することが知られています。

『古事記』や『日本書紀』が伝える神話は，６～７世紀の朝廷が，主として，大王（のちの天皇）による国土の統一と支配の正しさを主張するためにまとめたもので，すべてが歴史的な事実とはいえません。また，地方で伝えられていた『風土記』の神話とも違いが多いことから，当時の民衆が信じていた神話と全く同じものとも考えられませんが，そのなかには，古代の人々の信仰やものの見方を知るための貴重な手がかりも数多く含まれています。



国宝

古事記（宝生院蔵）



出雲大社（島根県出雲市）　オオクニヌシノカミをまつる神社です。『出雲国風土記』には，杵築大社として記されています。

古事記に記された黄泉の国の物語

例えば『古事記』には，人の生と死の起源にまつわる次のような話があります。イザナギとイザナミという夫婦の神は，四国，九州，本州といった島々や，さまざまな神々を生みますが，妻のイザナミは，火の神を生んだ時のやけどがもとで死んでしまいます。夫のイザナギが，妻を取りもどすため，死者の住む黄泉の国に行くと，イザナミは，「私はもうこの国の食べ物を食べ，その住人になってしまいましたが，元の世界にもどれないか，黄泉の神と相談してみましょう。ただしその間，私の姿を見てはいけません。」と言いました。

闇のなかで待ちくたびれたイザナギが，髪に挿した櫛の歯を折り，それに火をともして辺りを見ると，横たわるイザナミの体は腐っており，頭や手足には雷の神が座っていました。驚いたイザナギは逃げ出しますが，イザナミは，「私に恥をかかせたな。」と言って，手下のヨモツシコメという鬼たちに追いかけさせます。必死で走るイザナギが，つる草でできた髪飾りや竹の櫛を投げると，それぞれがブドウやタケノコになり，シコメがそれを食べている間に遠くまで逃げることができました。黄泉の国とこの世の境にある，ヨモツヒラサカという坂道の麓までたどり着いたイザナギが，そばに生えていたモモの実をとって投げると，シコメたちは逃げ帰っていきました。

そこにイザナミが追いかけてきたので，イザナギは，1000人がかりで引くほどの大石で道をふさぎ，イザナミに離婚を申し渡しました。イザナミは，「あなたがそうするのなら，私はあなたの国の人間を，1日に1000人絞め殺しましょう。」と言いますが，イザナギは，「お前がそうするのなら，私は1日に1500人の子を生ませよう。」と答えました。こうして，この世と黄泉の国の行き来は自由にできなくなり，またこの世では，1日に必ず1000人が死に，1500人の子が生まれるようになったといいます。

神話にみる古代の人々の信仰とものの見方

この神話からは，古代の人々が，人間は死ぬと，この世とは別の世界へ行くと考えていたことがわかります。「よみがえる」とは，もともとは，死んだ人が「黄泉」から「帰ってくる」という意味でした。ギリシャ神話にも，オルフェウスという男が，死んだ妻を死者の国に迎えに行くものの，「死者の国を抜け出すまで，決して後ろを振り返ってはならない。」という死者の国の王との約束を破り，あと少しのところで妻の姿を見てしまったために失敗する，という話があります。

逃げる途中のイザナギが，三種類の物を投げて助かるという部分は，「三枚のお札」という昔話に似ています。また，イザナギが最後に投げたモモの実には，



王塚古墳の壁画（福岡県桂川町）　装飾古墳の図文には，当時の人々の死後世界へのさまざまなイメージが描かれていると考えられています。

邪悪なものを追い払う不思議な力があると信じられていましたが，モモに対するこうした信仰は，中国から伝わったものです。古墳につくられた石室からは，人々が祭りに使ったと思われるモモの種が見つかることがあります。桃太郎の鬼退治という昔話も，こうした古くからの信仰と関係するとされています。

日本の各地には，『古事記』や『日本書紀』などの神話に登場する神々をまつる神社が多くあります。また，現在でも，神楽などの各地の伝統的な行事のなかに，神話に由来するものが残っています。



神楽の様子（鳥取県日南町・島根県奥出雲町）
『古事記』に記されている，スサノオがヤマタノオロチを退治する場面です。

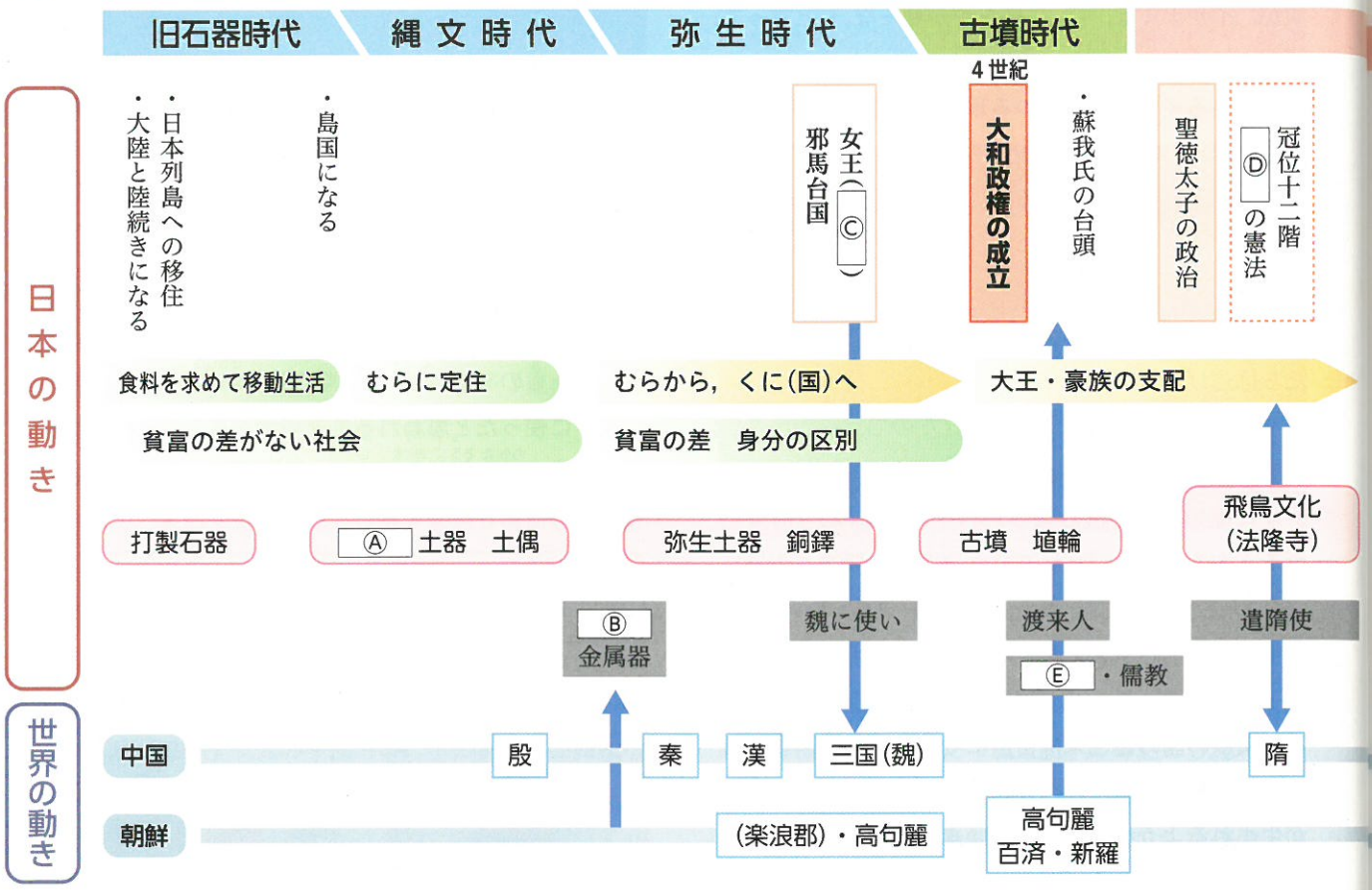


自分たちの地域の行事や文化財，地名などのなかにも，神話とつながりのあるものが残っているかもしれませんね。日本の神話のほかに，世界の神話についても調べてみましょう。

学習のまとめと表現　～第２章　原始・古代の日本と世界～

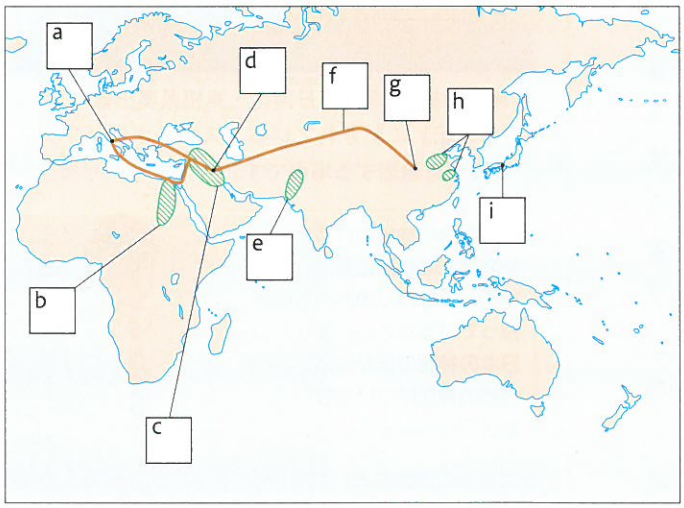
原始・古代の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の［Ⓐ］～［Ⓙ］にあてはまる語句を書き出そう。



原始・古代の舞台（ぶたい）を地図で確かめよう。

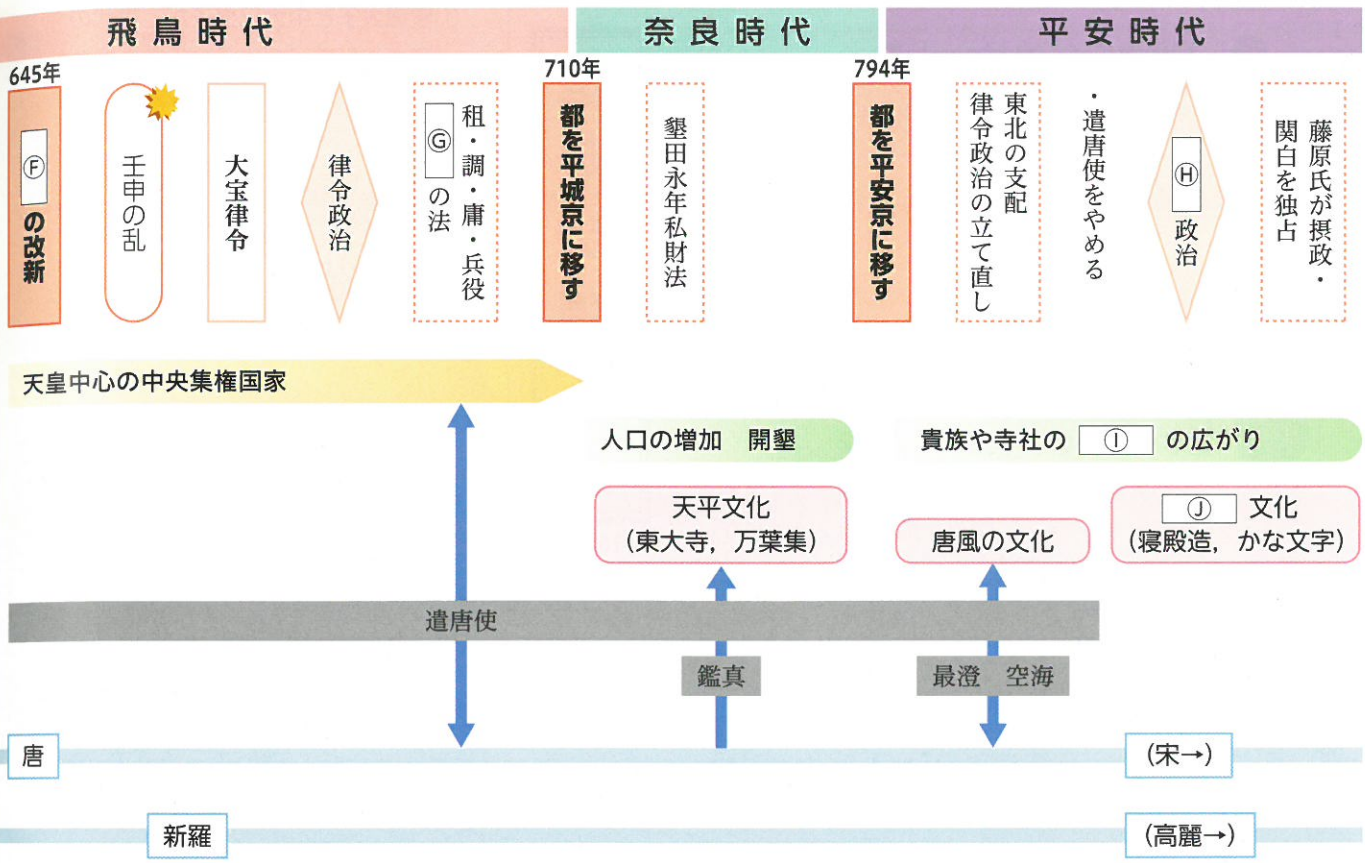
3 下の地図中に，次の場所を番号で記入しよう。



①エジプト文明（ぶんめい）がおこった。（←p.18）
②メソポタミア文明がおこった。（←p.18）
③中国（ちゅうごく）文明がおこった。（←p.20）
④インダス文明がおこった。（←p.21）
⑤ローマ…ヨーロッパから黒海（こっかい）に及（およ）んだローマ帝国（ていこく）の都。（←p.23）
⑥長安（ちょうあん）…唐（とう）の都で，国際都市。（←p.32）
⑦長安とローマを結ぶ交通路。（←p.32）
⑧バグダッド…８～９世紀に栄えたイスラム世界（帝国）の都。（←p.33）
⑨京都（きょうと）…平安（へいあん）時代の日本の都。（←p.42）

2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

小野妹子	推古天皇	中大兄皇子	天武天皇	聖武天皇
柿本人麻呂	桓武天皇	坂上田村麻呂	藤原道長	紫式部

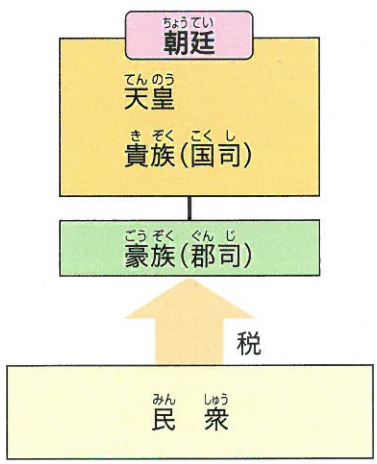


原始・古代のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 下の２枚の写真は，それぞれなんとよばれるものか，また，その違いには，どのような社会の変化が表れているか説明しよう。



5 下の図を使って，律令国家の政治と支配のしくみについて説明しよう。



原始・古代の時代の特色を考えよう！

みさきさんの班では，古代の特色について，「日本という国がどのように成立し，発展していったか。」というテーマで，歴史新聞にまとめることにしました。

歴史新聞 第1号

2016年9月発行

日本にも律令国家が誕生！

関係者にインタビューして，国づくりでどんなことに力を入れ，何に苦労したのかうかがいました。

聖徳太子

中大兄皇子

コラム　驚きを隠せない中国の皇帝

まさか，日本で天皇を中心とした中央集権の国家が生まれるとは，予想もしませんでした。都も，長安ほど大きくはないですが，なかなかのつくりですね。…

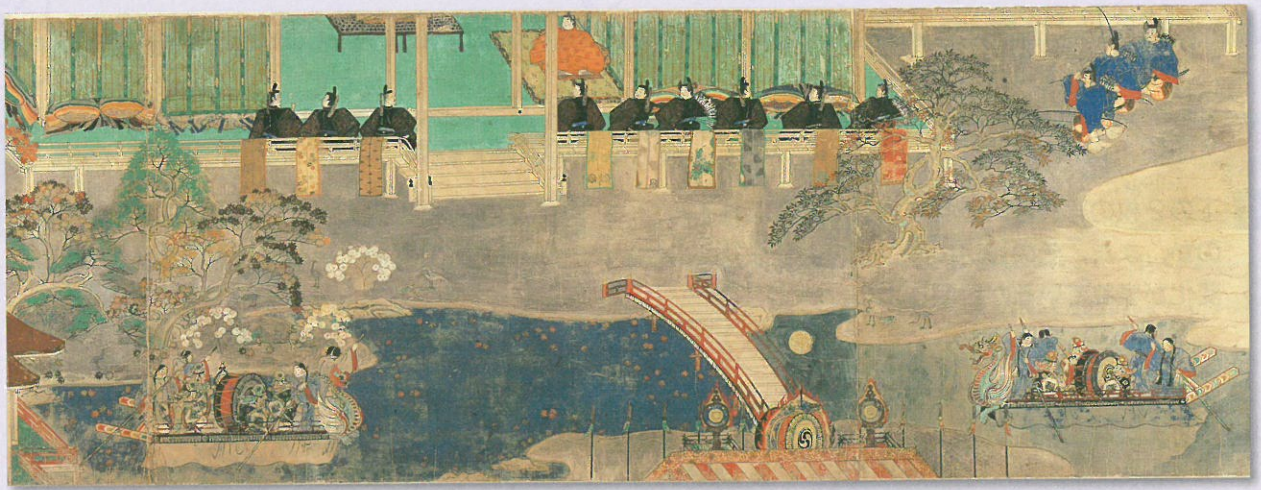
①聖徳太子と中大兄皇子が，古代の国づくりでどのような役割を果たしたか，教科書やノートを振り返ろう。

②中大兄皇子の政治では，聖徳太子の政治と比べて，どのような点で国づくりが進んだのかに注目して，ふき出しに人物のコメントを書き入れよう。

国づくりをさらに進めた人物として，歴史新聞に登場させる３人めの人物を，班で話し合ってみましょう。



時代の変化に注目しよう！



1 上の絵は，11世紀の前半，天皇を招いてもてなす藤原氏の屋敷を描いています。このような貴族の屋敷を，なんといいますか。このころ藤原氏が，どのように政治の実権を握り，どのような生活を送ったか確認しましょう。

また，次のページの絵は，やがて勢力を伸ばしていった武士たちの，政権をめぐる争いを描いています。二つの絵を見比べて，世の中がどのように動いていったか予想してみましょう。

第3章

中世の日本と世界



壇ノ浦の戦い（『平家物語絵巻』林原美術館蔵）



左上の船に乗っているのは，どのような人たちかな。

上の絵は，12世紀の後半に起こった源氏と平氏の争いで，源氏が平氏をほろぼした戦いの様子です。天皇や貴族を中心とした政治は，どのように変わっていったのか，これから学習していくことにしましょう。



これから学習する時代

年表

年代	1100	1200	1300	1400	1500	1550
日本	平安時代		鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	戦国時代
中国	(北)宋	金 / (南)宋		モンゴル・元	明	
朝鮮	高麗				朝鮮	

1 世界の動きと武家政治の始まり





「…チパングは，東のかた，大陸から1500マイルの大洋中にある，とても大きな島である。住民は皮膚の色が白く礼節の正しい優雅な偶像教徒であって，独立国をなし，自己の国王をいただいている。この国ではいたるところに黄金が見つかるものだから，国人はだれでも莫大な黄金を所有している。…われわれヨーロッパ人が家屋や教会堂の屋根を鉛板でふくように，この宮殿の屋根はすべて純金でふかれている。…」
（愛宕松男訳『東方見聞録』より）



1 ベネチアの港（左）と，マルコ＝ポーロが「黄金の国チパング」を紹介した旅行記『世界の記述（東方見聞録）』（右）　マルコ＝ポーロは，17歳の時に商人の父とともにイタリアのベネチアを旅立ち，1275年，元を訪れて皇帝のフビライ＝ハンに仕えました。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 **10** 1000年 **11** 1100年 **12** 1200年 **13** 14 15 16 17 18 19 20 21

① 大陸をまたぐ大帝国 ▶ 10～13世紀ごろの世界

学習課題　モンゴル帝国は，世界にどのような影響を与えたのでしょうか。



2 宋銭（実物大）　貨幣とともに，紙幣の使用も始まりました。



3 南宋の青白磁（左）と，高麗の青磁（右）

1 これらは，漢の時代に始まった製紙（←p.22）とあわせて，中国の四大発明といわれています。

宋の中国統一

中国では，10世紀の初めに唐がほろび，多くの国々に分かれましたが，やがて**宋**が中国を統一しました。宋では商業が盛んになり，銅の貨幣（宋銭）[2]が大量に発行されました。また，仏教が発展し，禅宗や浄土宗が栄え，日本の仏教にも影響を与えました。

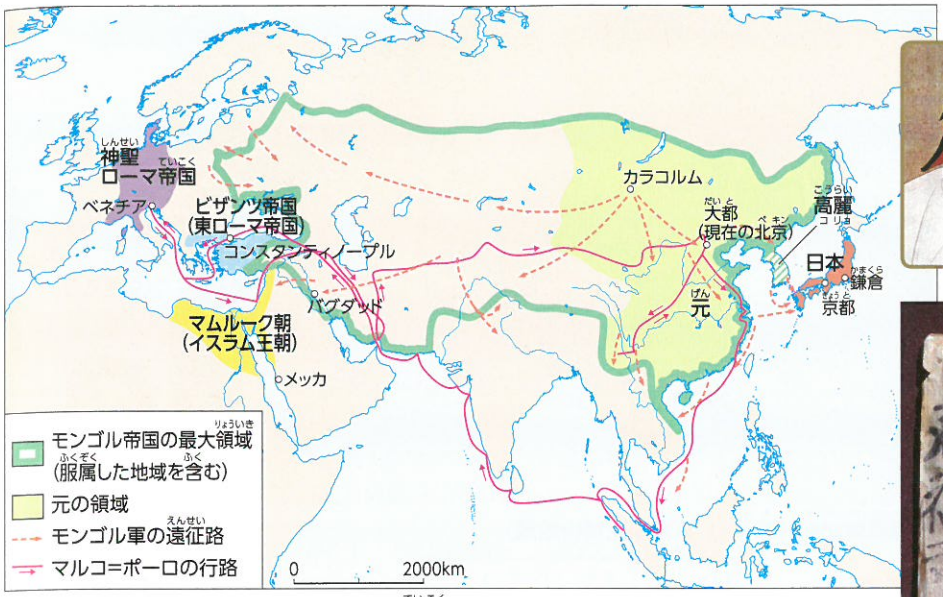
p.62, 63 ➡

12世紀の前半，宋は，北方におこった金との戦いに敗れ，都を南に移しました（南宋）。長江以南でも土地の開発が進み，新たな都市が発達するなか，茶の栽培や陶磁器[3]の生産などが盛んになり，日本へも輸出されました。また，木版印刷が広まり，火薬や羅針盤[1]が実用化されるなど，科学技術が発達したほか，儒教の学問的な研究が進み，家族の秩序や身分の上下を重んじる**朱子学**が確立されました。朱子学は朝鮮や日本にも伝えられ，人々の考え方や政治のしくみに大きな影響を与えました。

p.73 ➡

モンゴル帝国の出現
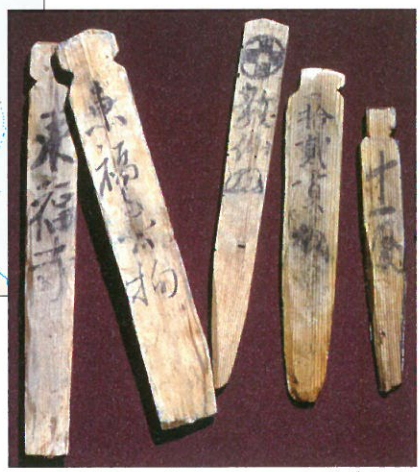
北方のモンゴル高原では，13世紀の初めにチンギス＝ハンが遊牧民の諸部族を統一し，**モンゴル帝国**を築きました。チンギス＝ハンとその子孫は，東アジアから西アジア，東ヨーロッパまで攻め入り，ユーラシア



4 13世紀ごろの世界と，モンゴル帝国の広がり　モンゴル帝国の出現によって，ユーラシア大陸全体が，一つの世界を形づくることになりました。



5 フビライ＝ハン



6 朝鮮半島沖で発見された沈没船に積まれていた木簡　中国(元)と日本の民間貿易に用いられたのではないかと考えられています。

大陸をまたぐ広大な地域を支配しました[4]。モンゴル帝国は，やがて幾つかの勢力に分立しましたが，中国の北部を治めた5代皇帝のフビライ＝ハン[5]は，13世紀の後半に都を大都(現在の北京)に移し，国号を**元**と定めました。元は，南宋をほろぼして中国全土を支配し，日本にも服従を求めて遠征しました。

p.68➡

モンゴル帝国や元の時代には，陸・海の交通路が整えられ，東西の貿易や文化交流が盛んになりました。ヨーロッパやイスラム世界の商人たちが中国を訪れ[1]，数学や医学，天文学などを伝えたほか，中国の火薬や羅針盤などが西方にもたらされました。また，中国(元)と日本の貿易も民間で盛んに行われ[6]，日本からは多くの禅宗の僧が中国に留学しました。

高麗の朝鮮統一

朝鮮半島では，10世紀の前半に**高麗**が新羅をほろぼし，朝鮮を統一しました。高麗では仏教が重んじられ，経典が版木にほられて印刷されました。また，青磁とよばれる美しい磁器[3]もつくられ，これらは日本にもたらされました。

13世紀の前半になると，高麗は，モンゴル軍の侵攻を受けるようになりました[7]。高麗は都を江華島に移し，約30年にわたって抵抗しましたが，元に服従させられました。



7 高麗の大蔵経　モンゴル軍の撃退を祈願し，8万枚あまりの版木にほられました。

ふりかえる

ステップ1 モンゴル帝国(元)が，支配した地域を確かめよう。

ステップ2 モンゴル帝国(元)と，東アジアやヨーロッパ・イスラム世界との交流について，図に表して説明しよう。



どこにいるのが武官だろう。

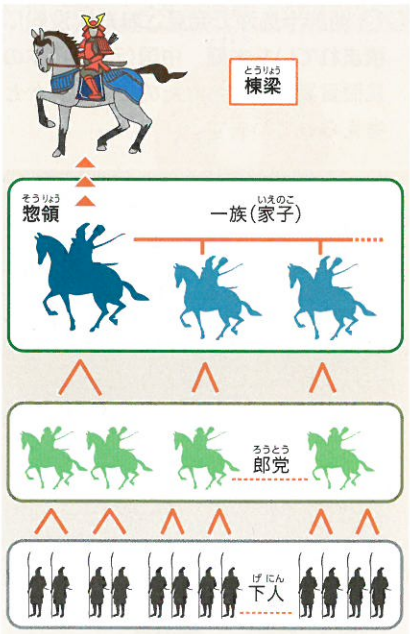


1 白河上皇の警護をする武官(『春日権現験記絵［模本］』東京国立博物館蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1000年 11 1100年 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

② 貴族から武士へ ▶院政と平氏政権

学習課題 武士はどのようにしておこり，政治の実権を握るようになったのでしょうか。



2 武士団のしくみ

武士のおこり

10世紀に地方の政治が変わるなか，有力な農民や豪族たちは，領地を守るために一族や従者を武装させました。彼らは，馬に乗り，弓矢を射て戦う武士として争いを繰り返し，国司に対抗することもありました。さらに，軍事で朝廷や貴族に仕える武官[1]などとも結びつき，互いに連合しながら武士団[2]を形づくるようになりました。

なかでも，天皇の子孫をかしらとする**源氏**と**平氏**は有力な武士団となり，京都で貴族の護衛や警察の仕事を行い，その実力を認められました。10世紀の中ごろ，関東で平将門が，西国で藤原純友が周辺の武士らを率いて反乱を起こしましたが，これをおさえた平氏や源氏は，さらに勢力を伸ばしていきました。

←p.43
p.59→

院政と武士の活躍

このころ，各地の有力武士や中小貴族のなかには，国司による土地の没収や税の負担から逃れるため，領地を天皇家や有力な貴族・寺社の荘園[1]とする者が現れました。11世紀の末には，白河天皇が，位をゆずって上皇となったのちも政治を行いました。これを**院政**といいます[2]。院が力をもつと，多くの武士や中小貴族たちは，土地の権利を守るために院を頼り，荘園として保護を求めるようになりまし

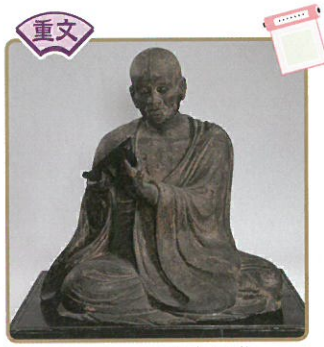
←p.43

1 荘園のなかには，領主の権威を背景に，国への税が免除される不輸の権や，国司の使者の立ち入りを拒否できる不入の権などの特権を，朝廷から認められる荘園も現れました。

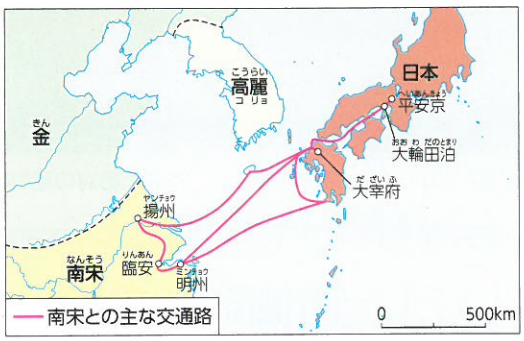
2 位をゆずった天皇(上皇)や，その住む所を院とよびました。



3 平治の乱(『平治物語絵巻』ボストン美術館蔵)
源義朝は，平清盛の留守に兵を起こし，後白河上皇の御所に放火しましたが，やがて清盛との戦いに敗れました。



4 平清盛(六波羅蜜寺蔵)



5 12世紀ごろの東アジア

た。こうして全国の土地は，院や貴族・寺社などを領主とする荘園と，国司の支配する公領とに分かれ，武士たちは荘園や公領の管理者となって力を伸ばしました。

12世紀の中ごろ，院政をめぐる天皇家や藤原氏の争い(保元の乱)が起こると，院の警護をする源氏や平氏の武士たちは，これを武力で解決して急速に地位を高めました。さらに，院政のもとでの権力争い(平治の乱)[3]が起こると，源氏と平氏は敵対して戦い，勝利した平氏が，**平清盛**[4]を中心に勢力をふるうようになりました。

平氏政権の誕生

平清盛は，武士として初めて政治の実権を握りました。朝廷の最高の役職である太政大臣←p.37になり，娘を天皇のきさきとしたほか，一族も高い位や役職を占め，広大な公領や荘園を支配して栄えました。また，清盛は，瀬戸内海の航路や摂津(兵庫県)の港[3]を整備し，中国の宋と盛んに貿易を行いました[5]。宋銭←p.54が大量に輸入され，商人や僧が行き来するなど，大陸との交流が活発になりました。

歴史の窓　奥州藤原氏と平泉

11世紀後半の東北地方では，豪族たちの勢力争いから大きな戦乱があい次いで起こりました(前九年合戦，後三年合戦)。これをおさえるために源義家が派遣されたことから，源氏は関東の武士との結びつきを強めました。また，これをきっかけに勢力を伸ばした奥州藤原氏は，北方との交易や，金・馬の産出により富を築き，本拠地の平泉(岩手県)は約100年にわたって繁栄しました。しかし，源義経をかくまったとして源頼朝に攻められ，奥州藤原氏はほろぶことになりました。

3 当時は，大輪田泊といいました。現在の神戸港にあたります。

ふりかえる

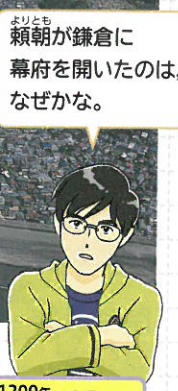
ステップ1　源氏や平氏は，どこで，どのような仕事をし，何をきっかけに勢力を伸ばしたか確認しよう。

ステップ2　平氏の政治と，藤原氏の摂関政治を比べて，似ているところを説明しよう。



奥州藤原氏が建てた中尊寺金色堂の内部(岩手県平泉町)





1 空から見た現在の鎌倉と，かつて幕府の建物があった場所(①・②)



2 切通し
山をけずってつくった，鎌倉に通じる道です。

3 「一所懸命(生)」の戦い ▶ 武家政治の成立と封建制度

学習課題 鎌倉幕府は，武士たちをどのようにまとめていったのでしょうか。



3 源頼朝と伝えられる肖像画(左：神護寺蔵)と，頼朝の像(右：甲斐善光寺蔵)

源平の争いと平氏の滅亡

栄華をほこり，朝廷の政治を思うままに進める平氏に対して，貴族や寺社，諸国の武士たちは反発を強め，ついに源氏[4]が兵を起こしました。もともと源氏が力をもっていた東国では，平治の乱で伊豆(静岡県)に追放されていた**源頼朝**[3]が，関東の武士たちを支配下において勢力を伸ばしました。一方，頼朝の命を受けた弟の**源義経**らは，木曽(長野県)の源義仲が都から追い出した平氏を，さらに西国に追いつめ，1185年，壇ノ浦(山口県)でほろぼしました。

←p.53

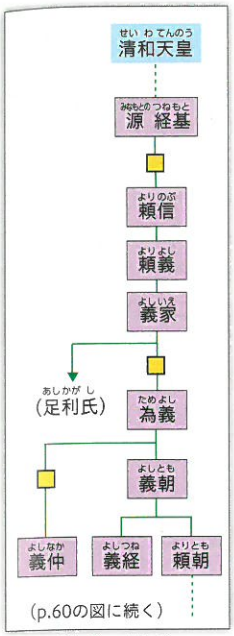
鎌倉幕府の成立

平氏との戦いの最中に，頼朝は，鎌倉[1][2]を拠点とする政府をつくり，武家政治を始めました。まず，東日本の荘園や公領の支配権を朝廷から認められ，さらに，対立した義経を捕らえる口実で，国ごとに**守護**を，荘園や公領ごとに**地頭**をおくことを，朝廷に認めさせました。

その後，奥州藤原氏をほろぼした頼朝は，1192年，朝廷から**征夷大将軍**[1]に任命され，全国の武士を従える地位に就きました。頼朝が始めたこの政府を**鎌倉幕府**といいます。しかし，京都の朝廷では院政が続き，国司を任命していたほか，西国では，

p.61➡

1 もともとは，坂上田村麻呂(←p.42)に代表される，蝦夷を討つために東北地方に派遣された臨時の指揮官のことです。
2 政権を握った武士を武家とよぶのに対して，天皇を中心とする貴族たちを公家とよびます。



4 源氏の系図



国宝

5 武士の館(『一遍上人絵伝』清浄光寺蔵)
黒っぽい服を着た人物が一遍(p.63→)です。

荘園の領主である公家[2]や寺社が強い力をもっていました。

御恩と奉公

幕府を支えたのは，将軍と，将軍に従う武士(**御家人**)との結びつきでした。御家人は，先祖伝来の土地を守ってもらうために，将軍に忠誠を誓い，京都や鎌倉の警備を分担したり，一族を率いて命がけで戦ったりしました(**奉公**)。一方で，彼らは守護や地頭に任命され，新たな土地をもらうこと(**御恩**)も期待しました。このように，土地を仲立ちとして主従関係を結ぶしくみを，**封建制度**といいます。

また，守護や地頭の権限もしだいに定まりました。守護は，その国の御家人を統率する軍事や，重罪を取りしまる警察の役目をもち，地頭は，土地の管理や年貢の取り立てを行いました。

武士の暮らし

武士は，領地にある塀や堀で守られた屋敷に[5]住み，武芸の訓練[6]にはげんで常に戦いに備えるものとされました。地頭として荘園を管理し，収入を得ている有力な武士は，荘園領主と支配権をめぐってしばしば争いました。彼らは荘園領主と契約を結んだり，荘園を分割したりして，土地の支配を強めていきました。また，武士は一族の団結が強く，地頭の地位や領地は親から子へと受け継がれ，惣領[3]に主な部分が，他の子には残りが分割してゆずられました。

読み解こう

❶絵巻物の特徴を振り返ろう。(←p.12，13)
❷貴族の寝殿造(←p.44)と比べて，武士の館らしい特徴を，三つあげよう。
❸馬や猿，鷹が飼われているのは，なぜだろう。

重文



6 笠懸(『男衾三郎絵詞』東京国立博物館蔵) 走る馬の上から，的を射る武芸です。的を立て続けに射る流鏑馬や，走る犬を的にする犬追物などの武芸にもはげみました。

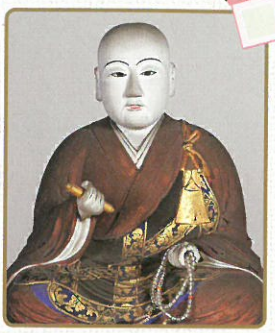
3 一族のかしらのこと。

ふりかえる

ステップ 1 守護と地頭は，それぞれどこにおかれたか確かめよう。
ステップ 2 将軍と御家人の「御恩と奉公」の関係を，図に表して説明しよう。



「鎌倉の政治は，近ごろとても乱れている。将軍がまだ幼いことをいいことに，北条義時は，何かにつけて北条政子の命令であるとして，勝手に政治や裁定を進め，朝廷のきまりごとを無視している。これは，まさしく謀反というべきであろう。早く全国に命令を知らせ，義時を追討せよ。」
［1221(承久３)年５月15日　京都　一部の要約］



「武士たちは，以前は３年間の都の警備を終えた時，費用を使い果たして馬を手放し，とぼとぼと歩いて帰ってきたではないか。頼朝公はそれをあわれに思い，３年を６か月に縮め，生活が成り立つようにされたのだ。この情け深い御心を忘れて，京都に味方するのか。それとも鎌倉にとどまって，将軍家に奉公するのか。今はっきりと申してみよ。」
［1221(承久３)年５月19日　鎌倉　一部の要約］

1 後鳥羽上皇(左：水無瀬神宮蔵)**の北条氏追討の命令と，2 北条政子**(右：安養院蔵)**の訴え**



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 **12** 1200年 **13** 14 15 16 17 18 19 20 21

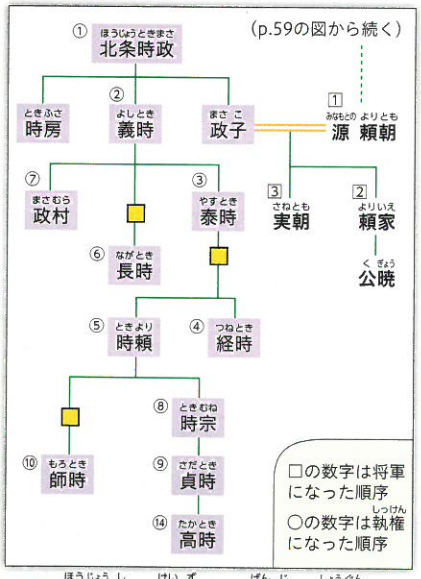
④ いざ鎌倉 ▶ 承久の乱と武家政治の広まり

学習課題　武家政治は，どのように広まっていったのでしょうか。

北条氏の執権政治

源頼朝の死後，鎌倉幕府では，有力な御家人の間で権力争いが起こり，頼朝の妻の北条政子と，その父の北条時政が実権を握りました。源氏の将軍が３代で絶えると，**執権**という地位に就いていた**北条氏**は，京都から幼い貴族を将軍として迎えました。そして，北条氏が代々執権として御家人たちをまとめ，幕府の政治を動かすようになりました。これを**執権政治**といいます。

1 政子は，頼朝の死後に出家し，３代将軍の源実朝の死後は，自ら幕府の政治を取り仕切ったので，後に尼将軍とよばれました。

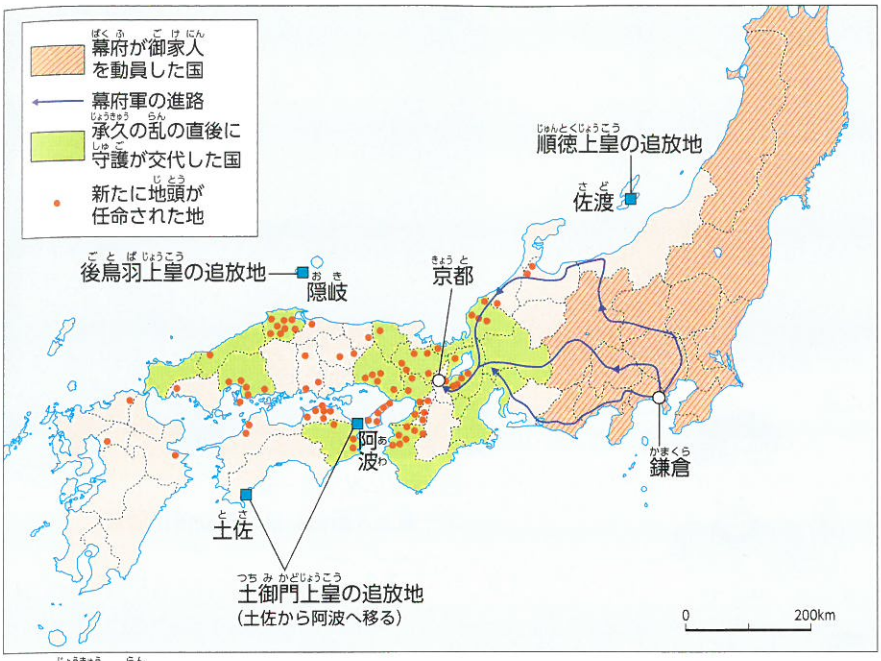


3 北条氏の系図と，源氏の将軍との関係

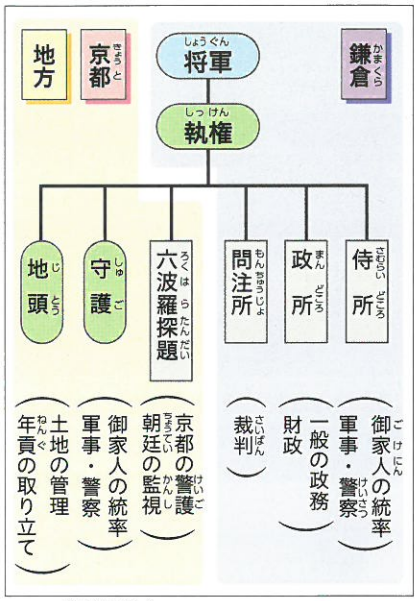
承久の乱

このころ京都では，後鳥羽上皇**1**が院政(←p.56)を行っていました。上皇は，源氏の将軍が絶えたことをきっかけに，幕府を倒して朝廷の力を回復させようと考え，1221(承久３)年，ついに兵を起こしました**1**。しかし，政子らを中心とする幕府は，すぐに東国の御家人たちを結集し**2**，大軍を京都に送って上皇の軍を破りました(**承久の乱**)**4**。

幕府は，上皇らを隠岐(島根県)などに追放したうえ，朝廷の監視を強めるために，京都に六波羅探題をおきました**5**。また，上皇に味方した公家や西国の武士の土地を没収して，新たに東国の御家人をその土地の地頭に任命しました**4**。こうして，幕府



4 承久の乱と，その後の動き



5 鎌倉幕府のしくみ(13世紀前半)
国ごとに一人おかれた守護には，東国出身の有力な御家人が任命されました。

は西国にも勢力を伸ばし，幕府の支配は大きく広がりました。

御成敗式目の制定

幕府の支配が西国まで広がると，御家人と荘園領主の間で，領地をめぐる争いが増えました。そこで，執権の北条泰時らは，御家人たちが土地争いの裁定などを幕府に訴えてきたとき，裁判を公平に行うための基準として，1232(貞永元)年，**御成敗式目**(貞永式目)を定めました。51か条からなるその内容は，公家とは異なる武家社会の慣習や，頼朝以来の裁判の例などに基づく現実的なもので，その後も長く武家政治の手本とされました。また，同じころ，裁判を早く公平に進めるための制度も整えられました。

御成敗式目
(一部の要約)

第3条
諸国の守護の職務は，大番(京都の御所の警備に当番で当たること)を御家人に催促すること，謀反や殺害などの犯罪人を取りしまることで，それ以外はしてはならない。

第5条
地頭は，荘園の年貢を差しおさえてはならない。

第8条
20年以上継続してその土地を支配していれば，その者に所有を認める。

歴史の窓　鎌倉時代の女性の地位

鎌倉時代の武家社会では，女性も男性と同様に領地を与えられたり，ゆずられたりして自分の財産をもち，子孫に伝えることができました。女性で地頭になる者も現れ，一族の中心として広い領地を支配した女性もいました。御成敗式目には，「子どものいない女性は，養子に領地をゆずることができる。」「重罪でなければ夫の罪で妻の領地が没収されることはない。」という規定があります。これは，同じ時代の公家の女性と比べて，武家の女性の地位が高かったことを示しています。しかし，鎌倉時代の後半になると，女性にゆずる領地は一代限りで実家に返させるなど，女性の財産はしだいに制限されていきました。

ふりかえる

ステップ1 後鳥羽上皇が，承久の乱を起こしたきっかけや目的を確かめよう。

ステップ2 承久の乱ののち，鎌倉幕府はどのように支配を広げたか説明しよう。



国宝

1 教えを説く法然(『法然上人絵伝』知恩院蔵)



国宝

2 踊念仏をする一遍
(『一遍上人絵伝』東京国立博物館蔵)



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 **12** 1200年 **13** 1300年 **14** 15 16 17 18 19 20 21

5 祇園精舎の鐘の声 ▶新しい仏教と鎌倉文化

学習課題 鎌倉時代には，民衆はどのような暮らしをし，どのような文化が生まれたのでしょうか。

1 田に水を引いたり，水田を排水して畑にしたりすること。
2 日照りや長雨，自然災害などで，ひどい不作が続くと，多くの人々が飢え死にする，飢饉が起こりました。



3 田植えの様子(『大山寺縁起絵巻[模本]』東京大学史料編纂所蔵)



4 親鸞(左：真宗大谷派〈東本願寺〉蔵)と，日蓮(右：池上本門寺蔵)

民衆の暮らしと社会の変化

13世紀の後半になると，かんがい[1]の技術が進み，近畿地方を中心に，稲と麦の二毛作が行われるようになりました。牛馬や鉄製の農具を使った農耕[3]が広まり，草木を焼いた灰や糞尿の肥料も使われ始め，農業生産が高まりました。荘園に住む農民たちは，自ら田畑の開墾に努め，土地に対する権利を強めていきました。そして，荘園領主に年貢の軽減を要求したり，地頭の乱暴を訴えたりするときには集団で行動し，しだいに村の結びつきを強めました。

p.64➡

また，水陸の交通の要所には，年貢などを運ぶ問丸が現れ，商品を交換する場として，市が定期的に開かれるようになりました。商人の活動も盛んになり，売り買いには中国から輸入された宋銭が使われました。

p.65➡

新しい仏教

戦乱に加えて飢饉[2]も続いたこの時代には，新しい仏教の教えが次々と生まれました。法然は，「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで，だれでも極楽浄土に生まれ変われると説き[1]，**浄土宗**を開きました。さらに弟子の親鸞[4]は，救いを信じる心を起こすだけで救われると説き，**浄土真宗**(一向宗)を開きました。その後現れた日蓮[4]は，法華経こ







↑5 東大寺南大門(上)と，←→6 金剛力士像
門の高さは約26mで，左右に高さ約8.4mの木造の仁王像が置かれています。

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もつひにはほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。

そが真の教えで，「南無妙法蓮華経」と題目を唱えれば人も国家も救われると説き，**日蓮宗**(法華宗)を開きました。また，**時宗**を開いた一遍は，踊念仏[2]による布教の旅を続けました。これらの教えは，朝廷や幕府の迫害を受けながらも，しだいに民衆の間に広まっていきました。

また，宋に渡った栄西や道元は，座禅による厳しい修行で自ら悟りを開こうとする**禅宗**を伝えました。武士の気風に合った禅宗は，北条氏が宋から僧を招いて鎌倉に寺を建てるなど，幕府の保護も受け，武士を中心に広まりました。[3]

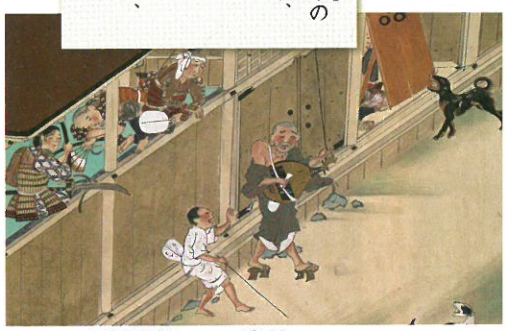
鎌倉文化

武士や民衆の力が伸びるにつれて，文化にも新しい動きが起こりました。文学では，武士の活躍を描いた軍記物が生まれ，なかでも『**平家物語**』は琵琶法師によって語られ[7]，文字を読めない人々にも親しまれました。また，鴨長明の『方丈記』や，兼好法師の『徒然草』などの随筆が書かれたほか，朝廷では，藤原定家らに和歌を選ばせ，西行らの歌を収めた『新古今和歌集』がまとめられました。

←巻頭2

建築では，源平の争いで焼けた東大寺が再建されました。東大寺には，宋の様式を取り入れた南大門[5]や，仏師の運慶らがつくった金剛力士像[6]など，武士の気風を反映した文化財が残されています。絵画では，合戦の様子や僧の伝記を描いた絵巻物や，似絵とよばれる写実的な肖像画も多くつくられました。

←p.60



↑7 『平家物語』(上：冒頭の部分)と，琵琶法師(下：『慕帰絵詞［模本］』東京国立博物館蔵)

[3] 一方，真言宗や天台宗などの旧仏教も，人々の信仰心に支えられて盛んになりました。

ふりかえる

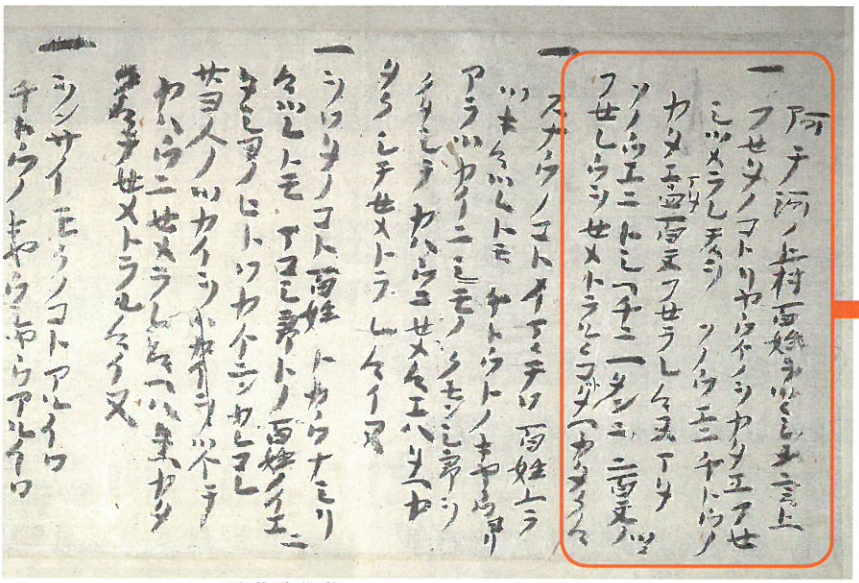
ステップ1 鎌倉時代になって，農業生産が高まった理由を確かめよう。

ステップ2 鎌倉文化にはどのような特色があるか，平安時代の文化と比べて説明しよう。

資料から歴史を探ろう ③

地頭を訴える農民

1275年，紀伊国（和歌山県）の阿氏河荘（現在の有田川町）に住む農民たちが，地頭の乱暴を荘園領主（京都の寺）に訴えるために，文書をかたかなで書きました。この文書を読み解いて，農民たちが，どのように暮らしを守ろうとしたのか探ってみましょう。



阿テ河ノ上村百姓ラツヽシ（ン）テ言上
一 ※（臥田）フせタノコト、リヤウケ（領家）ノヲカタエ、フせシツメラレテ候ヲ、ソノウエニチトウ（地頭）ノカタエ、マタ四百文フせラレ候ヌ、マタソノウエニ、トシヘチニ一タンニ二百文ツヽノ※（臥料）フせレウヲせメトラルヽコトタヘカタク候

※臥田は，臥料を支払うかわりに，年貢を免除された田です。

阿氏河荘の申し状（金剛峯寺蔵）　文書のところどころに，漢字も使われています。鎌倉時代の後半になると，有力な農民のなかには，ある程度の読み書きができる者も出てきたことがわかります。

囲みの部分を，
読み上げてみよう。
どんなことが書かれているかな。



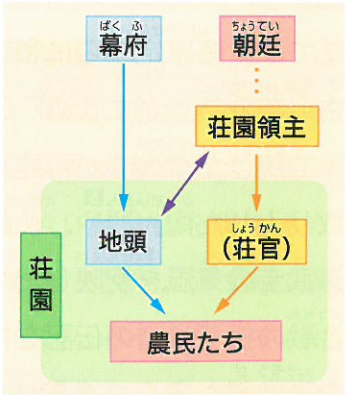
農民たちは，
荘園領主に対して，
どんなことを
訴えたのかな。



訴えの内容（一部の要約）

「領主にお納めする材木のことですが，地頭が都に行くからなどと言っては，人夫としてこき使うので，ひまがありません。わずかに残った人を，材木を運び出しに山へ行かせたところ，地頭は『逃亡した農民の畑に麦をまけ。』と追いもどすのです。『おまえたちが麦をまかないと，妻・子どもを牢に入れ，耳を切り，鼻をそぎ，髪を切って尼のようにし，縄でしばって痛めつけるぞ。』などと，ひどく責め立てられますので，材木の納入がさらに遅れてしまいます。そのうえ，地頭は，農民の家を1軒，壊して持っていきました。……このような地頭の行いが続くなら，わたしたちは逃散※に踏み切らざるをえません。」

※集団で土地を離れ，耕作を放棄すること。



農民たちが，荘園領主に対して訴えたのはなぜか，左の図も参考にして説明してみましょう。



中世の市を訪ねて

下の絵は，備前国(岡山県)の福岡(現在の瀬戸内市)に開かれた市の様子です。『一遍上人絵伝』は，新しい仏教の布教のために諸国を旅した，一遍の姿を伝える鎌倉時代の絵巻物です。この絵を読み解いて，当時の社会や人々の生活について探ってみましょう。

国宝



福岡の市(『一遍上人絵伝』清浄光寺蔵)

「一遍は，どこにいますか。どのような場面が描かれていますか。」

「家来を連れた武士が，一遍を切ろうとしたので，周りの人たちが驚いて見ているところです。」

「この日は，定期市が開かれ，大勢の人たちが集まっていますね。どのような商品が扱われていますか。」

「上のほうには，布や(　　)を売っている店があります。枡で量り売りしているのは，何かな。」

「手前には，(　　)などの器もたくさん置かれています。」

「上の店の前で，女性から商品の布を受け取った男性が，手に持っているものは何か考えてみましょう。」

「では，さまざまな品物を，どのようにして運んだのでしょうか。」

「天秤棒で，(　　)をかついでいる人がいます。」

「手前には，川が流れていて，(　　)に乗る人もいます。」

「ほかに，何か気がついたことはありますか。」

「何人かの女性が，頭に何かかぶっています。これはなんだろう。」

「あとは，……」

読み取ったことを発表し合いながら，(　　)に言葉をあてはめてみましょう。

郷土の歴史を探ろう ②

地域の寺社や墓碑を訪ねて

神奈川県横浜市に住むまさしさんは，北条氏によって建てられた禅宗の寺に興味をもち，県内の鎌倉市にある円覚寺を訪ねることにしました。現地で集めた資料や撮影した写真をもとに，調べたことを絵巻物にまとめてみました。その一部を見てみましょう。

円覚寺を訪ねて



山門

円覚寺は，JRの北鎌倉駅から歩いてすぐの所にあります。1282年に，執権の北条時宗が，宋から無学祖元という禅宗の僧を招いて創建した寺で，鎌倉五山の一つとなっています。時宗の霊をまつってあるのが，仏日庵です。



仏日庵

列島探検



竹林寺（高知県高知市）

JRの高知駅から車で30分ほどの所に，真言宗（←p.44）の竹林寺があります。竹林寺は，聖武天皇が中国の五台山で文殊菩薩と会う夢を見て，「五台山に似た山を見つけよ。」と，僧の行基（←p.39）に命じたことから建てられたと伝えられています。文殊菩薩像が納められている本堂は，15世紀に建てられたもので，国の重要文化財に指定されています。現在でも，四国霊場八十八ヶ所第31番札所として，多くの巡礼者が訪れます。



ポイント　野外調査・聞き取り調査をしよう

地域調査のテーマと関わりのある遺跡や建物が身近にある場合には，実際に訪ねて調査をしてみましょう。伝統行事について調査する場合には，その行事に関わる人の話を聞いてみましょう。

地域調査の手引き②

◆**野外調査をするときは**
事前に，入ったり撮影したりしてもよい場所か確かめましょう。

◆**観察・記録をするときは**
現地の様子を写真やスケッチで記録しましょう。

◆**聞き取り調査をするときは**
許可を得てから，録音や撮影をさせてもらいましょう。

舎利殿





写真と文字を見やすく配置するのがポイントです。

舎利殿は，宋から３代将軍の源実朝に贈られた，仏舎利を安置する建物です。仏舎利とは，釈迦の骨を意味します。舎利殿は，禅宗様式の代表的な木造建築物で，国宝に指定されています。一般に公開されるのは，年に３回ほどです。

探検　～北から南から

神奈川県の藤沢市には，元使塚とよばれる墓があります。日本を従えようとした元の皇帝フビライ＝ハン(p.68→)が，国書を使者の杜世忠に持たせ，北条時宗に渡した時，怒った時宗はこの使者を切り殺してしまいました。元使塚は，杜世忠らを供養するためにつくられたものです。

また，長崎県の壱岐にある「千人塚」は，元軍が日本を襲った時に亡くなった，島の人々のために建てられた墓です。元軍とどのような戦いが行われたのか，次に学習していくことにしましょう。



元使塚



千人塚



ほかの地域にも，関係のある史跡が残されているかもしれないね。

2 ゆれ動く武家政治と社会



1 元軍と戦う御家人(『蒙古襲来絵詞』宮内庁三の丸尚蔵館蔵)
肥後(熊本県)の御家人の竹崎季長が，文永の役で元軍に立ち向かっている場面です。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 **13** 1300年 **14** 15 16 17 18 19 20 21

⑥ 海から押し寄せる元軍 ▶元寇と鎌倉幕府の滅亡

学習課題 元軍の襲来は，日本にどのような影響を与えたのでしょうか。



2 元寇防塁跡(福岡県福岡市)



3 元軍の進路 文永の役では約3万人の軍で，弘安の役では，南宋の兵も加えた約14万人の軍で攻めてきました。

元軍との戦い

13世紀の中ごろ，元の皇帝フビライ＝ハンは，高麗に続いて日本も従えようと，幕府にたびたび使者を送りました。しかし，執権の**北条時宗**を中心とする幕府が，これを拒否したことから，1274(文永11)年，元と高麗の連合軍は対馬・壱岐を襲ったのち，九州北部の博多湾に上陸しました[3]。応戦した九州の御家人たち[1]に対し，火器[4]を用いて集団で戦う元軍が優勢となりましたが，暴風雨にもあって退きました(**文永の役**)。幕府は，再度の侵攻に備え，御家人たちに命じて，博多湾の沿岸に石垣(防塁)[2]を築かせました。

南宋をほろぼした元は，1281(弘安4)年にも大軍で攻めてきましたが[3]，幕府軍の抵抗や防塁などにはばまれて上陸できず，暴風雨の打撃を受けて退きました(**弘安の役**)。この二度にわたる襲来(**元寇**)ののちも，元は日本への遠征を計画しましたが，中国南部やベトナムでの反抗もあり，実行されませんでした。

幕府政治のおとろえ

元軍の襲来ののち，幕府は防備を名目に，西国の御家人に対する権限や支配をいっそう強

←p.55
←p.67





4 元軍の武器「てつはう」(上)と，武具のかぶと(下)
(長崎県松浦市出土)
「てつはう」は，陶器に硫黄や鉄片をつめた火器です。これらは，元寇の戦場となった鷹島の沖合にある海底遺跡から発見されました。



読み解こう

❶元軍と御家人の武器は，それぞれなんだろう。戦い方には，どのような違いがあるだろう。
❷季長が戦いに参加したのは，なぜだろう。
❸季長がわざわざ鎌倉まで出かけていったのは，なぜだろう。季長は，どのような訴えをしたのか演じてみよう。
❹季長がこれらの絵を描かせたのは，なぜだろう。



5 幕府の役人に訴える御家人
(『蒙古襲来絵詞』宮内庁三の丸尚蔵館蔵) 季長が鎌倉を訪れ，恩賞を担当する安達泰盛に面会している場面です。

めました。奉公として元軍と戦い，費用を負担した御家人たちや，勝利を祈願した寺社は，恩賞を求めて幕府につめかけました[5]が，十分な土地は与えられませんでした。その一方で，北条氏の一族が幕府の政治を独占するようになったため，幕府に対する御家人たちの不満はますます高まっていきました。

このころ武士の家では，新たな領地を得ることができなくなり，領地を分散させないように，惣領が領地のすべてを一人で受け継ぐようになりました。それでも困窮した御家人のなかには，領地を売ったり質に入れたりして失う者があい次ぎました。そこで幕府は，**徳政令**を出して，御家人に領地をただで取りもどさせようとしましたが，かえって混乱を招きました。

こうして，幕府と御家人の関係がゆらぎ始め，さらには，各地で出没した悪党[1]とよばれる集団の取りしまりも十分に果たせず，幕府の力はしだいにおとろえていきました。

鎌倉幕府の滅亡

幕府に対して不満をもっていた**後醍醐天皇**[2]は，ゆらぎ始めた幕府を倒し，政治の実権を朝廷に取りもどそうと兵を起こしました。いったんは失敗し，天皇は隠岐に追放されましたが，楠木正成などの新興の武士たちや，有力な御家人の**足利尊氏**や新田義貞らを味方につけ，1333年，ついに鎌倉幕府をほろぼしました。

❶ 荘園に年貢を納めず，武装しておし入ったり反抗したりする者たちは，幕府や荘園領主から悪党とよばれました。農業や商業の発達により力をつけた，新興の武士や商人などで結成されていました。
❷ そのころ朝廷では，あとつぎをめぐって二つの勢力が対立していました。天皇をそれぞれから交互に即位させるという体制が，幕府のもとでつくられたことに後醍醐天皇は不満をもちました。

ふりかえる

ステップ 1 元寇ののち，幕府に対する御家人たちの不満が高まっていった理由を二つあげよう。

ステップ 2 幕府と御家人たちの関係から，幕府がおとろえていった原因を説明しよう。

このごろ都にはやるもの。夜討ち，強盗，にせ綸旨①。召人②，早馬③，虚騒動。生頸，還俗④，自由出家。にわか大名，迷い者。安堵⑤，恩賞，虚軍⑥。本領はなるる訴訟人。文書入れたる細つづら。追従⑦，ざん人⑧，禅律僧⑨。下克上する成出者⑩。…(略)

①いつわりの天皇の命令　②囚人　③急使の早馬　④僧から俗人にもどること　⑤所領の保証　⑥いくさ(戦い)もしないのに，手がらを立てたといつわること　⑦ごまをする者　⑧人に無実の罪を着せる者　⑨当時力をふるった，天皇側近の禅僧や律僧　⑩成り上がった者

声に出してよんでみよう。この歌には，世の中のどのような様子がよまれているのかな。



1 鴨川(京都)の河原に立てられた札
後醍醐天皇の新しい政治が始まったころ，だれが書いたのかわからない，長い歌がかかげられました。

重文



2 後醍醐天皇(清浄光寺蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 **14** 1400年 **15** 16 17 18 19 20 21

7 このごろ都にはやるもの ▶南北朝の内乱と室町幕府の成立

学習課題 鎌倉幕府がほろんだのち，どのような動きがあったのでしょうか。

建武の新政と南北朝の内乱

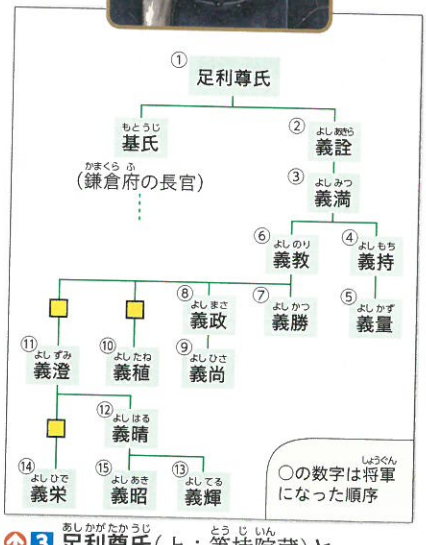
鎌倉幕府の滅亡後，後醍醐天皇[2]は，年号を建武と改め，新しい政治を始めました(**建武の新政**)。しかし，公家だけを重んじ，それまでのやり方をすべて変えてしまうような天皇中心の政治は，しだいに人々の不満を生むようになりました[1]。特に武士たちは，幕府との戦いの恩賞をあまりもらえなかった不公平感から反発を強め，武家政治の復活を望む気持ちを高めていきました。

これをみた足利尊氏[3]が，反後醍醐天皇の兵を起こして京都に新たな天皇を立てると，後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れ，二つの朝廷が並び立ちました。新政は2年あまりで終わり，その後60年近くの間，全国の武士たちは，京都の北朝と吉野の南朝の有利なほうにつき，領地をうばい合って戦いました。これを**南北朝の内乱**といい，この時代を南北朝時代ともいいます。

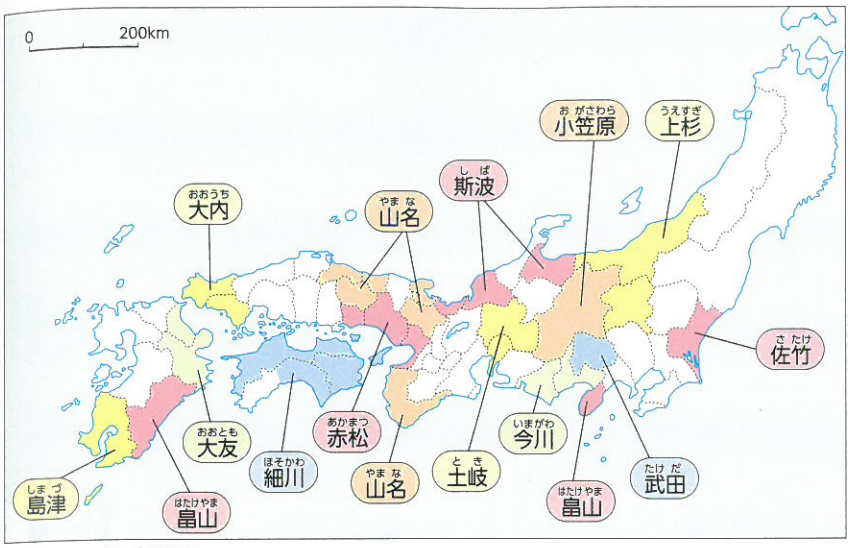
室町幕府の成立と守護大名

1338年，足利尊氏は，北朝から征夷大将軍←p.58に任命され，京都に幕府を開きました。内乱が続くなか，幕府は国ごとに任命した守護に対し，これまでの軍事・警察権だけでなく，荘園の年貢を半分得る権利なども認

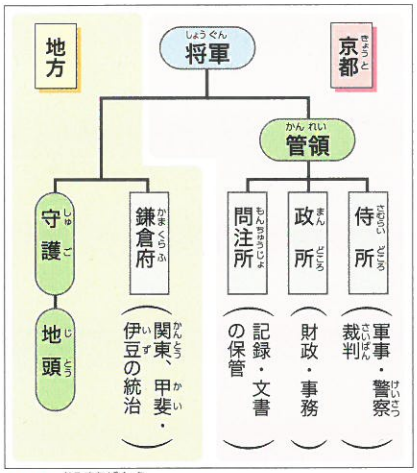




3 足利尊氏(上：等持院蔵)と，足利氏の系図



4 主な守護大名と，その領地(1360年ごろ)



5 室町幕府のしくみ
義満のころに整えられました。

めたことから，地方の守護がしだいに力を強めていきました。やがて守護は，国内の武士を家来として従え，国司に代わり，その国を自分の領地として支配するようになりました。このような守護を，**守護大名**[4]といいます。

尊氏の孫で，３代将軍となった**足利義満**[6]は，勢力のおとろえた南朝を北朝に合一させました。さらに，朝廷がもっていたさまざまな権限を吸収し，鎌倉時代から続く武家と公家の二つの政府が並び立つ状態から，幕府に政治の権限を集中させることに成功しました。義満は，京都の室町に御所[7]を建てて政治を行ったことから，足利氏[3]の開いた幕府を**室町幕府**[5]といい，幕府の続いた時代を室町時代といいます。

幕府では，**管領**とよばれる将軍の補佐役に，細川氏や畠山氏などの有力な守護大名が交替で就きました。将軍と守護大名は，ときには助け合い，ときには対立しながら幕府の政治を進めました。一方，関東には鎌倉府がおかれ，その長官を足利氏の一族が受け継いで[3]，関東を独自に支配するようになりました。

重文



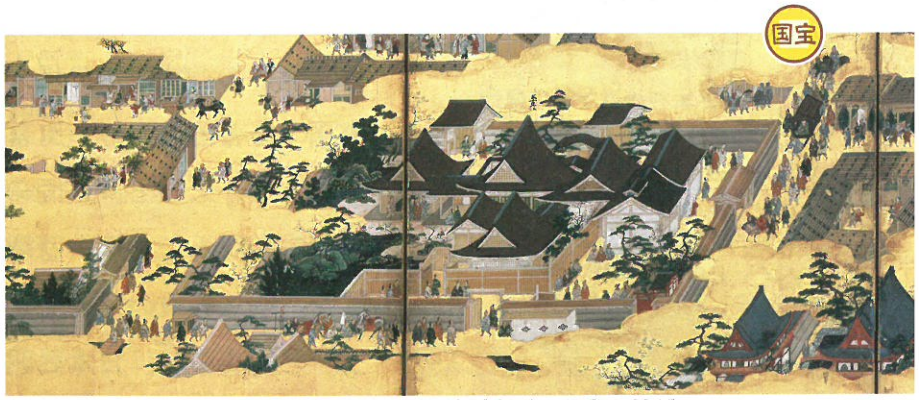
6 足利義満
(鹿苑寺蔵)
将軍の地位を子の義持にゆずったのちも，太政大臣として政治の実権を握り続けました。その後，出家して天皇の臣下の立場でなくなると，天皇や将軍にもしばられない権限を握って，武家や公家，僧侶に対して強い力をふるいました。

ふりかえる

ステップ 1 建武の新政が，２年あまりで終わった原因を確かめよう。

ステップ 2 室町幕府と鎌倉幕府のしくみを比べて，どのような共通点や違いがあるか説明しよう。

国宝



7 室町時代の将軍の邸宅(御所)(『洛中洛外図屏風』米沢市上杉博物館蔵)



1 倭寇と明軍との戦い(『倭寇図巻』東京大学史料編纂所蔵)
古くから九州北部や瀬戸内海の沿岸に住み，交易で暮らす人々のなかから，武装して海賊をはたらく者が現れました。朝鮮半島や中国の人々は，彼らを倭寇とよんで恐れました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 **14** 1400年 **15** 16 17 18 19 20 21

8 行き交う海賊船と貿易船 ▶東アジア世界の交流

学習課題 室町時代のころ，日本は東アジアとどのような交流をしていたのでしょうか。

倭寇の出現

14世紀に入り，日本や元・高麗の国内が乱れると，**倭寇**[1]の活動が活発になりました。倭寇は，松浦や対馬・壱岐(長崎県)などを根拠地にして，朝鮮半島や中国の沿岸を襲い，食料をうばったり，人をさらったりしました[1][5]。このころの倭寇は，日本人が中心でしたが，中国や朝鮮半島の人々も加わっていました[1]。彼らは独特の服装をし，独特の言葉を話したという記録も残されています。

明の成立

中国では，14世紀の後半に漢民族の国である**明**がおこり，元を北に追いやりました。明は，北方の遊牧民族の侵入に苦しめられたため，万里の長城を整備するとともに，室町幕府に対しては倭寇の取りしまりを求めました。そして，民間の海外貿易を禁じ，朝貢をしてきた国と国交を結んで，国の管理のもとに貿易を許可するようにしました。明に朝貢の使節を送った足利義満は，皇帝から「日本国王」と認められ[2]，日本と明の国交が開かれました[4]。

←p.23
←p.27

明では，絹織物・綿布・陶磁器・茶などの生産が発展し，海

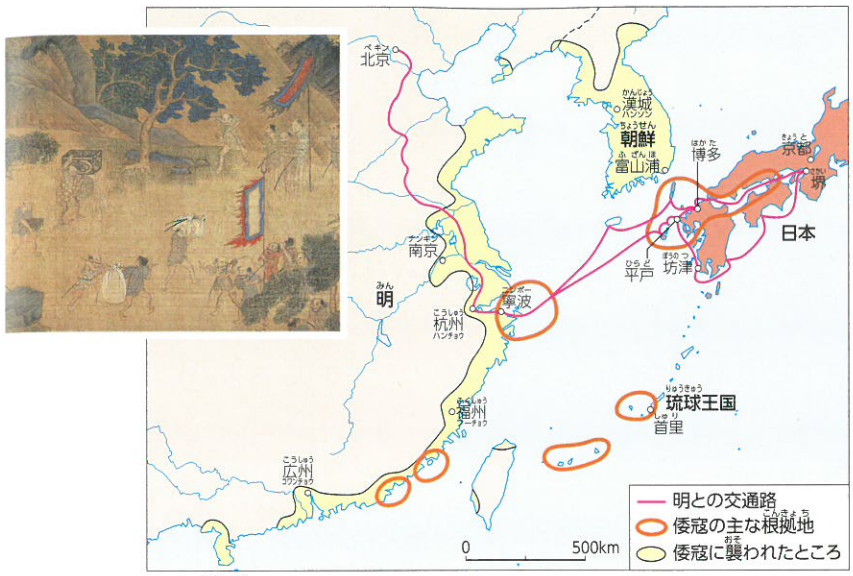
[1] 倭寇は，15世紀になると一時おとろえましたが，16世紀に再び活発になりました。このころの倭寇は，中国の人々が中心でした。



2 足利義満が明の皇帝から与えられた印
(毛利博物館蔵)



3 明銭(永楽通宝／実物大)



4 室町時代の海上交通と，5 倭寇の活動（部分：『倭寇図巻』）

外へも盛んに輸出されました。また，儒学のなかでも実践を重んじる陽明学が生まれ，日本にも伝えられました。

朝鮮の成立

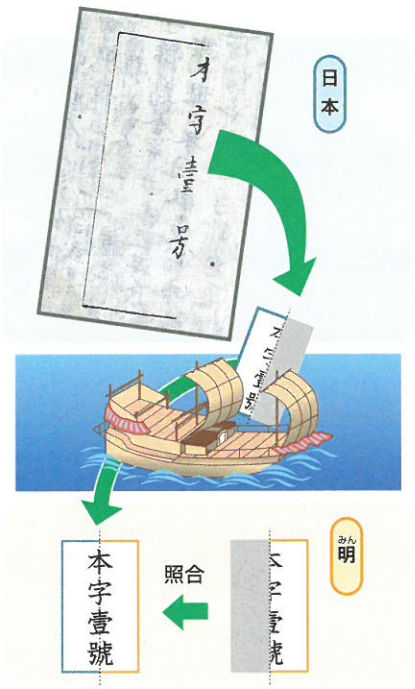
朝鮮半島では，14世紀の末にp.119➡李成桂が高麗を倒し，**朝鮮**という国を建てました。倭寇の被害が大きかった朝鮮は，その取りしまりを幕府や西日本の守護大名に求める一方，略奪を行わない者には貿易を許可するなどの対策を取りました。❷そして，明に朝貢するとともに，日本とは対等な国交を結んで，貿易を始めました。

朝鮮では，独自の文字（ハングル）[7]がつくられたほか，朱子学が発達し，後に日本の儒学に大きな影響を与えました。

明や朝鮮との貿易

明は，正式な貿易船の証明として，p.112➡勘合[6]という合札を日本の船に与えて貿易を行いました。この貿易を**勘合貿易**[6]ともいいます。日本は，明から銅銭（明銭）[3]・生糸・水墨画p.81➡などを輸入し，明へ銅・硫黄・刀剣などを輸出しましたが，後に銀の輸出が増加しました。❸また，朝鮮との貿易では，日本は綿布などを輸入し❹，銅などを輸出しました。

明や朝鮮との貿易により，幕府だけではなく，西日本の守護大名や商人も大きな利益を得ました。朝鮮との貿易では，対馬の島主である宗氏が，朝鮮の政府から特別な地位を与えられ，貿易を独占するようになりました。

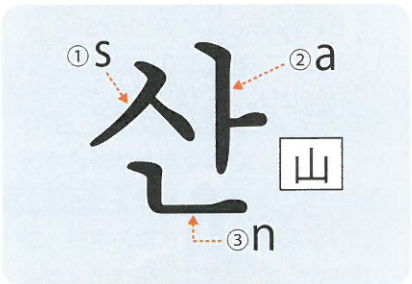


6 勘合（上：天竜寺妙智院蔵）**と，勘合貿易のしくみ**

❷ 朝鮮半島南部の港に住むことを許された日本人もいました。

❸ 明では税を銀で納めるようになり，銀の需要が増えました。

❹ このころ，日本では綿花栽培は広まっておらず，綿布は貴重な輸入品でした。



7 ハングル　母音を表す部分（②）と，子音を表す部分（①・③）を組み合わせて，一つの文字をつくります。

ふりかえる

ステップ 1 日本が，明や朝鮮との貿易で，輸出したり輸入したりした品物をそれぞれあげよう。

ステップ 2 「日本，明・朝鮮，倭寇」の関係を，図に表して説明しよう。







1 首里城(沖縄県那覇市)
首里城は，約450年にわたる琉球王国の王宮でした。沖縄戦(p.228→)で焼失したため，1992年に復元されています。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 **14** (1400年) **15** 16 17 18 19 20 21

9 北と南で開かれた交易 ▶ 琉球王国とアイヌ民族

学習課題 中世の琉球や蝦夷地では，どのような動きがあったのでしょうか。

琉球王国の成立

琉球(沖縄県)では，按司とよばれる支配者たちが，各地にグスク(城)を築いて勢力を争っていました。14世紀には，互いに連合して山北(北山)・中山・山南(南山)の三つの王国が並び立ち，中国で明が成立すると，それぞれ明に朝貢しました。そして15世紀の初め，中山王の尚巴志が，三つの王国を統一して**琉球王国**を築き，首里[1]を都として独自の文化を発展させました。

琉球王国は，東アジアと東南アジアの国々を結ぶ中継貿易で活躍し，那覇の港は国際貿易港として栄えました[2]。琉球の人々は，季節風を利用して大きな船を乗りこなし，中国の陶磁器や日本の刀剣などを東南アジアに運んだり，こしょうや染料などの南方の珍しい産物を東アジアに運んだりしました[3]。

蝦夷地とアイヌ民族

蝦夷地(北海道)では，**アイヌ民族**が先住民族として住み[1]，古くから狩猟や漁，交易を行っていました。アイヌの人たちは，蝦夷地を「アイヌ・モシリ(アイヌ［人間］の静かなる土地)」とよび，しだいに地域ごとにまとまりを強めました。なかには樺太(サハリン)に渡り，大陸

琉球国は南海の勝地にして，…(略)…湧出する蓬莱島なり。舟楫を以て万国の津梁となし，異産至宝は十方刹に充満せり。…(以下，略)



2 万国津梁の鐘 15世紀の中ごろにつくられ，首里城正殿にかかげてあったと伝えられています。津梁とは，かけ橋という意味です。



3 15世紀ごろの琉球王国やアイヌ民族の交易ルートと，4 十三湊(青森県)



5 志苔館跡(北海道函館市)と，出土した銅銭　館の一つである志苔館跡の付近からは，中国の銅銭や磁器，越前(福井県)でつくられた甕などが発掘され，交易の広がりがうかがえます。

に住む人々と交易をしたり，3 元軍と戦ったりする人たちも出てきました。また，明には朝貢して毛皮などを納めました。 ←p.68

14世紀になると，本州から進出した和人が，渡島半島の沿岸に5 館とよばれる根拠地を幾つも築いて，アイヌの人たちと交易を行いました。しかし，アイヌの人たちの生活はしだいに圧迫されるようになり，和人との争いがしばしば起こりました。15世紀の中ごろ，アイヌの人たちはコシャマインを指導者として立ち上がり，和人の館に大きな打撃を与えました。

また，津軽半島(青森県)の十三湊を4 中心に活動した安藤(安東)氏が，アイヌ民族との交易で勢力を伸ばしました。十三湊は，北方の海上交通の中心地となり，蝦夷地の鮭やこんぶ，東北地方の米などが，遠く京都まで運ばれました。

1 津軽半島や下北半島をはじめ，東北地方の北部に居住するアイヌ民族もいました。

ふりかえる

ステップ 1 琉球王国やアイヌの人たちが，それぞれ交易していた地域や相手を確かめよう。

ステップ 2 琉球王国と十三湊を中心に，日本の南方や北方で行われていた交易の関係を，図に表して説明しよう。

歴史の窓　オホーツク文化と擦文文化

5世紀ごろから9世紀にかけて，樺太(サハリン)から根室半島，千島列島にかけてのオホーツク海沿岸の地域に，オホーツク文化が栄えました。この地域の人々は，漁や，クジラなどの狩猟を営み，ブタを飼って食用にするなど，独自の暮らしをしていました。中国大陸との間では，ラッコの毛皮などの交易も行っていました。また，同じころ，北海道から東北地方の北部にかけて，木片でこすったあとの文様のついた土器を使用する擦文文化が形づくられました。これらの文化は，13世紀ごろまでには，アイヌ文化へと発展していきました。



クジラの牙でつくられたクマの像(網走市立郷土博物館蔵)



どんなことをしている人がいるかな。62ページの田植えの様子とも比べてみよう。



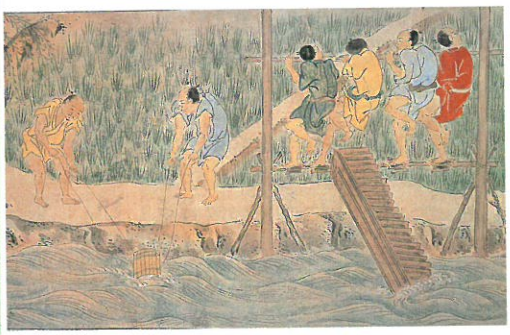
重文

1 室町時代のころの田植えの様子(『月次風俗図屏風』東京国立博物館蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 1400年 15 1500年 16 17 18 19 20 21

10 団結する村，にぎわう町 ▶産業の発達と民衆の成長

学習課題 室町時代の村や町の人々は，どのようにして自分たちのまとまりをつくっていったのでしょうか。



2 水のくみ上げ作業(『たはらかさね耕作絵巻』東京大学史料編纂所蔵)
投げつるべ(左)や，中国から伝わった足ぶみ式の水車(右)を使っています。

重文



3 関所を通る馬借(『石山寺縁起絵巻』石山寺蔵) 幕府や寺社などは，交通の要所に関所を設け，通行税を取るようになりました。

産業や流通の発達

室町時代になると，農業では二毛作や牛馬耕，肥料の使用がさらに広まり，かんがいの技術[2]も進んで収穫が増えました。茶・藍・麻・桑などの栽培や，養蚕も盛んになり，16世紀には，朝鮮から伝わった綿の栽培が広まりました。それとともに手工業も発達し，京都の絹織物をはじめ，紙・陶器・酒・油などの特産物が各地に生まれました。また，刀や農具をつくる鍛冶・鋳物業，その原料となる鉄や，輸出用の銅などを掘る鉱山業も盛んになりました。

←p.62
←p.14

一方，こうした産物を運ぶ海上交通も発達し，各地に港町ができました。陸上交通では馬借[3]とよばれる運送業者が活躍したほか，市の開かれる場所や回数が増えて，常設の市も現れました[1]。中世の日本では正式な貨幣がつくられず，取り引きには輸入された大量の宋銭や明銭が使われました。

←p.62, 65

村の自治

荘園に住む人々の結びつきは，鎌倉時代よりいっそう強まりました。用水の確保や管理，野山への立ち入りなどをめぐる対立から，村どうしで取り決めを結ぶ必要も生じてきました。こうしたなか，特に近畿地方では，有力な農民や年長者を中心に，自治的な組織が村ごとにつ

←p.54, 72



4 のこぎりを引く大工
（『三十二番職人歌合絵巻』サントリー美術館蔵）



6 行商する大原女
（『職人尽歌合［模本］』東京国立博物館蔵）
京都の大原に住む女性は，炭や薪を頭の上に載せて売り歩きました。

重文

5 木の桶をつくる職人（『職人尽絵』喜多院蔵）　じょうぶで水もれしない木の桶や樽は，酒やしょう油などの輸送に適していたため，生産量が大きく増えました。



くられ，さらに，幾つかの村が荘園の境を越えて連合することもありました。このような村の自治組織は惣とよばれ，寺や神社で寄合を開いて，生活のきまりをつくったり，ほかの村との交渉を進めたりしました。また，荘園領主に年貢をまとめて納めることや，罪を犯した者を独自に処罰することもありました。そのほかの地方の村でも，共同で祭りを行い，戦乱に対して自ら村を守るなど，団結するすがたがみられるようになりました[1]。

町の自治

幕府のおかれた京都では，武士とともに，多くの商人[6]や職人[4][5]が活動していました。なかでも，土倉とよばれる質屋や酒屋が金貸しを営んで栄え，室町幕府は，彼らに税を課すことで大きな収入を得ていました。また，商人や手工業者らは，同業者ごとに座[2]とよばれる組合をつくり，公家や寺社に銭などを納めるかわりに保護を受けて，商品の製造や販売を独占する権利を確保しました。

産業や流通の発達とともに，地方の都市も栄え，新たな町が生まれました。特に堺（大阪府）や博多（福岡県）は，国内だけでなく明との貿易で繁栄しました。また，大きな寺社の門前町としてにぎわい，都市に発展したところもあります。室町時代の後半には，堺や京都のように，町衆[7]とよばれる有力な商工業者を中心に自治組織をつくり，大名に対抗する都市も現れました。

国宝



7 室町時代の祇園祭（『洛中洛外図屏風』米沢市上杉博物館蔵）　平安時代に始まる京都の祇園祭は，応仁の乱（p.78→）で中断しましたが，町衆の祭りとして復興され，現在も守り伝えられています。

1 四日市（三重県），八日市場（千葉県），十日町（新潟県）などの市にまつわる地名が，現在も残されています。

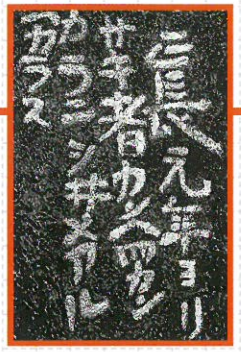
2 油座・材木座・魚座・紙座などがあり，地名としても残されています。

ふりかえる

ステップ 1　惣や町衆は，どのような役割を果たしたか確かめよう。

ステップ 2　室町時代に，自治の動きが現れてきた背景について説明しよう。





正長元年ヨリサキ者（前）カンヘ四カンカウニ（神戸 四か郷）ヲヰメアルヘカラス（負い目）（べ）（ず）

読み解こう

❶碑文を声に出して読んでみよう。
❷「負い目」とは借金のことです。この文の意味を，現在の言葉で言い表してみよう。
❸この文を石に刻んだのは，どのような人々だろう。また，それはなぜだろう。



❶1 石に刻まれた正長の土一揆の碑文（奈良県奈良市）

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 **15** 1500年 **16** 17 18 19 20 21

⑪ 下剋上の世へ ▶ 応仁の乱と戦国大名の出現

学習課題 人々が力をつけるなかで，社会はどのように変わっていったのでしょうか。

❶ ある目的のために，神や仏に誓い合って団結して行動することを一揆といい，農民（土民）の一揆という意味で，このようによばれました。

土一揆

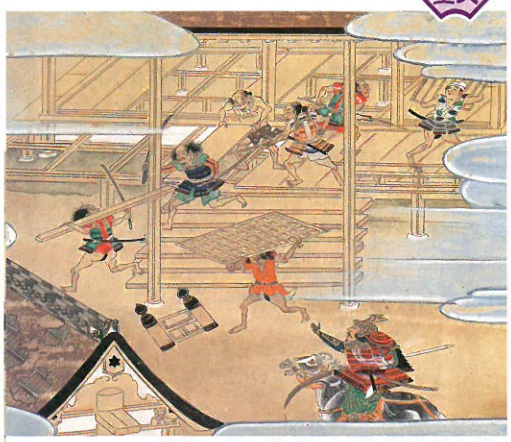
1428（正長元）年，初めて**土一揆**[1]が起こりました。この年は，不作で飢饉がひどく，将軍や天皇も替わりました。農民たちは，「徳政」と言って土倉・酒屋や寺院などを襲い，借金の証文や品物をうばいました。この動きは，すぐに近畿地方周辺に広がり，その後も繰り返し起こりました。幕府も，土一揆の要求におされて，土地の返却や借金の帳消しを認める徳政令をたびたび出すようになりました。←p.62 ←p.69

応仁の乱と下剋上

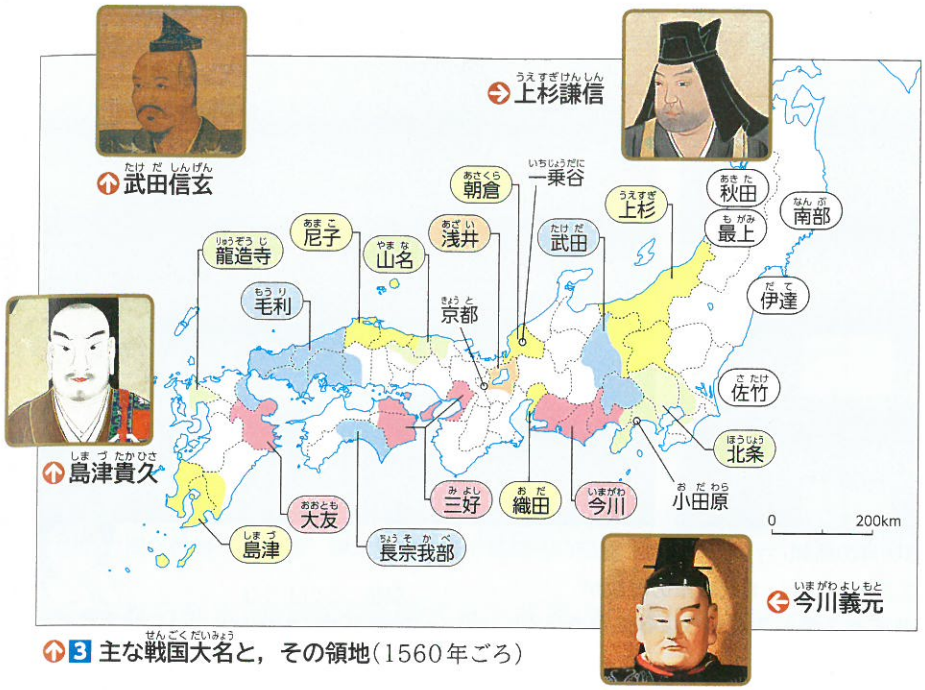
飢饉と土一揆がたび重なるなか，幕府内でも，将軍や有力な守護大名らの間で争いが続いていました。そして，守護大名の山名氏と細川氏の争いに，将軍家や管領家の相続争いが結びつき，1467（応仁元）年，京都で**応仁の乱**[2]が始まりました。この戦乱は，有力な武家を二分して10年あまりも続き，都は焼け野原となりました。幕府の力がおとろえるなか，地方の武士や民衆が力を伸ばしていきました。

1485年に起こった山城（京都府）の国一揆では，武士や村人たちが団結して守護大名を追い出し，その後8年近く自治を行いました。同じころ，浄土真宗（一向宗）←p.62が盛んだった加賀（石

重文



❷2 応仁の乱と足軽（『真如堂縁起絵巻』真正極楽寺蔵） 身軽な姿で，集団戦法に適した足軽が活躍しました。一方で，足軽は，放火や盗みなどの悪事をはたらくこともありました。



3 主な戦国大名と，その領地（1560年ごろ）



4 一向一揆の旗（長善寺蔵）
「進者往生極楽，退者無間地獄」と書かれています。どのような意味でしょうか。

川県）では，信者たちが団結して**一向一揆**[4]を起こし，守護大名らを倒したのちに，100年近くも自治を続けました。このように下位の者が上位の者に実力で打ち勝ち，地位をうばう風潮は**下剋上**とよばれ，社会全体に広がっていきました。

p.83➡

戦国大名の支配

16世紀になると，将軍の支配は京都周辺に限られ，地方では，守護大名やその家臣などのなかから実力で頭角を現した**戦国大名**[3]が，一国から数か国を統一して支配するようになりました。戦国大名は，周りの大名との戦いに常に備えるため，領国の武士たちを家臣に組織して，強力な軍団をつくりました[2]。また，大規模な治水やかんがいの工事を行って農業を盛んにし，鉱山の開発にも力を注いで領国を富ませていきました。室町時代の後半，戦国大名たちが戦いを繰り広げた約100年間を，特に**戦国時代**といいます。

p.83➡

領国の統一した支配を強めるために，**分国法**とよばれる法律を独自につくる戦国大名もいました[5]。分国法には，下剋上を防ぎ，家臣たちを取りしまるためのきまりが定められていました。

さらに戦国大名は，自らの居所として防備の固い城を築き，家臣や商工業者をよび集めて**城下町**をつくりました。交通路も整備され，城下町は軍事や経済の中心として栄えました[3]。

甲州法度之次第
（一部の要約）

一．けんかをした者は，どのような理由があろうと処罰する。
一．主君から御恩として与えられた領地は，理由もなく売ることを禁止する。
一．許可を得ないで，他国へ贈り物や手紙を送ることは，すべて禁止する。

5 武田信玄の分国法

2 検地を行って家臣の領地を調査し，その広さなどに応じて兵を出させる，軍役を課しました。

3 朝倉氏の一乗谷（福井県）や，北条氏の小田原（神奈川県）などが知られています。

ふりかえる

ステップ1 土一揆を起こした人々は，何を要求したのか確かめよう。

ステップ2 戦国大名が台頭してきた背景について，「応仁の乱，地方，下剋上」の用語を使って説明しよう。





1 鹿苑寺の金閣(左　復元)と，**2 慈照寺の銀閣**(右)
3代将軍の足利義満が京都の北山の別荘に金閣を，8代将軍の義政が東山の別荘に銀閣を建てました。それぞれ3層・2層からなる建物で，層ごとに異なる建築様式を取り入れたつくりになっています。



12 今につながる文化の芽生え ▶室町文化とその広まり

学習課題　室町時代には，どのような文化が生まれたのでしょうか。

とけ合う文化

室町時代には，将軍や主な守護大名は京都に住み，公家の文化に親しむようになりました。義満が晩年に建てた金閣[1]には，公家と武家の文化がとけ合うという，室町文化の特徴がよく表されています。

義満の保護を受け，観阿弥と世阿弥によって大成された**能**(能楽)[3]は，平安時代から民衆の間で行われていた田楽・猿楽[1]などの芸能をもとにしています。能の合間に演じられた**狂言**は，当時の話し言葉を使った喜劇として，民衆の生活の様子をよく伝えています。また，和歌の上の句と下の句を別々の人がよみつないでいく**連歌**[2]は，地方を旅した連歌師によって広められ，寄合など集団の結びつきを強めるのに役立ちました。

←巻頭[2]

禅宗と文化

←p.77

鎌倉幕府と同じように，室町幕府も禅宗を保護し，京都には大きな禅宗の寺が建てられました。禅僧は，幕府の使者として中国・朝鮮に派遣されるなど，政治や外交で重要な役割を果たしました。

←p.63

禅宗が文化に与えた影響も大きく，**足利義政**が建てた銀閣[2]な

1 田植えや神社の祭りなどで演じられた芸能で，田楽は歌や踊り，猿楽はこっけいな劇のことです。
2 応仁の乱ののち，公家や僧のなかには，戦国大名に招かれて地方に下る者も現れ，都の文化が地方の城下町などに広まりました。



3 能を楽しむ人々(『洛中洛外図屏風』国立歴史民俗博物館蔵)



4 銀閣と同じ敷地内にある，東求堂同仁斎の書院造の部屋





5 雪舟と，水墨画
（『秋冬山水図』東京国立博物館蔵）
中国の明に渡って技法を学び，帰国後に日本の水墨画を完成させました。

どにみられる禅宗の寺の建築様式を，武家の住居に取り入れ，畳を敷いて床の間を設けた**書院造**も生まれました。また，禅僧が中国からもたらした，墨一色で自然を描く**水墨画**が盛んになり，禅僧の**雪舟**は数々の名作を残しました。鎌倉時代に栄西が伝えた茶を飲む習慣は，このころに茶の湯として流行しました。

←p.63

民衆に広まる文化

鎌倉時代におこった新しい仏教のうち，浄土真宗は，蓮如の布教により北陸地方などで急速に信者を増やし，日蓮宗は，京都や堺の町衆の間で信仰が広まりました。また，民衆の間では，節分・七夕などの行事や，盆踊りが行われるようになりました。今に伝わる「浦島太郎」や「ものぐさ太郎」などの**お伽草子**は，おとぎ話に絵をそえた物語としてこのころに生まれ，人々に楽しまれました。

3 床の間に飾られた立花は，現在の生け花につながっています。

4 禅宗の寺では，とうふ・まんじゅうなども食べられるようになりました。

ふりかえる

ステップ 1 室町文化のなかから，現代に伝わるものをあげよう。

ステップ 2 室町時代には，どのような特色をもつ文化が生まれたか説明しよう。

歴史の窓　庭園づくりに活躍した人々

室町時代，庭園づくりや革細工などにたずさわった河原者とよばれる人々は，生活のうえで差別を受けていました。平安時代以来，特に都に住む貴族の間で，死・お産・病・犯罪などを「けがれ」としておそれる考えが強まったことを背景に，こうした「けがれ」を清める力や，庭園づくりのように大地にはたらきかける力をもつとされた人々も，異なる存在として差別されるようになったのです。

しかし，河原者とよばれた人々のなかからは，銀閣の庭園づくりに影響を与えた善阿弥など，優れた文化の担い手も現れました。京都の龍安寺には，石と白い砂で山や水を表現する，枯山水とよばれる方法でつくられた石庭があります。この石庭にも，こうした人々の優れた技術が生かされています。



枯山水の石庭（龍安寺）

働く女性や子どもたち

中世の社会では，人々は年齢によって，「童(子ども)，大人，翁・媼(男性・女性のお年寄り)」というように分けられていました。大人の男性とともに，女性や子どもも社会に欠かせない働き手でした。どのような仕事で活躍していたのか探ってみましょう。



↑**建築現場で働く子ども**(『春日権現験記絵』宮内庁三の丸尚蔵館蔵)



上の絵には，烏帽子をかぶった大人の男性が，大工の仕事をしている様子や，子どもたちが，水もりや墨つけの手伝いなどの補助的な仕事をしている姿が描かれています。子どもたちは，まだ大人ではないため，烏帽子をかぶっていません。

子どもたちは，7歳ぐらいから大人に交じって働き始め，仕事を覚えて，一人前に育っていきました。男の子は，牛・馬の世話や，それらで物を運ぶことなどが，女の子は，井戸や川の水くみ，子守などが主な仕事でした。

大人の女性は，炊事や洗濯，機織などを行ったほか，田に出て働いていました。

また，商業が発達し，各地に市が開かれるようになると，商いの仕事で活躍する姿も見られるようになりました。





←↑**機を織る女性**(左)**と，米を売る女性**(上)
(『七十一番職人歌合［模本］』東京国立博物館蔵)

地域から歴史を探ろう ②

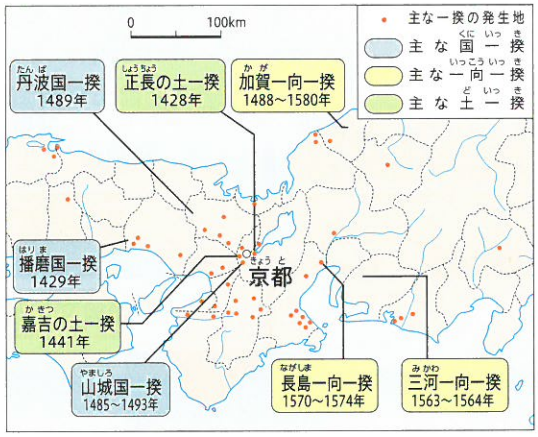
戦乱の世の自治と領国経営

戦争や飢饉が続いた戦国時代に生きた民衆は，平和な生活や自治を求めてどのような動きを起こしたのでしょうか。また，戦国大名は，どのように領国を治めたのでしょうか。加賀(石川県)の一向一揆と小田原(神奈川県)の北条氏の例をもとに探ってみましょう。

百姓の持ちたる国

鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗(一向宗)では，室町時代に蓮如が現れ，京都の山科本願寺を中心に教えを広めました。阿弥陀仏を信じれば，武士・職人・商人・農民・漁民などの区別なく，みな極楽に往生できると説きました。そして，村ごとに道場を開き，講という組織をつくって団結し，各地で守護や荘園領主と対立するようになりました。

戦国時代には，近畿・東海・北陸の各地方で，一向宗の信者である武士や農民たちが一揆を起こしました。加賀では，信者の武士や農民たちが武装して立ち上がり，1488年に守護の富樫氏を攻めてほろぼしました。これ以後，加賀では約100年にわたって本願寺の僧侶と国人(有力な武士)・農民による自治が行われ，加賀は「百姓(p.100→)の持ちたる国」とよばれました。



主な一揆の発生地

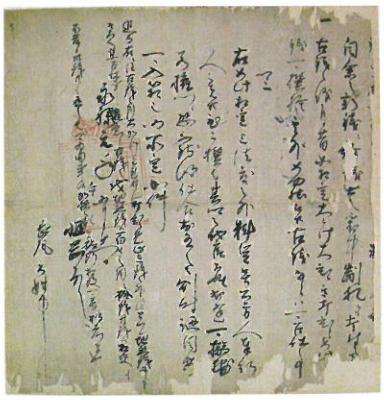
村に出された「虎の印判状」

戦国時代は，戦国大名の間で戦いが続いただけではありません。大名の家臣どうしの戦いや，村と村の争いも絶えませんでした。戦国大名は，戦乱の世を生きぬくために，分国法などで家臣の戦いを禁じ，大名自らが争いを裁くことで，家臣の団結を守ろうとしました。また，年貢などのさまざまな税を負担させている村の生活が，安定するように力を注ぎました。

北条氏康は，「虎の印判」を押した文書(印判状)を村々に送っています。そこには，北条氏の命令は虎の印判状で村に直接伝えること，村への税負担を明記するので，家臣による不当な課税や支配があれば北条氏に直接訴えてよいこと，などが書かれていました。

氏康は，訴えを受けつけるため，小田原城をはじめ領国各地の城に，村からの訴え状(目安)を投函する「目安箱」を設置しました。税を取り立てる武士と村との紛争をなくそうとしたからです。また，農業用水や野山の利用をめぐる村どうしの争いについても，村が刀や槍などの武力を用いることを禁じ，「目安箱」を利用して北条氏の裁判で解決するよう求めました。

「虎の印判」には，虎の図柄の下に，「禄寿応穏」の文字が刻まれています。「人々の禄(財産)と寿(生命)が応に穏やかであるように」という意味で，領国内の村に平和と生活の安定を保障するという北条氏の意志が読み取れます。大日川(現在の江戸川)の堤防工事を流域外の村々も動員して実施するなど，大規模な治水工事に取り組んだのもその表れでした。

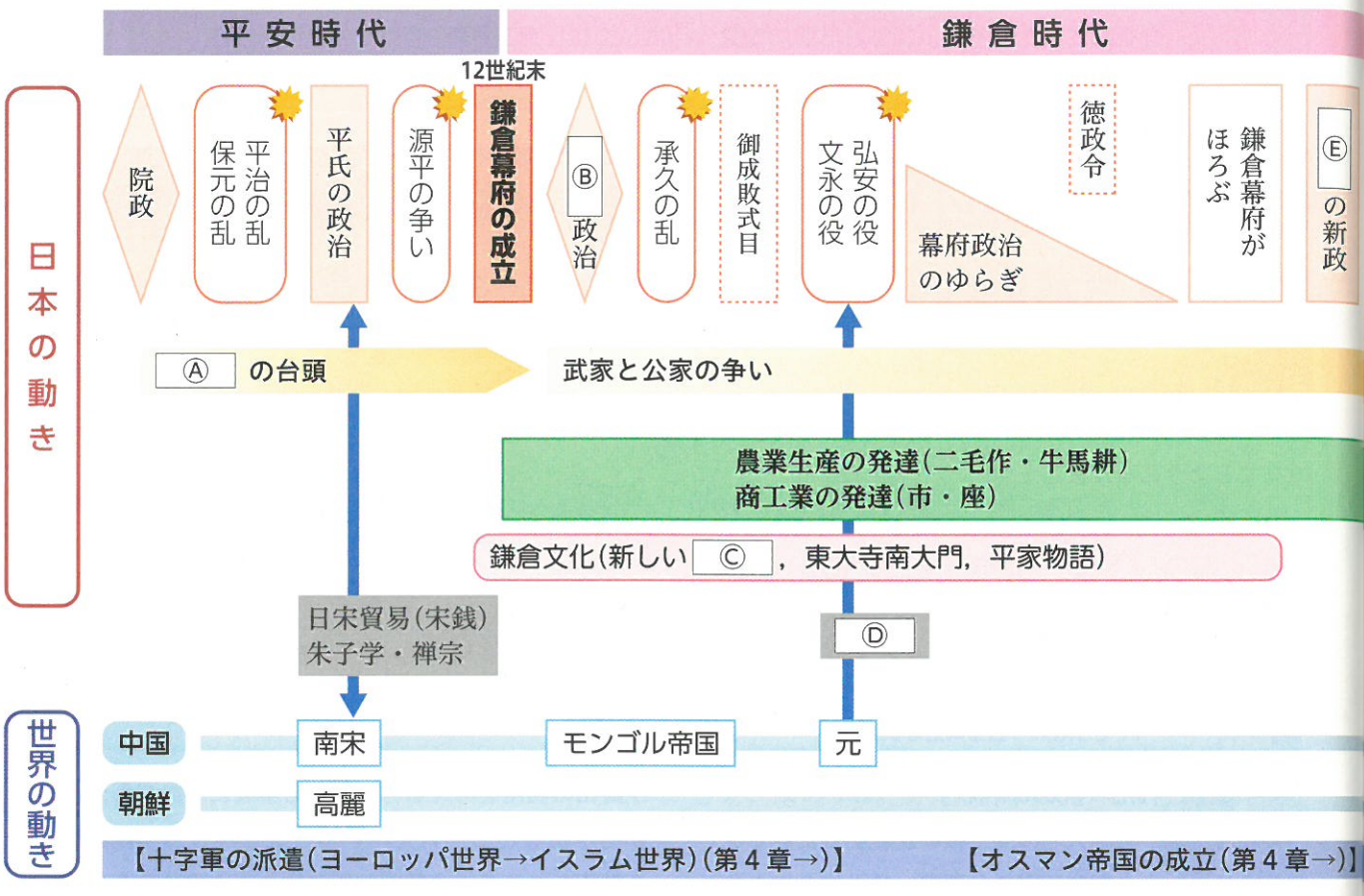


北条氏の印判状
(川崎市市民ミュージアム蔵)

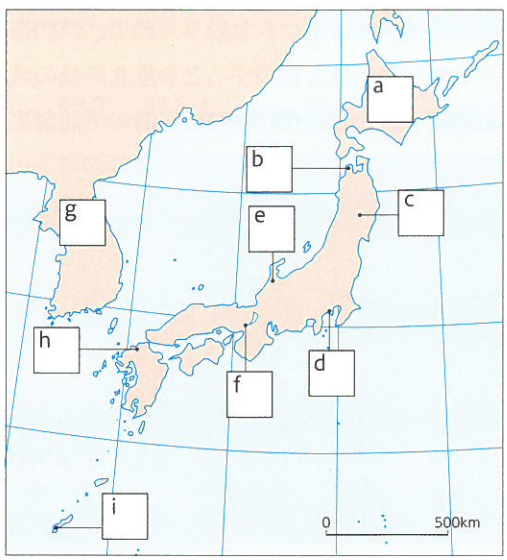
学習のまとめと表現　～第３章　中世の日本と世界～

中世の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の［Ⓐ］～［Ⓙ］にあてはまる語句を書き出そう。



中世の舞台（ぶたい）を地図で確かめよう。

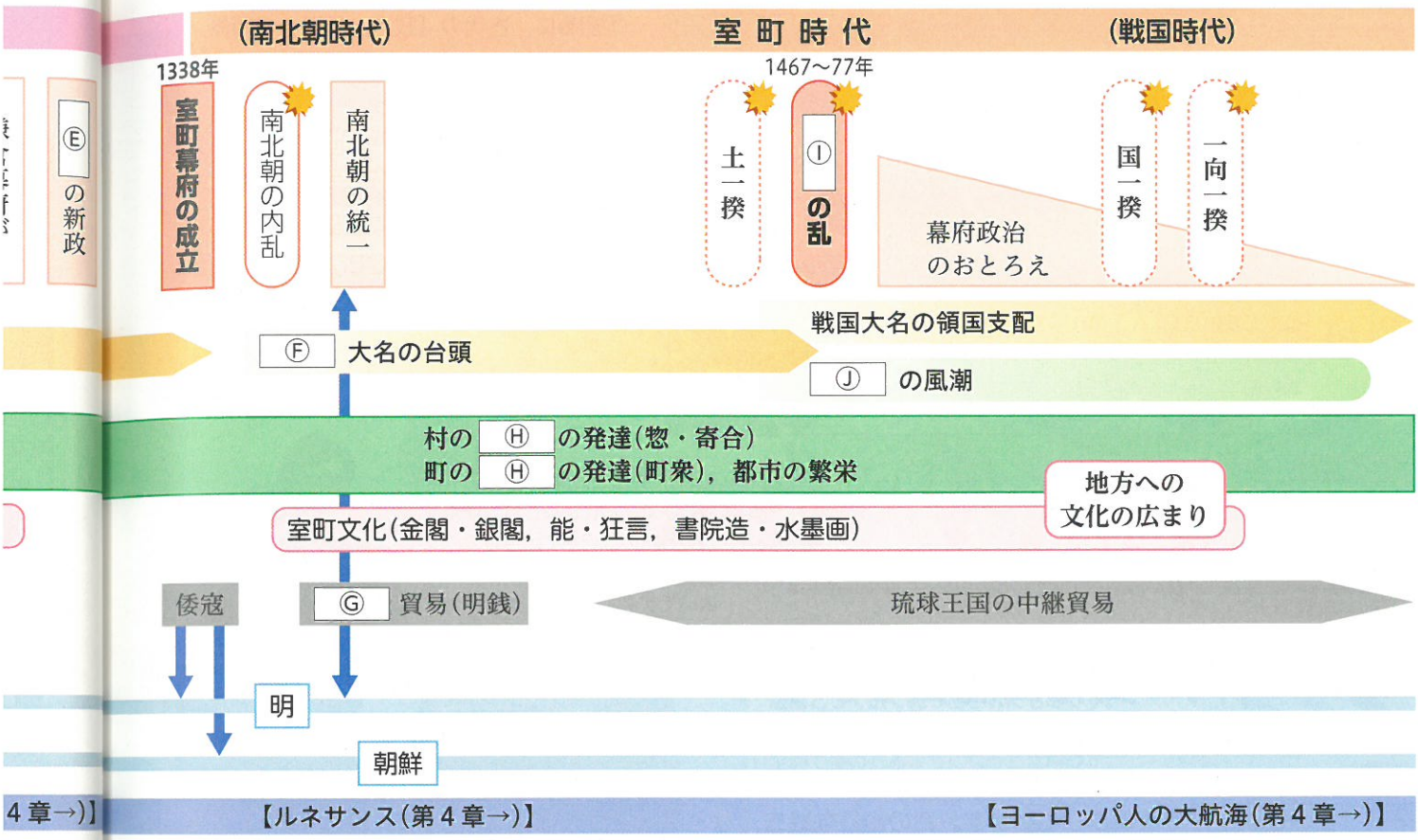


3 左の地図中に，次の場所を番号で記入しよう。

①高麗（こうらい）…新羅（しらぎ）をほろぼして朝鮮（ちょうせん）を統一した。（←p.55）
②平泉（ひらいずみ）…奥州藤原氏（おうしゅうふじわらし）（シルク ロード）が栄えた。（←p.57）
③鎌倉（かまくら）…源頼朝が幕府（ばくふ）を開いた。（←p.58）
④京都（きょうと）…足利氏が室町（むろまち）幕府を開き，政治を行った。（←p.71）
⑤首里城（しゅりじょう）…尚巴志（しょうはし）が統一した琉球王国（りゅうきゅうおうこく）の王宮（おうきゅう）。（←p.74）
⑥蝦夷地（えぞち）…アイヌ民族が暮らしていた。（←p.74）
⑦十三湊（とさみなと）…北方の海上交通の中心地。（←p.75）
⑧博多（はかた）…明（みん）との貿易で栄えた港町。（←p.77）
⑨加賀（かが）…浄土真宗（じょうどしんしゅう）の信者たちが，一向一揆（いっこういっき）ののち100年近く自治（じち）を続けた。（←p.79）

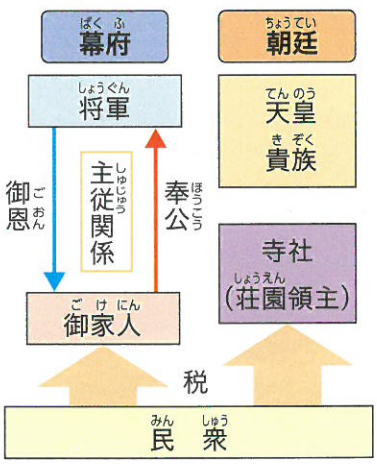
2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

平清盛	源頼朝	北条政子	栄西	親鸞	フビライ＝ハン
後醍醐天皇	足利義満	武田信玄	雪舟		



中世のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 下の図を使って，源頼朝がつくり上げた封建制度のしくみについて説明しよう。





5 鎌倉時代と室町時代のできごとや様子を表す資料を，教科書からそれぞれ一つずつ選んで，二つの時代の共通点と違いについて説明しよう。





中世の時代の特色を考えよう！

なおきさんの班では，中世の特色について，古代からどのような変化が生まれたのかを表にまとめながら考えてみることにしました。

	古　代(例)	中　世
政治では	中央集権的な国家のしくみが整い，天皇や貴族中心の政治が行われました。	
外国との関係では	渡来人や遣唐使を通じて，大陸からさまざまな文物や技術が伝えられました。	
文化では	国際色豊かな文化を吸収した人々は，しだいに日本独自の文化を生み出しました。仏教は，天皇や貴族の間で，盛んに信仰されました。	

①初めに，古代の「政治，外国との関係，文化」には，それぞれどのような特色があったかを確かめよう。
②班内で分担しながら，中世の「政治，外国との関係，文化」の特色について，キーワードを使って表に整理しよう。
③つくった表をもとに班で話し合い，中世の特色を，「○○の時代」のようなキャッチフレーズで表現しよう。

キーワード
- ●武士，幕府，下剋上，戦国大名
- ■元寇，倭寇，勘合貿易
- ★民衆，新しい仏教，禅宗，現在の文化



「政治，外国との関係，文化」のなかで，古代から特に大きく変化したのは何かに注目して，キャッチフレーズを考えるとよいですよ。

時代の変化に注目しよう！

1 右の絵は，室町時代に描かれるようになった絵で，墨一色の濃淡だけで表現されています。このような絵を，なんといいますか。
また，この絵と次のページの絵を比べてみて，あなたはどのような印象をもちますか。印象の違いについて発表し合いましょう。

2 中世の日本で使われた貨幣は，下の写真のような中国から輸入された銅の宋銭(左)や明銭(右)でした。日本で貨幣がつくられなかったのは，なぜでしょうか。
また，次のページの写真は，やがて日本でつくられるようになった貨幣です。この変化には，どのような意味があるのか予想してみましょう。



(実物大)



第4章

近世の日本と世界



葛飾北斎の風景画(『富嶽三十六景』東京国立博物館蔵)

同じ自然を描いた作品でも，
ずいぶん違いがあるね。
この絵を手に入れたのは，
どのような人たちかな。







丁銀(左)と，慶長小判(中)，寛永通宝(右)
(実物大　日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵)

上の絵は，19世紀の前半に描かれた浮世絵で，
版画として広く売り出されたものです。
左の貨幣は，17世紀の初めにつくられ，
全国で使われるようになった貨幣です。
なぜ，このような変化が生まれたのか，
これから学習していくことにしましょう。



これから学習する時代

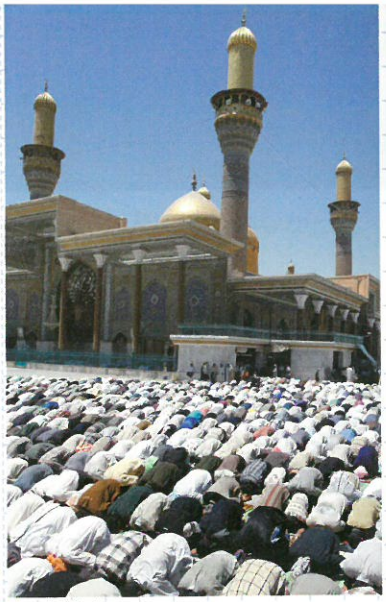
年表

年代	1500	1600	1700	1800	1850
日本	室町時代 戦国時代	安土・桃山時代	江戸時代		
中国	明		清		
朝鮮	朝鮮				

1 結びつく世界との出会い



1 カトリック教会の総本山である サン・ピエトロ大聖堂
（バチカン市国）



2 聖地メッカの方向に向かって礼拝するイスラム教徒とモスク
（イラク）



世紀 ▶ 1 2 3 | 400年 4 | 500年 5 | 600年 6 | 700年 7 | 800年 8 | 900年 9 | 1000年 10 | 1100年 11 | 1200年 12 | 1300年 13 | 14 15 16 17 18 19 20 21

① 教会と『コーラン』の教え ▶ 中世のヨーロッパ世界とイスラム世界

学習課題 キリスト教とイスラム教は，どのように広まっていったのでしょうか。

1 東ヨーロッパでは，キリスト教の正統を争うなかで，ビザンツ帝国（東ローマ帝国）と結びついたギリシャ正教会が成立しました。



3 天文学の研究
イスラム世界では，天文学の研究が進んで，正確な方位や時刻をはかることができるようになり，その技術は航海などにも活用されました。

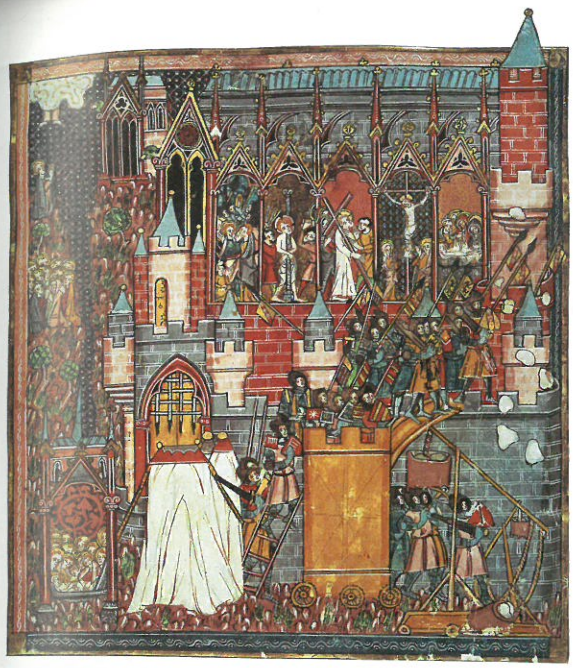
中世のヨーロッパとキリスト教

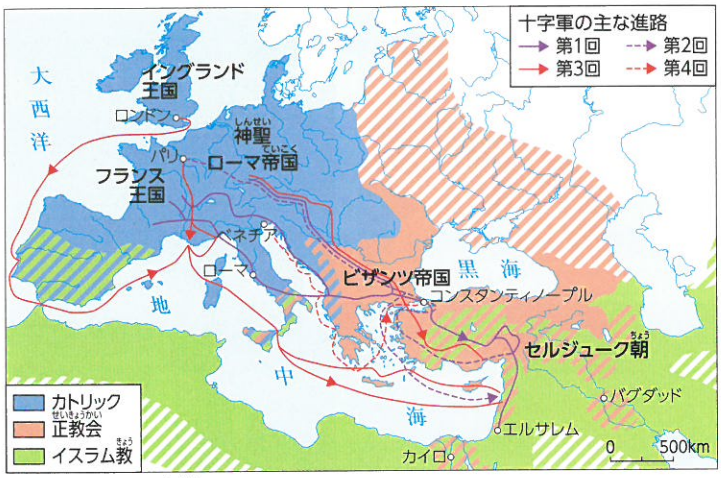
4世紀の末，地中海を中心に広大な地域を支配していたローマ帝国は東西に分裂し，5世紀には，西ローマ帝国はほろびました。しかし，ローマ帝国の国教であったキリスト教は，教会や修道院を通してヨーロッパ各地に広まっていき，西ローマ帝国がほろんだのちに成立した新しい国々にも受け入れられました。中世の西ヨーロッパ諸国の王や貴族たちは，しだいに**ローマ教皇**を首長とする**カトリック教会**[1]と結びつきを強めていきました[1]。←p.23

こうして，中世のヨーロッパでは，キリスト教を中心とする文化圏がつくられ，政治や人々の暮らしにも，教会が大きな影響力をもつようになりました。

イスラム世界の発展

8世紀の中ごろ，イスラム世界は，中央アジアからイベリア半島まで勢力を広げ，東は中国（唐），西はヨーロッパと境を接するようになりました。交通が整えられて交易が活発に行われ，都のバグダッドは人口150万をこえる国際都市になりました。イスラム世界では，9世紀←p.33





5 十字軍の派遣

4 エルサレムを占領する十字軍 ローマ教皇は，十字軍は神のための正義の戦いであり，参加したキリスト教徒が犯したたいていの罪は許されると説き，人々の宗教心を刺激しました。

ごろまでに『**コーラン**』を基礎にしたイスラム法が整えられ，指導者は，それに基づいて政治を行いました。 ←p.33

広大な地域に勢力を広げたイスラム世界では，古代のオリエント，ギリシャ，インド，中国の文明などを取り入れ，それを[2]イスラム教のもとにまとめた，高度な文化が発達しました。[3]巻末4→ インドから取り入れた数字をもとにアラビア数字をつくり，中国から伝わった羅針盤・火薬・製紙や，印刷の技術を改良しました。これらは，後にヨーロッパにも伝わり，影響を与えました。

十字軍

11世紀ごろの西ヨーロッパでは，農業技術が向上し，商業や手工業も発達しました。イタリアの都市では，ビザンツ帝国(東ローマ帝国)やイスラム世界との遠隔地貿易が盛んになりました。

一方で，イスラム勢力との関係に緊張も生まれました。この時期のキリスト教徒の間では，教会の勧めもあって，聖地への巡礼が重んじられるようになりました。11世紀の末に，キリスト教の聖地であるエルサレム[6]が，イスラム勢力の支配下に入ると，ローマ教皇は，エルサレムからイスラム勢力を追い払うために，**十字軍**の派遣[4]を呼びかけました。これ以後，200年にわたって東地中海沿岸に十字軍がたびたび送られ[5]，キリスト教とイスラム教の対立が続きました[2]。



6 エルサレム
ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の聖地です。

2 イベリア半島でも，キリスト教勢力が，15世紀の末までにイスラム勢力を追い出して，キリスト教国家のポルトガルとスペインが形成されました。

ふりかえる

ステップ1 十字軍が派遣された目的を確かめよう。

ステップ2 中世のヨーロッパ世界とイスラム世界は，どのようにかかわっていたか説明しよう。





1 中世の三美神(左)**と，ボッティチェリの「春」**(右)
ギリシャの三美神を描いた絵で，左は14世紀，右は15世紀の作品です。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 **14** 1400年 **15** 1500年 **16** 17 18 19 20 21

② 中世からの脱却 ▶ ルネサンスと宗教改革

学習課題 日本が室町時代のころ，世界ではどのような動きが起こったのでしょうか。



2 羅針盤
中国から伝来した羅針盤が実用化され，遠洋にも航海できるようになりました。

ルネサンス

14世紀ごろ，ビザンツ帝国やイスラム世界との貿易で栄えたイタリアの都市では，神を中心とするカトリック教会の考え方にとらわれない，人間らしい個性や自由を求める新しい文化がおこりました[1]。この動きは，古代のギリシャやローマの文化を模範として復興させようとしたことから，**ルネサンス**(文芸復興)とよばれ，16世紀にかけてヨーロッパ各地に広まりました。

巻末4 ➡
⬅p.19

ルネサンスは，**レオナルド＝ダ＝ビンチ**[3]やミケランジェロ[4]に代表される芸術家を多く生み出しましたが，科学技術の発達[2][5]にも大きな影響を与えました。それは，実験や観察によって現実の世界をとらえようとする考え方が強まったからです。特に天文学では，教会の支持する天動説に対して，コペルニクスやガリレイらが地動説を唱えるようになりました[1]。

⬅巻頭1

宗教改革

また，16世紀の初めには，カトリック教会の腐敗を正そうとする宗教家たちによって，

[1] 天動説は，地球が宇宙の中心にあり，太陽が地球の周りを回っているとする説で，地動説は，太陽を中心に，地球がその周りを回っているとする説です。教会は，地動説を認めずに弾圧しました。
[2] 教会が販売した紙札で，それを買うと，大きな罪でなければ許されるとされました。

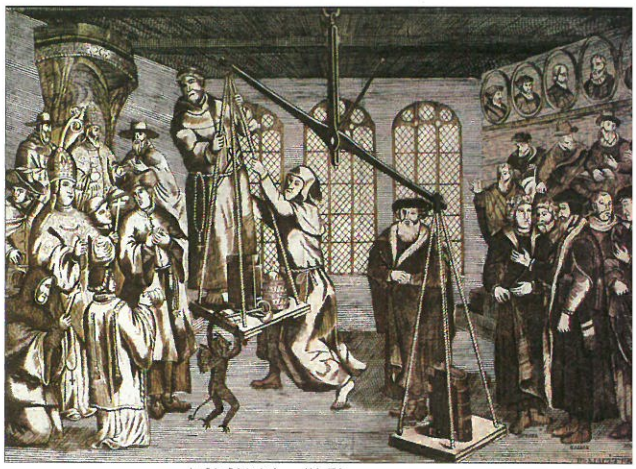




3 レオナルド＝ダ＝ビンチの「モナ＝リザ」(左)と，
4 ミケランジェロの「ダビデ」(右)

読み解こう

5の絵の左側には，カトリック教会の聖職者たちが，右側にはプロテスタントたちが描かれています。
❶天びんにかけているのは，何と何だろう。
❷それは，どのようなことを表しているのだろう。
❸このような絵が宣伝に用いられたのは，なぜだろう。



5 宗教改革の宣伝用に印刷された絵
活版印刷機の発明により，各国語に訳された聖書を多くの人々が読めるようになりました。

宗教改革が始まりました。ドイツのルターは，教会の資金集めのために免罪符(❷)の販売を認めたローマ教皇を批判し，聖書に基づいた信仰の大切さを唱えて(5)，ドイツや北ヨーロッパを中心に多くの支持者を集めました。スイスでは，カルバンが，人は神の救いを信じて職業にはげむべきであると主張し，勤労によって得る富を認めたので，その教えはヨーロッパの商工業者に広く受け入れられました。こうして，宗教改革を支持する人々は，カトリック教会から離れ，**プロテスタント**(抗議する者)とよばれるようになりました。

←p.23

広がるイスラム世界

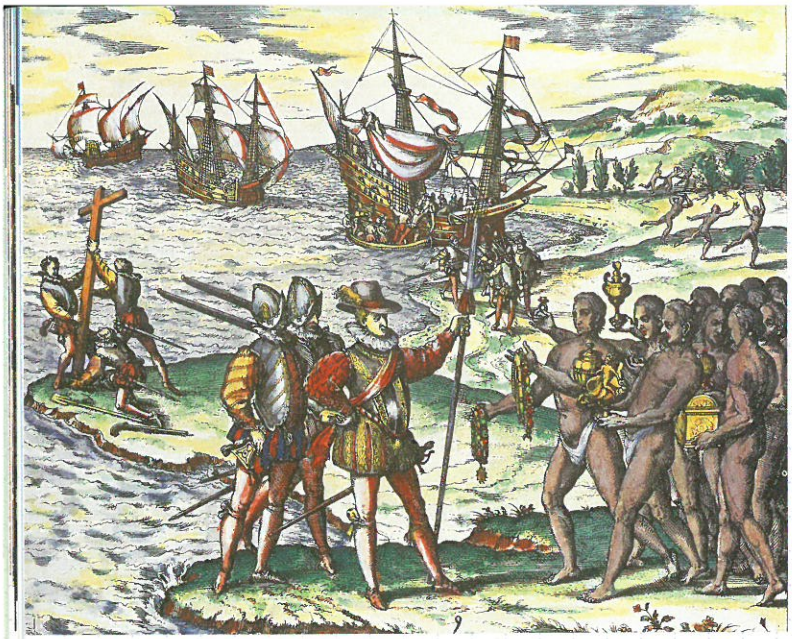
このころ，地中海の東から東南アジアにかけては，イスラム教徒の支配する国々が連なっていました。なかでも繁栄したのが，13世紀の末にトルコの地域におこったオスマン帝国と，16世紀の初めに北インドにおこったムガル帝国です。オスマン帝国は，15世紀の中ごろにビザンツ帝国をほろぼし，ヨーロッパのハンガリーから北アフリカにまたがる広大な領土を築きました(6)。イスラムの商人たちは，インド洋を中心に広いイスラム世界を行き来して，東西のアジアとヨーロッパをつなぐ貿易を盛んにしました。



6 アヤソフィア大聖堂(トルコ)
キリスト教の大聖堂としてビザンツ帝国に建設されましたが，オスマン帝国の征服によってイスラム教のモスクとなり，4基の塔が取り付けられました。

ふりかえる

ステップ1 ルネサンスのころに発達した科学技術を二つあげよう。
ステップ2 ルネサンスや宗教改革は，それぞれ何を目ざしていたのか説明しよう。



1 上陸するコロンブスの一行（17世紀の版画）



2 1490年につくられた世界地図
5の世界地図と比べてみましょう。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 1500年 16 1600年 17 18 19 20 21

③ 太陽の沈まない国 ▶ヨーロッパ人の大航海

学習課題 ヨーロッパ人がアジアを目ざしたのは，なぜでしょうか。



3 香辛料「こしょう」 肉料理を好むヨーロッパの人々にとって，肉の調理や保存に欠かせないものでした。

太平洋のまっただ中へ突入した。3か月と20日のあいだ新鮮な食べ物は何一つ口にしなかった。…日数がたちすぎて腐敗し，黄色くなった水を飲んだ。
（長南実訳『マゼラン最初の世界一周航海』より）

4 マゼランの航海記
マゼランは，フィリピンで先住民と争い，命を落としましたが，部下たちが世界一周を成功させました。

1 コロンブスは，後の航海でアメリカ大陸にも到達し，これらの地をインドの一部と信じていました。

新航路の開拓

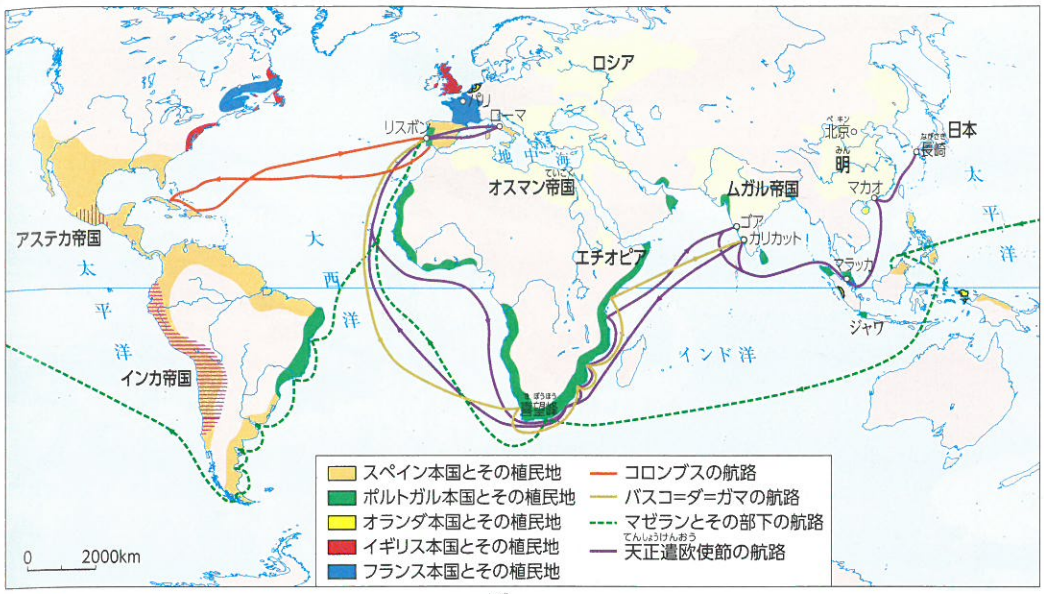
ヨーロッパでは，香辛料[3]などのアジアの特産物は，イスラムの商人などによる遠隔地貿易を通じて輸入されていたため，高価で貴重なものでした。15世紀になると，「地球は丸い」という地理学の考え[2]に基づいて，海路で直接アジアに行き，香辛料などを手に入れようとする動きが起こりました。特に，イスラム勢力を国土から追い出したばかりのポルトガルとスペインは，こうした商業の利益だけでなく，キリスト教を広めるという布教（←p.89）の目的ももっていたため，新たな航路の開拓を競い合うようになりました。

1492年，スペインの援助を受けた**コロンブス**[6]の船隊は，インドを目ざして大西洋を西へ進み，アメリカ大陸付近の島に着きました[1][1][5]。1498年には，ポルトガルの**バスコ＝ダ＝ガマ**[6]が，大西洋を南下し，アフリカ南端を回ってインドに着く航路を発見しました[5]。そして1522年，**マゼラン**[6]の率いるスペインの船隊が，世界一周を達成し[4][5]，地球は丸いことが確かめられました。

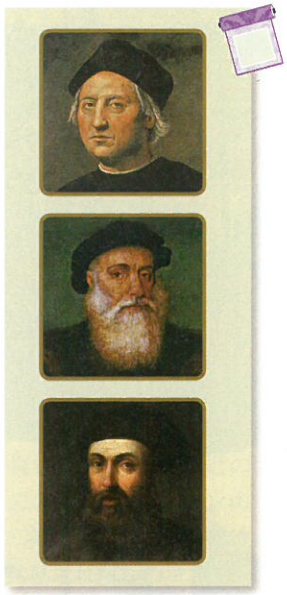
ヨーロッパ諸国の世界進出

新たな航路が開かれると，ポルトガルは，インドのゴアや東南アジアのマラッカを占領し

巻末4 ➡



5 16世紀ごろの世界　スペインが「太陽の沈まない国」といわれたのは，なぜでしょうか。



6 コロンブス(上)，**バスコ＝ダ＝ガマ**(中)，**マゼラン**(下)

て，香辛料を中心としたアジアとの貿易に乗り出しました。スペインは，独自の文明が栄えていた南北アメリカ大陸[2]に進出して，これを武力で征服し，金・銀の採掘などを進めました。こうしてポルトガルとスペインは，世界各地に**植民地**[3][5]を築き，莫大な利益をあげました。また，両国はプロテスタントの宗教改革に対抗してカトリック教会を支援したことから，勢力の立て直しを目ざすカトリック系の**イエズス会**などが，宣教師を送り出し，アジアや中南アメリカで活発に布教活動を行いました。p.94, 95➡

ところが17世紀に入るころ，ヨーロッパでは，プロテスタント系国家のオランダがスペインから独立して経済力を強め，アジアにも進出するようになりました。オランダの商人は，東インド会社をつくり，インドネシアのジャワを根拠地にして，東アジアでの貿易の実権を握りました[4]。p.108, 109➡

[2] アメリカ大陸からもたらされたものに，じゃがいも，さつまいも，とうもろこし，かぼちゃ，トマト，とうがらし，カカオ，たばこ，七面鳥などがあります。
[3] 自国の領土以外で，移住や征服によって支配・開発を行う地域のこと。
[4] 貿易で得た富によって，17世紀のオランダは，ヨーロッパの商業の中心として繁栄しました。

ふりかえる

ステップ 1　ヨーロッパ人が，アジアを目ざした理由を二つあげよう。

ステップ 2　ヨーロッパの国々が世界各地に進出したことは，どのような影響をもたらしたか話し合おう。

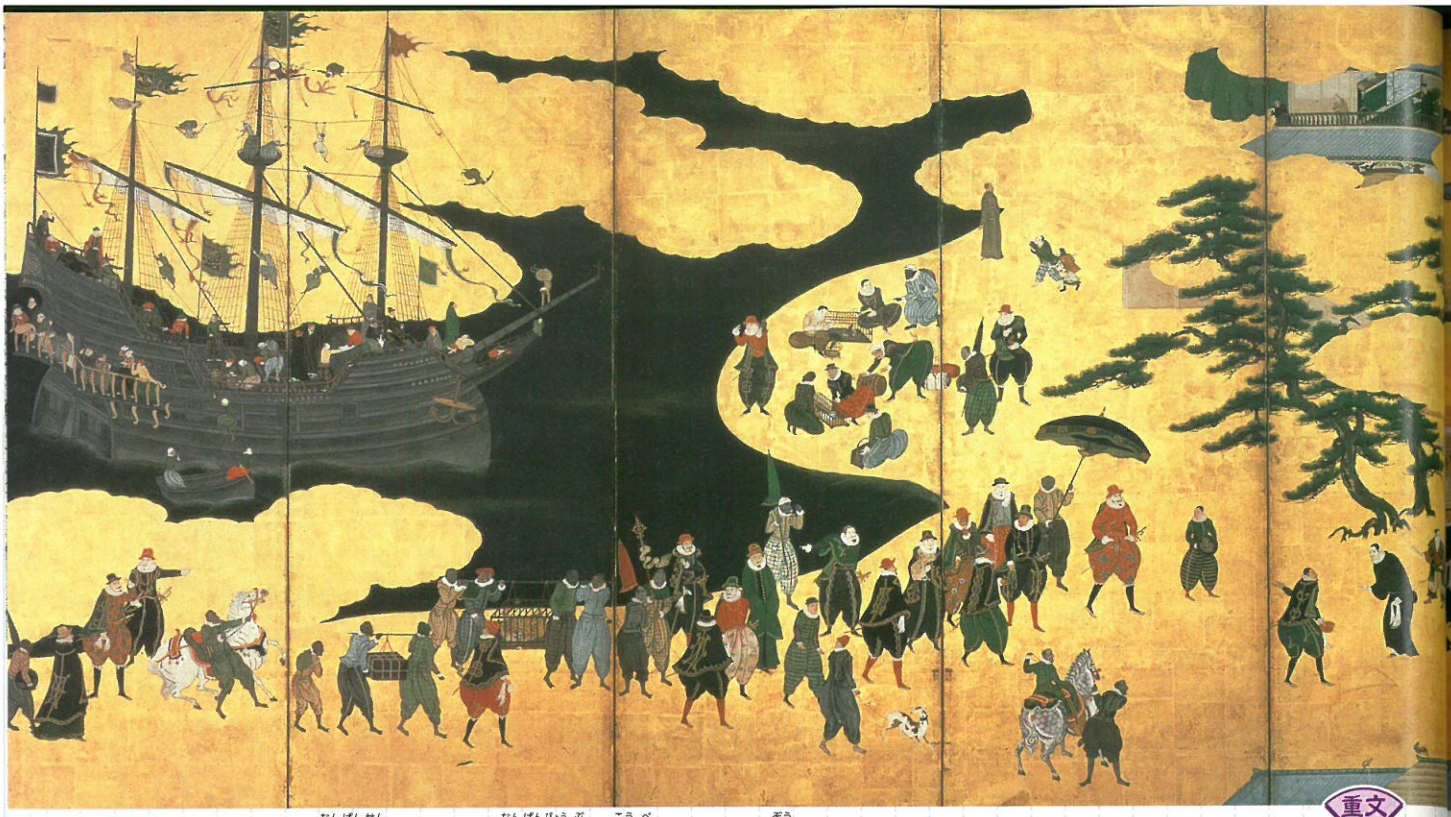
歴史の窓　ほろぼされた中南アメリカの文明

スペイン人が侵入するまで，メキシコ高原にはアステカ帝国が，ペルーの高原ではインカ帝国が栄えていました。いずれも，巨大な石造の神殿などをもつ都市をつくり，王のもとに，少数の貴族や神官が農民を支配する社会を築いていましたが，16世紀の前半に，スペイン人によってほろぼされました。征服された先住民たちは，鉱山やさとうきび農園などでの労働を強いられ，大きな被害を受けました。先住民の人口が減ると，ヨーロッパ人たちは，アフリカから黒人を奴隷として連れてきて働かせるようになりました。



世界遺産

インカ帝国の遺跡「マチュピチュ」



重文

1 日本に来航した南蛮船と南蛮人(『南蛮屏風』神戸市立博物館蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 1500年 16 1600年 17 18 19 20 21

④ 戦国の世に現れた南蛮人 ▶ 鉄砲とキリスト教の伝来

学習課題 日本に現れたヨーロッパ人は，何をもたらし，それは日本にどのような影響を与えたのでしょうか。

鉄砲の伝来

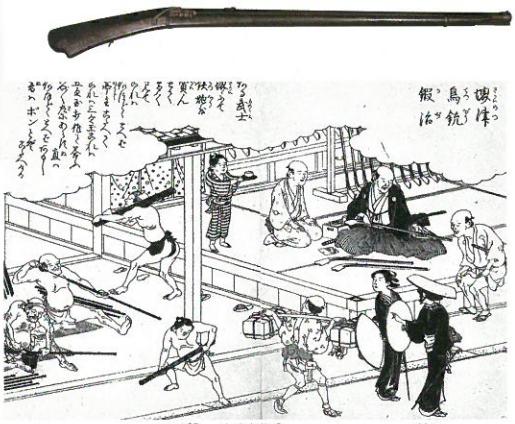
16世紀の前半，東アジアの海では，中国・琉球(沖縄県)・東南アジアなどの人々によって，交易が盛んに行われていました。←p.74 ゴアやマラッカを根拠地に活躍し始めたポルトガル人は，こうした交易路を利用して，東アジアにも姿を現すようになりました。

1543年[1]，シャム(現在のタイ)から中国の商船に乗って，種子島(鹿児島県)に流れ着いたポルトガル人は，日本に**鉄砲**[2]を伝えました。そのころ戦国の世を迎えていた日本では，鉄砲はすぐに各地の戦国大名に伝えられ，堺(大阪府)や国友(滋賀県)などでは，刀鍛冶の職人によって鉄砲が盛んにつくられました[3]。鉄砲が広まると，合戦で足軽の鉄砲隊が活躍するようになり，城づくりも鉄砲に備えたものになりました。←p.78

キリスト教の伝来

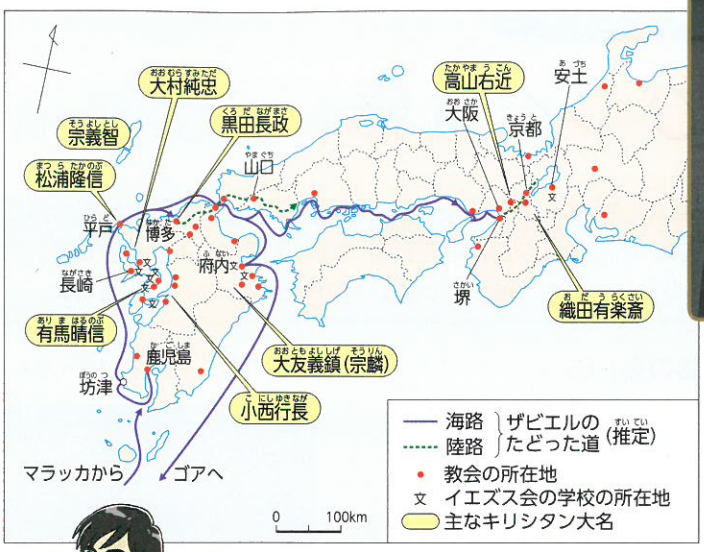
1549年には，イエズス会の宣教師**フランシスコ＝ザビエル**[4]が鹿児島に上陸し，日本に←p.93

1 1542年という説もあります。



2 鉄砲(火縄銃)(上)と，3 堺の鉄砲鍛冶(『和泉名所図会』後の江戸時代に描かれたもの)
種子島の領主は，ポルトガル人の持っていた鉄砲2丁を2千両で買い，村の刀鍛冶に同様のものをつくらせました。





5 キリスト教の広まり



4 フランシスコ＝ザビエル（神戸市立博物館蔵）
この肖像画は，高山右近の領内にあったキリシタンの民家（現在の大阪府茨木市）から発見されたものです。





6 天正遣欧使節（京都大学附属図書館蔵） ヨーロッパで歓迎を受けた一行は，1590年に帰国しました。



7 地球儀（天理大学附属天理図書館蔵）
南蛮貿易では，地球儀や地図などももたらされました（巻末4→）。

キリスト教を伝えました。ザビエルは，山口や府内（大分県）などを訪れ，2年あまりにわたって熱心に布教活動を行い，日本を去りました[5]。その後も，イエズス会の宣教師が次々と来日し，大名の許可を得て布教を続けました。宣教師たちは，教会だけでなく，民衆のために学校や病院，孤児院などを建てたこともあって，キリスト教の信者（キリシタン）が急速に増えました。

p.97➡

また，戦国大名のなかにも，貿易の利益を期待して，信者になる者が現れました（キリシタン大名）[5]。その一人である九州の大村氏は，長崎を開港してイエズス会に寄進したため，長崎は布教と貿易の中心となりました。1582年には，宣教師の勧めにより，キリシタン大名の大友・大村・有馬の3氏が，4人の少年使節をローマ教皇のもとに派遣しました（天正遣欧使節）[6]。

p.97➡

南蛮貿易

16世紀の後半になると，ポルトガルやスペインの商船が，長崎や平戸（長崎県）などの九州の港に来航し[1]，貿易が盛んに行われました。そのころ南蛮人[1]とよばれたポルトガル人やスペイン人は，中国産の生糸や絹織物を中心に，鉄砲・火薬・ガラス製品などをもたらし[7]，日本からは大量の銀を持ち帰りました。これを**南蛮貿易**といいます。

p.96➡

ふりかえる

ステップ1 南蛮貿易で，ヨーロッパ人が日本にもたらしたものと，日本で手に入れたものをあげよう。

ステップ2 戦国大名が，鉄砲やキリスト教に着目したわけを説明しよう。

世界から歴史を探ろう ①

銀で結びつく世界

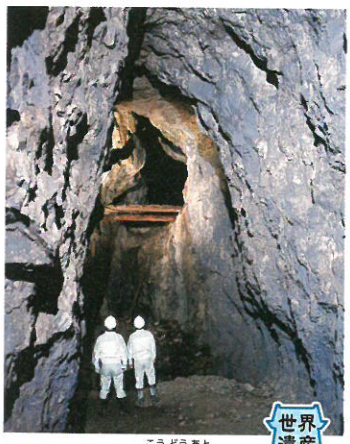
16世紀になると，ポルトガルやスペインの商人たちが，貿易で日本を盛んに訪れるようになりました。その主要な目的は，日本の銀を手に入れることでした。当時の日本が，銀を通して世界とどのように結びついていたのかを探ってみましょう。

「黄金の国」から「銀の島」に

日本は，かつて「黄金の国」(←p.54)とよばれていましたが，16世紀になると，「銀の島」として知られるようになりました。当時の日本は，世界全体の銀の生産量の約3分の1を占めていたといわれています。

日本で生産された銀の多くは，石見銀山(島根県)で産出したものでした。1526年に，博多の豪商によって石見銀山が発見されると，この地方を支配していた大内氏は，博多商人と結び，明との勘合貿易(←p.73)で大きな利益をあげました。

16世紀の半ばごろには，明との貿易に携わっていたポルトガルの商人が，中国で買いつけた生糸や絹などを日本に持ち込み，銀と交換して大きな利益をあげました。種子島に鉄砲(←p.94)を伝えたのも，そうした貿易に携わっている人たちでした。石見銀山で生産された銀は品質が高かったことから，東アジアで広く行われた交易でも高い信用を得て，銀山のある佐摩村の名から「ソーマ銀」とよばれ，大量に流通しました。



石見銀山の坑道跡

銀山の坑道跡や，輸送のための街道，操業によって栄えた町などの周辺の景観は現在も残され，世界遺産に登録されています。

その後，豊臣秀吉(p.99→)や江戸幕府(p.104→)は，銀山を直接支配し，政権を支える基盤としました。

太平洋を渡る銀

1571年，スペインは，マニラを植民地フィリピンの首都とし，やがてメキシコのアカプルコとの間に定期航路を開きます。メキシコやペルーで採掘された大量の銀(←p.93)がガレオン船に積まれ，アカプルコからマニラに送られてくるようになりました。スペインは，その銀を明との貿易の代金として支払いました。その結果，日本や中南米の銀が，銀の需要が高まっていた中国(←p.73)に集中したといわれています。

下の写真は，中国の絹と交換するために，メキシコでつくられた切銀とよばれるものです。銀を輸送するメキシコからの船には，カトリックの宣教師も乗っていました。江戸時代の初めに，伊達政宗によってローマ教皇(←p.88)のもとへ派遣された支倉常長は，この銀の航路を利用して，メキシコ経由で渡りました。



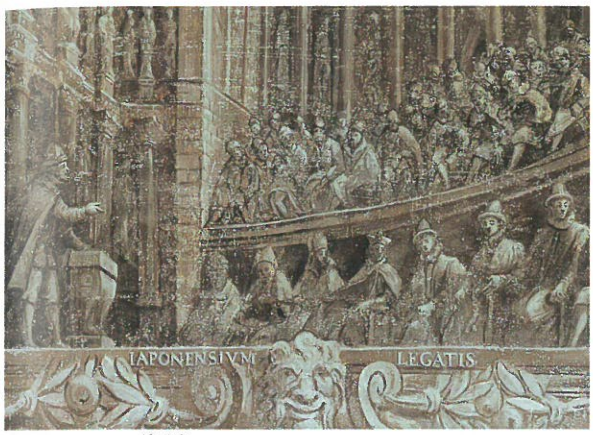
切銀



16～17世紀の銀の航路

宣教師が見た日本

1579年に日本を訪れた，イタリア人宣教師のバリニャーノは，当時の日本や日本人をどのように見ていたのでしょうか。また，なぜ天正遣欧使節(天正少年使節)の派遣を計画したのでしょうか。バリニャーノがローマのイエズス会に送った報告書から探ってみましょう。



イタリアの劇場で歓迎を受ける少年使節

バリニャーノが見た日本人

「私たちは，相手に敬意を示すときには，帽子を取って立ち上がるが，日本人は反対に履物を脱いで座るのであり，立って迎えることはひどい無礼であると考えている。……私たちが明るく陽気と思う白を，彼らは喪と悲しみを表す色と考え，私たちが喪中に身につける黒とか紫を彼らは喜ぶ。日本人は全員が一つの言葉を話すが，相手の人物の階級に応じて言葉の使い分けをしなければならない。」と，彼はまず，ヨーロッパと日本の習慣の違いに驚きました。しかし，多くの宣教師が，日本の習慣を「野蛮なものだ」と考えていたなかで，彼は次のような見方をしていました。

「国民は有能で，子どもたちは私たちの学問や規律をよく学び取り，ヨーロッパの子どもたちよりも，はるかに容易に，かつ短期間に私たちの言葉を覚える。……日本人は忍耐強く，飢えや寒さ，また人間としての苦しみや不自由を耐えしのぶ。……交際するときには思慮深く，人を訪ねたときに不愉快なことを言うべきではないと考えている。」ただ，一方では，「日本人は，主君への忠誠心に欠け，都合のよい機会に主君に対して反逆し，自分が主君となる。……交際するときの思慮深さも限度をこすと，それは悪意ともなる。」とも見ていました。

ローマを訪れた少年使節

バリニャーノは，こうした日本人の短所は異教，つまり仏教の影響を受けているためであり，長所は，キリスト教の布教に適していると考えました。そこで，彼は少年使節をローマ教皇(←p.88)のもとに派遣し，キリスト教の国々が栄えている様子を実際に見せ，日本での布教を進めようと考えました。

1582年，伊東マンショ・千々石ミゲル・中浦ジュリアン・原マルチノの4人の少年使節(13～14歳)は，長崎を出発しました。3年余りにわたる旅(←p.93)を続け，ローマに到着した少年使節を，教皇や国王をはじめ，ヨーロッパ各地の人々は大いに歓迎したと伝えられています。1590年，少年使節の一行は帰国します。そして，ヨーロッパから持ち帰った活版印刷機(←p.91)でキリスト教の本を出版するなど，布教に取り組みました。



マカオ(中国)にあるサン・パウロ天主堂
イエズス会が建てたアジアで最大の教会です。

2 天下統一への歩み



織田信長は，どのような戦い方をしたのかな。



1 長篠の戦い(『長篠合戦図屏風』徳川美術館蔵)　織田信長と徳川家康の連合軍(左側)が，武田勝頼の軍(右側)と戦っています。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 **16** 1600年 **17** 18 19 20 21

⑤ 天下統一を目ざして ▶織田信長と豊臣秀吉

学習課題　織田信長と豊臣秀吉は，どのように天下統一を進めたのでしょうか。

信長の台頭と室町幕府の滅亡

16世紀の後半になると，戦国大名のなかに，都へ上って全国の支配を目ざす動きが現れました。尾張(愛知県)の**織田信長**[2]は，駿河(静岡県)の今川義元を桶狭間(愛知県)の戦いで破ったのち，京都に入り，足利義昭を室町幕府の将軍にして勢力を強めました。←p.70

その後義昭と対立した信長は，1573年，義昭を京都から追放し，室町幕府をほろぼしました。長篠(愛知県)の戦い[1]では，鉄砲を活用した戦法で，有力な大名だった甲斐(山梨県)の武田氏を破りました。また，仏教勢力に対しては，比叡山の延暦寺を焼き討ちにし，各地の一向一揆と戦い，大阪の石山本願寺を降伏させるなど，武力による天下統一を目ざしました[4][5]。←p.79

信長の政治

信長は，安土(滋賀県)に壮大な城[3]を築き，天下統一の拠点にしました。これまで座がもっていた特権を取り上げ，城下の商人たちには，市の税を免除しました。自由な営業を認めて，商工業の発展をうながしたこの政策を，**楽市・楽座**といいます。さらに，物資や兵力を輸送しやすいように道路も整備し，各地の関所を廃止しました。←p.77←p.76



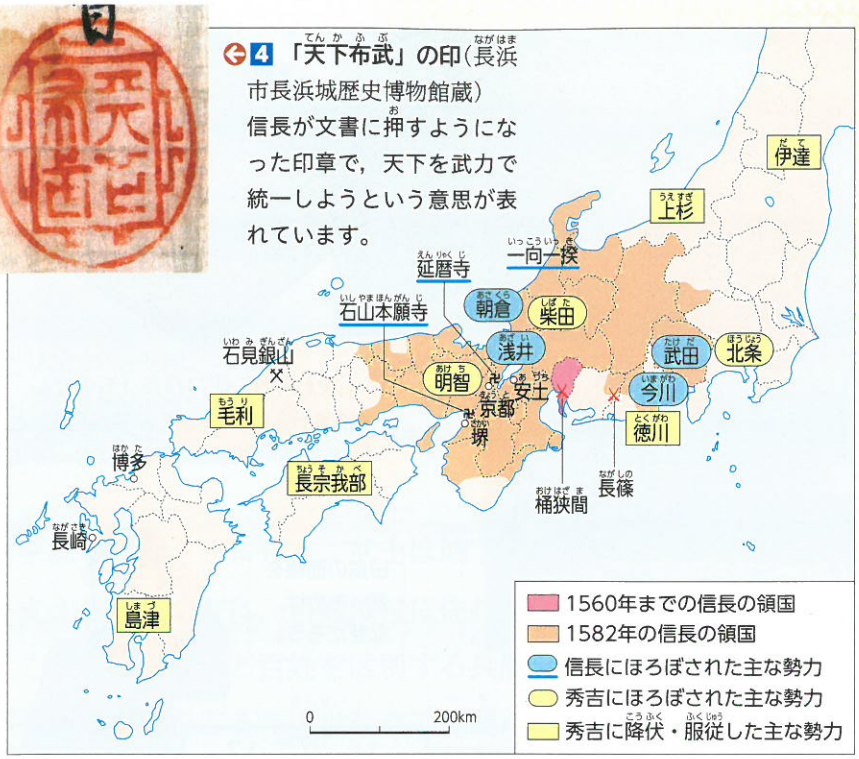
2 織田信長(長興寺蔵)
キリスト教を保護し，南蛮貿易の文物を取り入れました。



3 安土城(復元模型　安土城郭資料館蔵)



4 「天下布武」の印（長浜市長浜城歴史博物館蔵）
信長が文書に押すようになった印章で，天下を武力で統一しようという意思が表れています。





5 信長・秀吉の支配の広がり（左）と，
6 大阪城（『大坂城図屏風』大阪城天守閣蔵）

また，信長は，征服した土地の検地を行って軍役を課したほか，自治を行う堺や京都の豪商に対しては，軍用金を要求しました。[1] こうした政策により，荘園や座の支配を通じて利益を得てきた，公家や寺院の力はおとろえていきました。

←p.77
←p.79

中部地方から近畿地方までをほぼ統一した信長は，1582年，中国地方の毛利氏を討つために出陣しました。しかし，家臣の明智光秀に背かれて，京都の本能寺で自害しました。

←巻頭2

秀吉の天下統一

信長の有力な家臣だった**豊臣秀吉**[7]は，すぐに光秀を倒し，信長の後継者となりました。そして，巨大な大阪城[6]を築き，全国の統一事業を進めました。

秀吉は，朝廷から関白に任じられると，天皇の権威も利用して，大名どうしの領土争いを禁じる命令を出しました。さらに徳川家康を家臣に従えた秀吉は，反抗した九州の島津氏を降伏させました。1590年には，関東を支配する北条氏をほろぼし，奥州（東北地方）も服従させ，天下統一を実現しました。[5] 秀吉は，堺・博多・長崎などの貿易都市や，石見銀山（島根県）などの鉱山も支配し，その莫大な利益によって権力を強めました。

p.104→
←p.96

読み解こう

1. 本文に出てくる地名を，地図で確かめよう。
2. 信長が安土に城を築いたのは，なぜだろう。
3. 秀吉が大阪城を築いたのは，もともと何があった場所だろう。なぜ，そこに築いたのだろう。

1 堺の豪商がこれを拒否したことから，信長は，自治権を取り上げて堺を直接支配しました。

重文



7 豊臣（羽柴）秀吉　関白となった秀吉は，四国を支配下におくと，豊臣の姓を与えられ，1586年に，朝廷から太政大臣に任じられました。

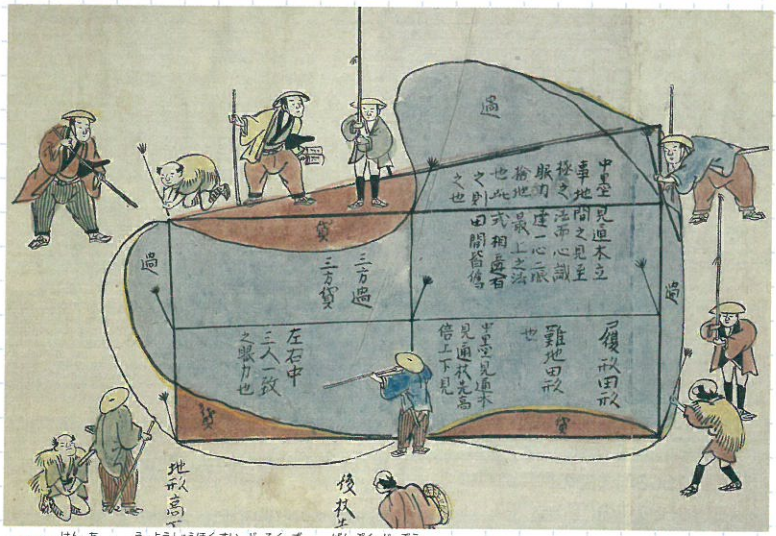
ふりかえる

ステップ1 信長に対抗した勢力を，五つあげよう。

ステップ2 信長は，公家や寺院，自治都市の力をおさえるために，どのような政策を行ったか説明しよう。



重文







1 検地（『羽陽秋北水土録図』玄福寺蔵）
この図は，江戸時代の検地の様子を描いたものです。

2 検地に使われた「ものさし（検地尺）」（左上：尚古集成館蔵）と，米を量る「ます（一升枡）」（右：芥田家蔵）

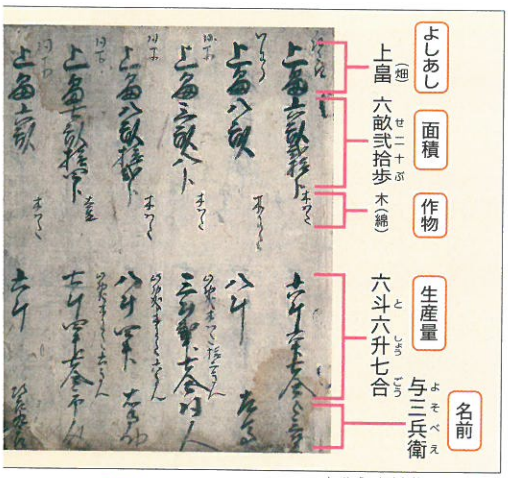
世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1600年 17 18 19 20 21

6 近世社会への幕開け ▶ 豊臣秀吉の政治

学習課題 天下統一を果たした豊臣秀吉は，人々をどのように支配したのでしょうか。

1 米のとれ高を表す単位です。米1石は約150kgで，成人一人が1年間に消費する量にほぼ等しいとされていました。畑や屋敷地も米がとれるものとして石高で表され，年貢が課されました。

2 百姓のほとんどは，農業にたずさわる農民でしたが，漁業や林業を営む人々もいました。



3 検地帳（東京大学史料編纂所蔵）

太閤検地と刀狩

秀吉は，支配した地域の土地を，村ごとに厳しく検地[1]させました。「ものさし[2]」の長さや，「ます[2]」の大きさを統一し，田畑の面積や土地のよしあしを調べて，その生産量を石高[1]で表すようにしました。そして，実際に耕作している農民を本百姓[2]とし，名前と調査の結果を検地帳[3]に記録しました。これを**太閤検地**といいます。

これにより，百姓[2]は耕作の権利を保障されるかわりに，石高に応じた年貢を納める責任を負い，土地を勝手に離れることができなくなりました。一方で，武士は，与えられた領地の石高に応じて軍役を負担し，荘園の領主である公家や寺社などは，もっていた土地の権利を失うことになりました。 ←p.79

また，秀吉は，百姓が一揆をくわだて，年貢をとどこおらせないように，百姓から刀・やりなどの武器を取り上げる**刀狩**を命じました。さらに，百姓が田畑を捨てて町人（商人や職人）になることや，武士が百姓や町人になることを禁じて，身分の区 ←p.78

←p.72

刀狩令（一部の要約）

一．諸国の百姓が，刀・わきざし・弓・やり・鉄砲，その他の武器を持つことを固く禁止する。不要な道具を蓄え，年貢や雑税を納めず，一揆をくわだて，その土地の領主に対し，無礼なことをする者はもちろん罰する。大名や代官の責任において武具をことごとく取り集め，差し出すようにせよ。



4 朝鮮の水軍の亀甲船（復元）　鉄板で屋根をおおい，両わきに火砲を撃つための穴を開けた武装船です。



5 日本軍の進路

別をはっきりさせました。武士は城下町に集められ，その生活を支える町人が町に，百姓は村に住むことになりました。

こうして，武士と百姓を区別する**兵農分離**が進められ，武士が強い支配権をふるう近世社会の基礎が築かれました。

秀吉の外交と朝鮮侵略

秀吉は，長崎が教会領としてイエズス会に寄進されていたことを知ると，キリスト教が全国統一のさまたげになると考えて，宣教師の国外追放を命じました。しかし，貿易は別として外国の商船の来航をうながし，倭寇を取りしまりました。 ←p.95 ←p.72

一方，明やインドなどの征服も計画するようになり，朝鮮に対しては日本への服従と協力を求めました。これを拒否された秀吉は，1592年，約15万の大軍を朝鮮に送りました[5]。加藤清正・小西行長らが率いる日本軍は，首都の漢城（現在のソウル）などを占領しましたが，義兵とよばれる民衆の抵抗をはじめ，李舜臣[4]の率いる水軍や明の援軍による反撃などで行きづまりました。秀吉は，明との講和交渉が失敗すると，再び出兵[5]を命じましたが，日本軍は苦戦におちいり，秀吉の病死をきっかけに全軍が引きあげました。

7年にわたる戦いで，朝鮮の土地は荒れ，多くの人々が命をうばわれたり，日本に連れてこられたりしました[3][6]。日本でも，戦費などの重い負担に武士や民衆が苦しみ，大名の不満も高まって，豊臣政権の没落を早めました。



6 有田焼　朝鮮の陶工によって始められた磁器です。

3 このとき朝鮮から連れてこられた陶工や学者，持ち去った書物などから，磁器や印刷の技術，儒学が伝えられました。

ふりかえる

ステップ1 秀吉が，百姓に対して行った政策を二つあげよう。

ステップ2 秀吉が，兵農分離を進めた目的は何か説明しよう。



世界遺産　国宝

1 姫路城（兵庫県姫路市）
美しい白壁から，白鷺城ともよばれています。



2 『唐獅子図屏風』
（狩野永徳作　宮内庁三の丸尚蔵館蔵）
屏風やふすまの絵柄には，唐獅子・虎・竜・鷹のように，力強さをほこるものが好まれました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 **16** 1600年 **17** 18 19 20 21

⑦ 城と茶の湯 ▶ 南蛮文化と桃山文化

学習課題 戦乱の世には，どのような文化が生まれたのでしょうか。



世界遺産　国宝

3 書院造の間
（京都市　二条城二の丸御殿）

桃山文化

信長・秀吉の時代には，権力や富をほこった戦国大名や都市の豪商たちの気風を反映して，豪華で力強い文化が生まれました。その代表が，安土城や姫路城[1]など，雄壮な天守閣のそびえる城です。城内の書院造の広間は，狩野永徳・狩野山楽らが描いたはなやかな色彩の屏風絵やふすま絵，精巧な彫り物で飾られました[2][3]。

その一方で，戦乱が絶えず，浮き沈みの激しい世を反映して，騒がしさを離れ，深い味わいを求める能楽や茶の湯も盛んになりました。大名や豪商たちは，茶会を開いて交流を深め，秀吉に仕えた**千利休**[6]は，小さな茶室[7]で向き合う侘び茶を大成させました。茶器も工夫され，造園や生け花が活発になりました。

このころ発達した文化を，秀吉が築いた伏見城（京都府）辺りの後の地名にちなんで，**桃山文化**といいます。

海外から流入する文化

また，キリスト教の布教や南蛮貿易が盛んになるにつれて，ヨーロッパから新たな文化が流入しました。宣教師たちは，活版印刷機[4]を使って，布教用の本などをローマ字で印刷しました。また，医学・天文学，航海



4 キリシタン版「平家物語」（天草市立天草キリシタン館蔵）　ポルトガル式のローマ字で書かれています。初めの２行は，なんと書いてあるでしょうか。



重文

5 かぶき踊り(『歌舞伎図巻』徳川美術館蔵)

術，西洋画の技法などの学問や技術を伝え，日本人の世界に対する見方に影響を与えました。ポルトガルやスペインの商人も，パンやカステラ，カルタ，眼鏡，時計などの珍しい品々をもたらしました。このような文化を，**南蛮文化**といいます。

巻末4➡

一方，東アジアからも文化が流入しました。朝鮮の陶工によって，有田焼・薩摩焼・萩焼などがつくられるようになったほか，中国の三絃とよばれる楽器が琉球に入って三線となり，それが日本に伝わって三味線が生まれました[8]。三味線は，近世の音楽を支える楽器になっていきます。そろばんも，このころ中国から伝わり，近世で広く使われる計算用具になりました。

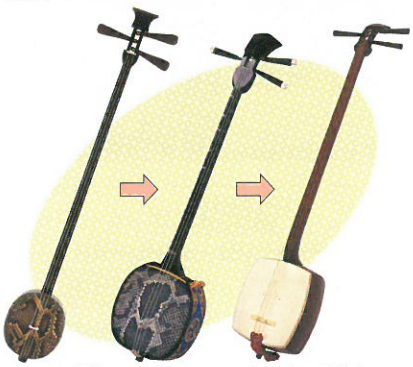


6 千利休(大阪城天守閣蔵)

国宝



7 利休がつくったと伝えられる茶室(妙喜庵待庵)



8 中国の三絃(左)，琉球の三線(中)，日本の三味線(右)

民衆の文化

乱世の暮らしは不安定でしたが，民衆は，争いのない世を願いつつ，現世を楽しみ，生きる喜びを表そうとしたことから，社会に開放的な風潮が強まりました。衣服も，彩りが豊かで活動的な小袖が広まり，麻に代わる衣料として木綿が使われ始めました。小唄や踊りが盛んになり，出雲(島根県)の阿国という女性が，京都で始めたかぶき踊り[5]は，やがて演劇の歌舞伎に成長していきました。三味線に合わせて語られる浄瑠璃も人気をよび，やがて人形芝居と結びついて，人形浄瑠璃に成長していきました。

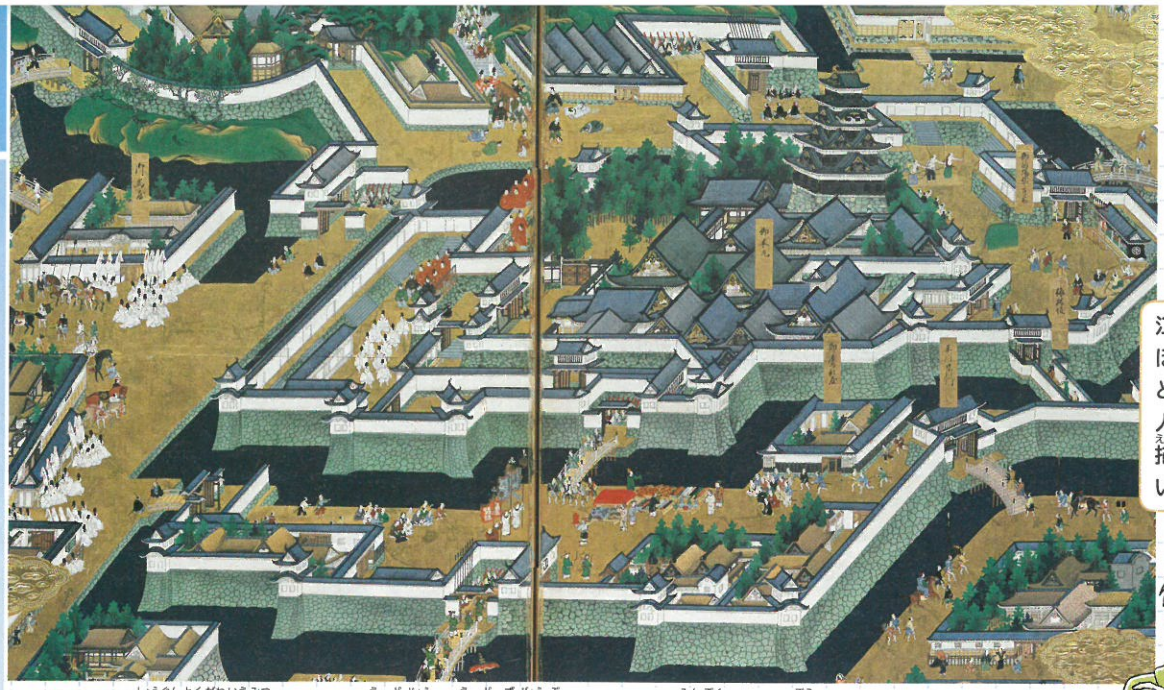
p.118➡

ふりかえる

ステップ1 このころの文化のなかから，現代に伝えられているものをあげよう。

ステップ2 桃山文化の特色について，「戦国大名，豪華，茶の湯」の用語を使って説明しよう。

3 幕藩体制の確立と鎖国



江戸城のほかには，どのような人やものが描かれているかな。



1 3代将軍徳川家光のころの江戸城(『江戸図屏風』国立歴史民俗博物館蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1600年 17 18 19 20 21

⑧ 泰平の世の土台づくり ▶ 江戸幕府の成立と幕藩体制

学習課題 江戸幕府は，どのようなしくみをつくって全国を支配したのでしょうか。



2 徳川家康(日光東照宮蔵)
引退後も，大御所として実権を握りました。

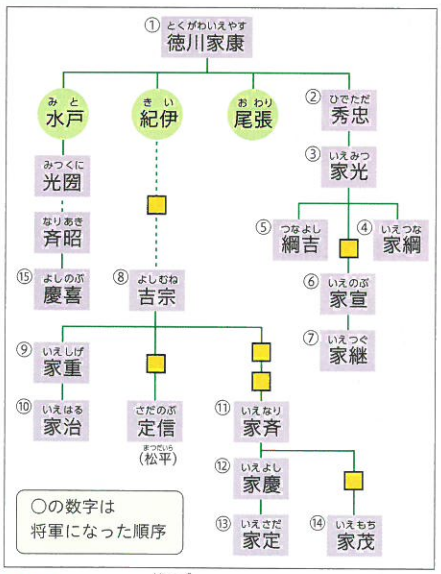
江戸幕府の成立

豊臣秀吉の死後，関東を領地としていた徳川家康[2]が勢力を強め，政治を動かすようになりました。1600年には，豊臣政権を守ろうとした石田三成らを，関ヶ原(岐阜県)の戦いで破り，豊臣方についた大名の領地を没収しました。家康は，1603年，征夷大将軍に任命されて**江戸幕府**を開くと，まもなく将軍職を子の秀忠にゆずり，徳川氏が代々将軍になることを示しました[3]。さらに，大阪城を攻めて豊臣氏をほろぼし，徳川氏の全国支配を確立しました。江戸に幕府がおかれた260年あまりを，**江戸時代**といいます。

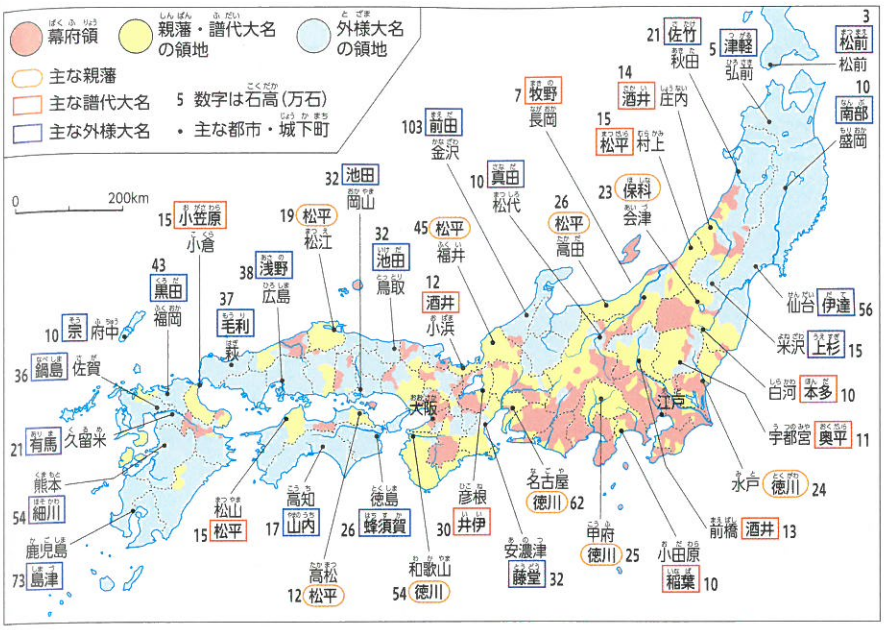
幕府の全国支配

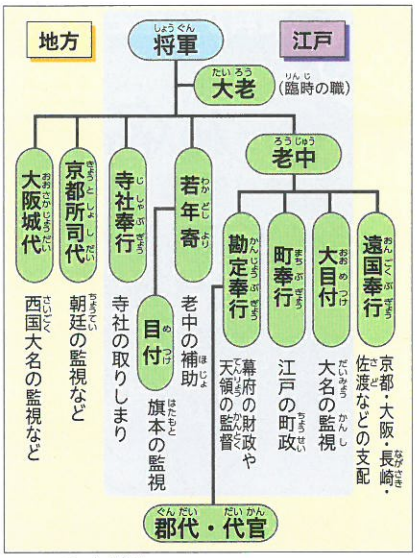
幕府は，直接の支配地と，将軍直属の家臣である旗本・御家人の領地を合わせ，全国の約4分の1にあたる約700万石の土地を支配しました。江戸をはじめ，京都・大阪・奈良・長崎などの重要な都市や，主な鉱山も直接支配し，貨幣の発行権を握りました。東海道などの五街道を整え，関所や宿駅を設けて，交通や通信も統制しました。←p.87, 115→

大名は，将軍に従い，1万石以上の領地を与えられた武士で，巻末1→ p.117→



3 徳川氏の系図





5 江戸幕府のしくみ

4 主な大名の配置(1664年)
親藩のうち，尾張・紀伊・水戸の徳川氏を御三家といいます。

領内の民衆を家臣に支配させました。その領地と支配のしくみを藩といい，幕府と藩が全国の土地と民衆を支配するしくみを，**幕藩体制**といいます。幕府は，大名を，徳川氏の一族である親藩，古くからの家臣である譜代大名，新たに従った外様大名に分けて全国に配置しました[4]。そして，大がかりな領地替えを進め，大名が領地で力を蓄えないようにしたほか，藩を取りつぶすこともありました。幕府のしくみは[5]，3代将軍の**徳川家光**のころに整い，将軍のもとで老中や若年寄，各種の奉行などが，職務を分担して政治を進めました。

大名や朝廷の統制

幕府は，大名の反抗を警戒して**武家諸法度**という法令を定め，大名の築城や結婚などに規制を設けて統制しました。家光のころには**参勤交代**の制度をつくり[1]，大名に対して，1年おきに江戸に滞在して江戸城を守る役割を命じ，妻子を江戸に住まわせました。大名は，江戸での生活費や，領地との往復の費用がかさんだうえ，江戸城の修築や河川の修復などの土木工事も幕府から命じられたので，藩の財政はいっそう苦しくなりました。p.106, 107➡

幕府は，天皇と公家に対しても法度を定め，天皇の第一の仕事が学問であることを強調し，朝廷を監視する役職もおいて，政治の力をもたせないようにしました。

武家諸法度(一部の要約)

●1615年に出された法令
一．文武弓馬の道(学問と武道)に常にはげむこと。
一．城を修理するときは，必ず幕府に届けること。新たに城を築くことは固く禁止する。
一．幕府の許可なく，結婚してはならない。

●1635年に出された法令
一．諸国の大名は，領地と江戸に交替で住むこと。毎年4月中に江戸へ参勤すること。
一．500石以上積める船をつくってはならない。

ふりかえる

ステップ1 江戸幕府が，大名に対して行った政策を三つあげよう。

ステップ2 江戸幕府が，強大な力をもつようになったのはなぜか説明しよう。

資料から歴史を探ろう ④

大名行列と藩の財政



上の大名行列の絵を見てみましょう。鉄砲や弓，槍などを持った人たちが，隊列を組んでいます。これは，大名行列が，もともと戦時の行軍に準じた形式をとっていたためです。参勤交代では，石高や格によって差はありましたが，各藩の大名は，このような行列を組んで江戸と領地を往復しました。九州など西国の大名は，船団で瀬戸内海を通り，大阪まで移動しました。

また，各藩の江戸での暮らしは，どのようなものだったのでしょうか。

江戸の大名屋敷には，大名の妻子が住み，幕府やほかの藩と連絡や交渉にあたる役職もおかれていました。家族とともに江戸で暮らす武士たちもいて，参勤交代で江戸に到着した武士たちが加わると，大名屋敷にはたくさんの人が生活することになりました。紀州藩の大名屋敷には，約5000人も住んでいたとされています。

江戸幕府は，なぜこのような参勤交代の制度を設けたのでしょうか。資料を活用して考えてみましょう。

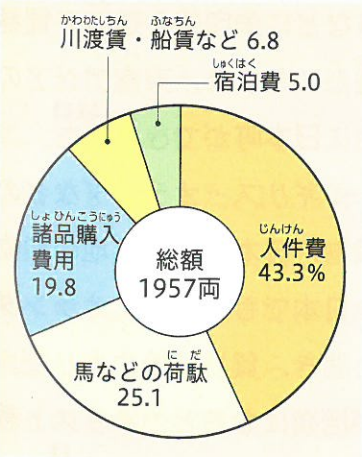
さらに遠い藩は，
江戸まで何日
かかったのか
調べてみましょう。



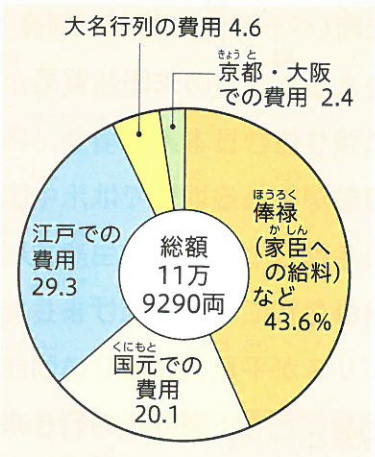
会津藩(福島県)の大名行列が，江戸から会津若松にもどってきました。当時の記録によると5泊6日の旅で，行列の総勢は600人前後だったとされています。参勤交代の制度と藩の財政について探ってみましょう。



『会津藩主参勤交代行列図』(会津若松市立会津図書館蔵)



鳥取藩の大名行列にかかった費用
(1812年の帰国時)



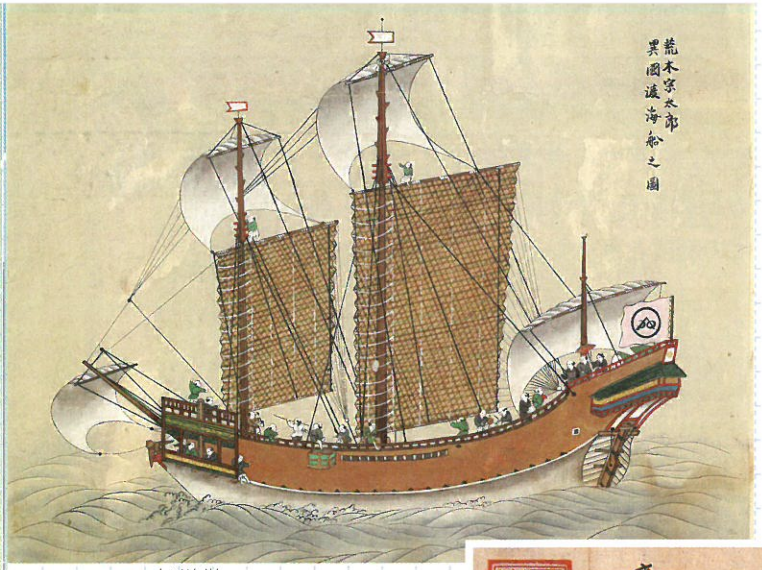
松江藩の1年間の支出
(1768年)

藩は，旧か。しょう。

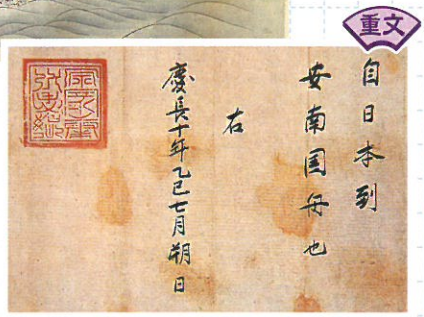


読み解こう

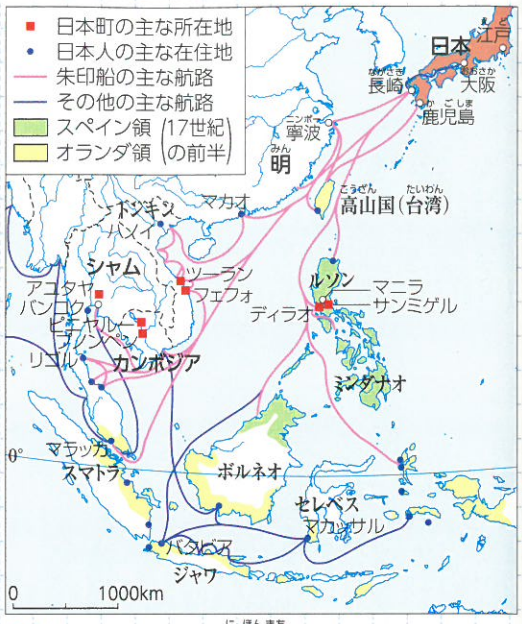
❶105ページの地図で，会津藩の位置を確かめよう。
❷巻末1の地図で，会津から江戸までの道のりをたどってみよう。1日に，およそどのくらい歩いたのか計算してみよう。
❸上の絵で，大名はどこにいるか探そう。また，人々は，どのようなものを持っているかあげてみよう。
❹徳川家光が，このような参勤交代を大名に命じたのはなぜか，左のグラフも参考にして考えてみよう。



朱印船（[模本] 船の科学館蔵）



朱印状（相国寺蔵）



日本町の主な所在地／日本人の主な在住地／朱印船の主な航路／その他の主な航路／スペイン領（17世紀の前半）／オランダ領

朱印船の航路と日本町

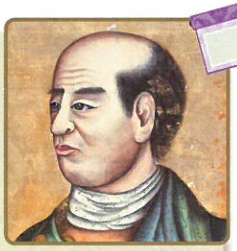
日本町では，住民の自治が認められました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1600年 17 18 19 20 21

⑨ 東南アジアに広がる日本町 ▶キリスト教と海外への行き来の禁止

学習課題 江戸幕府が外交政策を転換したのは，なぜでしょうか。



4 山田長政
シャム（タイ）のアユタヤにあった日本町の指導者となり，外交などで活躍し，やがてシャムの役人になりました。

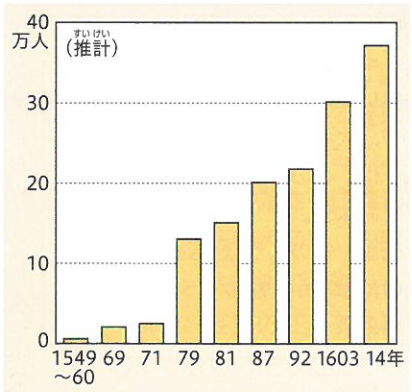
朱印船貿易と日本町

徳川家康は，日本の商船に，海外へ渡ることを許可する**朱印状**[2]を与えて，貿易を勧めました。東南アジアの国々に対しても，朱印状をもつ船（朱印船）[1]の保護を求めたので，西日本の大名や京都・堺・長崎などの豪商が，安南（ベトナム）・シャム（タイ）などに朱印船を送って貿易を行いました[3]。この**朱印船貿易**が盛んになると，東南アジアの港町に移り住む日本人も増え，各地に**日本町**ができました[3][4]。

朱印船が訪れる地域では，中国・イギリス・オランダなどの商船も活動し，中国産の生糸や絹織物，日本の銀，各地の産物を取り引きして利益を上げました。日本でも，新たにオランダとイギリスが平戸（長崎県）に商館を開き，貿易を始めました。

禁教と貿易の制限

海外への行き来が活発になると，キリスト教の信者（キリシタン）がさらに増えました[5]。家康は，貿易の利益のために，初めはキリスト教を黙認していま



キリシタンの人数の移り変わり



6 島原・天草一揆(『島原陣図屏風』秋月郷土館蔵)
島原半島の原城跡で，激しい戦いが繰り広げられ，幕府は，約12万の大軍でようやく鎮圧しました。

年	できごと
1587	豊臣秀吉が宣教師の国外追放を命じる。
1609	オランダが平戸に商館を開き，貿易を始める。
1612	徳川家康が幕府領にキリスト教の禁教令を出す。
1613	イギリスが平戸に商館を開き，貿易を始める。
1616	ヨーロッパ船の来航地を長崎と平戸に制限する。
1623	イギリスが平戸の商館を閉じる。
1624	(　　)船の来航を禁止する。
1634	長崎に出島を築く。
1635	日本人の海外への行き来を禁止する。
1637	島原・天草一揆が起こる。
1639	(　　)船の来航を禁止する。
1641	(　　)商館を長崎の出島に移す。

7「鎖国」への歩み

した。しかし，キリシタンが幕府の支配に抵抗することを恐れ，1612年，キリスト教を禁じる禁教令を出して，宣教師を国外へ追放し，キリシタンを弾圧しました。また，ヨーロッパ船が来航する港を，長崎と平戸に制限しました。その後，家光は禁教を強化するため，スペイン船の来航を禁止し，1635年には，日本人の海外への行き来を禁止しました。[7]

島原・天草一揆と鎖国

こうしたなか，キリシタンの多かった島原(長崎県)と天草(熊本県)では，新たな領主が，飢饉に苦しむ領民に重い年貢を課し，キリシタンを厳しく弾圧しました。そのため，1637年，約3万7千人の人々が，天草四郎という少年を大将にして一揆を起こし，4か月にわたって幕府や藩の大軍と戦いました(**島原・天草一揆**)。[6]
←p.95

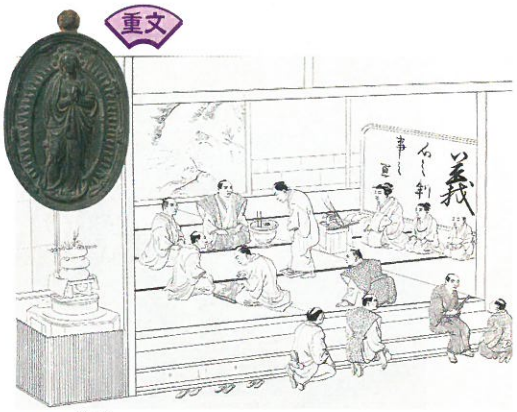
これに驚いた幕府は，絵踏[8]でキリシタンを見つけ出すとともに，宗門改めによって，人々が仏教徒であることを寺院に証明させました。また，1639年には，ポルトガル船の来航を禁止し，次いで，オランダ商館を長崎の**出島**に移しました。競争に敗れたイギリス船も，すでに日本を去っていたので，貿易の相手は中国とオランダに限られることになりました。[7]
p.110→

このように，日本人の海外への行き来が禁止され，外国との貿易が制限された状態は，後に「**鎖国**」[1]とよばれました。これにより幕府は，長崎での貿易と海外の情報を独占しました。

読み解こう

❶年表内の(　　)の中にあてはまる国名を記入しよう。
❷中国とオランダは，なぜ貿易を認められたのだろう。

重文



8 踏絵(上：東京国立博物館蔵)と，**絵踏の様子**(下：国立国会図書館蔵)

❶「鎖国」という言葉が実際に使われたのは，19世紀に入ってからのことです。

ふりかえる

ステップ1 江戸幕府が，貿易を制限するようになった理由を確かめよう。
ステップ2 前の時間の学習と合わせ，江戸幕府の政治について，中世の武家政治と大きく異なる点は何か説明しよう。



1 長崎の港と出島(『長崎港図』長崎歴史文化博物館蔵)

	中国(清)	オランダ
場所	唐人屋敷	出島
面積	約29000m²	約13000m²
収容人数	約5000人	数十人
輸入品	生糸，絹織物，毛織物，砂糖，薬品，香木など	
輸出品	金，銀，銅，俵物(干しあわび，ふかのひれなどの海産物)	
年間来航数	最大192隻	最大10隻

2 長崎での貿易



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 **17** 1700年 **18** 1800年 **19** 20 21

⑩ 開かれた窓 ▶ 江戸時代の国際関係

学習課題 鎖国のもとで，日本は世界とどのように結びついていたのでしょうか。

中国・オランダと長崎

17世紀の中ごろ，中国では明に代わり，女真(満州)族が**清**という国を建て，広大な地域を支配しました。朝鮮や琉球(沖縄県)は，清に朝貢を行いましたが，日本と清の国交は開かれませんでした。←p.27 一方で，貿易[2]は活発に行われ，多くの中国の商船が長崎に来航しました。[1][1]

また，オランダの商船は，幕府の厳しい監視のもと，出島にあるオランダ商館[2][1]でのみ貿易[2]の取り引きを認められました。

長崎には，日本にない新たな文物がもたらされたので，海外の知識を学ぼうと，各地から多くの学者が訪れました。

朝鮮と対馬藩

朝鮮との国交は，豊臣秀吉の朝鮮侵略←p.101以来とぎれていましたが，対馬藩(長崎県)の宗氏の仲立ちにより，国交が回復しました。朝鮮の釜山には倭館が設けられ，貿易を許された対馬藩は，木綿や朝鮮人参などを輸入しました。また，朝鮮からは，日本の将軍の代替わりごとに**通信使**とよばれる使節が派遣され，宗氏の案内で江戸を訪れるようになりました。[3][4]

[1] 中国人を居住させるため，長崎には唐人屋敷がつくられました。

[2] オランダ商館長は，毎年江戸を訪れて将軍に面会し，世界のできごとを報告するオランダ風説書を差し出しました。中国人にも唐船風説書を差し出させました。これらは幕府にとって，世界の動きを知る重要な情報源でした。



3 鎖国下の日本の窓口



4 江戸を訪れた朝鮮通信使の一行
（『朝鮮通信使江戸市中行列図』福岡市博物館蔵）
通信使は，江戸時代を通じて12回来日しました。通信使が通る沿道には，見物する民衆や，漢詩・朱子学などを通じた交流を求める文人・学者が集まりました。



5 江戸に向かう琉球使節の一行
（『琉球中山王両使者登城行列図』国立公文書館蔵）
琉球使節の一行は，中国ふうの服装で行列しました。

琉球王国と薩摩藩

琉球王国は，17世紀の初め，薩摩藩の島津氏に武力で征服され，年貢の取り立てなどの支配を受けるようになりました。←p.74 薩摩藩は，琉球がそれまでどおり中国に朝貢することを認め，琉球を通じた貿易で利益を上げました。さらに，将軍や琉球国王の代替わりごとに使節を江戸に送らせ[3][5]，幕府と薩摩藩の権威が琉球にまで及んでいることを，日本国内の人々に誇示しました。一方で琉球の人々は，中国や日本との交流のなかで，王国としての独自の文化を発展させ，自立の誇りとしました。

アイヌ民族と松前藩

蝦夷地（北海道）では，アイヌ民族が，千島列島や樺太，中国にわたる広い地域で，豊かな海産物や毛皮などの交易をしながら暮らしていました。←p.74, 75 17世紀になると，渡島半島の南部を領地とした松前藩が，アイヌの人たちとの交易を独占する権利を幕府から認められました[3]。アイヌの人たちは，大量の鮭をわずかな米と交換させられるなど，和人との不利な取り引きを強いられたので，1669年，シャクシャイン[6]を指導者に団結して立ち上がりました。しかし松前藩との戦いに敗れ，さらに厳しく支配されるようになりました。

[3] 松前藩は，和人とアイヌ民族の住む地域を分けたうえ，家臣たちには，米の代わりにアイヌの人たちとの交易の権利を与えました。



6 シャクシャインの像
（北海道新ひだか町）

ふりかえる

ステップ 1 鎖国下の日本で，窓口となっていたのはどこか確かめよう。

ステップ 2 江戸時代の日本は，世界とどのように結びついていたか，白地図にまとめて説明しよう。



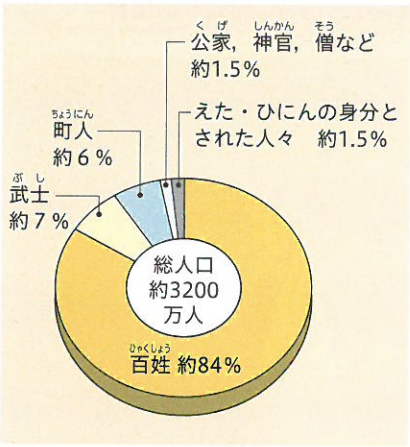
どのような人々が暮らしているかな。

1 江戸の町の様子(『熙代勝覧』ベルリン国立アジア美術館蔵)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 1700年 18 1800年 19 20 21

11 身分ごとに異なる暮らし ▶ 江戸時代の身分制度

学習課題 身分制の世の中で，人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。



2 身分別の人口の割合
(江戸時代の末『近世日本の人口構造』)

武士と百姓・町人

江戸幕府は，豊臣秀吉が進めた兵農分離をもとに，人々を**武士**と**百姓**(農民など)・**町人**(商人・職人)の身分に分けて，身分の上下を強めました。 ←p.101

武士は，多数の民衆を支配する高い身分とされ，名字を名のることや，刀を差すこと(帯刀)などの特権が与えられました。また，同じ武士のなかでも，将軍から足軽まで，上下の関係が厳しく分けられました。身分や家柄に応じて，役職や住居，衣服などが決められていたうえ，身分は，その家の長男に代々受け継がれました。身分制のしくみは，民衆の間にも広められ，しだいに「家」の制度が重んじられるようになりました。1

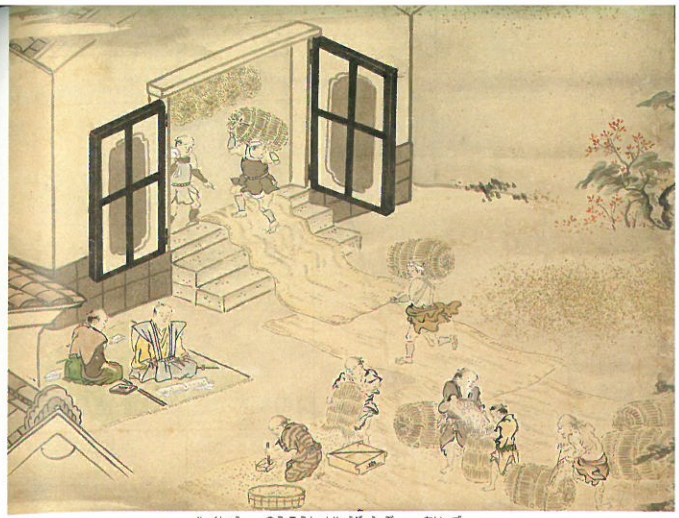
村に住む人々の暮らし

人口の大部分を占める百姓2は，数十戸からなる村に住み，土地をもち年貢を納める本百姓と，土地をもたない水呑百姓に分かれていました。村の生活は自給自足に近く，肥料・燃料をとる林野や，農業用水は共同で利用し，田植えや祭り4なども協力し合って行いました。

幕府や藩は，有力な本百姓を名主(庄屋)・組頭・百姓代などの村役人とし，年貢の納入3や村の運営にあたらせました。百姓

1 女性の地位を男性より低くみなす男尊女卑の考え方も強まりました。身分の上下などの考え方を支えるうえで，儒学(朱子学)が大きな役割を果たしました。

2 武士の生活を支えるために，四公六民や五公五民といって，収穫高の40～50%の米を納める重い年貢が課せられました。



3 年貢を納める百姓(『農耕春秋屏風』会津酒造歴史館蔵)



4 秋の祭礼でくつろぐ人々
(『四季農村図屏風』山口県文書館蔵)

に対しては，年貢を安定して取るため，土地の売買を禁止し，衣食などの生活も規制しました。さらに，5～6戸で**五人組**を組織し，年貢の未納や犯罪には連帯で責任を負わせました。

町に住む人々の暮らし

1 江戸・大阪・京都や各地の城下町などには，家をもち税を納める町人と，家を借りて日雇いなどで働く人々が住んでいました。町人は，呉服町・魚町のように業種ごとに住むことが多く，そのなかから町役人が選ばれ，町奉行のもとで町の運営にあたりました。町人の負担は百姓に比べて軽く，商売に成功して大きな富を蓄える者も現れました。また，商人や職人の家には，奉公人や徒弟が年少のころから住み込みで働き，将来の独立を目ざしました。

身分による差別

民衆のなかには，百姓・町人とは別に，えた・ひにんなどの身分とされた人々がいました。これらの人々は，幕府や藩の役人のもとで，犯罪者の取りしまりや処刑などの役目を担ったり，芸能にたずさわったりしました。えたの身分のなかには，農業を営んで年貢を納める者も多く，死んだ牛馬を処理する権利をもち，その皮革を加工する仕事や，5 履物づくりなどの仕事に従事する者もいました。

これらの人々は，社会や文化を支える役割を果たしていましたが，暮らしのうえではさまざまな差別を受けました。住む場所や服装，ほかの身分の人々との交際などを制限され，こうした差別は，幕府や藩の支配に都合よく利用されました。

百姓に対する法令
(1643年　一部の要約)

一．衣類は，麻布・木綿だけを着ること。衣類を紫や紅梅に染めてはならない。
一．食物は雑穀を食べ，米はむやみに食べないように。
一．たばこの栽培や，田畑の売買をしてはならない。
＊大きな飢饉が起こった翌年に出されたもの



5 雪駄づくり(大阪人権博物館蔵)
雪駄は江戸時代の履物で，竹の皮と牛の革が使われていました。

ふりかえる

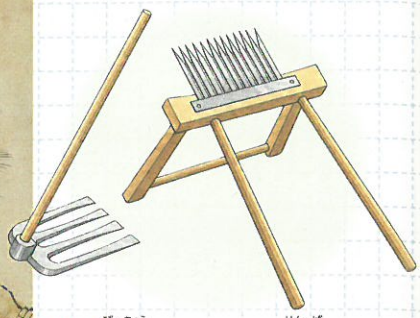
ステップ 1 武士には，どのような特権があったか確かめよう。

ステップ 2 身分制度は，幕府が人々を支配するうえで，どのような役割を果たしたか説明しよう。

4 経済の成長と幕政の改革



1 江戸時代の農具の進歩(『老農夜話』東京大学史料編纂所蔵)



2 備中ぐわ(左)と，千歯こき(右)

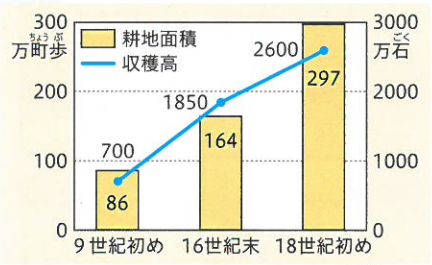


世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 1700年 18 19 20 21

12 将軍のおひざもと，天下の台所 ▶経済の発達と都市の繁栄

学習課題 江戸時代には，産業や流通がどのように発達し，社会にどのような影響を与えたのでしょうか。

1 干鰯は，いわしを日干しにしたもので，油粕は，菜種などから油をしぼったかすのことです。



3 全国の耕地面積と収穫高の移り変わり



4 蝦夷地のにしん漁
(『松前檜山屏風』函館市中央図書館蔵)

新田開発と農業

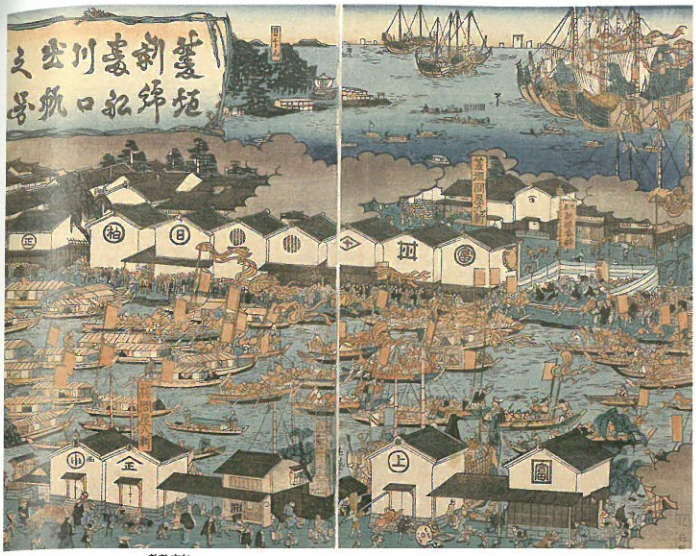
戦乱が治まると，年貢の増収を図る幕府や藩，生活の向上を願う百姓が，**新田開発**を盛んに進めました。開発を請け負う町人も現れ，耕地面積は急速に広がりました[3]が，開発のしすぎで洪水が起こることもありました。

近畿地方の進んだ農業技術が各地に広まり，農具では，田畑を深く耕せる鉄製の備中ぐわ[2]や，千歯こき[2]，唐箕が使われるようになって[1]，作業の能率や生産力が上がりました[3]。肥料も，糞尿や草木灰のほかに，干鰯や油粕[1]などを購入して用いるようになりました。また，農法を紹介する書物も出版されました。

←p.62
p.127→

産業と流通の発達

一方，建築の資材や暖房用の燃料の需要が増えたことから，林業が盛んになりました。木を伐採し，加工する道具や技術が改良され，材木や薪・炭を扱う商人も増えました。水産業では，漁網の改良で漁獲量が増え，網元による大規模な経営も行われました。魚は肥料や油の原料としても利用され，九十九里浜(千葉県)のいわし漁，土佐(高知県)や紀伊(和歌山県)のかつお・くじら漁，蝦夷地の鮭・にしん漁[4]などが盛んになりました。しょう油や漬物の消費が増えるにつれて，塩田による塩の生産も発達しました。また，各地の鉱山[2]の開発も進み，幕府は，江戸に設けた金座・銀座などで，



5 にぎわう大阪の港
（『菱垣新綿番船川口出帆之図』大阪城天守閣蔵）



6 三井家が江戸に開いた越後屋呉服店
どのような売り方をしているでしょうか。

金貨・銀貨・銭(銅)貨をつくって全国に流通させました。7 ←p.87

年貢米は，幕府や藩の財政を支える重要な商品として，大阪や江戸に送られました。綿・菜種・藍などの栽培が各地に広まり，養蚕・織物業が盛んになると，輸送のための街道がにぎわいました。水上の輸送路として，江戸・大阪間のほか，日本海側から江戸・大阪へ運ぶ東まわり航路や西まわり航路も開かれ，巻末1→ 米などの重い荷や各地の特産物が廻船で運ばれました。5 p.116→

にぎわう都市

商業や交通が発達すると，城下町・港町・宿場町・門前町などがにぎわい，なかでも江戸・大阪・京都は三都とよばれました。江戸は，政治の中心地として「将軍のおひざもと」とよばれ，18世紀の初めには人口100万人をこえました。大阪は，商業の中心地として「天下の台所」とよばれ，各藩の**蔵屋敷**に運び込まれた年貢米や特産物の取り引きで発展しました。5 p.126→ 京都は，伝統ある文化の中心地で，西陣織などの高度な手工業が発達しました。p.122→

都市では，問屋・仲買などの商人が力を強めました。同業者ごとに**株仲間**をつくり，幕府に営業税を納めるかわりに，営業の独占を許され，大きな利益を上げました。金・銀・銭の貨幣を交換する両替商も増え，江戸の三井6や大阪の鴻池のように，財政の苦しい藩に金を貸し付ける有力な商人も現れました。

2 佐渡金山(新潟県)，石見銀山(島根県)，生野銀山(兵庫県)，別子銅山(愛媛県)，足尾銅山(栃木県)などがあります。



7 江戸時代に使われた主な貨幣

ふりかえる

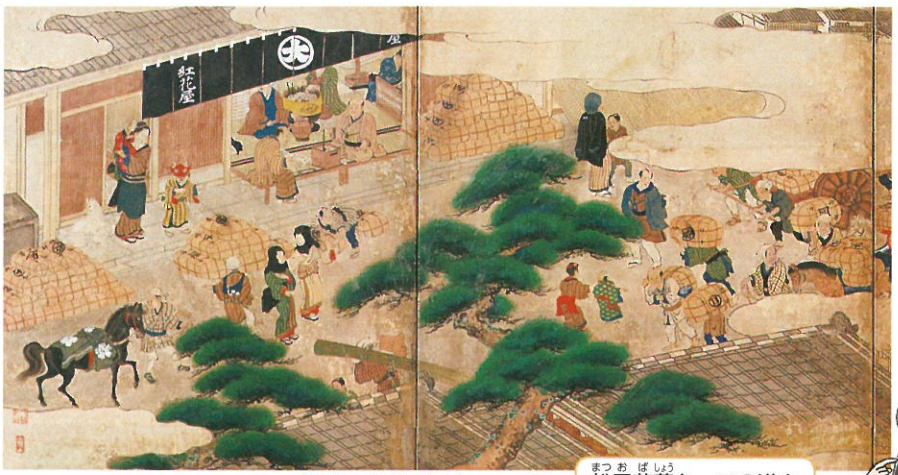
ステップ1 江戸が「将軍のおひざもと」，大阪が「天下の台所」とよばれたわけを確かめよう。

ステップ2 商人が，力をつけていったのはなぜか説明しよう。

郷土の歴史を探ろう ③

地域の街道や港を訪ねて

だいだい色の紅花(←p.14)が，一面にさくのは7月。山形県天童市を通る旧羽州街道を，人々は「紅花街道」とよんでいました。旧羽州街道は，さらに秋田藩，佐竹氏の城下町(久保田)を通り，北へと続いています。大名の参勤交代や物資の輸送などでにぎわった，江戸時代の「道」について探ってみましょう。



紅花街道のにぎわい(『紅花屏風』山寺芭蕉記念館蔵)





ポイント　資料を活用して，調査をさらに深めよう

博物館や資料館，書籍などで地域調査を進めるなかで，絵画や文書などの当時の資料や統計資料を見つけたら，その資料の読み解きをしてみましょう。

地域調査の手引き③

◆**資料を読み解くときは**

- 展示や書籍の解説を読んで，いつごろの，何についての資料なのか確かめましょう。
- 絵の場合は，描かれている人々の服装や乗り物，建物，道具など，いろいろなところに着目してみましょう。

◆**資料を調査に活用するときは**

- 資料を見て気づいたことが，これまで調査してきたことや，現在の地名，町並み，伝統工芸品などと関係していないか調べてみましょう。



資料館として保存されている豪農の屋敷跡(山形県河北町)



道しるべとされた一里塚(秋田県湯沢市)


復元された箱根関所

江戸と京都を結ぶ東海道には，箱根(神奈川県)に関所が設けられました。「入り鉄砲に出女」といわれた取りしまりでは，江戸に鉄砲が持ち込まれることと，大名の妻が江戸を出ることを，特に警戒しました。また，途中に流れる大井川(静岡県)は，橋をかけることや船で渡ることが禁じられ，人々は川越人足にかつがれて川を渡りました。


大井川の渡し


江戸幕府が，このような制度を設けたのはなぜかな。

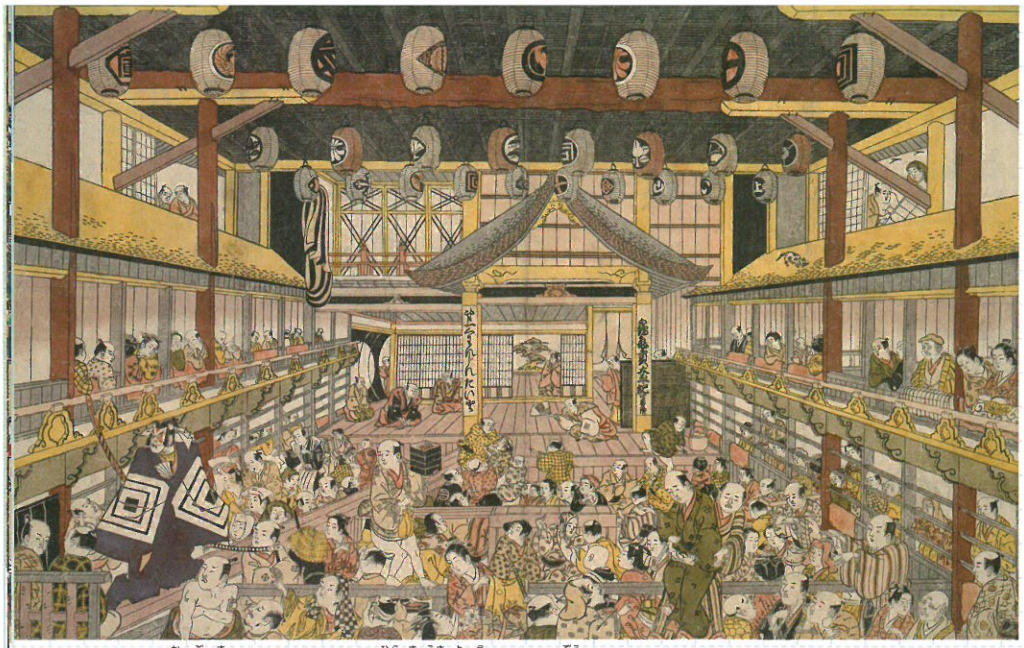
列島探検 ～北から南から




蝦夷地のにしんは，西日本の稲作や畑作の肥料として用いられたそうよ。

北前船などでにぎわう新潟の湊
(新潟県立図書館蔵)

街道のほか，海の「道」にも注目してみましょう。日本海側では，江戸時代の中ごろになると，蝦夷地(北海道)のにしんやこんぶ，東北地方の米などを，瀬戸内海を通って大阪へと輸送する北前船が，盛んに行き来するようになりました。また，こんぶは琉球(←p.111)にも輸送されました。かつて漁港だった新潟の湊(港)は，その寄港地として発展し，たくさんの船でにぎわいました。



1 歌舞伎を楽しむ人々（平木浮世絵美術館蔵）



2 現代の歌舞伎（「暫」歌舞伎座）



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 1700年 18 19 20 21

⑬ 花開く町人文化 ▶ 元禄文化と暮らしの変化

学習課題 江戸時代の前半には，どのような文化が生まれたのでしょうか。



3 現代の人形浄瑠璃（文楽「曾根崎心中」国立劇場）



夏草や　兵どもが　夢の跡

五月雨の　降のこしてや　光堂

4 松尾芭蕉（左）（天理大学附属天理図書館蔵）と，芭蕉がよんだ句

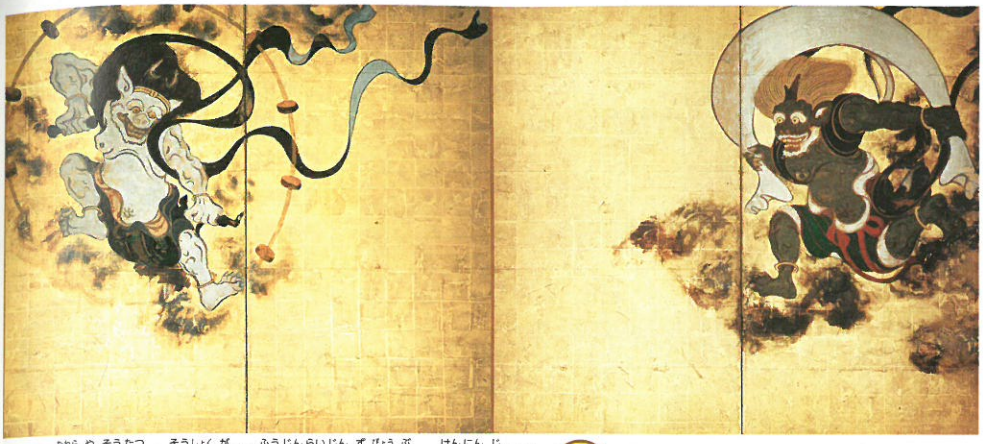
元禄文化

社会が活気づくなか，17世紀の末から18世紀の初めにかけて，上方とよばれる大阪・京都を中心に，町人たちを担い手とする文化が生まれました。この文化を，このころの年号をとって，**元禄文化**といいます。

井原西鶴は，**浮世草子**とよばれる小説に，商売で競い合う町人の欲望や生活を生き生きと描き，『日本永代蔵』などの作品で評判をよびました。**近松門左衛門**は，人形浄瑠璃の脚本家として，義理と人情の板ばさみのなかで懸命に生きる男女を描き，『曾根崎心中』などの作品で人々に感動を与えました。また，歌舞伎は，踊りから物語に重きをおく演劇に成長し，上方で坂田藤十郎，江戸で市川団十郎などの役者が人気を集めました。**松尾芭蕉**は，俳諧（俳句）を和歌と対等の芸術に高め，東北地方などへの旅をもとに『奥の細道』を書きました。

美術では，俵屋宗達に次いで，尾形光琳が，屏風やまき絵に優美な装飾画を描きました。好みの模様を染め出す友禅染の技法も工夫され，はなやかな小袖が流行しました。また，江戸で活躍した菱川師宣は，町人の風俗を美しく描く**浮世絵**を始めま

←p.103



5 俵屋宗達の装飾画(『風神雷神図屏風』建仁寺蔵) 国宝



7 菱川師宣の浮世絵(『見返り美人図』東京国立博物館蔵)

した。木版画で刷られ，民衆に広く売り出された浮世絵もありました。

学問では，1 中江藤樹らが，実践を重んじる陽明学を学び，水戸藩主の徳川光圀は，学者を集めて歴史書『大日本史』の編さんを始めました。 ←p.104



6 尾形光琳のすずり箱(『八橋蒔絵螺鈿硯箱』東京国立博物館蔵) 国宝

1 数学も発達し，関孝和らによって日本独自の和算が確立され，中国伝来のそろばん(←p.103)が普及しました。



8 正月を過ごす子どもたち

民衆の暮らし

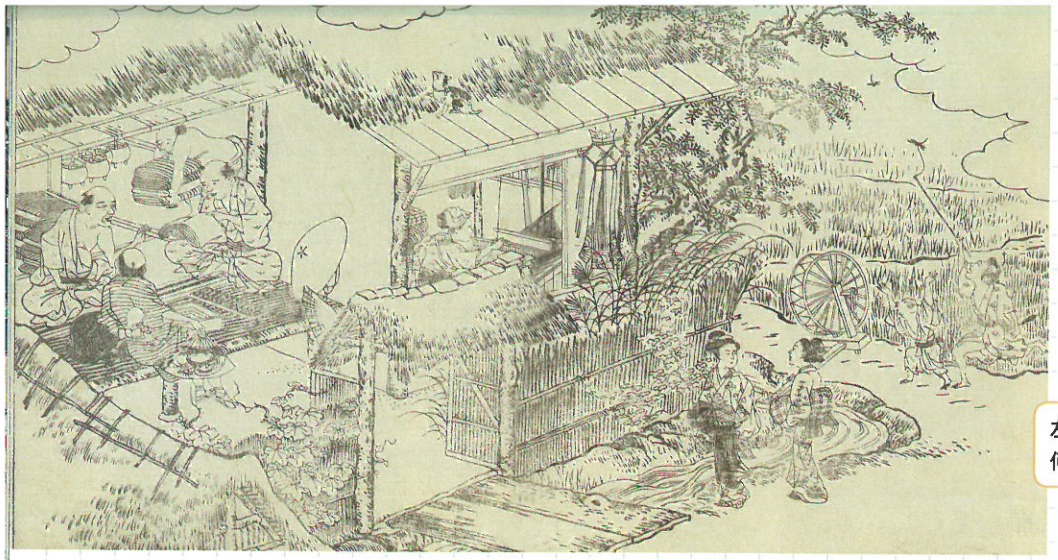
人々の衣食住も，しだいに変化していきました。衣服は，じょうぶで扱いやすい木綿が急速に普及し，小袖も一般的になりました。食事は，1日3食が普通になり，米を主食に，みそ・しょう油で味つけした，煮物や魚などのおかずを食べる習慣が広まりました。住居は，それまで地面に柱を埋めていましたが，石の土台の上に柱を組む建て方に変わり，家が長もちするようになりました。家の明かりには，菜種油を使う行灯が広まりました。

年中行事は，地域による違いもありましたが，元旦，ひな祭り，端午の節句，彼岸などが定着していきました。8 人々は，熱心に寺社に参詣し，無病息災などを祈願しましたが，遠方の寺社へ出かける旅は，観光を兼ねた娯楽にもなりました。また，祭りの時には，奉納相撲や村芝居，踊りなどを楽しみました。 ←p.113

ふりかえる

ステップ1 このころの暮らしや年中行事で，現在も受け継がれているものをあげよう。

ステップ2 「上方，町人，活気」の用語を使って，元禄文化の特色を説明しよう。



1 木綿の機織をする農家
(『河内名所図会』) 農村での手工業の広まりを背景に，江戸時代の中ごろになると，問屋が機械や材料を農家に貸し出し，布を織らせて賃金を支払う生産方法も始まりました。これを，問屋制家内工業といいます。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 1700年 18 1800年 19 20 21

14 連判状にまとまる人々 ▶ 農村の変化と百姓一揆の高まり

学習課題 幕府政治や社会の移り変わりのなかで，人々はどのような行動を起こしたのでしょうか。

綱吉と白石の政治

元禄のころ，5代将軍の**徳川綱吉**は，それまでの力でおさえつける幕府政治を改めました。江戸の湯島に孔子をまつる聖堂を建て，儒学を盛んにするなど，学問を重んじて忠孝や礼儀を説く政治を進めました。しかし，極端な動物愛護を強いる生類憐みの令を出し，違反した者を罰したので，人々の反発を招きました。また，寺社の造営などに幕府の財産を浪費して，質の悪い貨幣を多量に発行したことから，物価が上がり，人々の生活は苦しくなりました。

←p.20

続く6代・7代将軍は，儒学者の**新井白石**を重く用いました。白石は，財政を立て直すために，貨幣の質をもとにもどし，長崎での貿易を制限して，金・銀の海外流出をおさえました。

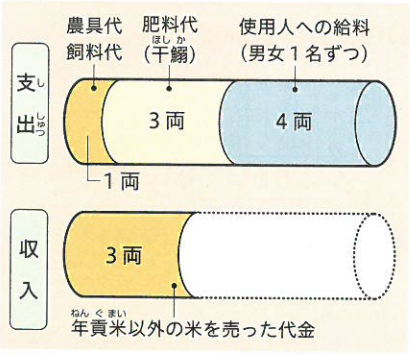
❶ なかでも朱子学が奨励され，林羅山に始まる林家が重用されました。
❷ とりわけ犬を大事にした綱吉は，何万頭もの野犬を収容して，莫大な費用を使いました。
❸ これ以後，輸入の代金を，銅や，干しあわびなどの海産物で支払うようにしました。

貨幣経済の広まり

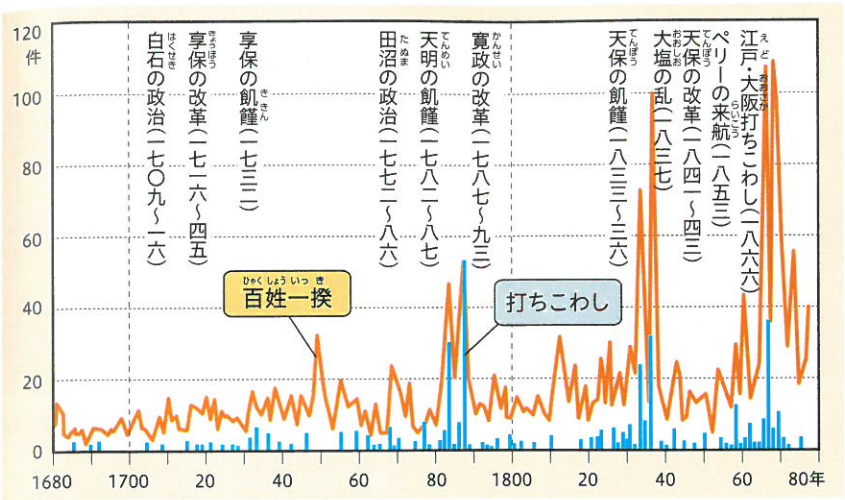
←p.110

都市の人口の増加や生活の向上で，多くの生活品が必要になると，農村では，野菜や綿・菜種などが盛んに栽培され，売られるようになりました。こうした**商品作物**は，現金の収入を得られるため，栽培に力を入れる農家が増えましたが，肥料や農具を購入するのに経費がかさみました。また，自給自足に近かった農村でも，生活品の購入が増えたほか，年貢を貨幣で納めることも広がりました。

このため，不作や商品価格の下落が重なると，農家の経営は



2 ある農家の1年間の家計
津藩(三重県)が試算した平均的な農家の例です。



3 百姓一揆・打ちこわしの発生件数の移り変わり（『百姓一揆総合年表』）



4 傘連判状　1756年に美濃（岐阜県）で起こった一揆で，一揆の参加者が署名したものです。なぜ，名前をだ円形に書いたのでしょうか。

不安定になり，生活が苦しくなりました。田畑を質入れして借金する農家も多く，都市へ出かせぎに出たり，借金を返せずに土地を手放したりする者が増えました。一方で，土地を集めて**地主**になる者も現れるなど，貧富の差が大きくなりました。

百姓一揆と打ちこわし

財政の悪化に苦しむ幕府や藩は，年貢を引き上げたり，商品作物の価格や売り先を統制し，新たな税をかけたりしました。これに対し，百姓たちは団結して，**百姓一揆**を起こしました[3][4]。大勢で城下に押しかけ，領主に年貢の軽減や作物の自由な売買を要求したり，高利貸しなどの家を打ちこわしたりしました。また，都市でも，生活に困った人々が米を買い占める商人に対し，**打ちこわし**で抗議しました[3]。

幕府や藩は，一揆の指導者を処刑するなど，厳しく対処する一方，要求を一部認めたり，改革に取り組んだりしました[5]。



5 二宮尊徳（報徳博物館蔵）
勤労・倹約を奨励するなどして，幕府・諸藩による農村の復興に取り組みました（←巻頭2）。

ふりかえる

ステップ1 綱吉と白石は，それぞれどのような政治を行ったか確かめよう。

ステップ2 百姓一揆や打ちこわしが増えてきたのはなぜか説明しよう。

歴史の窓　野國總管と青木昆陽 ～飢饉から人々を救った甘藷（さつまいも）

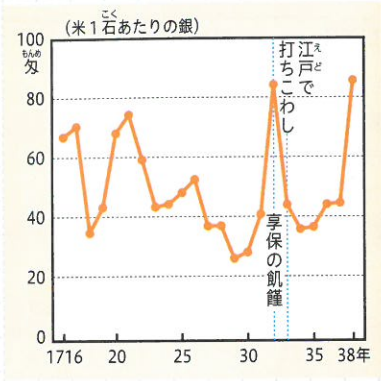
江戸時代には，大きな飢饉がたびたび起こり，多くの人々に被害をもたらしました。そのため，飢饉に備える作物として，天候の影響を受けにくく，やせた土地でも育つ甘藷の栽培が始められたのです。

アメリカ大陸が原産地の甘藷は，17世紀の初めに，琉球の野國總管が中国からもたらしました。野国村（現在の沖縄県嘉手納町）出身の總管は，中国への進貢船の事務長という役職を務めていた人物です。やがて，甘藷は琉球から薩摩藩に伝えられましたが，享保の飢饉をきっかけに，江戸の青木昆陽が甘藷に注目し，その効用などを書物に著しました。幕府の命を受けた昆陽が，薩摩藩から取り寄せた種いもをもとに，甘藷の栽培に成功したことから，甘藷は，さつまいもの名で各地に広まりました。



野國總管の像







1 大阪・堂島の米市場(上：『浪花名所図会』大阪歴史博物館蔵)と，18世紀前半の米価の変動　堂島には，日本中から米が集まり，取り引きされる米の価格が全国に大きな影響を与えました。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

15 繰り返される政治改革 ▶ 享保の改革と寛政の改革

学習課題　幕府政治の改革が繰り返し行われたのは，なぜでしょうか。



2 徳川吉宗
(徳川記念財団蔵)

公事方御定書
(1742年　一部の要約)

第28条
領主に対し，無理やり訴えごとをし，徒党を組んで他の村へ逃散する百姓があれば，その首謀者は死刑とする。

第71条
武士はもちろん，足軽のような下の身分の武家奉公人でも，もし百姓・町人からむちゃな悪口を受け，やむをえず切り殺した場合は，よく調べたうえで，事実ならば無罪とする。

享保の改革と田沼の政治

財政難が続くなか，18世紀の前半に8代将軍となった**徳川吉宗**[2]は，政治と経済の立て直しを図りました。旗本や御家人には，質素・倹約の生活と武芸を勧め，旗本の大岡忠相を町奉行に取り立てるなど，有能な人材を登用しました。江戸に目安箱を設けて，民衆の投書を参考にしたほか，急増する訴えに対しては，**公事方御定書**という法律を整え，裁判の基準としました。また，町人による新田開発を進め，豊作や不作にかかわらず一定の年貢を取り立てるようにして，物価の安定にも努力しました[1]。これを**享保の改革**といいます。幕府の収入はいったん増えましたが，引きしめの政策が不況を招き，飢饉も起こって米価が急に上がったため[1]，江戸では初めての打ちこわしが起こりました。

18世紀の後半には，老中の**田沼意次**[4]が，商人の力を利用した積極的な産業政策を推し進めました。商工業者の株仲間を増やして営業税を徴収したほか，長崎での貿易[3]を活発にするために海産物の輸出をうながし，蝦夷地の開拓も計画しました。しかし，特権や地位を求めるわいろが盛んになり，政治の乱れに

←p.115

1 大名に対しては，一時的に，参勤交代で江戸に滞在する期間を半減するかわりに，幕府に米を献上させました。



↑3 長崎での貿易(『唐蘭館絵巻』長崎歴史文化博物館蔵)



↑4 田沼意次(勝林寺蔵)

読み解こう

5の狂歌は，白河藩(福島県)の藩主だった松平の政治と，それまでの田沼の政治を比べています。

❶「清き」や「濁り」は，どのようなことをたとえているのだろう。

❷この狂歌の意味を，自分なりの言葉で説明しよう。

白河の清きに魚のすみかねてもとの濁りの田沼恋しき



↑5 松平定信(南湖神社蔵)と，寛政の改革を風刺する狂歌

批判が強まりました。また，天明の飢饉が起こって，百姓一揆や打ちこわしが急増し，田沼の政治は行きづまりました。

←p.121

寛政の改革

田沼のあと老中になった**松平定信**[5]は，農村の復興と政治の引きしめに取り組みました。江戸に出かせぎに来ていた者は農村に帰し，凶作に備えて村ごとに米を蓄えさせました。湯島の聖堂には昌平坂学問所をつくり，

←p.120

朱子学を学ばせて，人材の育成を図りました。また，旗本や御家人の生活苦を救うため，その借金を帳消しにしたほか，倹約令を出し，学問と武芸により武士の気風を改めようとしました。これを**寛政の改革**といいます。しかし，出版物の統制をはじめ，風紀の厳しい取りしまりが人々の不満を高めました[5]。

このころ，ロシアの人たちがシベリアから蝦夷地に進出し，アイヌの人たちとの交易を進めていました。和人の商人も蝦夷地の東部まで漁場を広げていましたが，1789年，国後地方で，約130名のアイヌの人たちが漁場での扱いを不満とし，立ち上がって抵抗しました。この蜂起が，ロシア人との連合によるものという噂が生じたことから，幕府は警戒を強めました。

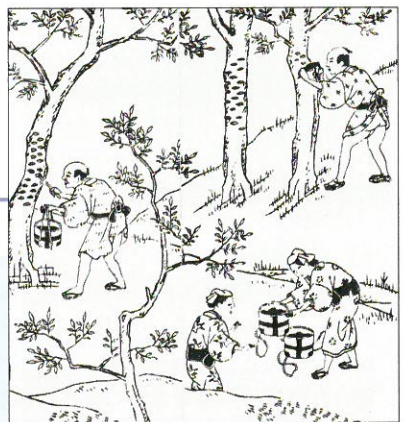
ふりかえる

ステップ1 吉宗・田沼・松平の政治について，それぞれどのようなことを行ったか確かめよう。

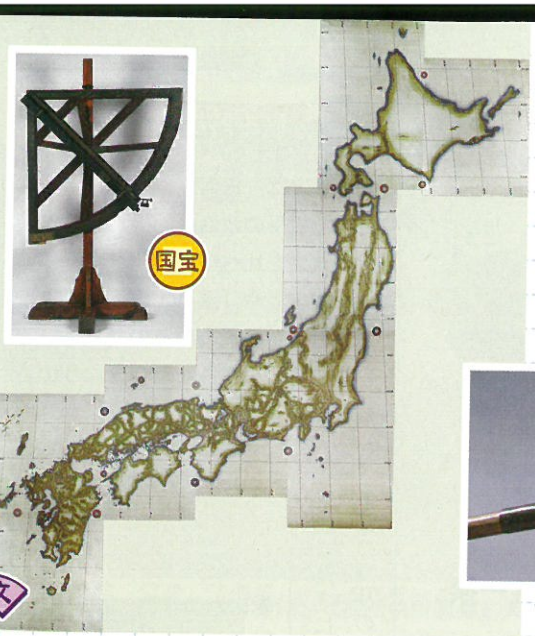
ステップ2 これらの改革は，どのような結果をもたらしたか説明しよう。

歴史の窓　米沢藩の藩政改革

寛政の改革のころ，財政難を切り抜けるために，多くの藩が藩政改革に取り組みました。18世紀後半の米沢藩は，幕府から命じられた寺社の修理の資金を出すため，家臣の給料を半分にし，江戸の豪商から借金をするほど財政が悪化していました。その原因は，領内の農村がおとろえ，領民の数が3万人あまりも減ったためでした。藩主となった上杉鷹山(治憲)は，藩政改革に乗り出し，倹約令を出して，飢饉に備えて穀物を蓄えました。また，特産物として，うるしを植えさせ，米沢織を育成しました。



↑うるしの採集(『日本山海名所図会』国立国会図書館蔵)



➡1 伊能忠敬(伊能忠敬記念館蔵)

➡⬇2 忠敬の地図と測量機器　下総(千葉県)出身の忠敬は，50歳を過ぎてから江戸に出て，西洋の天文学や測量術を学びました。19世紀の初め，幕府の命により，全国の沿岸を歩いて測量し，日本地図を作りました。







忠敬の地図を，現在の地図と比べてみよう。なぜ，これほど正確にかけたのかな。

重文

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

⑯「読み・書き・そろばん」の習い ▶ 学問の広まりと化政文化

学習課題　政治や社会がゆれ動くなかで，どのような学問や文化が生まれたのでしょうか。

新しい学問と思想

儒学では，幕府や藩の奨励する朱子学を批判する学派もおこりましたが，幕府は，身分や秩序を重んじる朱子学を正しい学問としました。また，民衆に職業の誇りや生活道徳を説く，心学も盛んになりました。

←p.112

18世紀の後半には，**本居宣長**が『古事記』を研究して『古事記伝』を著し，仏教や儒教がもたらされる以前の日本人の精神を明らかにしようとする，**国学**[1]を大成させました。それを受け継いだ平田篤胤は，日本が神国であると強調する神道を唱え，幕末の尊王攘夷運動に影響を与えました。

←p.39, 48

p.147➡

一方，8代将軍の吉宗がヨーロッパの書物の輸入禁止をゆるめたころから，西洋の学問をオランダ語で研究する**蘭学**が発達し始めました。特に，オランダ語の人体解剖書を翻訳した，**杉田玄白**らの『解体新書』[3]の出版をきっかけに，医学や天文学などへの関心が高まり，蘭学の塾も各地に開かれました[2]。こうしたなか，平賀源内は発電機や寒暖計を製作して人々を驚かせ，**伊能忠敬**は，全国を測量して正確な日本地図を作りました[1][2]。

また，安藤昌益のように，人々が平等に農耕を営む社会を理想と説き，身分制の封建社会を批判する思想家も現れました。

➡1 宣長の師である賀茂真淵は，『万葉集』を研究し，塙保己一は，貴重な古書を集めた『群書類従』を出版しました。

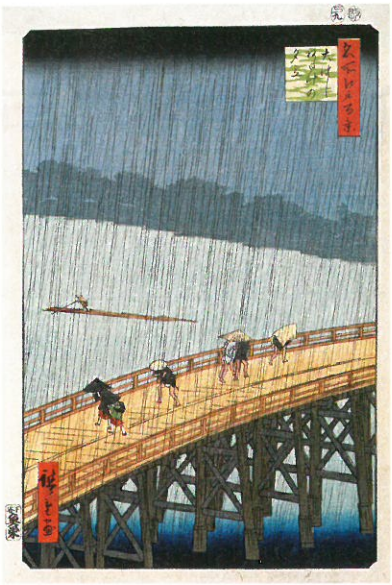
➡2 緒方洪庵が蘭学を教えた適塾や，オランダ商館のシーボルトが医学を教えた鳴滝塾などの私塾が開かれました。



➡3 『解体新書』(内藤記念くすり博物館蔵)　杉田玄白・前野良沢らは，江戸で人体の解剖の様子を見学しました。解剖は，えたの身分とされた人々が，優れた技術や知識を生かして行いました。玄白らは，実際の人体が，持参していた西洋の解剖図とそっくりなことに驚き，翻訳を決意しました。



4 『東海道中膝栗毛』 江戸に住む弥次郎兵衛と喜多八が，伊勢参りののちに，京都の方広寺大仏殿を訪れた場面です。





5 歌川広重の風景画(左：『名所江戸百景　大はしあたけの夕立』)と，ゴッホが描いた油絵(右：『雨中の大橋』) 日本の浮世絵は，ヨーロッパの絵画にも大きな影響を与え，「ジャポニスム」とよばれるようになりました。

化政文化

19世紀になると，社会の行きづまりを背景に，幕府政治や世の中を風刺する狂歌や川柳(←p.123)が，町人の間で流行しました。小説では，旅の道中をこっけいに描いた十返舎一九の『東海道中膝栗毛』[4]や，冒険と空想に満ちた滝沢馬琴の長編物語『南総里見八犬伝』が評判となり，江戸には貸本屋も増えました。俳諧では，与謝蕪村が，風景を絵画のように表現し，小林一茶は，農民の感情をよみました。

演劇では，歌舞伎が盛んになり，落語を楽しむ寄席も生まれました。浮世絵では，錦絵とよばれる多色刷りの版画が人気を集め，喜多川歌麿は美人画，東洲斎写楽は歌舞伎の役者絵，**葛飾北斎**や**歌川(安藤)広重**は風景画[5]に優れた作品を残しました。(←p.87)

江戸の町人の好みを反映して生まれたこのような文化を，このころの年号(文化・文政)をとって，**化政文化**といいます。

地方の文化と教育

都市の文化は，地方にも広まりました。伊勢神宮への参詣などの旅の習慣が広まり，観光のための名所案内が刊行されたほか，郷土色の豊かな芸能や工芸品も成長しました。また，町や村には多くの**寺子屋**[6]が開かれ，「読み・書き・そろばん」を学ぶ民衆が増えたことが，こうした文化の広まりを支えました。各地の藩でも，武士の子弟を教育するための**藩校**が設立され，人材の育成に力を入れました。

重文



6 寺子屋で学ぶ子どもたち(『一掃百態』田原市博物館蔵)　寺子屋は，18世紀の後半から増え始め，町人や百姓の子どもたちが，7～8歳ぐらいから通いました。

ふりかえる

ステップ1 国学・蘭学は，それぞれどのような学問か説明しよう。

ステップ2 元禄文化と化政文化の共通点や，時代背景の違いについて説明しよう。

人物から歴史を探ろう ③ ～近世に生きた人々

リサイクル都市・江戸の町人

「将軍のおひざもと」とよばれた江戸は，人口が100万人をこえる，世界でも有数の大都市でした。活気あふれる江戸の町で，人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。そのにぎわいの様子や，町人の暮らしの一端をのぞいてみましょう。



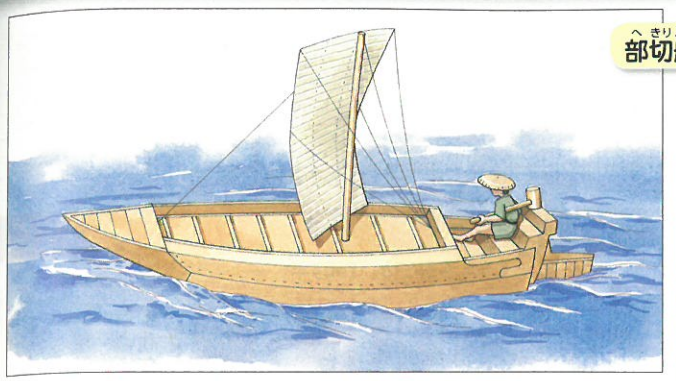
江戸の町の様子（『江戸名所図屏風』出光美術館蔵）

江戸のにぎわい

井原西鶴（←p.118）の書いた浮世草子『世間胸算用』のなかで，江戸の様子が次のように紹介されています。

「天下泰平なので，日本中の人が，江戸で商売をしようと支店をつくり，各地から送ってくる荷物は，船でくるものもあれば，陸上を馬で運んでくるものもあって，毎日何万駄（1駄は約150kg）という荷が問屋に着く。暮も迫った12月15日からは，江戸の日本橋・中橋・京橋通りの繁盛は，宝の市とはこのことかと思うほどである。……船町の魚市場の様子を見ると，四方が海の日本とはいえ，よくも魚が種切れにならないと感心するほどである。神田須田町の野菜市場に毎日運ばれてくる大根は，江戸近郊の村々から，何千何万の馬につけてくるので，畑が歩いているように見える。…」





部切船

リサイクルの知恵

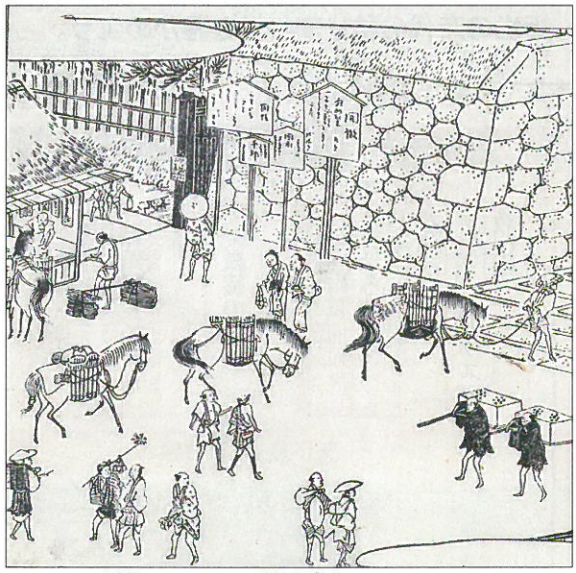
上と右の絵で，船や馬が運んでいるものは，なんでしょうか。

江戸時代には，人々が排せつする糞尿を，農作物の肥料（下肥）として用いることが広まりました。近郊の村に住む百姓たちは，江戸に糞尿を買いに来て，それを肥料にして栽培した野菜などを，また売りに来ていたのです。町人たちが暮らす江戸の長屋では，共同便所の糞尿を，大家（長屋の管理人）が売って収入にしていました。

糞尿は，水路の発達していた所へは部切船という専用の船で，そのほかの所へは馬に載せた桶で運びました。糞尿を川にたれ流すということはなく，こうして有効に利用していたので，江戸の川は，そのころのロンドン（イギリス）やパリ（フランス）の川と比べても，ずっときれいでした。

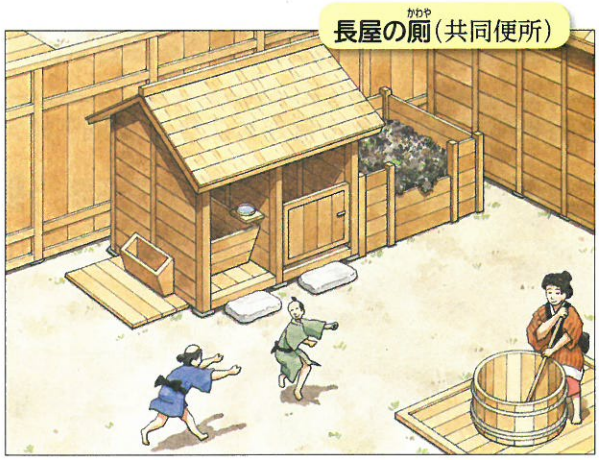


長屋の内部（復元　江東区深川江戸資料館）



江戸の四谷付近（『江戸名所図会』）

また，米を収穫したあとの「わら」は，編笠や蓑，わらじなどをつくる材料にしたり，土塀や屋根に使われたりしました。使い古したわらじも，捨ててしまうのではなく，集めて肥料にしていました。江戸時代には，さまざまな物の再利用や修理が，商売として成り立っていたのです。



長屋の厠（共同便所）

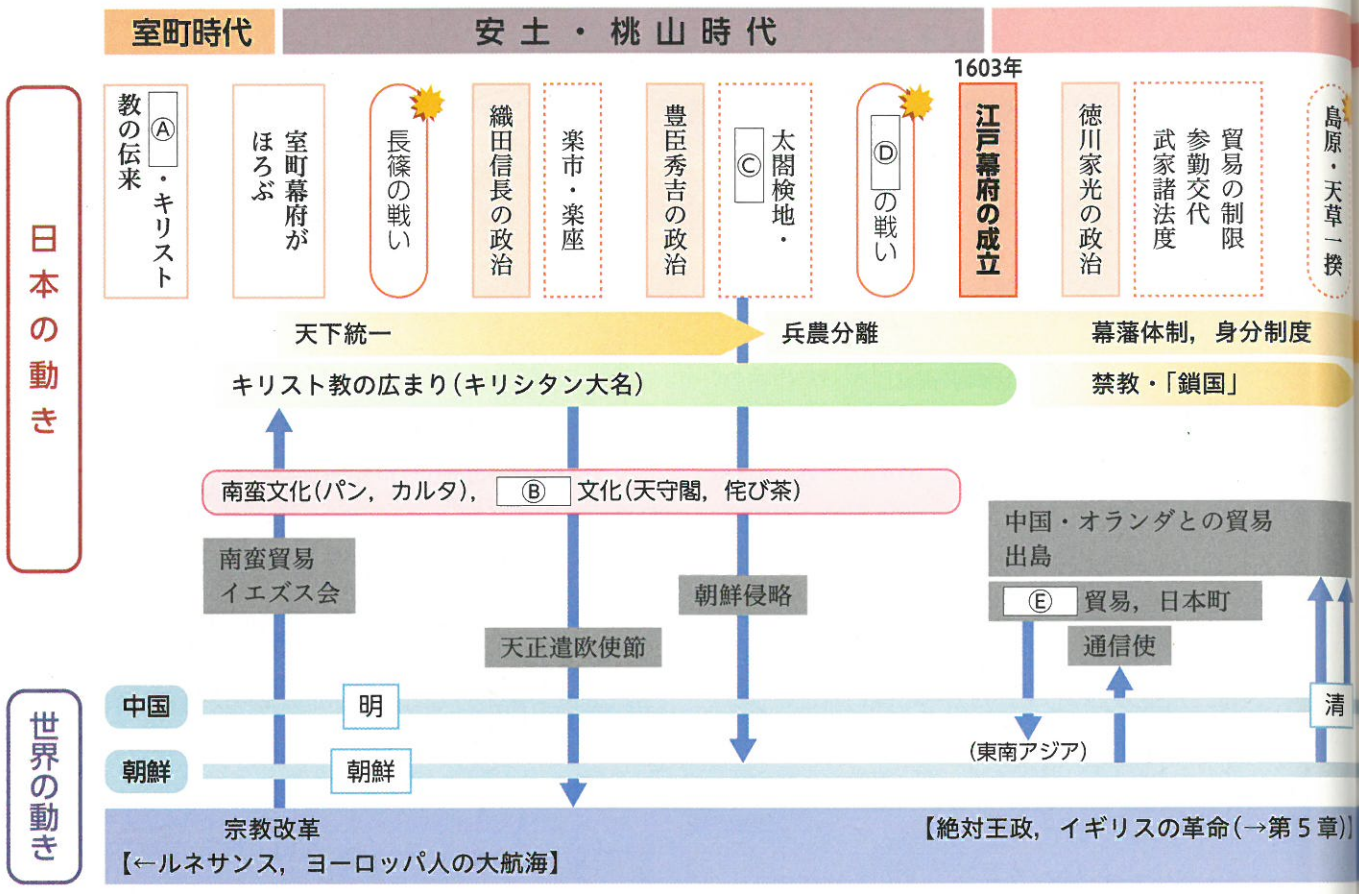


ほかに，どのようなリサイクルの商売があったのか調べてみましょう。

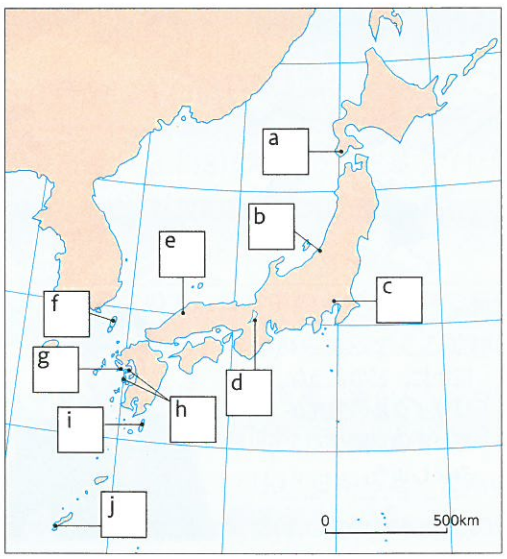
学習のまとめと表現　～第４章　近世の日本と世界～

近世の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の［Ⓐ］～［Ⓙ］にあてはまる語句を書き出そう。



近世の舞台を地図で確かめよう。



3 左の地図中に，次の場所を番号で記入しよう。

①種子島…鉄砲が伝えられた。（←p.94）
②石見銀山…世界に知られた銀の鉱山。（←p.96）
③安土城…織田信長が天下統一の拠点とした。（←p.98）
④島原・天草…圧政に苦しむ人々が，天草四郎を大将にして一揆を起こした。（←p.109）
⑤長崎…出島にオランダ商館がおかれた。（←p.110）
⑥対馬藩…朝鮮との交流の窓口になった。（←p.110）
⑦琉球…薩摩藩の支配を受けた。（←p.111）
⑧松前藩…アイヌの人たちを支配した。（←p.111）
⑨江戸…「将軍のおひざもと」とよばれた。（←p.115）
⑩新潟…西まわり航路の寄港地の一つ。（←p.117）

2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

フランシスコ＝ザビエル	織田信長	豊臣秀吉	千利休	徳川家康
天草四郎	松尾芭蕉	徳川吉宗	松平定信	本居宣長	葛飾北斎

江戸時代

島原・天草一揆

徳川綱吉の政治
- 質の悪い貨幣
- 生類憐みの令
- 儒学の勧め

新井白石の政治
- 財政の立て直し

1716〜45年 Ⓗの改革
- 目安箱
- 公事方御定書
- 質素・倹約

田沼意次の政治
- 産業の振興
- 政治の乱れ
- 享保の飢饉

1787〜93年 寛政の改革
- 風紀の取りしまり
- 倹約令
- 昌平坂学問所
- 天明の飢饉

分制度

幕府政治の改革，百姓一揆・［ Ⅰ ］の増加

産業・流通の発達（新田開発，街道・航路，蔵屋敷），都市の繁栄（両替商，株仲間）
貨幣経済の広まり（［ Ⓖ ］作物，問屋制家内工業）

［ Ⓕ ］文化（浮世草子，俳諧，浮世絵）

化政文化（狂歌・川柳，錦絵）
国学・［ Ⓙ ］，寺子屋，藩校

易

シャクシャインの戦い

清

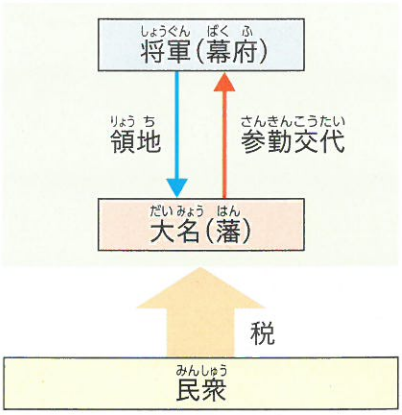
→第5章）】

【産業革命，フランス革命（→第5章）】
【アメリカの独立宣言（→第5章）】

して

近世のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 下の図を使って，江戸幕府のしくみと，中世の武家政治のしくみの共通点や違いについて説明しよう。



5 103ページと118ページにある下と右の2枚の絵を用いて，安土・桃山時代から江戸時代へ，どのように社会が移り変わったか説明しよう。





近世の時代の特色を考えよう！

あすかさんは，江戸時代の特色について，第４章の学習の初めに着目した「浮世絵(錦絵)」を取り上げ，「民衆文化の時代」というテーマでミニレポートにまとめてみました。

錦絵は，江戸時代の“ブロマイド”



東洲斎写楽の役者絵　重文

私は，江戸時代の特色は，町人を中心とする民衆が，文化の主役になったことだと思います。それは，錦絵に最もよく表れています。

まず，錦絵は，多色刷りの版画で大量につくられ，安い値段で売り出されました。これを買い求めて観賞したのは，大名や公家ではなく，民衆でした。

また，錦絵の題材は，左の歌舞伎の役者絵のように，民衆の暮らしに身近なものや，風景画のように，旅へのあこがれにこたえるものでした。そして作者も，民衆の一人でした。

こうした特色は，室町時代の雪舟の場合と比べてみると，よくわかります。

①あすかさんのミニレポートをもとに，中世から近世にかけて，文化の担い手がどのように変化したかを確かめよう。

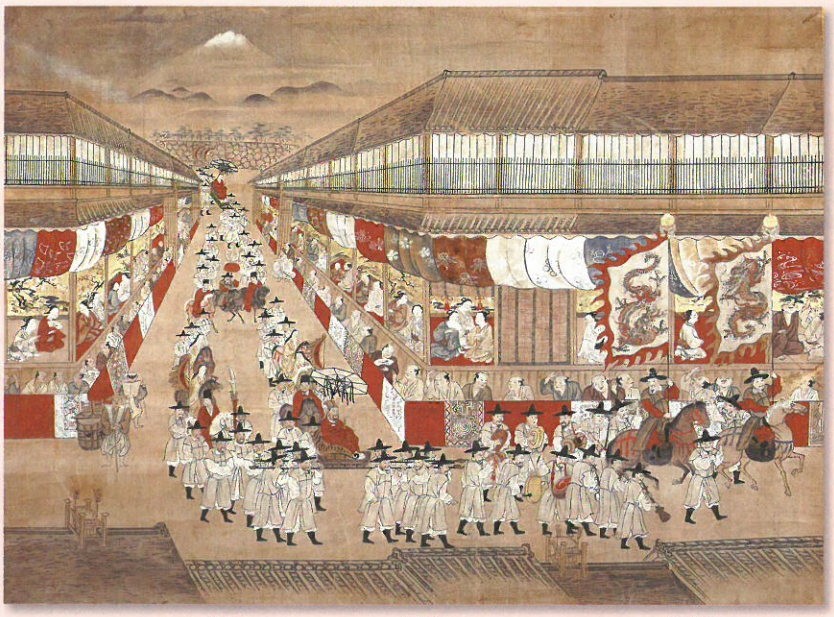
②近世の特色について，あすかさんの例を参考に，テーマを決めてミニレポートにまとめよう。



時代の変化に注目しよう！

1 右の絵は，日本の将軍の代替わりごとに派遣され，江戸を訪れるようになった使節の一行を描いています。これは，どこの国から来た使節で，なんとよばれていますか。どのような目的で日本に来たのかも確認しましょう。

また，次のページの絵は，やがて江戸湾に現れた，ある国の軍艦を描いています。その時，幕府はどのような対応をしたのでしょうか。右の絵とも見比べて，予想してみましょう。



2 江戸幕府の支配は，これまでおよそ200年間に及んでいます。政権をゆるがす大きな戦乱もなく，幕府政治が続いているのはなぜか，これまでに学習したことをもとに話し合ってみましょう。

第5章

近代の幕開け



江戸湾に現れた軍艦（神奈川県立歴史博物館蔵）



18世紀までは，主に中国とオランダの貿易船が，長崎に来るぐらいだったよね。
この軍艦は，どのような目的で来たのかな。

上の絵は，19世紀の中ごろ，江戸湾に軍艦が現れた時の様子を描いたものです。
それまで鎖国下にあった日本には，どのような変化が生まれたのか，これから学習していくことにしましょう。



これから学習する時代

年表

年代	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870
日本	江戸時代							
中国	清							
朝鮮	朝鮮							

1 近代世界の確立とアジア





1 スペインの無敵艦隊(右側)と交戦するイギリス海軍(左側)
2 エリザベス1世(在位1558～1603年)
スペインとの海戦の勝利を記念して描かれたものです。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 **16** 1600年 **17** 1700年 **18** 19 20 21

① 王は君臨すれども統治せず ▶議会政治の始まり

学習課題 議会政治がイギリスで始まったのは,なぜでしょうか。

1 もともとは,国王が政策などについて意見を求める,個人的な機関でした。
2 国王が,統一国家の基礎を固めるために,産業や貿易を保護し,教会・貴族・議会・市民を従えて強い権力をふるう政治体制のことをいいます。

絶対王政の成立

16世紀のイギリスでは,国王によって国家の統一が強力に進められました。16世紀の前半,国王は,カトリック教会の影響を排除するために宗教改革を行い,プロテスタント系のイギリス国教会を立てました。国王が,議会[1]の承認を取りつけながら改革を進めたことから,国家の制度のなかで議会の地位は高くなりました。 ←p.90, 91

そのころは,カトリック教会を支援するスペインが,アメリカ大陸の富を独占して栄えていましたが,イギリスは,オランダとともに,大西洋での貿易をめぐってスペインに挑戦するようになりました。そして,女王エリザベス1世[2]の時代に**絶対王政**[2]を成立させると,無敵といわれたスペインの艦隊を破り[1],東インド会社を設立するなど,海外発展の土台を築きました。 ←p.93

イギリス革命

17世紀になると,豊かな地主や商工業者が,議会を足場にして政治の発言力を増しました[4]。彼らには,ピューリタン(清教徒)とよばれたカルバン派のプロテスタントが多く,イギリス国教会の改革を求めるとともに,国王の専制政治に反対しました。議会と国王の対立は激しくな ←p.91



3 クロムウェル 共和政を樹立したのちは,厳しい軍事独裁を行いました。

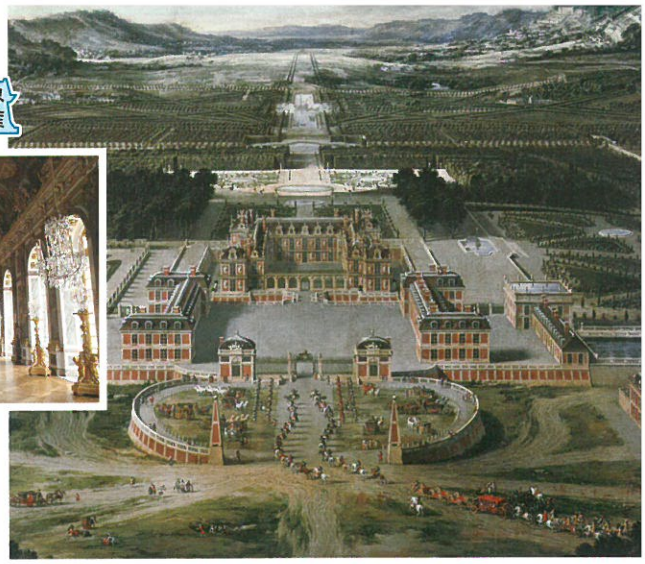


4 イギリスのコーヒーハウス
さまざまな人々が集まり,新聞を読んで,政治などについて自由に語り合いました。



5 18世紀初めごろのイギリス議会





世界遺産

6 ベルサイユ宮殿(右)と，鏡の間

り，1642年に内乱に発展しました。議会側は，クロムウェル[3]を指導者にして国王の軍を破り，1649年，国王を処刑して共和政を樹立しました。これを**ピューリタン革命**といいます。

その後，王政が復活しましたが，国王と議会の信頼関係は回復せず，国王が専制政治とカトリックの信仰の復活を図ったため，1688年，議会は一致して国王を退位させ，オランダから新しい国王を迎えました。議会と国王は，お互いの権限を確認し合い，権利の章典[3]が発布されました。これを**名誉革命**といいます。この革命によって議会政治[5]の基礎を固めたイギリスは，18世紀にはヨーロッパの強国となりました。

フランスの絶対王政

一方，フランスでは，17世紀の後半，国王ルイ14世[7]の時代に絶対王政を最も強めました。ところが，国王は，戦争や宮殿[6]の建築などに浪費を続けたため，財政が苦しくなり，国民の負担も増えました。18世紀になると，自然科学の合理的な考え方から発展した啓蒙思想が市民に広まり，国王の専制政治や，生まれで人々の権利や地位が決まるなどの不合理な社会制度を批判する声が高まりました。



7 ルイ14世
(在位1643～1715年)
「太陽王」とよばれ，「朕は国家なり」と語ったと伝えられています。

3 国王は，議会の承認なしには法律をつくることができないこと，議会のなかでの言論の自由を認めること，などが定められ，イギリス立憲君主政の基本原則となっていきました。

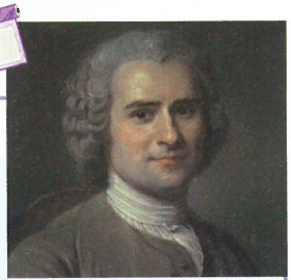
ふりかえる

ステップ1 17世紀に，イギリスで起こった二つの革命をあげよう。

ステップ2 二つの革命の前後で，国王と議会の関係はどのように変わったか説明しよう。

歴史の窓　革命を支えた思想家たち

名誉革命が起こった直後の1689年，イギリスの**ロック**は，人間は生まれながらにして，生命・自由・財産を守る権利があると説きました。また，18世紀には，フランスの**モンテスキュー**が，『法の精神』で三権分立を主張し，**ルソー**は，『社会契約論』で人民主権を唱えました(←巻頭1)。こうした思想が，自由を目ざす動きを力づけました。



ルソー



1 ボストン茶会事件
1773年，イギリスの植民地だったボストンで，市民が東インド会社(イギリス)の船を襲い，積荷の紅茶を海に投げ込んで立ち去る事件が起こりました。



2 独立当時のアメリカ合衆国



世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 **17** 1700年 **18** 1800年 **19** 20 21

② 代表なくして課税なし ▶ アメリカの独立革命とフランス革命

学習課題 アメリカやヨーロッパの人々は，何を求めて立ち上がったのでしょうか。



3 ワシントン
アメリカ合衆国の初代の大統領となりました。

アメリカの植民地

大航海時代以降，ヨーロッパ諸国から多くの人々がアメリカ大陸に移住し，先住民を支配したり，奥地に追いやったりしながら植民地をつくりました。←p.92 ←p.93
北アメリカの東部では，17世紀にイギリス人の植民活動が本格化し，18世紀の中ごろまでに13の植民地がつくられました。

そのころイギリスは，海外の植民地をめぐってフランスと戦争を繰り返したため，財政赤字に苦しむようになり，13植民地にも新たに砂糖や茶の税金を課して，収入を得ようとしました。しかし，13植民地の人々は，本国の議会に代表を送る権利がないのに，自分たちの同意もなく一方的に課税されることに抗議して[1]，イギリスからの独立を求めるようになりました。

アメリカ合衆国の成立

1775年，13植民地は，ワシントン[3]を総司令官として独立戦争を起こし，翌年，**独立宣言**を発表しました。そして，他のヨーロッパ諸国の支援も得て，イギリスとの戦いに勝利を収め，**アメリカ合衆国**を打ち立てました[2]。立法・行政・司法の三権の分立などを定めた合衆国憲法は，近代の民主的憲法のモデルになりました[1]。

独立宣言(一部の要約)

われらは，次の事項を自明の真理であると信じる。(すなわち)すべての人は平等につくられ，造物主によって一定の奪うことのできない権利を与えられ，その中には生命，自由および幸福の追求が含まれる。

また，これらの権利を保障するために，人々の間に政府が組織され，その権力の正当性は人々の同意に由来する。

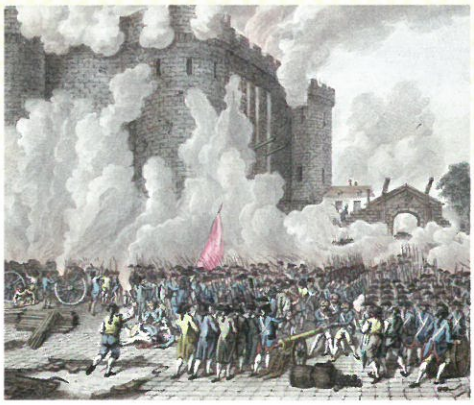
[1] 自由や平等などの基本的人権は，まだ白人に限られていて，先住民や黒人奴隷には及びませんでした。



4 フランス革命前の社会(左)と，革命が目ざす社会(右)を描いた風刺画
3人の人物は，聖職者・貴族・平民を表しています。

読み解こう

❶左の絵で，平民を表しているのは，どの人物だろう。
❷石は，何を意味しているのだろう。
❸左右の絵を用いて，革命による社会の変化を説明してみよう。





5 バスティーユ牢獄の襲撃
1789年，武器をうばったパリの民衆が，政治犯を収容した牢獄で，圧政の象徴とされたバスティーユを襲いました。

フランス革命

独立宣言に表された民主主義の精神は，ヨーロッパにも影響を及ぼしました。国王と貴族中心の政治が続いていたフランスでは，1789年，財政を立て直すために，聖職者・貴族・平民という三つの身分の代表による議会が開かれました。しかし，平民の代表は，自分たちこそが国民の代表であると主張し，国民議会をつくりました。国王が，この動きを武力でおさえようとしたのが引き金となり，都市の民衆や農民らが革命を引き起こしました[5]（**フランス革命**）。

この革命は古い身分社会を打ちこわし，市民を中心とした，自由で平等な新しい社会への道を開きました[4]。国民議会が発表した**人権宣言**は，個人の権利や市民社会の政治の重要な原則を示し，後の世界に大きな影響を与えました。

人権宣言(一部の要約)

第1条　人は生まれながらにして，自由で平等な権利をもつ。
第2条　あらゆる政治的な団結の目的は，自由，所有，安全および圧政への抵抗の権利を保全することである。
第3条　あらゆる主権の根源は，本来的に国民にある。

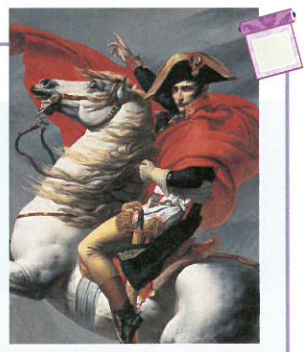
ふりかえる

ステップ1 独立宣言と人権宣言を読んで，共通する言葉をあげよう。
ステップ2 アメリカ合衆国は，どのような人たちによって建国されたか，背景をふまえて説明しよう。

歴史の窓　ナポレオンの支配

フランス革命の影響が広まるのを恐れた諸外国は，フランスへの干渉戦争を行いました。一方，フランス国内では政治の混乱が続き，国民は政治の安定と強力な指導者を求めるようになりました。こうしたなかで，軍人として名をあげたナポレオンが権力を握り，皇帝になりました。

彼は革命の諸原理を法律にして定着させる一方で，革命に干渉したヨーロッパ諸国の大部分を武力で征服しました。ナポレオンの支配は，各国に革命の精神を広めました。しかし，各国で自由や民族の自覚が生まれると支配への抵抗が起こり，1814年，ナポレオンは退位させられました。



ナポレオン



1 鉄とガラスで建てられたクリスタルパレス(水晶宮)の会場
1851年，イギリスのロンドンで最初の万国博覧会が開かれました。



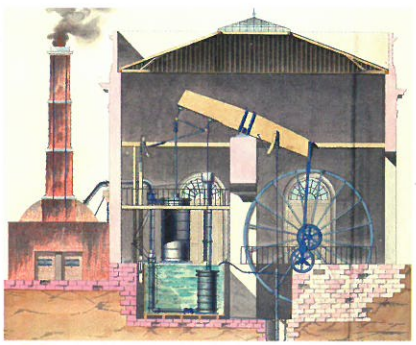
2 ロンドンのスラム(1870年ごろ)
都市では，地方から働きに出る人々が増え，スラムとよばれる住宅街が増えていきました。



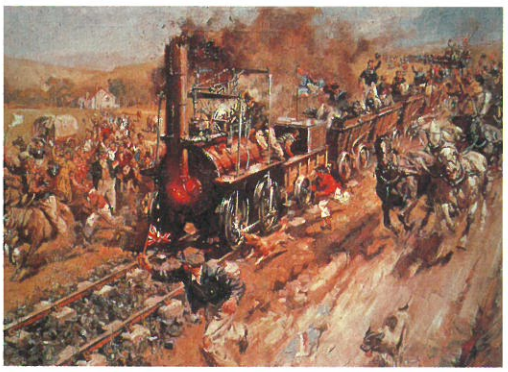
世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

③「世界の工場」の光とかげ ▶ 産業革命と資本主義社会の成立

学習課題 産業革命は，社会や人々の生活にどのような変化をもたらしたのでしょうか。



3 ワットの蒸気機関
イギリスのワットは，蒸気機関を改良して効率を高めました。



4 鉄道の開通
1825年，イギリスで世界初の蒸気機関車の鉄道が開通しました。

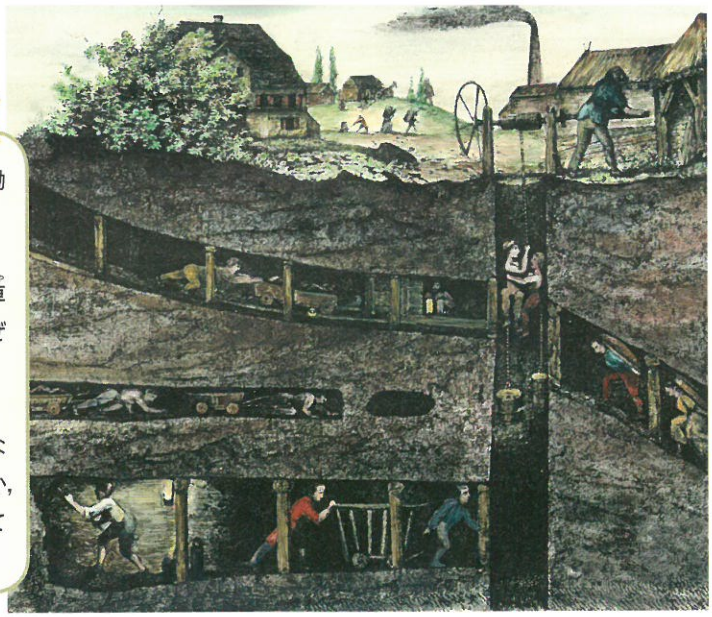
イギリスの産業革命

18世紀までのヨーロッパは，農業中心の社会で，工業生産は手工業で行われていました。18世紀の後半になると，イギリスで，大量生産を行うための技術の改良や機械の発明が次々と生まれました。さらに，石炭を燃料とする蒸気機関[3]が，水力にかわる新しい動力として利用されたので，工業の生産力は大きく向上しました。大きな製鉄所や工場[6]が建設され，新しい工業都市が誕生したほか，蒸気機関車などの発明によって交通網も発達しました[4]。

工業化は，社会だけでなく，人々の生活も大きく変えたので，この変革は**産業革命**とよばれています。世界で最初に産業革命が起こったイギリスは，19世紀の中ごろには，他の国々を大きく引き離す[1]工業力をもつようになり，安価な製品を世界中に輸出したので，「世界の工場」とよばれました。

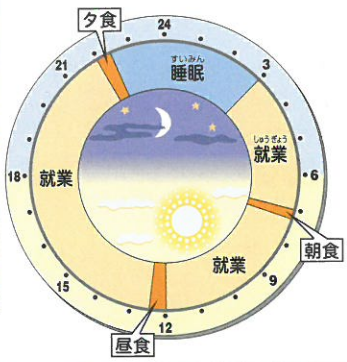
産業革命の広がり

19世紀になると，他のヨーロッパ諸国も産業革命を推し進めました。やがて，アメリカ合衆国やロシア，日本も産業革命を目ざすようになりました。p.184➡
こうした工業化の広がりは，経済発展が遅れたアジアやアフリ



読み解こう

❶子どもたちが炭坑の働き手となっているのは，なぜだろう。
❷炭坑への出入りに滑車を使っているのは，なぜだろう。
❸子どもたちにとって，健康のほかにどのようなことが損なわれているか，右のグラフも参考にして考えてみよう。



⇦⇩5 イギリスの炭坑で働く子どもたち(左)と，繊維工場で働く子どもたちの1日(最も忙しい時期)

カなどの地域で，原料を入手したり，製品を売ったりすることにより進められました。

p.140➡

資本主義と社会主義

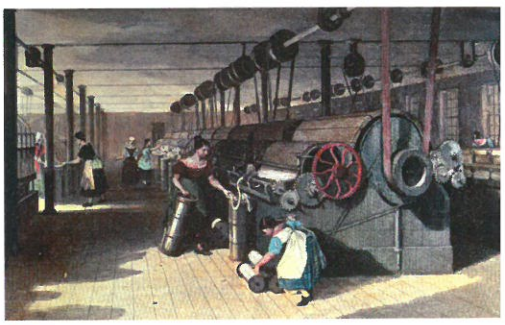
産業革命が進むなかで，**資本主義**という新しい経済のしくみができました。資本主義のもとでは，機械や土地のような生産手段(資本)を所有する資本家と，賃金でやとわれて工場などで働く労働者が，社会を動かす大きな勢力となりました。

一方，工業化が進むにつれて，多くの社会問題❶も発生しました。2 5 労働者の間では，労働組合を結成して，労働条件の改善や労働者を保護する法律の制定を目ざす動きも見られるようになりました。また，貧富の差を生み出す原因は資本主義にあるとし，生産手段を共有することで平等な社会を実現しようとする，**社会主義**を主張する思想家7も現れました。

参政権の拡大

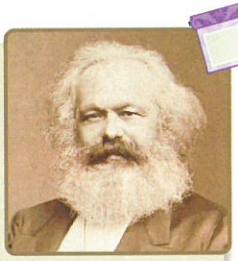
こうした変化のなかで，平等な政治参加を求める運動が起こりました。イギリスでは，選挙権をもつ人々の範囲を広げることで，人々の不満や社会問題を解決しようと，選挙法の改正が何度か行われました。

また，19世紀の中ごろには，ヨーロッパ各地で国民の権利の拡大を求める革命が起こりました。その後，さまざまな制限はありましたが，選挙による議会を通して，しだいに国民の声を政治に反映させようとする動きが進みました。



⇧6 イギリスの繊維工場

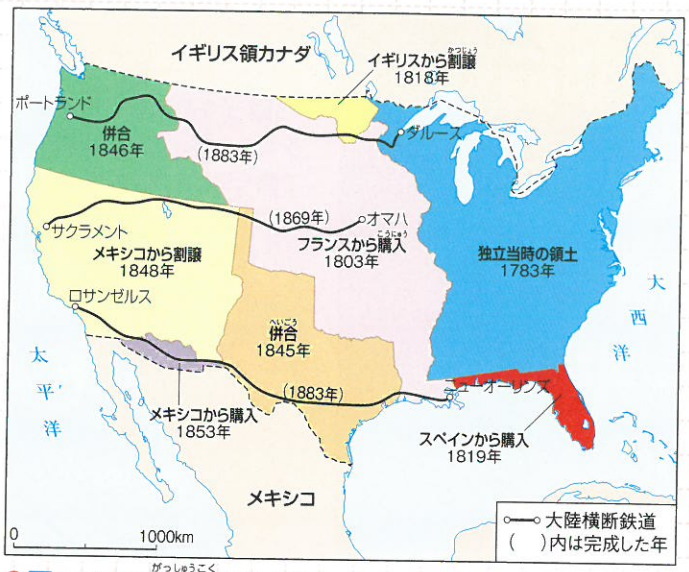
❶ 長い労働時間，子どもや女性の重労働，鉱工業による環境汚染，都市の不衛生な生活環境などが問題となりました。



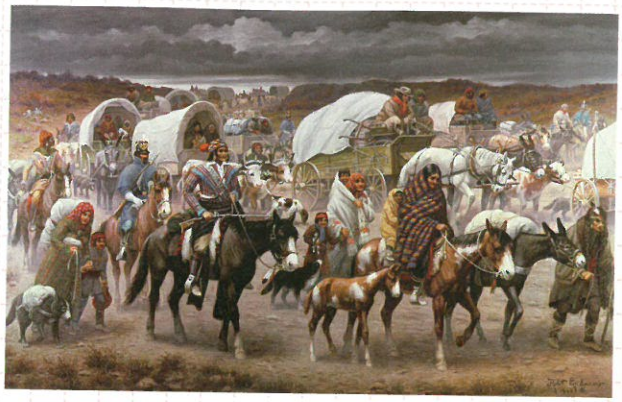
7 マルクス
資本主義は必ず行きづまり，労働者階級の団結によって社会主義社会が実現されると説き，『資本論』を著しました。

ふりかえる

ステップ1 イギリスが，「世界の工場」とよばれたわけを確認しよう。
ステップ2 産業革命がもたらした変化を，光の面とかげの面に分けて説明しよう。



1 アメリカ合衆国の領土拡大
19世紀の中ごろ，領土は太平洋側まで達し，その先への関心も高まっていきました。



2 土地を追われる先住民
白人による西部の開拓が進むなか，先住民を居住区に移住させる政策がとられました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 **19** 1900年 **20** 21

4 強大な国家を目ざして ▶ 欧米列強の成立

学習課題 欧米諸国は，どのようにして国家の勢力を強めていったのでしょうか。

アメリカ合衆国の発展

独立後のアメリカは，19世紀の前半，ヨーロッパ諸国と互いに干渉しない方針をとる一方，国内では西部の開拓に力を注ぎ，太平洋岸に向かって領土を拡大していきました[1][2]。19世紀の中ごろには，黒人奴隷を使う大農場(プランテーション)が広がり，綿花などの栽培と輸出が盛んな南部の州と，工業化が進み，奴隷制度に反対する北部の州との間で，対立が激しくなりました。

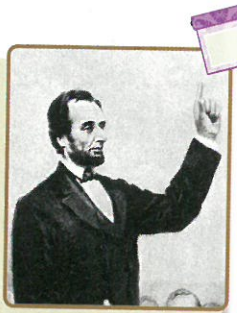
北部側の支援するリンカーン[3]が大統領になると，南部側は合衆国から離れ，1861年，**南北戦争**が起こりました。リンカーンは奴隷解放を宣言[1]し，戦争はまもなく北部側の勝利に終わりました。その後，アメリカでは西部の開拓がいっそう進み[2]，工業もめざましく発展しました。

ロシア帝国の改革

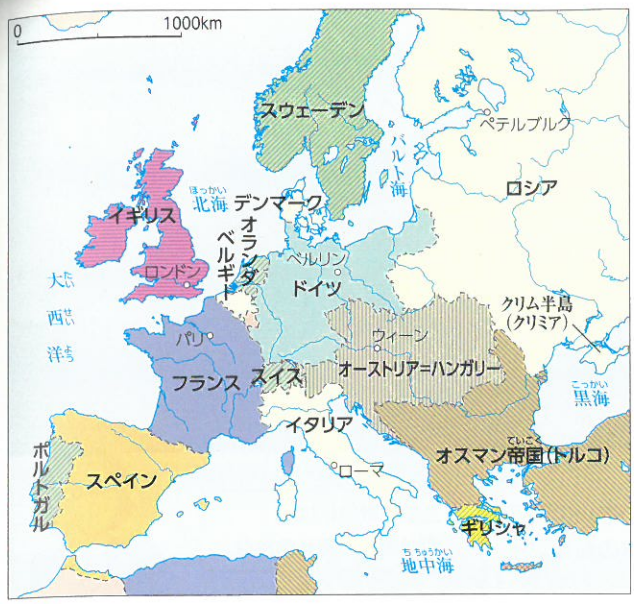
皇帝の専制政治が続いたロシアは，19世紀の中ごろ，黒海から地中海への出口[4]を得ようとしてオスマン帝国(トルコ)に宣戦し，それを牽制するイギリス・フランスとも戦争になりましたが，敗れました(クリミア

1 黒人にも選挙権が与えられましたが，黒人に対する社会的な差別は，根強く残りました。

2 1869年には，最初の大陸横断鉄道が開通し，東西の結びつきが強まりました。



3 リンカーン
南北戦争中に，「人民の，人民による，人民のための政治(Government of the people, by the people, for the people)」を説く演説を行いました。



4 19世紀の中ごろのヨーロッパ



5 ドイツ帝国の成立
フランスのベルサイユ宮殿で，プロイセンの国王が，ドイツ皇帝として即位しました。政治は皇帝や貴族が指導し，議会の権限は低くおさえられました。

戦争[6])。皇帝は，敗戦の原因が，西欧諸国に比べて遅れた社会や経済のしくみにあることを認め，1861年，農奴解放令を出して農民の身分を自由にし，改革のための基礎をつくりました。

イタリアとドイツの統一

19世紀の前半，イタリアでは中小の国々が分立していました。そのなかで，サルジニア王国が中心となって国家の統一を進め，オーストリアを戦争で破ってイタリア王国をつくり，1870年に統一を完成しました[4]。

ドイツでも，多くの国々が分立していました。そのなかで，経済力や軍事力にまさるプロイセン王国が，ビスマルク首相のもとに諸国をまとめ，隣接するオーストリアやフランスとの戦争に勝って，1871年にドイツ帝国をつくりました[4][5]。富国強兵を推し進めたドイツでは，工業が急速に発展しました。

近代化と列強の成立

ロシア・イタリア・ドイツは，先進国のイギリスやフランスに追いつくために，その社会を手本にして改革を進めたり，国内をまとめて統一国家をつくったりしました。このような動きを，**近代化**といいます[3]。

←p.136

そして，イギリス・フランス・アメリカをはじめ，統一国家となったドイツ・イタリア，近代化にふみ出したロシア・オーストリアは，他の諸国と比べて経済力や軍事力などにまさるようになったことから，**列強**とよばれました。

6 ナイティンゲール



1853年に起こったクリミア戦争では，イギリスの上流階級出身のナイティンゲールが，従軍看護婦として活躍しました。イギリスは，彼女の活躍を「クリミアの天使」として偶像化し，後の戦争で，後方支援(銃後)に女性を動員する政策に利用しました。その一方で，捕虜や負傷兵の問題が注目されるようになり，1864年，スイスのデュナンのはたらきかけによって国際赤十字社が設立されました。

3 近代化のための改革には，工業化のほか，憲法などの法律や議会制度の整備，義務教育の普及なども含まれます。

ふりかえる

ステップ1 アメリカの西部開拓や大陸横断鉄道の開通は，どのような影響をもたらしたか確かめよう。

ステップ2 列強の国々には，どのような共通点があるか説明しよう。





1 インド大反乱(左)と，**2 アヘン戦争**(右：東洋文庫蔵)
19世紀の中ごろ，インドと中国(清)で，イギリスとの戦いがあい次いで起こりました。左の絵は，反乱軍の拠点を攻撃するイギリス軍を，右の絵は，イギリスの軍艦(右奥)に砲撃される清の帆船を描いています。

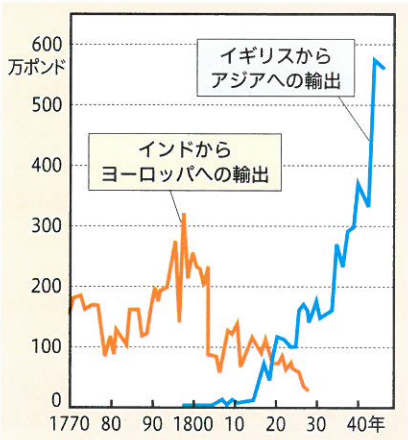


世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 **16** 1600年 **17** 1700年 **18** 1800年 **19** 20 21

5 国をゆるがす綿とアヘン ▶アジアの植民地化と抵抗

学習課題 アジアの国々は，ヨーロッパ諸国による侵略に対して，どのように抵抗したのでしょうか。

1 貿易を独占した東インド会社は，農民から重い税金を取り立てて富を蓄えました。その富は，イギリスの産業革命の資金ともなりました。



3 イギリスとインドの綿織物の輸出額の移り変わり(『インド史』)

2 条約により，清はイギリスに対して，多額の賠償金の支払いや香港の譲渡，上海など5都市の開港を認めさせられました。そして，清で罪を犯した外国人を自ら裁判したり，関税率を自ら決めたりする権利もうばわれました。香港が中国に返還されたのは，1997年のことです。
(p.256→)

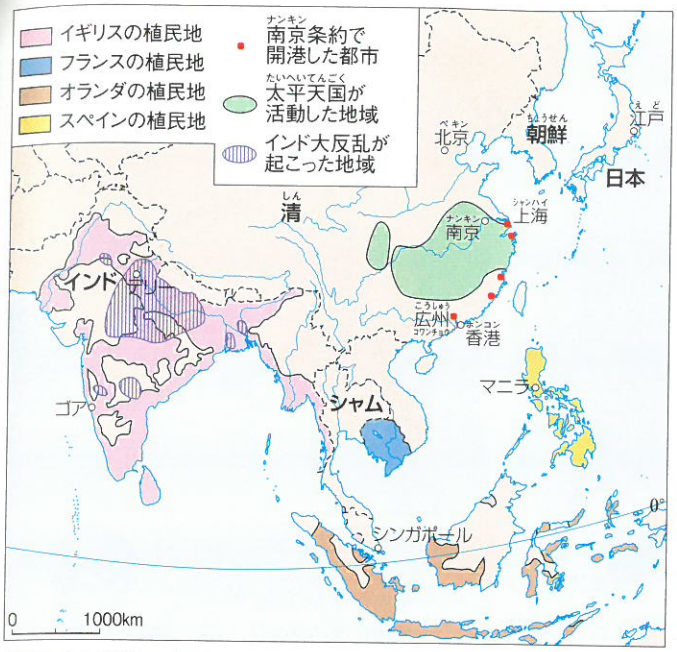
インド大反乱

インドには，17世紀の初め，イギリスの東インド会社が進出し，インドの綿織物をヨーロッパへ輸出する貿易を始めました。←p.132 18世紀にムガル帝国の←p.91勢力がおとろえると，東インド会社は，インドの各地を植民地にしていきました[1]。産業革命を進めたイギリスは，インドなどから綿花を安く輸入し，機械で生産した安価な綿織物を，大量にインドに輸出しました[3]。←p.136 そのため，手工業によるインドの綿織物業はおとろえ，失業者があふれたり，餓死者が出たりして，インドの人々の不満が高まりました。

1857年，東インド会社にやとわれていたインド人兵士が反乱を起こしたのをきっかけに，都市の労働者や職人，農民たちがこれに加わって，インド各地に反乱が広がり，イギリスとの戦いが始まりました(**インド大反乱**[1][4])。これをおさえたイギリスは，東インド会社を解散させ，インドを政府の直接の支配下に移しました。この結果，ムガル帝国はほろびました。

アヘン戦争

中国(清)では，18世紀の後半，欧米の船の来航を広州に限り，貿易を管理していました。一方，イギリスでは茶を飲む習慣が広まり，清から大量の茶を



4 19世紀の中ごろのアジア



5 清のアヘン窟(上)と，ケシの花

ケシからとれるアヘンは，吸飲すると人体に深刻な害を及ぼします。



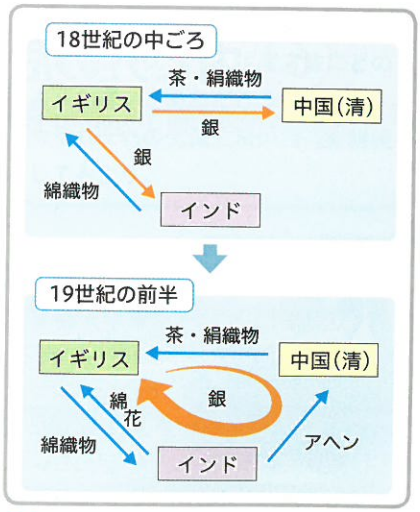
輸入していましたが，自国の綿製品は清で売れず，貿易は赤字でした。そこでイギリスは，インドでつくらせた麻薬のアヘンを清に密輸し，その代金の銀で茶を輸入しました[6]。銀の不足やアヘンの害が深刻になった清が，アヘンを厳しく取りしまると，1840年，イギリスは清と戦争を始めました(**アヘン戦争**[2])。戦争で敗れた清は，不平等な内容の**南京条約**を結びました[2][4]。イギリスは，1856年にもフランスと連合して清との戦争を起こし，北京を占領して，開国をさらに広げる条約を結ばせました。

太平天国の運動

1851年，清では，戦争の費用や賠償金のための重税などで生活が苦しくなった農民たちが，洪秀全を指導者として，**太平天国**という国をつくりました[4]。太平天国は，農民たちに土地を平等に分け与えるなど，理想的な国[3]をつくろうとしましたが，イギリスなどの外国軍や，地方の有力者が編成した軍の力を借りた，清によって倒されました。

東南アジアの植民地化

また，東南アジアでは，16世紀の後半にスペインがフィリピンに対して，17世紀にはオランダがインドネシアに対して，植民地化を進めました。19世紀になると，ベトナム・カンボジアなどはフランスの，ビルマ・マレーシアはイギリスの植民地とされました[4]。



6 イギリス・インド・清の貿易関係の変化

3 太平天国がかかげた理想は，後に中国で起こった革命(p.181→)に大きな影響を与えました。

ふりかえる

ステップ1 インドと清で起こった二つの戦いの共通点をあげよう。

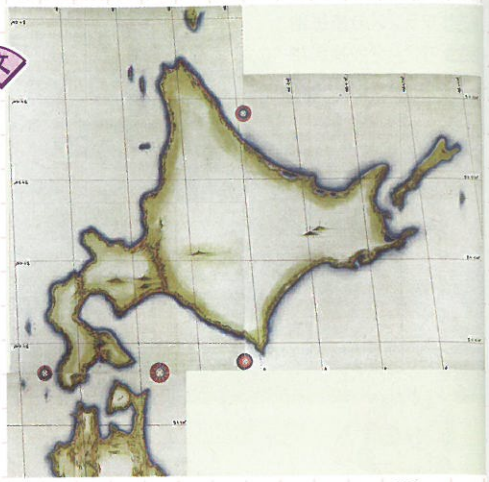
ステップ2 アジアでのヨーロッパ諸国の動きを，日本はどのように受けとめたか話し合おう。

2 開国と幕府政治の終わり





重文



1 幕末の北方探検(左)**と，間宮林蔵**(つくばみらい市蔵)
幕府は，伊能忠敬に蝦夷地の測量を，間宮林蔵らに蝦夷地や樺太の探検を命じました。間宮は，樺太が島であることを確認しました。

2 伊能忠敬の地図



幕府が北方の測量や探検を命じたのは，なぜかな。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

6 内と外の危機 ▶外国船の接近と天保の改革

学習課題 内外に生じた危機に対し，幕府や藩はどのような対応をしたのでしょうか。

外国船の接近

1792年，東方への進出を目ざすロシアから，使節ラクスマンが根室に来航[1]し，日本との貿易を求めました。しかし，老中の松平定信はこれを断り，蝦夷地(北海道)の沿岸や江戸湾を警備させました。19世紀に入ると，欧米諸国の対立や捕鯨業の広まりなどを背景に，イギリスやアメリカの船もしきりに日本の沿岸に近づきました[2][4]。幕府は，こうした動きを警戒し[1][2]，1825年，**外国船打払令**を出して，接近する外国船を砲撃して追い払う方針を決めました。

変動する社会と民衆の闘い

19世紀になると，借金で行きづまる農民が←p.121さらに増えました。地主や商人のなかには，出かせぎなどの働き手を一つの仕事場に集め，作業を分担させる，新しい生産方法(**工場制手工業**)[5]を始める者も現れました[3]。

1830年代には，天保の飢饉が起こったため，都市では米の買い占めや値上がりに抗議する打ちこわしが激しくなり，農村では百姓一揆が頻発しました←p.121。大阪では，1837年，陽明学者の**大塩平八郎**[3]が，飢餓から人々を救おうとしない役所や豪商に←p.73, 119

1 この時，日本からロシアに漂着して救助された大黒屋光太夫が送り届けられました。

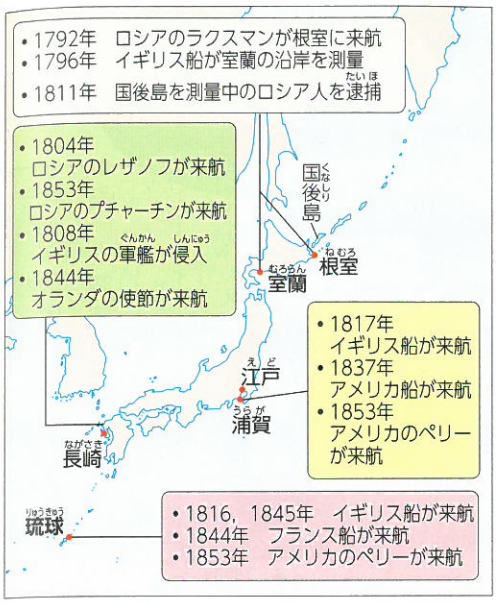
2 イギリスの軍艦が，オランダの拠点をうばおうとして，長崎湾に侵入する事件も起こりました。

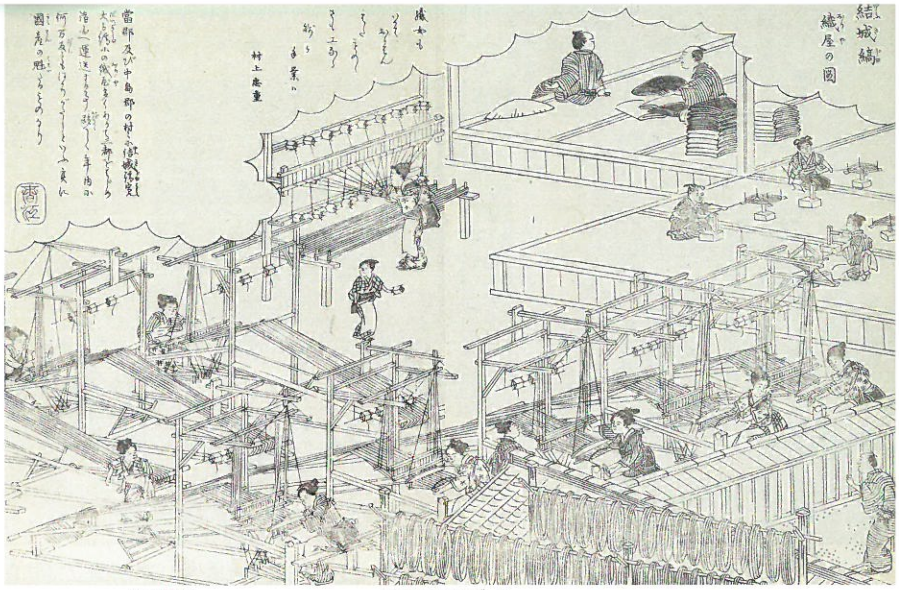
3 マニュファクチュアともよばれ，綿織物業や絹織物業，酒造業などで多くみられました。

4 その後も，大塩の門人を名のる一揆があい次ぎました。



3 大塩平八郎(大阪城天守閣蔵)　町奉行所の元役人であった大塩が挙兵したことは，幕府や世間の人々を驚かせました。





↑5 工場制手工業による綿織物業（『尾張名所図会』国立国会図書館蔵）

←4 日本への外国船の接近

いきどおり，「救民」をかかげて門人とともに挙兵しました。[4]

また，岡山藩では，19世紀の中ごろ，服装で身分の差別を強めようとする法令に対して，えたの身分とされた人々が抗議の運動を起こし，これを撤回させました（渋染一揆）。

天保の改革と藩政改革

1837年，幕府が外国船を砲撃すると，蘭学者の渡辺崋山や高野長英らは，砲撃は日本の危機を招くと批判し，処罰されました（蛮社の獄）。また，水戸藩主の徳川斉昭は，将軍に長い意見書を提出して，内と外の危機を指摘し，海沿いの防備を固めるようにうながしました。

p.151 ➡
← p.124
← p.104

老中の**水野忠邦**[6]は，1841年，幕府政治を立て直すための改革に着手しました（**天保の改革**）。忠邦は，風紀や出版を統制し，ぜいたくを禁じたほか，株仲間を解散させ，江戸に流入した人人を農村に帰らせました。さらに，江戸・大阪の周辺などを幕府の直接の支配地にして海防に備えようとしましたが，強い反対にあって失敗しました。改革はわずか2年で行きづまり，忠邦は老中を辞めさせられました。

← p.115

同じころ，長州藩（山口県）・薩摩藩（鹿児島県）・肥前藩（佐賀県）などでも，下級武士や改革派が実権を握り，財政の立て直しと軍事力の強化を進めました。[7] 藩政改革に成功したこれらの藩が，力を蓄え，後に幕末の政治を動かすことになりました。

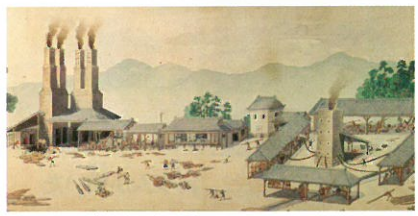
p.147 ➡

読み解こう

❶5の絵で，働く人たちは，それぞれどのような作業をしているだろう。
❷120ページの「木綿の機織をする農家」と比べて，生産方法にどのような違いがあるだろう。
❸それぞれの生産方法の利点を説明してみよう。



6 水野忠邦（首都大学東京図書情報センタ一蔵）



↑7 肥前藩の大砲製造所（『築地反射炉図』鍋島報效会蔵）

ふりかえる

ステップ1　このころ，日本に接近してきた国をあげよう。
ステップ2　幕府が直面した危機を「内」と「外」に分けて，それぞれへの対応の結果を説明しよう。





泰平の眠りをさます上喜撰
たった四はいで夜も眠れず
※当時のお茶の名前



1 横浜に上陸したペリーの一行(『ペリー提督神奈川上陸図』東京国立博物館蔵)
2 黒船(蒸気船)(右上：『武州潮田遠景』黒船館蔵)と，前年の来航で広まった狂歌(右)

7 たった四はいで夜も眠れず ▶ ペリーの来航と開国

学習課題 開国によって，日本と欧米諸国との関係はどのように変わったのでしょうか。

ペリーの来航

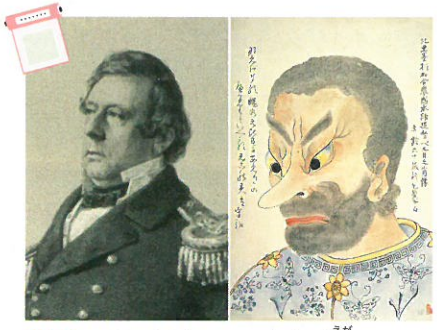
アヘン戦争で中国(清)がイギリスに敗れたことを知った幕府(←p.141)は，外国船打払令を改め，来航する外国船には燃料や食料を与えて帰すことにしました。[1]

一方，カリフォルニアまで領土を拡大したアメリカは，太平洋へ乗り出し，捕鯨船や中国との貿易船の寄港地(←p.138)として，日本を開国させる考えを強めました。そして，東インド艦隊司令長官**ペリー**[3]を派遣し，大統領の国書を日本政府に渡すことにしました。ペリーは，琉球(沖縄県)に寄港したのち[4]，1853年，4隻の軍艦を率いて浦賀(神奈川県)沖に現れました。[2]幕府は，オランダ商館から来航の情報を得ていましたが(←p.131)，軍艦の威力におされて国書を受け取り，翌年の回答を約束しました。

日本の開国

態度を決めかねた幕府は，朝廷に報告し，初めて大名に意見を求めました。[6]1854年，ペリーは軍艦[2]7隻で再び来航し，幕府に回答を迫りました。[5]幕府は，ペリーが上陸した横浜[1]で交渉し，**日米和親条約**を結びました。[3]この条約で日本は開国し，下田(静岡県)・函館(北海道)の2港を開くこと，アメリカ船に燃料・食料・水を補給すること，アメリカの領事が下田に駐在することなどを認めました。

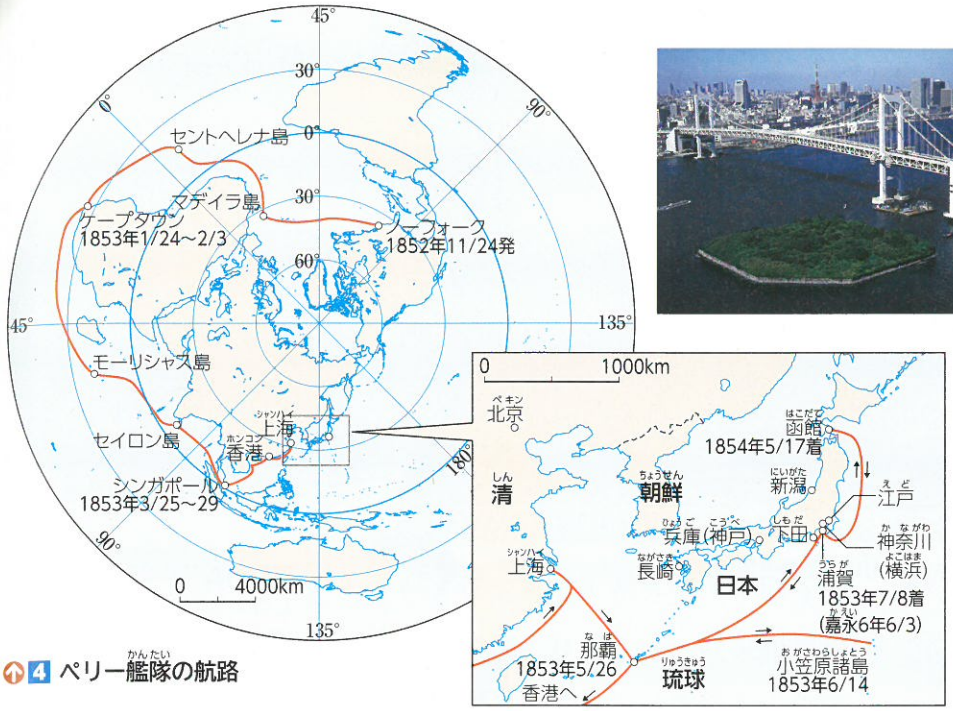
1 オランダに対しては，より詳しい海外情報の提供を求めましたが，オランダ国王からの開国の勧めは断りました。



3 ペリー(左)と，日本人が描いたペリーの絵(神奈川県立歴史博物館蔵)

2 同じ年に，ロシアの使節プチャーチンも長崎に来航し，開国と国境の画定を求めました。

3 次いで，イギリス・ロシア・オランダとも和親条約が結ばれました。ロシアとの条約では，千島列島の択捉島以南を日本領，ウルップ島以北をロシア領としましたが，樺太については国境を決めませんでした。

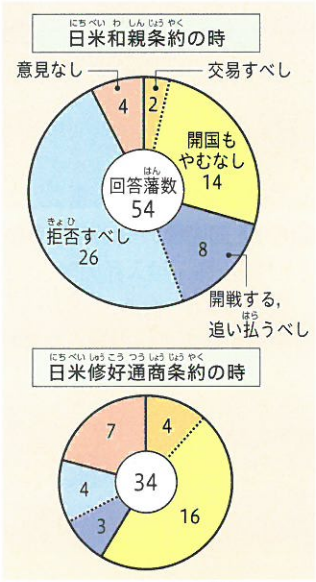


4 ペリー艦隊の航路



5 品川の台場跡

ペリーの艦隊が江戸湾に侵入したことをきっかけに，幕府は，大砲をすえるための砲台(台場)を品川沖につくりました。



6 開国をめぐる大名の意見

(『日本経済思想史研究』)

不平等な通商条約

初代のアメリカ総領事として下田に来たハリスは，老中の堀田正睦に世界の情勢を説き，通商条約を結んで貿易を行うことを求めました。幕府は，朝廷の同意を得ることで，条約に反対する大名[6]らをおさえようとしましたが，朝廷は調印を認めませんでした。イギリス・フランスが中国で戦争を起こしたことが伝わると，大老の**井伊直弼**(←p.105)らは，1858年，幕府の判断で**日米修好通商条約**(←p.141)を結び，神奈川(横浜)・函館・長崎・新潟・兵庫(神戸)の5港を開いて，自由な貿易を認めることにしました。さらに幕府は，ほぼ同じ内容の条約をオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも結びました。

しかし，この条約は，外国人の犯罪はその国の領事が裁き，日本に裁判権がない(**治外法権**)，輸入品の関税率を決める権利(**関税自主権**)が日本にないなど，日本に不利な不平等条約でした。

ふりかえる

ステップ1 日米修好通商条約のどのような点が，日本にとって「不平等」だったのか確かめよう。

ステップ2 開国後の日本が抱えた問題を，日本と外国との関係や，幕府と大名との関係から説明しよう。

歴史の窓　ペリーの那覇・函館寄港

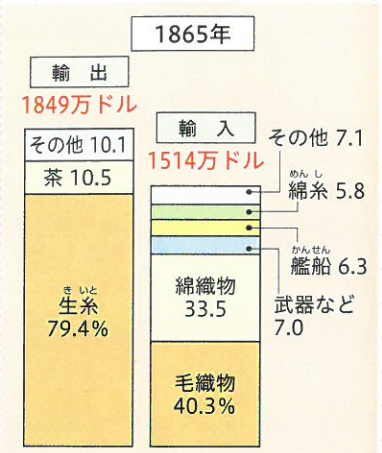
ペリーは，蒸気船の活用など，アメリカ海軍の近代化に尽くした軍人でした。浦賀に来航する前には，琉球の那覇に立ち寄り，和親を申し入れました。日本の態度いかんでは，琉球を借り受けて支配下におくことも考えていたのです。

また，函館の開港が認められると，下見のために函館に来航し，半月あまり滞在しました。ズボンをはいたペリーの一行は，人々を驚かせましたが，函館が外海から守られたよい港であることを確認して出発しました。



ペリー提督来航記念碑(北海道函館市)





1 開港後の横浜のにぎわい（上：神奈川県立歴史博物館蔵）と，
2 輸出品・輸入品の割合（『図説日本文化史大系』）
1859年から横浜・長崎・函館の3港で貿易が始まり，横浜が最大の貿易港となりました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

8 新たな政権を目ざして ▶攘夷から倒幕へ

学習課題 開国は，社会や幕府政治にどのような影響を与えたのでしょうか。

開国の影響

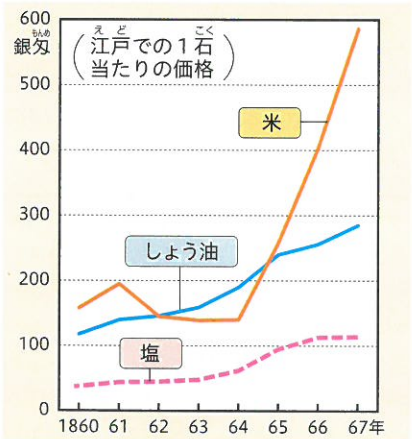
貿易港には外国人居留地が設けられ，外国や日本の商人が店を開いて取り引きを行いました[1]。アメリカが南北戦争の影響で立ちおくれたことから，貿易の相手国はイギリスが中心でした。外国から安価な綿織物や綿糸が輸入されると[2]，国内の生産地は大きな打撃を受けました。日本からは主に生糸が輸出されましたが，生産が追いつかず，国内では品不足となり，他の生活用品も値上がりしました[3]。さらに，日本の金貨が外国に持ち出されたため[1]，物価が不安定になり，民衆や下級武士は不満を高めました。

←p.138

安政の大獄

また，大名・武士・公家は，幕府が独断で開国したとして，これを強く批判しました。大老の井伊直弼は，開国や将軍のあとつぎをめぐって対立した大名・公家を処罰し，外国の勢力を退けようとする攘夷論を唱えた長州藩の吉田松陰ら[6]を死刑にしました（**安政の大獄**）。この弾圧はかえって反発を強め，1860年，直弼は水戸藩（茨城県）などの浪士らに暗殺されました（桜田門外の変）。

1 金貨と銀貨の交換比率が，日本では1：5，外国では1：15と差があったため，欧米の商人が外国の銀貨を日本で金貨に交換し，外国に持ち出して銀貨に交換すると，3倍のもうけになりました。



3 開国後の物価の移り変わり
（『近世後期における主要物価の動態』）



4 薩英戦争(『英艦入港戦争図』尚古集成館蔵)



5 四国連合艦隊に占領された下関の砲台
(横浜開港資料館蔵)

攘夷運動の高まり

こうしたなかで，下級武士が外国人を襲う事件が，あい次いで起こりました。欧米諸国が居留地に軍隊を常駐させようとすると，これを植民地化の危機として，朝廷を推し立てて欧米の勢力を排斥しようとする，**尊王攘夷運動**が盛んになりました。その中心となったのは長州藩で，幕府の公武合体策[2]を支持する薩摩藩などと対立しました。長州藩は，外国船を砲撃し，朝廷に攘夷をはたらきかけましたが，幕府に攻撃されたため，幕府に従う態度をとりました。

倒幕への動き

1863年，前年に薩摩藩士がイギリス人を殺傷した生麦事件に対する報復として，イギリス艦隊が鹿児島を砲撃しました(薩英戦争[4])。こうしたなかで，薩摩藩の**西郷隆盛**p.167➡・**大久保利通**p.164➡らは，武力で幕府を倒す考えを強めました。1864年には，イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国連合艦隊が，長州藩の外国船砲撃に対する報復として下関の砲台[5]を攻撃しました。その力をみた長州藩の高杉晋作[6]・**木戸孝允**p.164➡らも，攘夷は不可能であることを自覚し，幕府を倒して，天皇中心の政権をつくる考えを強めていきました。

1866年，長州藩と薩摩藩は，欧米の勢力に対抗できる政権をつくろうと，土佐藩(高知県)の坂本龍馬[7]p.150➡らの仲立ちで，**薩長同盟**を結びました。倒幕の動きに危機を感じた幕府は，長州藩を再び攻撃しましたが，西洋式の軍隊をもつ長州藩に苦戦し，14代将軍の徳川家茂の急死をきっかけに撤兵しました。

2 朝廷(公)と幕府(武)の合体により，幕府の権威を回復させようとする政策で，孝明天皇の妹の和宮を将軍徳川家茂の妻に迎えました。



6 **吉田松陰**(左：山口県文書館蔵)と，**高杉晋作**　松陰は，叔父の開いた松下村塾で教え，後の明治維新で活躍する高杉晋作や伊藤博文ら多くの人材を育てました(←巻頭2)。

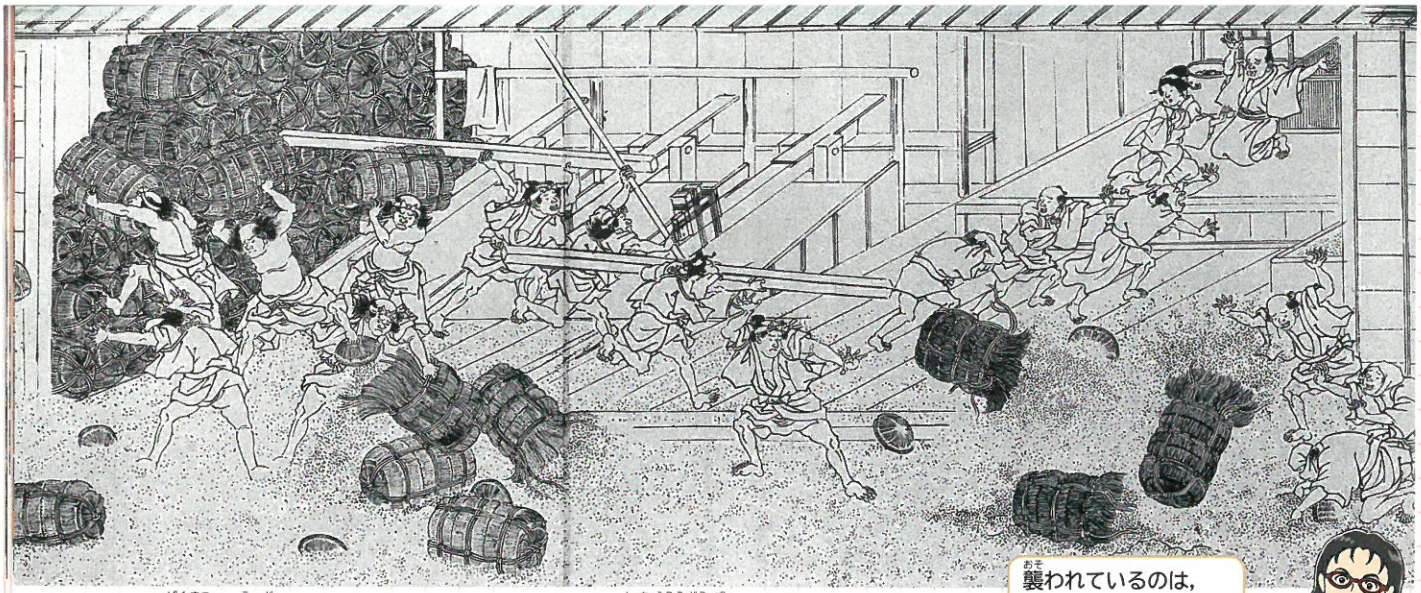


7 **坂本龍馬**
海援隊という，海運や貿易を行うための組織も結成しました。

ふりかえる

ステップ1 開国が，民衆の生活に及ぼした影響を確かめよう。

ステップ2 幕府・長州藩・薩摩藩の関係は，薩長同盟の前後でどのように変わったか説明しよう。



1 幕末に江戸で起こった打ちこわし（『幕末江戸市中騒動図』東京国立博物館蔵）
町奉行所の門には，「御政事売切申候」というはり紙がされたともいわれています。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

9 御政事売り切れ申し候 ▶世直しと江戸幕府の滅亡

学習課題 江戸幕府をほろぼしたのは，どのような力だったのでしょうか。

社会不安の広がり

開国と内戦の影響により，生活用品の不足や値上がりが続くなか，生活に行きづまる人々が増えました。さらに，外国からもたらされたコレラなどの伝染病が流行し，災害や凶作も起こりました[2]。

幕府や藩は，広がる社会不安を解決することができず，民衆の幕府に対する信頼はゆらぎました。厄除けの「はやり神」がもてはやされ，伊勢神宮に集団で参詣する「おかげ参り」が盛んになりました。また，貧困や大病に苦しむ人々の救済を説く，新しい宗教[1]も多くの人々の心をとらえました。

世直しへの願い

民衆の間には，「世直し大明神」の力を借りて困窮からの救済を目ざす，**世直し**への願望が高まりました。質に入れた品物や土地の返還，米の提供，物価の値下げなどを求める世直しの一揆や騒動が各地で起こり，神罰だとして富裕者の家を打ちこわしました。江戸や大阪でも，大商人や米屋に対する打ちこわし[1]があい次ぎました。また，新しい世の中への期待と不安で，民衆が，「ええじゃないか」とはやしたてながら踊りまわる騒ぎ[3]も起こりました。このような

←p.121

[1] 黒住教・天理教・金光教などがあり，明治時代に，神社神道とは別の教派神道として政府から公認されました。



2 大地震を報じる瓦版（東京大学総合図書館蔵） 1854年6月に起こった大地震を伝えています。読売ともよばれる瓦版は，災害や事件などの情報を伝える新聞の原型です。



3「ええじゃないか」を描いた絵馬
（『豊饒御蔭参之図』国文学研究資料館蔵）

読み解こう

1 空から降っているものは，なんだろう。
2 民衆は，何をしているのだろう。なぜ，このような行動をとったのだろう。
3 「ええじゃないか」という言葉には，民衆のどのような気もちが表されているだろう。



4 京都の二条城で政権返還の宣言をする徳川慶喜
（部分：邨田丹陵筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）

民衆の動きは，幕府の威信をますます弱めました。

大政奉還と新政府の誕生

1867年，**明治天皇**が即位すると，p.157➡薩摩藩や長州藩を中心に，倒幕を目ざす動きが高まりました。15代将軍の**徳川慶喜**は，フランスの援助を受けて，なおも幕府の権威を立て直そうとしました。一方，土佐藩の前藩主の山内豊信らは，慶喜に対して，いったん政権を手放すことを勧めました。慶喜は，新たな政権のなかで主導権を維持しようと，これを受け入れ，1867年10月，政権を朝廷に返しました（**大政奉還**）[4]。

p.150➡

しかし，武力による倒幕を目ざす勢力は，12月，天皇中心の政治にもどすことを宣言し，新しい政府をつくりました[2]（**王政復古の大号令**）。慶喜は，新政府への参加が認められず，旧幕府領をすべて差し出すように命じられました。こうして，260年あまり続いた江戸幕府は，ついにほろびました。

2 薩摩藩の西郷隆盛・大久保利通，長州藩の木戸孝允，土佐藩の後藤象二郎，公家の岩倉具視などが，主な地位を占めました。

ふりかえる

ステップ1 開国や内戦の影響を受けて，社会ではどのような動きがあったか確かめよう。
ステップ2 江戸幕府の力が，弱まっていったのはなぜか話し合おう。

歴史の窓　幕末の国際交流 ～海を渡った武士たち

開国後，幕府や長州藩・薩摩藩などは，欧米諸国に多くの留学生を派遣し，政治・経済の制度や文化を学ばせました。幕府の使節に同行して海を渡った福沢諭吉は，欧米で見聞したことをもとに『西洋事情』という本を出版しています。また，1867年4月にフランスで開かれたパリ万博には，日本も初めて参加しました。幕府は，葛飾北斎の浮世絵などを展示し，茶店を出店して評判となったほか，薩摩藩も，薩摩焼や琉球の産物などを独自に出品しました。



パリ万博の日本の展示会場
（横浜開港資料館蔵）

坂本龍馬と横井小楠

土佐藩(高知県)の武士だった坂本龍馬は，1862年に藩を脱け出し，姉に「日本をいま一度洗濯したい」という手紙を書きました。そのころ脱藩することは重い罪でしたが，龍馬は，どのような考えのもとに日本を「洗濯」しようとしたのでしょうか。龍馬が目ざした新しい国家の姿について探ってみましょう。

◉「船中八策」と大政奉還

坂本龍馬は，江戸幕府の軍艦奉行を務めていた勝海舟の門に入り，日本を取り巻く世界の情勢を知るなかで，それまでの尊王攘夷から開国へと考えを改めるようになりました。そして1866年，龍馬は幕府政治を終わらせるために，薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の木戸孝允を説得し，対立していた両藩に同盟を結ばせました。

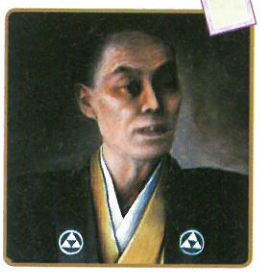
翌年6月，龍馬は，長崎から京都に向かう船の中で，土佐藩の後藤象二郎に「船中八策」とよばれる新しい日本の政治構想を話したとされています。それは，①幕府が政権を朝廷に返したうえで，朝廷を中心にした統一国家をつくること，②上下の議院を設けて議員の話し合いによる政治を行うこと，③有能な人材を政治に登用すること，④欧米諸国と結んだ不平等条約を改正すること，⑤新たに憲法をつくること，⑥海軍を強化すること，⑦天皇直属の軍隊をつくること，⑧金と銀の交換比率を変更することなどでした。

この構想を後藤から伝え聞いた土佐藩は，大政奉還を徳川慶喜に勧め，10月に大政奉還が実現することになりました。

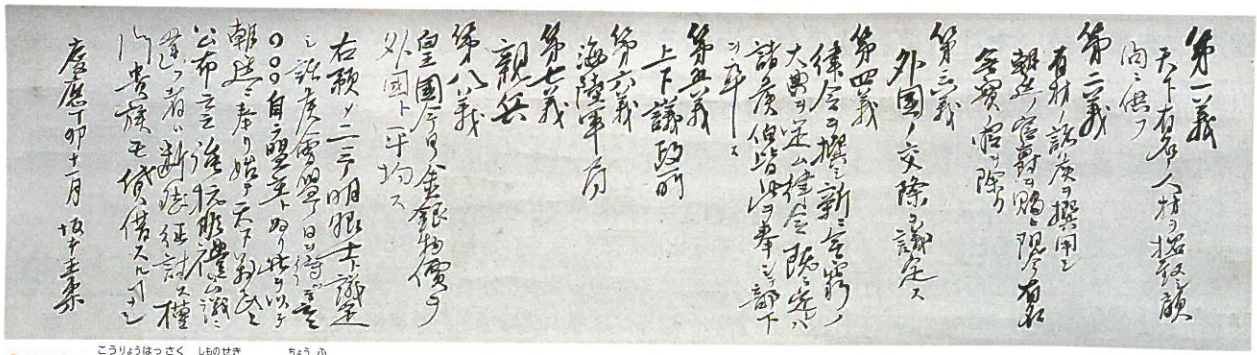
◉横井小楠を尊敬した龍馬

龍馬の政治構想は，肥後藩(熊本県)の横井小楠が提言した「国是三論」を引き継いだものでした。小楠は，越前藩(福井県)に招かれて藩政改革を行い，藩主が幕府の要職に就くと，その補佐役として活躍し，参勤交代を廃止した人物です。視野を広く世界に向けていた小楠は，「地球上でいちばん大切なのは，互いにその立場を認め合い，互いを許す寛容の心をもつことである。」と説きました。

龍馬は小楠を尊敬し，倒幕後に小楠を新しい政府の指導者として迎えることを考えていました。しかし，大政奉還が実現してまもなく，龍馬は京都で何者かに襲われ，明治維新をみることなしに，33歳でその生涯を終えました。



横井小楠(1809～1869年)
(熊本市教育委員会蔵)
交易を重視し，自律的な経済発展の方法を説きました。



新政府綱領八策(下関市立長府博物館蔵)「船中八策」をもとに，龍馬が暗殺される直前に作成したとされるものです。

地域から歴史を探ろう ③

改革や平等を求めて

19世紀の中ごろ，幕府政治がゆらぐなかで，財政の悪化に苦しむ藩では，税の負担や身分の差別を強める動きがみられました。これに対して，各地の人々はどのように立ち向かったのでしょうか。盛岡藩(岩手県)と岡山藩でそれぞれ起こった，三閉伊一揆と渋染一揆の例をもとに探ってみましょう。

三閉伊一揆

盛岡藩では，冷害による不作や，幕府の命による蝦夷地の警備(←p.142)などで，財政の悪化に苦しんでいました。そこで，1847年，藩内に臨時の税を課しましたが，それは，特に太平洋沿岸の三閉伊地方に重いものでした。これに反発した約1万2000人の農民や漁民たちは，弥五兵衛を中心に一揆を起こしました。「藩政を改革するには，人々が結束して立ち上がらなければならない。」と説いた弥五兵衛は，藩の重臣と交渉して要求の一部を認めさせました。しかし，一揆が収まると，藩はさらに増税を行ったため，人々は田野畑村の太助らを指導者として再び立ち上がりました。

1853年，太助ら約8500人は，「小〇」の旗をかかげて仙台藩に入り，盛岡藩主の交替か，三閉伊地方の仙台藩への領地替えを訴え出ました。一揆勢は，約半年にわたる交渉の結果，増税をやめることなどの要求をほぼ実現したうえ，一揆の指導者を処罰しないことを約束させる証文も書かせました。幕府に責任を問われた盛岡藩では，200名あまりの役人が処罰され，その後，藩政改革が進むことになりました。



「小〇」の旗
「小〇」とは，どのような意味でしょうか。

渋染一揆

社会がゆれ動くなかで，民衆の間には，生活のために身分にこだわらない仕事や身なりをする動きが広がりました。幕府や藩は，法令を出して身分の秩序を守ろうとしましたが，これに対抗して，社会での立場を向上させようとする運動も起こりました。

1842年，岡山藩は，えたの身分とされた人々に対して，衣類は無紋とし，渋柿の汁で染めた渋染か，藍(←p.14)の汁で染めた藍染のものにするように命じました。村々が，衣類の新調は家計の負担になると訴えたため，藩は，縞小紋ならよいと改めました。

しかし，ペリー来航後の1855年，財政が行きづまった岡山藩は，すべての領民に倹約令を出し，さらに，えたの身分とされた人々に対しては，衣類に同じ制限を設けたうえ，履物や雨がさ，百姓へのあいさつなど，新たな差別も加えた特別倹約令を迫りました。人々は，寄合を重ね，「私たちは，百姓たちと同じように年貢を納め，治安の役目も務めています。特別倹約令は受け入れられません。」と嘆願しましたが，認められませんでした。そこで，村々の男子千数百人が一揆に立ち上がり，藩の役人と交渉しました。藩は，人々の要求を受け入れ，身分をへだてる倹約令を強制できなくなりました。



渋染一揆の碑
老父母や妻子たちとの最後の別れの情景などが記されています。

学習のまとめと表現　～第５章　近代の幕開け～

「近代の幕開け」の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の Ⓐ ～ Ⓙ にあてはまる語句を書き出そう。

江戸時代

日本の動き

- ロシアの使節が根室に来航
- 伊能忠敬が蝦夷地を測量
- 間宮林蔵が樺太を探検
- 外国船打払令
- 天保の飢饉
- 大塩平八郎の乱
- 蛮社の獄
- 1841～43年 Ⓐ の改革
- 江戸・大阪の周辺を直接の支配地に株仲間の解散
- 諸藩の藩政改革
- Ⓑ の来航

外国船の接近 → 幕府政治のゆらぎ

百姓一揆・打ちこわしの激化

←【化政文化】

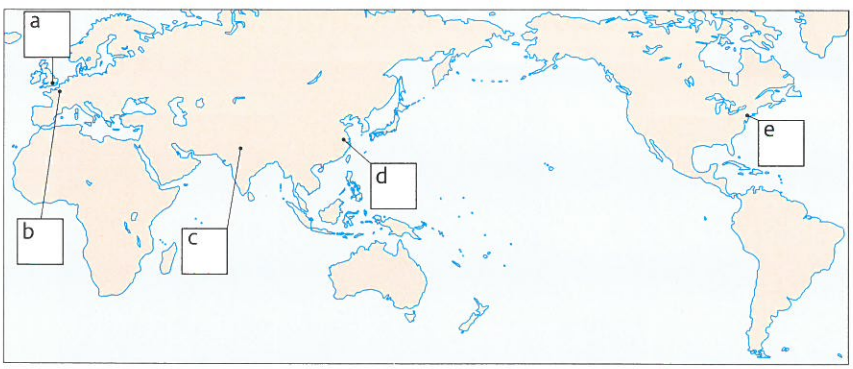
←【問屋制家内工業】　工場制手工業

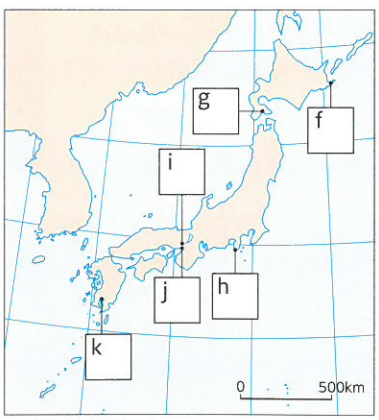
世界の動き

	16世紀	17世紀	18世紀
中国	清		
朝鮮	朝鮮		
イギリス	絶対王政	ピューリタン革命　名誉革命	Ⓒ 革命　資本主義
フランス		絶対王政	フランス革命・Ⓓ 宣言
アメリカ		13植民地	独立宣言　合衆国 Ⓔ

「近代の幕開け」の舞台(ぶたい)を地図で確かめよう。

3 下と右の地図中に，次のできごとが起こった場所を番号で記入しよう。





①アメリカの独立戦争(←p.134)
②フランス革命(かくめい)(←p.135)
③世界最初の産業革命(←p.136)
④インド大反乱(←p.140)
⑤アヘン戦争(←p.141)
⑥ラクスマンが来航(←p.142)
⑦大塩平八郎(おおしおへいはちろう)の乱(←p.142)
⑧日米和親条約(にちべいわしんじょうやく)で開港(←p.144)
⑨薩英戦争(さつえいせんそう)(←p.147)
⑩大政奉還(たいせいほうかん)(←p.149)

2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

ラクスマン	水野忠邦（みずのただくに）	井伊直弼（いいなおすけ）	坂本龍馬（さかもとりょうま）	徳川慶喜（とくがわよしのぶ）
エリザベス１世	ルイ14世	ワシントン	洪秀全（こうしゅうぜん／ホンシウチュワン）	リンカーン

江戸時代

1854年 **開国**

- Ⓑ の来航
- 日米和親条約
- 領事の駐在
  下田・函館の開港
- Ⓕ 条約
- 関税自主権がない
  治外法権
  五港の開港
- ・安政の大獄
- 桜田門外の変
- ・四国艦隊が下関を占領
- ・薩英戦争
- ・長州藩が外国船を砲撃
- ・生麦事件
- Ⓗ 同盟
- 大政奉還
- 1867年 **江戸幕府の滅亡**
- 王政復古の大号令

三閉伊一揆　渋染一揆

幕府政治の行きづまり　Ⓖ 運動の高まり

Ⓘ の一揆・「ええじゃないか」

物価の値上がり，開国への批判

19世紀

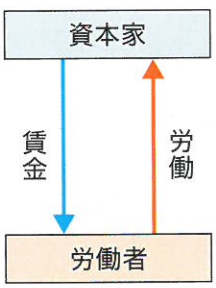
アジア　Ⓙ 戦争　太平天国の運動　インド大反乱

アジアの植民地化　イタリア・ドイツの統一

列強　アメリカの西部開拓・南北戦争

「近代の幕開け」のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 下の図を使って，産業革命で確立した資本主義（しほんしゅぎ）のしくみについて説明しよう。



5 江戸幕府（えどばくふ）がほろんだのはなぜか，あなたが最も大きいと思う原因について，教科書から資料を選んで説明しよう。





「近代の幕開け」の時代の特色を考えよう！

かずやさんの班では，幕末に活躍した人物を個々に選び，それぞれの人物が理想と考えた日本の政治体制について語り合う，仮想の討論会を開きました。



徳川慶喜

私が，大政奉還を受け入れたねらいは，〔　　〕という政治体制をつくることでした。



坂本龍馬

私が，薩長同盟の仲立ちをしたのは，〔　　〕という政治体制をつくろうと考えたからです。



民　衆

私たちが，世直しの一揆を起こしたり，「ええじゃないか」と踊ったりしたのは，〔　　〕という願いがあったからです。



岩倉具視

私が，王政復古の大号令を宣言したのは，〔　　〕という政治体制をつくるためでした。

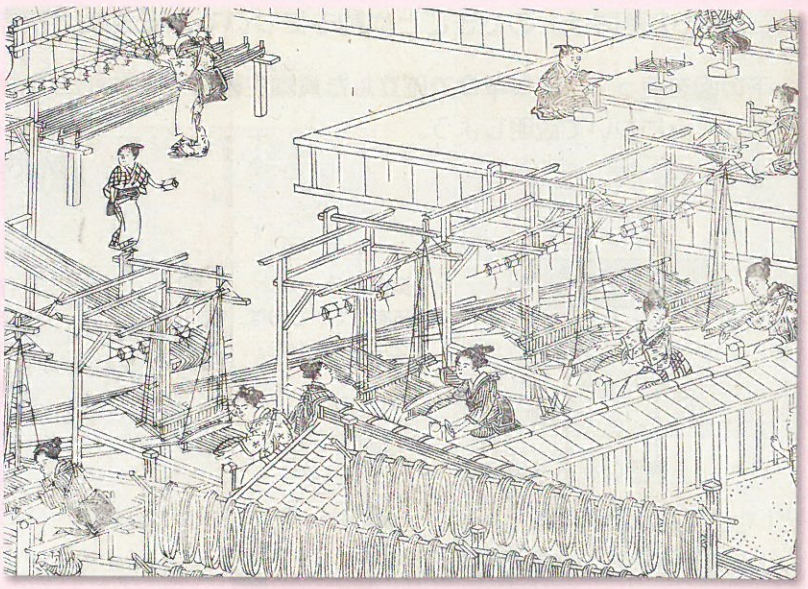
①それぞれの人物は，どのような立場で，何をしたのか，これまでの学習を振り返って確かめよう。
②天皇・徳川家・大名の政治への関わり方の違いに注目して，それぞれの人物の〔　　〕にあてはまる意見を考えよう。
また，民衆は，新しい政治体制に何を期待していたのか，〔　　〕にあてはまる願いを考えよう。



どの人物が語った政治体制が実現するか，予想してみましょう。

時代の変化に注目しよう！

1 右の絵は，19世紀に始められた新しい生産方法による，綿織物業の仕事場を描いています。このような生産方法を，なんといいますか。この生産方法には，それまでと比べてどのような特徴があったか確認しましょう。
また，次のページの絵は，やがて国内で開かれた産業博覧会を描いています。作業している人や，使っているものを見比べて，気がついたことを発表し合いましょう。



第6章

近代の日本と世界



内国勧業博覧会の機械館（国文学研究資料館蔵）



何を生産するための機械かな。この博覧会は，だれが，どのような目的で開いたのだろう。

上の絵は，19世紀の後半に開かれた，新しい産業技術を紹介する博覧会の様子です。江戸幕府がほろんだのち，日本はどのように変わっていったのか，これから学習していくことにしましょう。



これから学習する時代

年表

年代	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910
日本	江戸時代		明治時代				
中国	清						中華民国
朝鮮	朝鮮					韓国	（日本領）

1 明治維新と立憲国家への歩み



1 鳥羽・伏見の戦い（部分：松林桂月筆 明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）



3 五稜郭（北海道函館市）
西洋式の城で，戊辰戦争の最後の戦いが行われました。



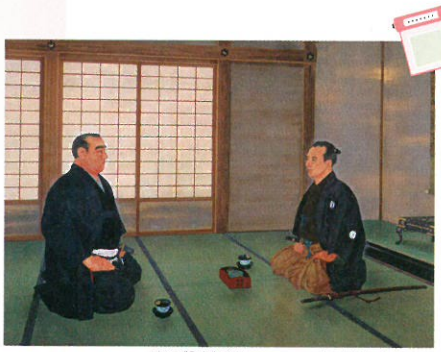
2 戊辰戦争　鳥羽・伏見や江戸，会津若松での戦いなど，主な戦いが戊辰の年にあたる1868年に起こったことから，戊辰戦争とよばれています。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 1800年 19 20 21

① 万機公論に決すべし ▶ 戊辰戦争と新政府の政治方針

学習課題　新政府は，どのように国内を統一し，政権を固めていったのでしょうか。



4 西郷隆盛（左）と勝海舟（右）の交渉（部分：結城素明筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）

戊辰戦争

新政府への徳川慶喜の参加が拒否された不満から，旧幕府軍は，1868（慶応４）年１月，鳥羽・伏見（京都府）で新政府軍と戦いを起こしました[1]。これに勝利した新政府軍は，自らを官軍とし，慶喜を「朝敵（朝廷の敵）」として戦いを続けました。４月には，新政府軍の西郷隆盛と旧幕府軍の**勝海舟**の交渉[4]によって，江戸城の明け渡しが行われ，新政府軍は江戸を占領しました。

←p.149

しかし，会津藩（福島県）などの諸藩はなおも新政府軍への抵抗を続け，これを支持する東日本の諸藩は，奥羽越列藩同盟を結成しました。新政府軍はこれらに攻撃を加え，９月には，激戦の末に会津の若松城を攻め落としました[1]。翌年５月には，函館の五稜郭[3]に立てこもっていた旧幕府軍の榎本武揚らも降伏し，新政府軍のもとで国内は統一されました。約１年半に及ぶこの内戦を，**戊辰戦争**[2]といいます。

1 会津の戦いには，16～17歳の藩士343名で組織された白虎隊や，20名あまりの女性で組織された婦女隊も参戦しましたが，会津藩は敗れ，諸藩も降伏しました。



5 江戸城に入る天皇の一行（部分：小堀鞆音筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）



6 伝統装束を着た明治天皇（左）と，新制の軍服を着た明治天皇（右）

五箇条の御誓文

一．広ク会議ヲ興シ万機①公論ニ決スヘシ

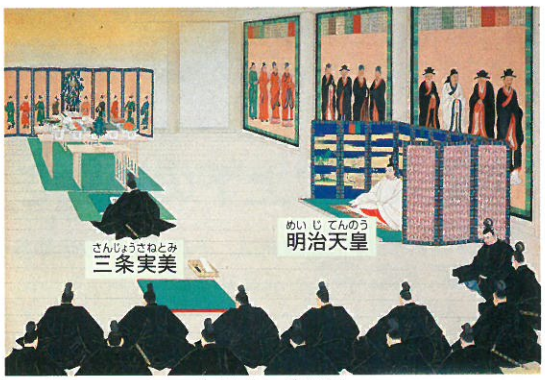
一．上下心ヲ一ニシテ盛ニ経綸②ヲ行フヘシ

一．官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメン③事ヲ要ス

一．旧来ノ陋習④ヲ破リ天地ノ公道⑤ニ基クヘシ

一．智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基⑥ヲ振起スヘシ

①天下の政治。
②国を治め整えること。
③あきさせない。
④昔からの悪い習慣。ここでは攘夷のこと。
⑤世の中の正しい道理。ここでは国際法のこと。
⑥天皇が国を治める基礎。



7 五箇条の御誓文を読み上げる様子（部分：乾南陽筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）　全文で五箇条からなり，明治天皇が神々に誓うという形式だったことから，五箇条の御誓文とよばれています。

新政府の出発

戊辰戦争が始まると，新政府は，諸外国に対して，天皇を中心とする新政権が成立したことや，これまで幕府が結んだ条約を受け継ぐことを通告しました。1868年3月には**五箇条の御誓文**[7]を発布し，会議を開いて世論に基づいた政治を行うことなど，新政府の政治の方針を内外に示しました。[2]

さらに，人心を一新するため，年号を明治と改め，天皇の在位中には一つの元号のみを用いる，一世一元の制を採用しました。また，江戸を東京と改称するとともに，天皇[6]が東京に移り[5]，政府の役所も東京に集めました。

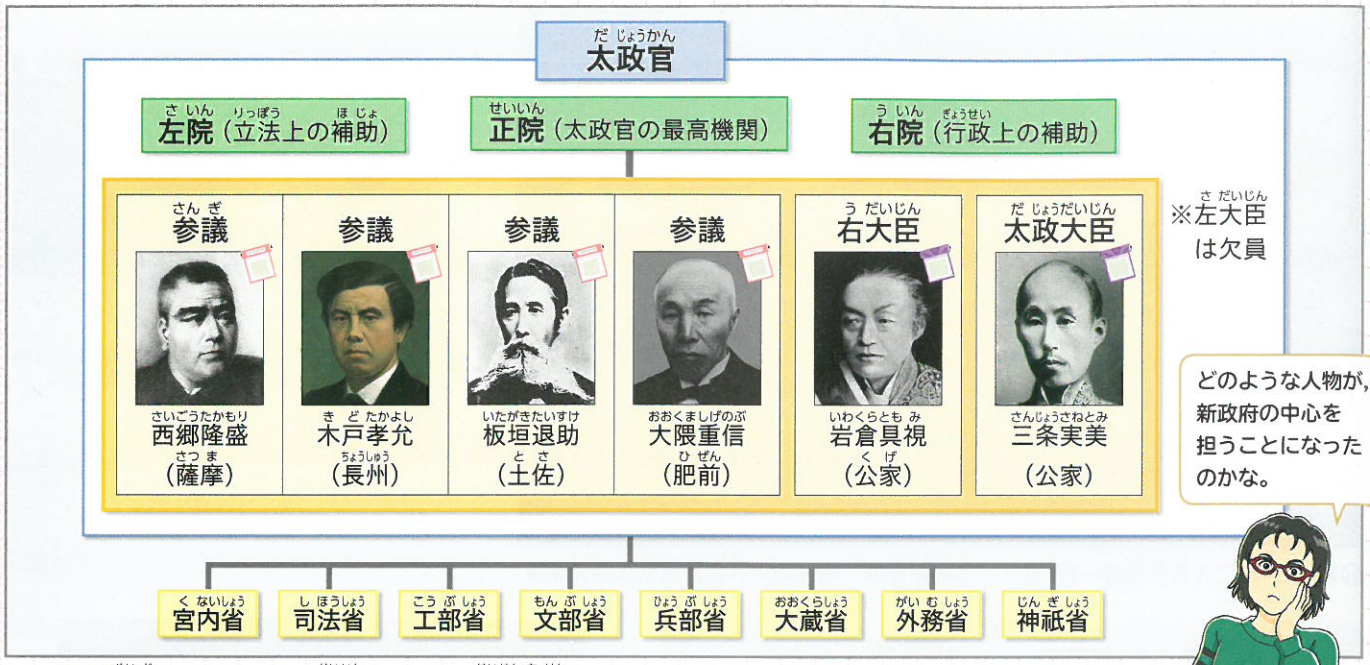
新政府は，その後もさまざまな分野で改革を推し進め，それによって社会は大きく変化しました。このような幕末から明治の初めにかけての一連の改革を**明治維新**といいます。当時の人々は，「御一新」とよんでこの改革に期待しました。

2 同時に民衆に示された立て札（五榜の掲示）には，百姓一揆やキリスト教の禁止などが記されていました。しかし，1873年までには撤去されました。

ふりかえる

ステップ1 五箇条の御誓文には，どのような新政府の政治方針が示されているか確かめよう。

ステップ2 天皇が東京に移り，政府の役所も東京におかれたのはなぜか説明しよう。



1 明治政府のしくみと正院の政治家　廃藩置県のころに決められたものです。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

2 人民に上下の別なき ▶ 幕藩体制の解体と身分制度の廃止

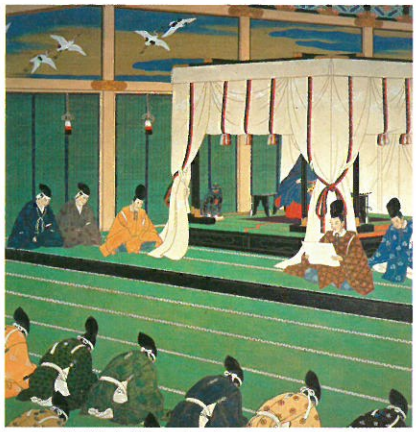
学習課題　新政府は，それまでの政治や社会のしくみを，どのように変革していったのでしょうか。

廃藩置県

新政府は，太政官という機関を設けて政治を運営しました[1]。そこでは，幕府を倒す中心となった公家や，薩摩藩・長州藩・土佐藩・肥前藩などの出身者たちが実際の権力を握ったため，後に**藩閥政治**とよばれました。

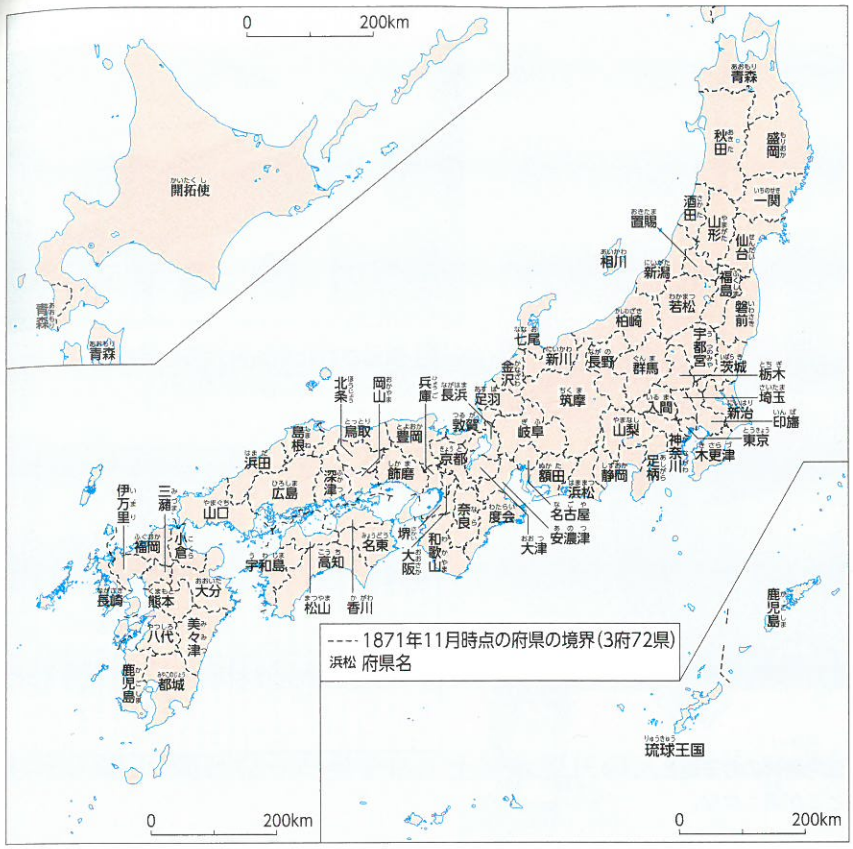
一方で，幕府が滅亡したのちも，大名が藩を支配するしくみ ←p.105 は残っていました。政府は，中央集権国家の建設を目ざして，その改革に着手し，1869（明治２）年，全国の藩主たちに命じて，版（領地）と籍（領民）を天皇に返上させました（**版籍奉還**[4]）。しかし，元の藩主が藩の政治を行うという点は変わらず，改革の効果は不十分でした。そこで，1871年には，すべての藩を廃止して県をおき[1]，新たに県令（知事）を任命しました[2][3][4]（**廃藩置県**）。

諸藩の多くは財政難で苦しんでいたため，ほとんど抵抗なくこの改革を受け入れました。県の統廃合はさらに進められ，1888年には１道３府（東京・大阪・京都）と43県に整理されました。こうして，政府が全国を直接支配するようになり，幕藩体制は解体されました。 ←p.105



2 廃藩置県の布告
（部分：小堀鞆音筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵）

1 当初は，およそ300もの県がおかれました。



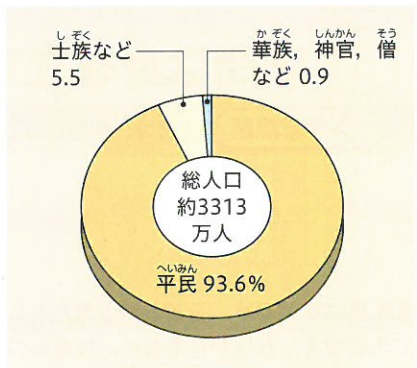
3 廃藩置県　北海道には，開拓使という役所がおかれていました(p.163→)。

	版籍奉還	廃藩置県
実施	1869年6月	1871年7月
内容	藩主が領地と領民を天皇に返上。藩は存続。	藩を廃止して県をおく。
政治	元の藩主が政治を行う。	政府から派遣された県令(知事)が政治を行う。

4 版籍奉還から廃藩置県への変化



5 「天地の秤にかけて人民に上下の別なき図」(国立国会図書館蔵)



6 人口の割合
(1872年『近世日本の人口構造』)

四民平等

政府は，身分制度の改革にも取り組みました。←p.112 皇族(天皇の一族)のほかは，公家と大名を華族，武士を士族，百姓や町人を平民と改め，5 6 統一的な戸籍に登録しました。また，平民が名字を名のることを許し，異なる身分どうしの結婚や，職業の選択・居住・旅行の自由を認め，人身売買を禁止しました。これらの改革は，「**四民平等**」を合い言葉に進められました。

残された差別

江戸時代に，えた・ひにんの身分とされていた人々は，1871年，政府の「**解放令**」によって平民とされ，法律上は平等になりました。しかし，それまで認められていた職業上の権利を失い，新たに兵役の義務を負わされるなど，生活はむしろ厳しくなりました。←p.113 p.160, 161→ また，就職・結婚・教育・居住など，実際に生活するうえでの社会的な差別も根強く残りました。一方では，解放令を支えに，村の山林・用水の利用や，祭礼への参加などの権利を要求し，自らの力で差別からの解放を目ざす動きも進められました。

ふりかえる

ステップ1 新政府は，版籍奉還や廃藩置県によって，どのような国家を目ざしたか確かめよう。

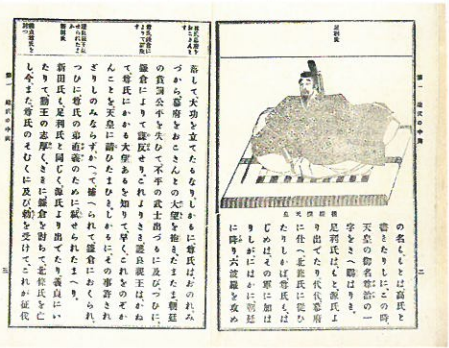
ステップ2 資料5 6をもとに，社会のしくみは，江戸時代からどのように変わったか話し合おう。



1 **明治時代の小学校の授業**（上：東書文庫蔵）**と，明治時代に使われた『小学日本歴史』の教科書**（1903年発行）



2 **復元された明治時代の小学校**
（「津金学校」山梨県北杜市）





世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 1800年 19 20 21

3 学問は身を立てるの財本 ▶ 富国強兵の諸改革

学習課題 政府は，何を目ざして改革を進め，人々は，その改革をどのように受けとめたのでしょうか。

富国強兵

政府は，欧米諸国が東アジアに勢力を伸ばしつつあることに危機感を強め，西洋の列強に ←p.139 対抗できる国家の建設を目ざしました。国力の充実や近代化のための改革は，「**富国強兵**」をスローガンとして，学制・兵制・税制など，広い範囲に及びました。

小学校の誕生

まず政府は，近代化の基礎は教育による国民意識の向上にあると考え，1872（明治５）年に**学制**を公布しました。欧米の学校教育制度を取り入れて，６歳以上の男女はすべて小学校に通うように定めました。[1] 江戸時代以来の寺子屋 ←p.125 をもとにしたものも含めて，数年のうちに全国で２万校以上の小学校がつくられ，[2] 男子の就学率は50％をこえましたが，女子はその半分以下にとどまりました。[1]

軍隊の組織

次に政府は，西洋式で強力な全国統一の軍隊をつくるため，1873年に**徴兵令**を発布しま

[1] 農村などでは，子どもが労働力として大切であったばかりでなく，授業料の負担も家計にとって重かったので，子どもの通学に反対する動きもありました。



3 **徴兵検査を受けた人々**
当初は，兵役に就く男子の割合は１割以下でした。家長・長男・官吏や，一定の金額を納めた者などは，兵役を免除されたため，実際の兵役に就いたのは，次男・三男などが中心でした。





読み解こう

❶地券には，どこに，どのような情報が記されているか確かめよう。
❷地租のところに「明治十年ヨリ　百分ノ弐ケ半」とあるのは，どのような意味だろう。
❸6のグラフで，1875年と1900年の政府の収入には，どのような違いがあるだろう。

↑4 地券（上：国文学研究資料館蔵）と，5 地租改正の反対一揆

した。満20歳となった男子に，士族・平民の区別なく兵役を義務づけることで，武士に代わり，国民が主力の軍隊としました[3]。しかし，この改革は，士族の特権をうばうものとして，彼らの反発を招いたほか，国民に新たな負担を強いることにもなったため，徴兵に反対する動きが各地で起こりました。

←p.112

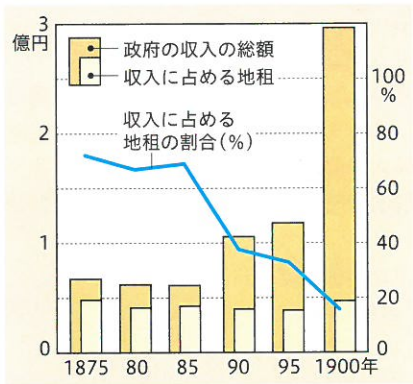
租税を金納に

こうした改革を実施するためには，安定した財源の確保が不可欠でした。当初，政府の収入の大部分は，農民が米で納める租税で，従来の年貢を引き継いだものでしたが，米価の変動などで収入は不安定でした。

そこで，政府は，土地の売買を認めたうえで，土地の地価を定め，土地の所有者に地券[4]を発行しました。そして，1873年に地租改正条例を公布し，地租（税額）を地価の３％と定めて，土地所有者に現金で納めさせることにしました。これを**地租改正**といいます。地租改正は，数年かけて全国で実施されました。これにより，国民の土地所有権が確立するとともに，政府の財源は，収穫量や米価に左右されない安定したものになりました[6]。

←p.113

しかし，人々にとっては，租税の負担は以前とあまり変わりませんでした。そのため，地租改正に反対する一揆が各地で起こり[5]，1877年，政府は地租を地価の2.5％に引き下げました[2]。



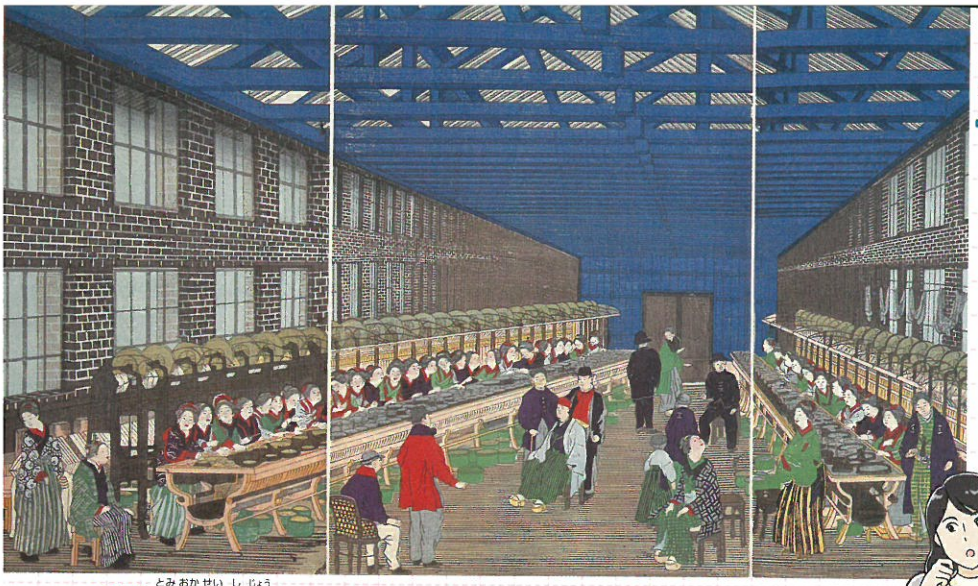
↑6 政府の収入と，収入に占める地租の割合の変化（『日本経済統計集』）

❷ 1870年代の後半から米価が高くなったため，土地を所有する農民の生活には余裕が生まれましたが，土地を借りて耕作する小作人は，高い小作料を現物で地主に納めなければなりませんでした。

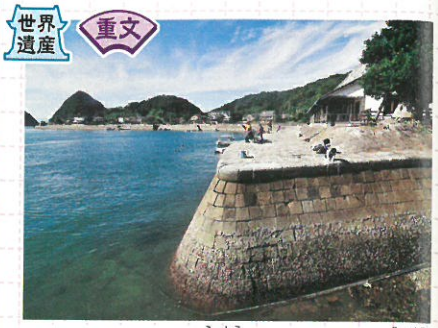
ふりかえる

ステップ1 学制・兵制・税制のそれぞれについて，それまでの制度との違いを確かめよう。

ステップ2 新政府の改革に反対する動きがあったのはなぜか，理由を説明しよう。



1 富岡製糸場（国立国会図書館蔵）　1872年，政府は最大の輸出品だった生糸を増産するために，フランスから最新の機械を導入し，工女を募集して，群馬県の富岡に工場を開設しました。



世界遺産　重文

2 建設当時の埠頭や建物が残る三角西港（熊本県宇城市）　オランダ人のムルドルによって設計された港です。



機械で大量生産が行われるようになったのは，いつごろ，どこでだったかな。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 **18** 1800年 **19** 20 21

④ ザン切り頭をたたいてみれば ▶ 殖産興業と文明開化

学習課題　西洋にならった改革は，社会や人々の生活にどのような影響をもたらしたのでしょうか。



3 クラークの像（北海道札幌市）　自然科学などを英語で教えたほか，キリスト教も講じました。

殖産興業

政府は，産業についても近代化を図るため，関所や株仲間を廃止し（←p.104），自由な経済活動をうながしました。そして，欧米（←p.115）の先進国から招いたお雇い外国人[1][3]らの指導のもとで，西洋の知識や技術を取り入れ，近代産業の育成を目ざしました。この政策を，**殖産興業**といいます。

政府は，幕府や諸藩がもっていた造船所・鉱山などを政府のもとに移し，新たに富岡製糸場[1]などの**官営模範工場**を開設しました。また，博覧会を開催して，産業技術の普及に努めました。

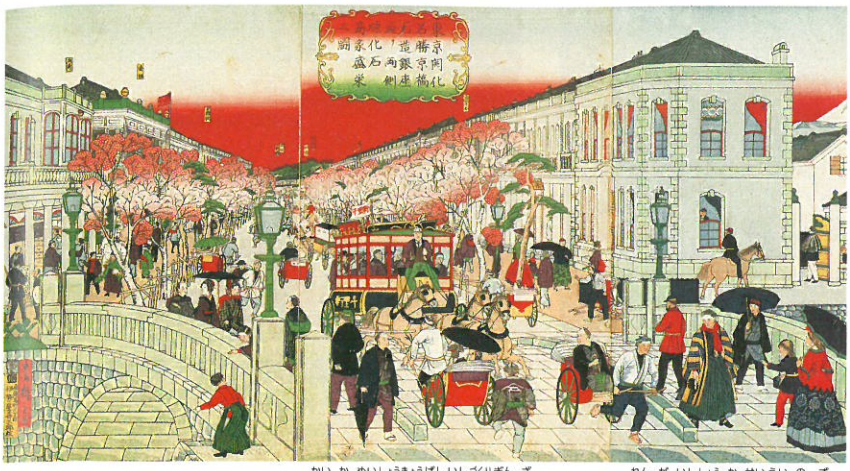
交通では，1872（明治５）年，新橋・横浜間に初めて鉄道が開通[2]し，数年後には神戸・大阪・京都間も開通しました。政府は，港や道路を建設し[2]，海運会社に補助金を支給するなど，交通網の整備を図りました。通信では，飛脚に代わる郵便制度が，前島密の立案で1871年に始まったほか，国内各地が電信で結ばれました。こうした整備によって，人や物資の輸送，情報の伝達が便利になり，全国的な交流も活発になっていきました。

文明開化

一方，近代化の政策をきっかけとして，西洋の文化を取り入れる動きも活発になり，人々

1 お雇い外国人は，政府・工場・学校などで指導にあたりました。札幌農学校（現在の北海道大学）に勤務したクラークをはじめ，大森貝塚を発見したモースや，鹿鳴館を設計したコンドル，東京美術学校（現在の東京芸術大学）の設立に尽くしたフェノロサなどがいました。

2 江戸時代は半日かかった新橋・横浜間が，53分で結ばれました。普通車の運賃は37銭5厘で，米15kgの値段と同じぐらいでした。

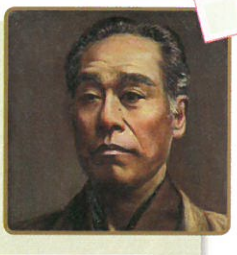


4 洋風化する町並み(『東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉化石商家盛栄之図』東京都江戸東京博物館蔵)　建物や乗り物，人々の服装などを112・146ページの絵と比べてみましょう。

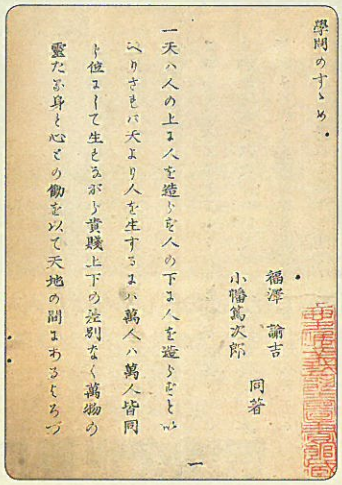
の思想や信仰，生活様式などに大きな影響をもたらしました。こうした風潮を**文明開化**といいます。

このころ，人間の自由や権利を尊重する思想が，**福沢諭吉**や中江兆民らによって欧米諸国から紹介されました。←p.133, 135 5 活字印刷によって新聞や雑誌の発行が容易になったことも，新たな思想を広める一因となりました。また，それまで禁止されていたキリスト教の信仰が認められました。3 ←p.157

衣食住の生活様式も，しだいに西洋化していきました。ちょんまげを切ってザン切り頭にし，コートや帽子などを身につけ，牛鍋などを食べる風俗が流行しました。町には，れんが造りの建物が増え，人力車や馬車が走り，ガス灯やランプがともるようになりました。4 また，1873年からは太陰暦に代わって太陽暦が採用され，７日を１週間として日曜を休日とする制度が始まり，役所や工場・学校などを通じて定着していきました。4



5 福沢諭吉『学問のすゝめ』(慶應義塾図書館蔵)　販売数は約70万部に達しました。



3 一方，1868年の神仏分離令により，仏教を排斥する運動が起こるなど，神や仏に対する意識も大きく変わりました。

4 文明開化の広まりは，開港場や大都市が中心でした。農村では，農作業の関係から太陰暦が使い続けられましたが，生活様式も少しずつ変化していきました。

ふりかえる

ステップ1 殖産興業の政策によって新たにできたり，始まったりした物事をあげよう。

ステップ2 西洋の思想や生活様式などの文化は，人々にどのように受け止められたか話し合おう。

歴史の窓　北海道の開拓とアイヌの人たち

北方の開拓と防備に力を入れた政府は，1869年，蝦夷地を北海道と改め，開拓使という役所をおきました。初めは職を失った士族らを移住させ，開拓にあたらせました。士族には，非常のときに武器を取って防備にあたる，屯田兵の役割が与えられましたが，後には農民からも屯田兵が募集されるようになりました。

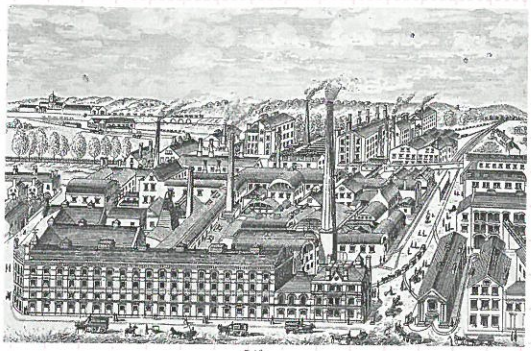
開拓が進むにつれて，先住民族であるアイヌの人たちは漁や狩りの場をうばわれ，苦しい立場に追いこまれていきました(p.171 →)。政府が1899年に「北海道旧土人保護法」を制定した後も，アイヌ民族に対する差別は続きました。



屯田兵
(『明治・大正期の北海道(写真編)』)



1 岩倉使節団の中心になった人々(大久保利通)
アメリカ合衆国のサンフランシスコで撮影された写真です。



2 使節団の報告書に描かれたイギリスの工場
(久米美術館蔵)



欧米諸国を訪れた政府の首脳たちは，どのようなことを感じたのだろう。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

5 智識を世界に求めて ▶ 新しい国際関係の確立

(知)
学習課題 明治の初めごろ，政府は外国との関係をどのように築いていったのでしょうか。



3 女子留学生たち
(津田塾大学津田梅子資料室蔵)
岩倉使節団とともに，約60名の留学生が海外に渡りました。そのなかには，津田梅子や山川捨松(右側の二人，p.170→)など，5人の少女も加わっていました。

岩倉使節団の派遣

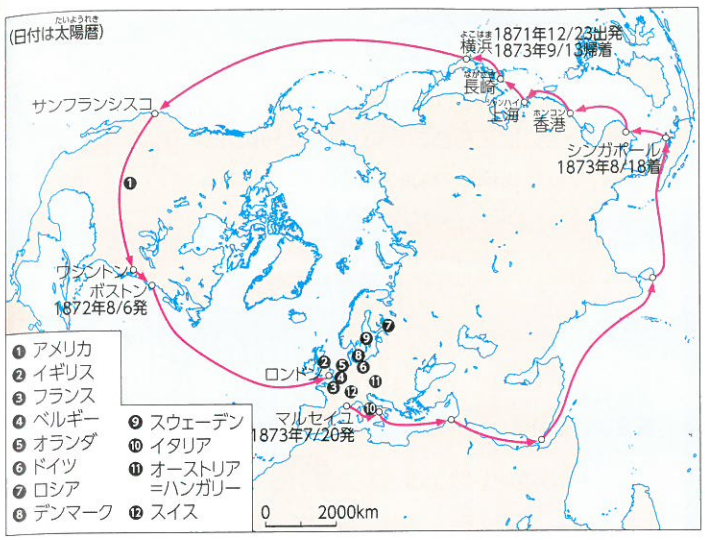
政府は，外国との国交を広めていく方針のもとに，欧米や近隣の国々との外交を進めました。1871(明治4)年，岩倉具視(←p.158)を大使とする政府の大規模な使節団[1]が，欧米諸国に派遣されました(**岩倉使節団**[4])。目的の一つだった不平等条約(←p.145)の改正は，日本にはまだ法律などの制度が整っていないとされたため，成功しませんでした。しかし，使節団や同行した留学生たち[3]が議会・工場・学校などを視察し[2]，先進国の政治・産業・文化について詳しく調査したことは，その後の日本の近代化に大いに役立ちました。

中国・朝鮮との外交

政府は，1871年に清と対等な**日清修好条規**を結び，国交を開きました[5]。朝鮮に対しては，まず対馬藩(←p.110)を通じて，王政復古(←p.149)を知らせる文書を送りました。しかし，鎖国(←p.109)を続けていた朝鮮は，これに応じませんでした。

政府内には，武力を用いてでも国交を認めさせようとする主張(**征韓論**)が起こりましたが，1873年に欧米諸国の視察から帰った大久保利通・木戸孝允(←p.158)らは，国内の改革を優先させるべきとして，これに反対しました。主張が受け入れられなかった

1 ソウルに近い江華島沖で，日本の軍艦が無断で測量したため，朝鮮の砲台から砲撃され，日本側が反撃して砲台を占拠した事件。



4 岩倉使節団のコース

およそ1年9か月をかけて，欧米の12か国を回りました。



5 日本の外交と領土の歩み

年	できごと
1871	日清修好条規を結ぶ❶
1872	琉球藩をおく❷
1874	台湾に出兵する❸
1875	樺太・千島交換条約を結ぶ❹ 江華島事件が起こる❺
1876	日朝修好条規を結ぶ❻ 小笠原諸島の領有を宣言する❼
1879	琉球藩を廃止し，沖縄県を設ける❽
1895	尖閣諸島を沖縄県に編入する❾
1905	竹島を島根県に編入する❿

西郷隆盛・板垣退助らは，政府を退きました。しかし政府は，1875年の**江華島事件**❶をきっかけに朝鮮に圧力をかけ，翌年，日本に有利な**日朝修好条規**❷を結んで，朝鮮を開国させました。

領土の画定と沖縄県

琉球王国は江戸時代以来，薩摩藩の支配下にありましたが，同時に清にも朝貢していました。政府は，琉球を日本の領土にしようと，まず琉球藩をおき，台湾に漂着した琉球の人々が殺害された事件を理由に，1874年，台湾に出兵しました。1879年には軍隊を送って琉球藩を廃止し，沖縄県を設けました(**琉球処分**)。

一方，ロシアとは，江戸時代に紛争があった樺太と千島の帰属について，1875年，**樺太・千島交換条約**を結び，樺太(サハリン)をロシア領，千島列島の全島を日本領と定めました。また，翌年に政府は，小笠原諸島が日本の領土であることを宣言し，国際社会にも認められました。

❷ 日本の領事裁判権や関税の免除を朝鮮に認めさせる内容でした。また，朝鮮を独立国とし，これまでの清と朝鮮との関係(←p.110)を否定するものでした。

❸ その後，1895年には尖閣諸島を沖縄県に，1905年には竹島を島根県に，それぞれ閣議決定により編入しました(p.257→)。

ふりかえる

ステップ1 岩倉使節団が派遣された目的と，成果について確かめよう。

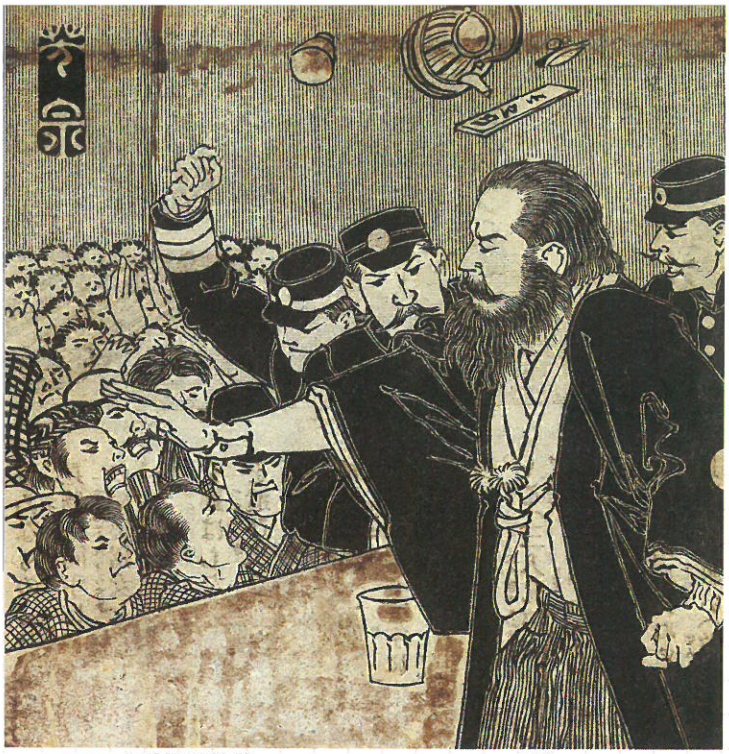
ステップ2 政府が，領土の画定を急いだわけを話し合おう。

歴史の窓　琉球処分～琉球王国の終わり

廃藩置県によってすでに国内から藩がなくなった1872年，一つの藩が新設されました。琉球藩です。琉球国王の尚泰は，琉球藩王とされました。1875年，政府は琉球の代表を上京させ，清との関係を絶つように求めましたが，琉球側は強く抵抗しました。説得に応じない琉球側に対し，1879年，政府は武力で首里城を占領し，廃藩置県を断行しました。琉球王国は崩壊し，尚泰は東京に移住させられました。



尚泰



1 自由民権運動の演説会の様子（東京大学明治新聞雑誌文庫蔵）

読み解こう

❶演説する弁士は，何を訴えているのだろう。
❷警官は，何をしようとしているのだろう。
また，聴衆はどんなことを言っているのだろう。
❸こうした民権派の活動に対して，政府は，どのような対応をしたのだろう。



2 オッペケペー節　俳優の川上音二郎が歌い，民衆の間で流行しました。演説の主張を歌にしたもので，「演歌」とよばれました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 **19** 1900年 **20** 21

6 民撰議院を開設せよ ▶ 自由民権運動と政党の誕生

学習課題　国会の開設を目ざして，民権派や政府はどのような活動を展開したのでしょうか。

自由民権運動の始まり

明治維新のころ，欧米の先進諸国では立憲政治[1]が行われていました。←p.137日本でも，憲法をつくって国会を開き，立憲政治を始めようという案が政府内で議論されるようになりました。しかし，朝鮮との外交をめぐる内部の対立などから，なかなか実現しませんでした。←p.164

そこで，1874(明治７)年，政府を退いていた**板垣退助**[3]らは，民撰議院設立建白書を政府に提出して，少数の有力者による専制政治をやめ，早く民撰議院(国会)を開くように主張しました。←p.158こうして，国民の自由と権利を求め，立憲政治の実現を目ざす**自由民権運動**が始まりました。

士族の反乱

一方，政府の改革に不満をもっていた士族ら[2]は，西日本の各地で蜂起[4]しました。←p.1611877年には，西郷隆盛[6]をかつぎ上げて，鹿児島の士族ら約４万人が政府反対の兵をあげました(**西南戦争**[5])。政府は徴兵制による新しい軍隊を出動させ，半年以上かけてこれをしずめました。←p.160, 161

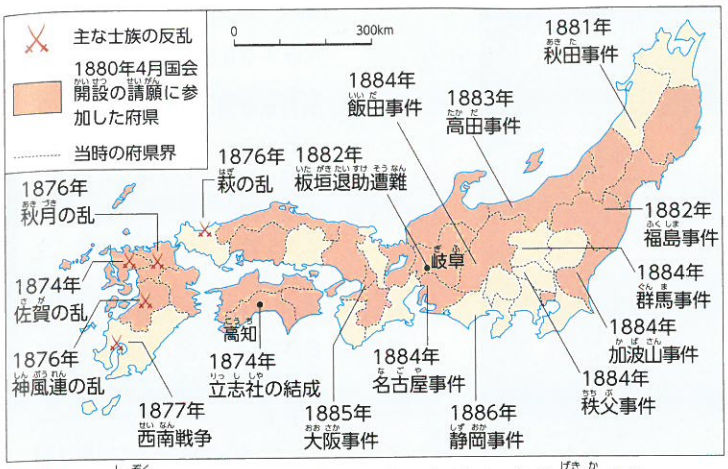
❶憲法によって国民の自由と権利を認め，国会を開いて，国民を国政に参加させるしくみを立憲政治といいます。

3 板垣退助
郷里の高知に立志社を設立し，自由民権の思想を青年たちに広めました。

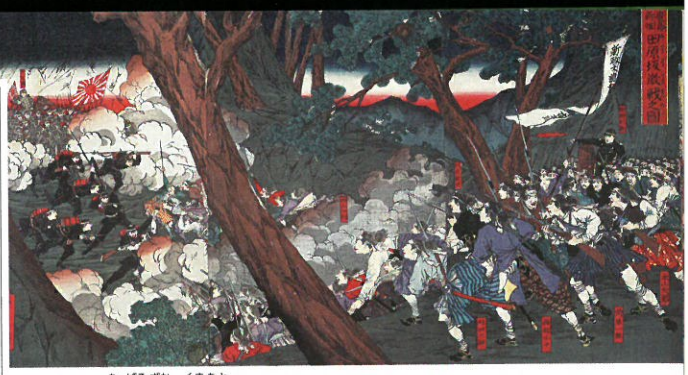


❷政府の改革によって，刀を差したり，俸禄の支給を受けたりする特権をうばわれました。

❸大隈らは，すぐに国会を開き，イギリスにならって政党政治を始めようと主張したのに対し，岩倉らは，時間をかけ，ドイツ(プロイセン)にならって君主の権限の強い憲法をつくろうと主張しました。



4 主な士族の反乱と，自由民権運動の広がり・主な激化事件



5 田原坂(熊本県)での政府軍(左)と西郷軍(右)の戦い(熊本市立熊本博物館蔵)



6 西郷隆盛
(西郷南洲顕彰館蔵)
薩摩藩出身で，戊辰戦争では新政府軍の参謀を務めました。西郷は，西南戦争で最期をとげました。

国会開設への動き

士族の反乱をしずめた政府は，府県に議会を設置して，地方政治に国民が参加する道を開きました。民間では，自由民権運動が都市の知識人や農村の地主，有力な農民などの支持を集めて全国に広まり，各地に民権派の団体がつくられました。1880年には，その代表者たちが大阪に集まって国会期成同盟をつくり，早く国会を開設するように政府に請願[4]しました。国会の開設をめぐり，政府内では**大隈重信**らと岩倉具視らの意見が分かれ[3]ました。1881年，政府は大隈を辞めさせ，1890年に国会を開くことを約束しました。

政党の誕生

このころ，民権派や政府の関係者は，それぞれの理想とする憲法案(私擬憲法)[7]を発表したり，憲法の学習会を開いたりしました。また1881年には，板垣退助を党首とする**自由党**が，翌年には大隈重信を党首とする**立憲改進党**がつくられました。両党とも，各地で演説会[1][2]を開いたり，新聞に意見を発表したりして国会開設に備えました。

しかし，政府が，法律で民権派の言論や集会を取りしまったり，民権派の有力者を政府の役職にとり立てたりしたことや，不景気により政治資金が不足したことから，民権派の勢力は弱まりました。民権派のなかには，実力で政府に対抗しようと，警察と衝突する激化事件[4]を起こす人々が現れましたが，一方では，急進的な活動をきらって民権運動から離れる人々も増えました。こうして，自由民権運動は一時おとろえていきました[4]。

五日市憲法(一部)

・日本国民ハ各自ノ権利自由ヲ達ス可シ，他ヨリ妨害ス可ラス，且国法之ヲ保護ス可シ
・凡ソ日本国民ハ族籍位階ノ別ヲ問ハス，法律上ノ前ニ対シテハ平等ノ権利タル可シ

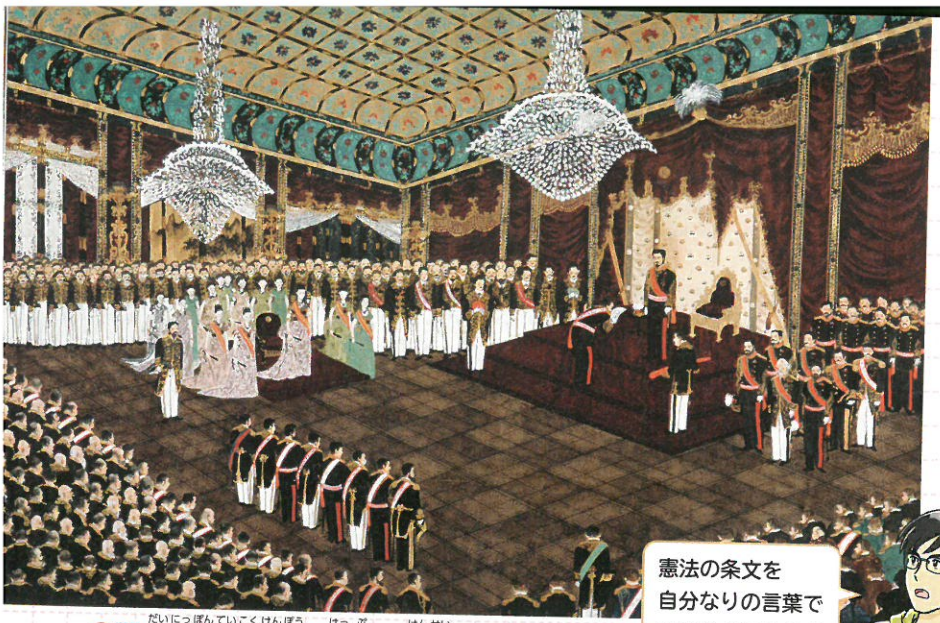
7 民間でつくられた憲法案の例
五日市町(現在の東京都あきる野市)の人々がまとめたもので，国民の権利について示した部分です。

4 自由党は1884年に解散し，立憲改進党も活動をほとんど中止しました。

ふりかえる

ステップ1 士族の反乱が起こったのはなぜか，確かめよう。

ステップ2 立憲政治の実現を目ざす政府と民権派の考え方には，どのような違いがあったか説明しよう。



大日本帝国憲法（一部）

第1条　大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス

第3条　天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス

第4条　天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行ウ

第11条　天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第29条　日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

第37条　凡テ法律ハ帝国議会ノ協賛ヲ経ルヲ要ス



憲法の条文を自分なりの言葉で言いかえてみよう。

1 大日本帝国憲法の発布式（憲政記念館蔵）
憲法は，明治天皇から内閣総理大臣の黒田清隆に授けられました。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

7 憲法の条規により之を行う ▶憲法の発布と議会の開設

学習課題　初めてつくられた憲法にはどのような特色があり，そのもとでどのような政治が行われたのでしょうか。



2 伊藤博文（参議院事務局蔵）

内閣制度の確立

国会の開設を約束した政府は，**伊藤博文**[2]らをヨーロッパに派遣し，憲法や議会政治について調査をさせました。伊藤らは，君主の権限の強いドイツ（プロイセン）・オーストリアなどで，立憲政治の制度や実情を詳しく研究しました。帰国した伊藤は，宮中の改革や行政制度の整備に着手し，1885（明治18）年，近代的な**内閣制度**をつくり上げて，初代の内閣総理大臣（首相）となりました。
←p.139

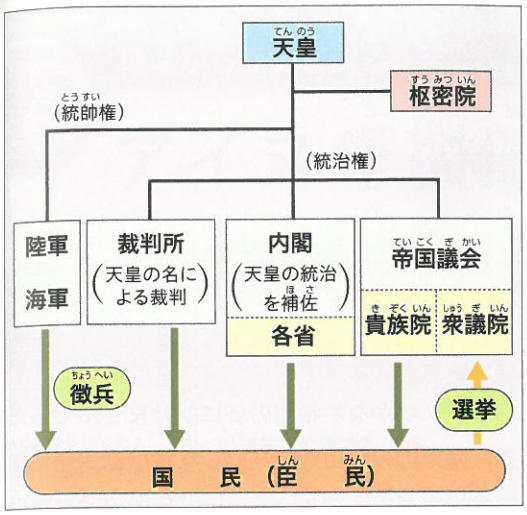
大日本帝国憲法の発布

伊藤が中心となってつくった憲法案は，枢密院[1]での非公開の審議を経たのち，1889年2月11日，**大日本帝国憲法**として，天皇から国民に与えるという形で発布されました[1]。この憲法では，天皇が国の元首として軍隊を統率し，外国と条約を結ぶなどの大きな権限をもち，憲法の規定に従って，大臣の補佐や議会の承認により国を統治することとされました。国会は**帝国議会**[5]とよばれ，衆議院・貴族院の二院制[2]で，法律をつくったり，予算を決めたりする権限をもちました。また，国民は，法律の範囲内という制約はありましたが，言論・集会・出版・結社の自由や，信仰の自由，信書

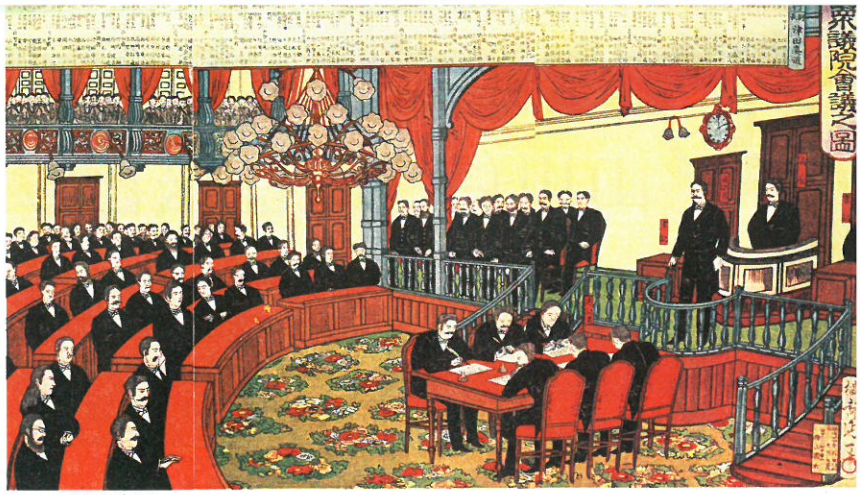
[1] 重要な国務について天皇の相談に応じるために，有力な政治家たちを集めて設けられた機関のことです。
[2] 衆議院は国民のなかから選挙で選ばれた議員で，貴族院は皇族や華族，天皇から任命された議員で構成されました。



3 議員選挙の風刺画（ビゴー筆　国立国会図書館蔵）　現在の選挙と比べて，どのような点が異なるでしょうか。



4 憲法下の国家のしくみ



5 帝国議会(衆議院)の様子(憲政記念館蔵)

の秘密，所有権の不可侵などが認められました。

憲法の発布により，天皇中心の国家のしくみ[4]が確立されるとともに，国民にも国政への参加の道が開かれました[3]。こうして日本は，当時アジアでただ一つの，憲法と議会をもつ近代的な立憲国家となりました。

また，憲法発布の翌年には，**教育勅語**が発布されました。これにより，忠君愛国の思想や父母への孝行などの道徳が，学校教育を通じて国民に広められました。

民法と「家」の制度

さらに，民法・刑法などの法律が制定され，地方自治のしくみも整備されました[3]。民法によって一夫一婦制が定められたことで，女性の地位は江戸時代に比べて安定しました。しかし，「家」を中心とする制度であったため，家長の権限が強く，財産の相続では長男が優先されるなど，男女平等という考え方は十分ではありませんでした。←p.112

帝国議会の開設

1890年，衆議院議員の総選挙[3]が初めて行われ，第1回帝国議会が開かれました。選挙権は，直接国税(地租と所得税)を15円以上納める満25歳(被選挙権は満30歳)以上の男子に限られていたため，有権者は人口の約1.1%で，その多くは農村の地主でした。衆議院では，民権派の流れをくむ政党が多数の議席を占めたことから，初めのうちは予算案の審議などで政府と対立しましたが，しだいに，政府と政党が協力して政策を進めるようになりました。

教育勅語(部分要約)

私(明治天皇)が思うには，天照大神にはじまる歴代の天皇が国を始められたのは，はるか昔のことであり，代々の天皇の徳は深く厚いものである。…あなたたち臣民は，父母に孝行し，兄弟は仲よくし，夫婦は協調し合い，友達は信じ合い，人にはうやうやしく，自分の行いは慎み深く，広く人々を愛し，学問を修め，仕事を習い，知能をのばし，徳と器量をみがき，進んで公共の利益を広め，世の中のつとめにはげみ，常に憲法を重んじ，法律に従い，いったん国家に危険がせまれば，忠義と勇気をもって国のために働き，天地とともにきわまりない皇室の運命を助けなければならない。…

3 府県知事は政府によって任命され，市町村長は議会で選挙されました。

ふりかえる

ステップ1 大日本帝国憲法の発布と帝国議会の開設によって，日本はどのような国家となったか確かめよう。

ステップ2 このとき始まった立憲政治と現在の政治のしくみを比べて，どのような共通点や違いがあるか説明しよう。

人物から歴史を探ろう ⑤ ～近代に生きた人々

山川(大山)捨松と津田梅子

1871(明治4)年，岩倉使節団が欧米諸国に派遣された時，日本で最初の女子留学生5名が同行しました。先進国の文化を学んだ女子留学生が，その後どのような活躍をしたのか，二人の人物を例に探ってみましょう。

◉女子の留学が決定するまで

明治維新ののち，欧米の文化にふれた人たちを中心に，人材育成の基礎を築くために女学校を設けようとする主張が現れました。

当時，開拓使の次官を務めていた黒田清隆が，女子を欧米の国に留学させることについての建議書を太政官に提出すると，使節団を編成中だった岩倉具視は賛成し，女子を留学生に加える決定がなされました。

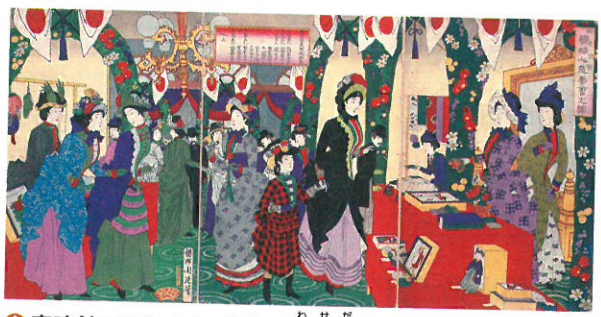
開拓使は，必要経費をすべて官費で支払うなどの好条件で，留学期間10年間の女子留学生を募集しましたが，当時は女子を留学させるという考え方は世間になかったため応募者は現れず，二度めの募集で5人の少女が応募し，アメリカへの留学生となりました。

◉山川捨松

留学生5人には，親か兄が旧幕臣という共通点があり，捨松は会津藩家老の山川尚江の娘でした。前例のない女子の留学に，捨松の両親は「捨てるつもりで待つ」という意味を込めて，名をさきから捨松と改名させ，1871年，当時12歳の捨松を送り出しました。

捨松は，大学で学位を取得し，さらに看護婦養成所に入って勉強をしたのち，社会的活躍への期待と責任感をもって，1882年1月に帰国しました。しかし，当時の日本には，まだ女性が社会で活躍できる環境が整っておらず，なかなか希望の職に就けませんでした。

その後，陸軍卿の大山巌と結婚した捨松は，鹿鳴館での社交の場などで活躍し，看護婦養成所の設立を助けるために，日本で初めてのチャリティー・バザーを行うなど，社会的活動の場を広げていきました。

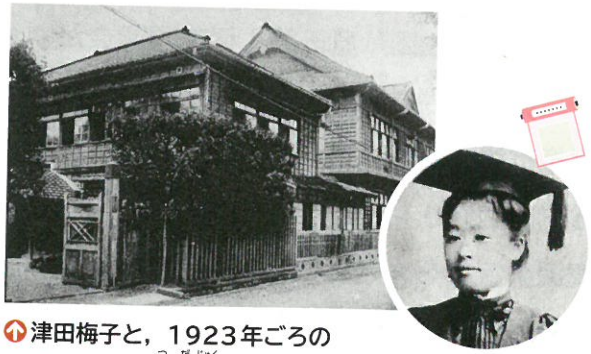


↑鹿鳴館で行われたバザー(早稲田大学図書館蔵)

◉津田梅子

一方の津田梅子は，女子留学生のなかで最年少の8歳でした。1872年1月，サンフランシスコに到着した梅子の世話を公使の森有礼が引き受け，日本公使館に勤めるアメリカ人夫婦のもとで育てられました。学校に入学した梅子は，やがてキリスト教の洗礼を受けました。1882年に，卒業と同時に帰国した時には，出発から11年がたっていました。

1889年から再度アメリカに留学し，帰国した梅子は，女子教育の目的は，母親として立派な子どもを育てていくだけではなく，女性の地位そのものを高めていくものでなければならない，という思いを強く抱きました。そして，捨松らの支援も受けて，念願の女子英学塾を設立しました。関東大震災で校舎は全焼してしまいましたが，アメリカの友人の助けもあり，女子英学塾は再建されました。女性の地位向上を願い続けた津田梅子は，64歳でその生涯を終えました。



↑津田梅子と，1923年ごろの女子英学塾(津田塾大学津田梅子資料室蔵)

地域から歴史を探ろう ④

アイヌの文化を伝えた人たち

1869(明治2)年，蝦夷地は北海道と改められ，移住と開拓が進められました。その一方で，先住民族であるアイヌの人たちの言葉や文化は価値がないとされ，同化政策の対象とされました。しかし，そのすばらしさに気づき，それを残そうと努めた人たちもいました。その人たちが生きた，社会の様子を探ってみましょう。

知里幸恵と金田一京助

1918年の夏，旭川の近郊の近文に住む金成マツのもとを一人の学者が訪れました。アイヌ語を研究している金田一京助です。

マツは，姪の知里幸恵，そして母親のモナシノウクと住んでいました。金田一は，モナシノウクについて「アイヌ最後の最大の叙事詩人」と書いています。幸恵は父母のもとを離れ，旭川の女学校に通っていました。

その夜遅くまで，金田一はマツたちとアイヌの言葉や，伝説などについて語り合いました。翌朝，別れぎわに幸恵は，金田一に「先生，私たちアイヌの言葉や文化は，先生のように偉い方が研究する価値のあるものなのでしょうか。」と尋ねました。

幸恵の質問は，当時，アイヌの人たちがおかれていた苦しい状況のなかから発せられたものでした。幸恵自身も，差別のなかで生きていたのです。

同化政策と差別

明治維新後の政策によって，アイヌの人たちは，自分たちの伝統や文化に自信や誇りをもてなくなっていました。

明治になって，政府は北海道の開拓を本格的に進めました。本州から多くの人が移り住むようになり，森や林を農地に変えていきました。土地を所有するという考えのなかったアイヌの人たちは，これまで自由に狩りをしていた土地を失いました。また，川で自由に魚をとることも禁止されました。

西洋に追いつこうとしていた政府は，新たに国民となったアイヌの人たちにも日本語を使うこと，これまでの風俗や習慣を改めること，姓名を日本式に改めることなどを求め，同化政策を実施しました。本州から渡ってきた人々のなかには，アイヌの人たちを差別したり，アイヌの人たちの土地をだましとったりするような人もいました。

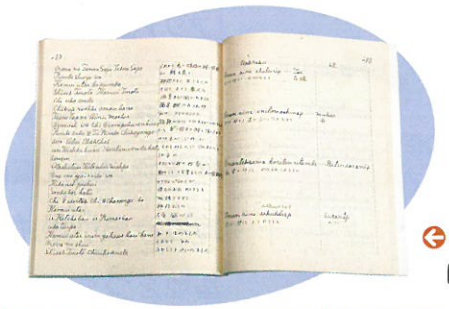
「銀のしずく降る降るまわりに」

幸恵の問いに対して金田一は，アイヌのユーカラ(古くから口伝えにされてきた神や英雄に関する物語)は，ギリシャの叙事詩にも匹敵するすばらしいものであることや，文字をもたないアイヌの人たちの言葉やユーカラが消滅してしまう前に，なんとかそれらを記録に残しておこうとしていることなどを語りました。その話を聞いた幸恵は，「私も生涯をその道にささげたくなりました。」と言いました。

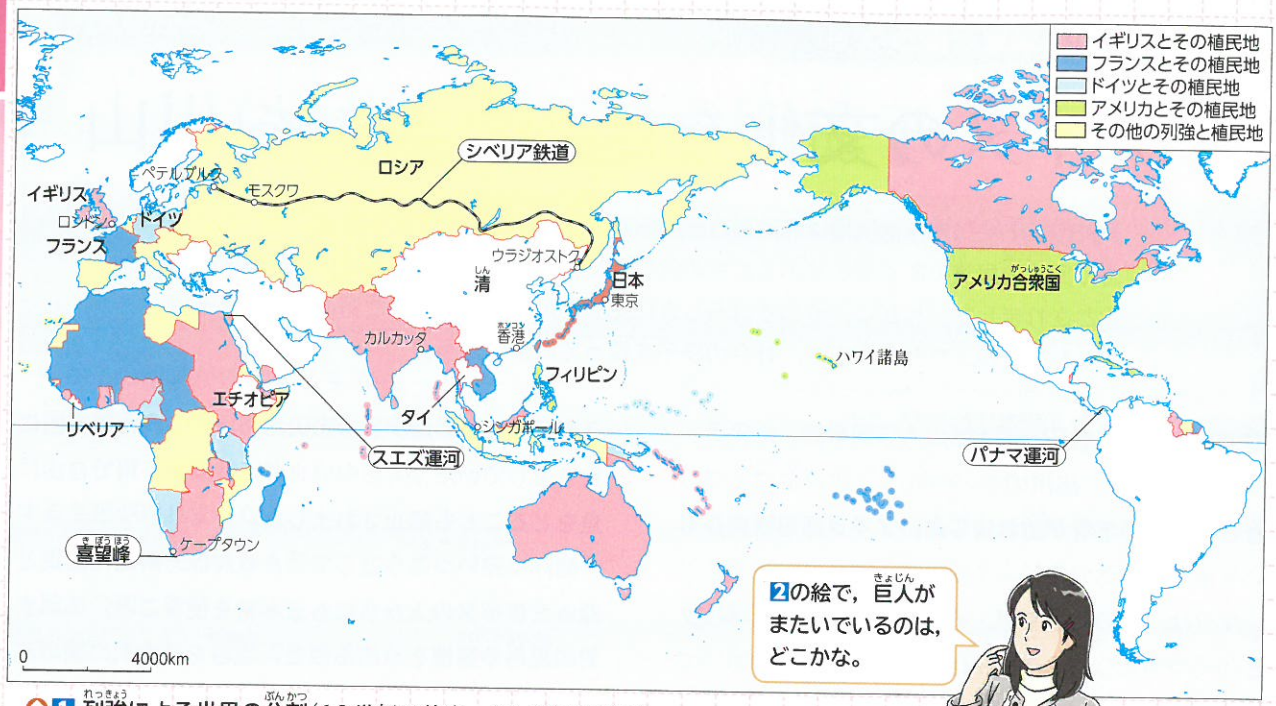
1922年，幸恵は金田一の強い勧めで上京し，祖母モナシノウクから教わった数々の歌謡や物語を日本語に訳して，『アイヌ神謡集』を出版しました(←巻頭2)。その冒頭には「その昔この広い北海道は，私たちの先祖の自由の天地でありました。…」と記されています。



知里幸恵(左：1903～1922年)と，金田一京助(1882～1971年)



幸恵が金田一のもとに送ったノート



1 列強による世界の分割（19世紀の後半～20世紀の初め）

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

8 対等な条約を求めて ▶ 対外危機の高まりと条約改正

学習課題 日本は，どのような国際情勢のなかで，条約改正を進めていったのでしょうか。

列強の植民地拡大

日本が近代化の改革を進めていた19世紀の後半，欧米の列強諸国では，大規模な工業や新しい産業技術が発展し，大企業による国際的な経済活動が活発になりました。海運や鉄道も発達し，1869年に，地中海と紅海を結ぶスエズ運河が開通[1]したことで，ヨーロッパとアジアが急速に接近しました。

←p.139

こうした情勢を背景に，列強は，資源や市場を求めてアジア・アフリカなどへの侵略をいちだんと強め，武力によって植民地を広げていきました[1][2]。このような動きを**帝国主義**といいます。

アジアに迫る列強

スエズ運河を手中に収めたイギリスは，インドを完全に植民地としたのち，ビルマ（現在のミャンマー）を支配下におきました。清との戦争に勝利したフランスは，東南アジアのベトナムなど，インドシナに勢力を伸ばしました。また，ロシアは，日本海に面した沿海州に海軍基地をつくり，シベリア鉄道の建設を始めたほか，アメリカも

←p.140 ←p.141

1 全長約160kmの運河で，ヨーロッパからアジアへの航海は，喜望峰回りの航路に比べて，2か月近くも短縮されました。



2 大陸をまたぐ巨人
イギリスのケープ植民地（現在の南アフリカ共和国）の首相，セシル＝ローズが描かれています。



3 ノルマントン号事件の風刺画（ビゴー筆　日本漫画資料館蔵）　1886年，イギリス船ノルマントン号が紀伊半島の沖で沈没し，イギリス人の船長と乗組員は脱出しましたが，日本人の乗客は全員水死する事件が起こりました。しかし，治外法権による領事裁判で，船長は軽い刑罰しか与えられなかったため，国内では不平等条約の改正を求める声がいっそう高まりました。



4 鹿鳴館で開かれた舞踏会の様子　1883年に完成した鹿鳴館に外国人を招き，洋装での舞踏会が開かれました。

19世紀の末にハワイを併合し，フィリピンを獲得するなど，東アジアをうかがう動きを強めました。このような列強の動きに対して，日本政府は危機感を強めていきました。[2]

条約改正の歩み

近代国家を目ざす日本にとって，外交上の重要な課題は，幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約を対等なものに改正することでした。[3] しかし，欧米諸国は，日本の近代化が進まないことを理由に，対等な条約を結ぼうとしませんでした。そこで政府は，欧米の風俗や習慣を取り入れる欧化政策を進め，[4] 西洋式の法律を整備したほか，外国人の裁判官を採用する案をつくるなどして，**条約改正**の交渉にあたりましたが，[5] 国内の反対にあって失敗しました。

←p.145

その後，日本が立憲政治を実現するなど，近代国家のしくみを整えたことを背景に，イギリスが，日本との条約改正に応じました。1894(明治27)年，**陸奥宗光**が外相の時に，日英通商航海条約が結ばれ，治外法権が撤廃されて，関税自主権の一部も認められました。次いで，他の欧米諸国とも同じような条約が結ばれ，1899年から実施されました。さらに，日露戦争後の1911年，**小村寿太郎**が外相の時に，関税自主権が確立されて，対等な条約が実現しました。[5]

年	できごと
1872～73	岩倉使節団が欧米諸国を回り，改正の交渉を始める。
1878～79	寺島宗則がアメリカとの関税自主権の交渉に成功するが，イギリスなどの反対により失敗。
1882～87	井上馨が欧化政策を進める。外国人裁判官の採用に国内が反対し失敗。
1888～89	外相の大隈重信が交渉。外国人裁判官の採用を認めた大隈が襲われて負傷し，中止。
1891	外相の青木周蔵が交渉。滋賀県大津でロシアの皇太子が襲われ，中止。
1894	陸奥宗光が交渉。治外法権の撤廃と関税自主権の一部回復に成功する。
1911	小村寿太郎が交渉し，関税自主権を完全に回復する。

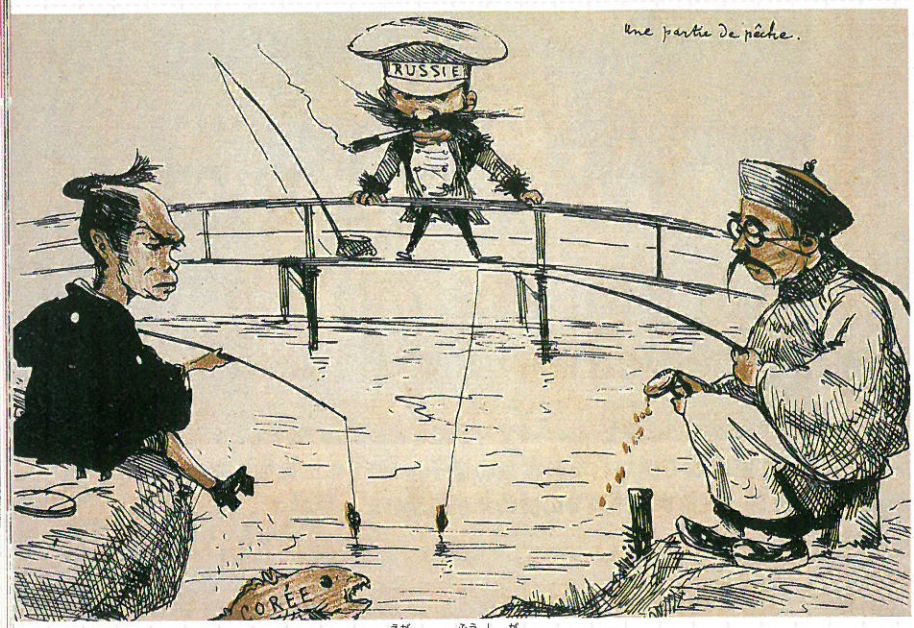
5 条約改正の歩み

2 第1回帝国議会の開会を前に，首相の山県有朋は，東アジアの情勢について，「虎の群れの間に，肉が置かれているようなものだ。」と語っています。

ふりかえる

ステップ1 帝国主義とは，どのような動きのことか確かめよう。

ステップ2 欧米諸国が，条約改正に応じたわけを説明しよう。



読み解こう

1の絵では，日本を含む4か国が，人物や魚にたとえられています。

❶魚をつっている左右の人物は，どの国のことだろう。また，魚はどの国を表しているのだろう。

❷橋の上の人物は，どの国のことで，何を考えているのだろう。

❸この絵は，東アジアのどのような国際関係を表しているのか，説明してみよう。



1 東アジアの国際関係を描いた風刺画(ビゴー筆)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 **19** 1900年 **20** 21

9 朝鮮をめぐる戦い ▶日清戦争と三国干渉

学習課題 日清戦争は，なぜ起こり，どのような結果をもたらしたのでしょうか。

❶ 民間の信仰をもとに，儒教や仏教などを取り入れた宗教で，西学(キリスト教)に反対しました。

❷ 外国の領土を借り受け，実質的に支配することをいいます。

	日本	清
兵力(万人)	24	63
軍艦(万トン)	6	8.5

2 日清戦争時の日本と清の戦力



3 下関での講和会議(部分：永地秀太筆　明治神宮外苑聖徳記念絵画館蔵)
日本側の代表は，伊藤博文首相と陸奥宗光外相でした。

日清戦争

19世紀の末，朝鮮の国内では，日本にならって近代化の政策を進めようとする開化派と，これに反対する保守派が争っていました。開化派を支援して朝鮮に勢力を広げようとした日本は，朝鮮への支配を強めようとする中国(清)と対立を深め[1]，軍備を強化していきました。

1894(明治27)年，朝鮮の南部で，東学[1]という宗教を信仰する農民たちが，腐敗した政治の改革を求めるとともに，外国の勢力を追い出そうとして立ち上がりました(**甲午農民戦争**)。これをしずめるために，朝鮮政府の求めに応じて清が軍隊を送ると，日本も出兵し[2]，**日清戦争**が始まりました。朝鮮や清の遼東半島を戦場として行われた戦争[4]は，日本の勝利に終わりました。

下関条約と三国干渉

1895年，下関(山口県)で開かれた講和会議[3]で**下関条約**が結ばれました。清は日本に，朝鮮の独立，遼東半島・台湾・澎湖諸島の譲渡，賠償金2億両(当時の日本円で約3億1千万円)の支払いなどを認めました。しかし，日本が朝鮮や中国に勢力を伸ばすことを警戒したロシア[1]



4 日清戦争



5 戦争ごっこ
日清戦争は，子どもたちの遊びにも影響をもたらしました。

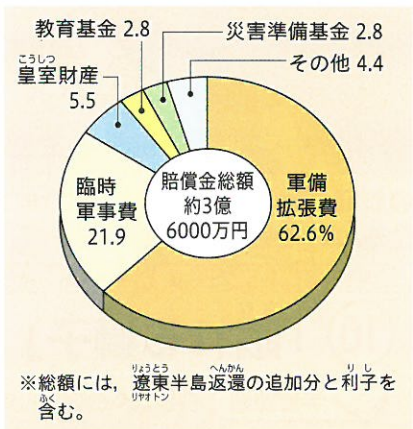
は，ドイツ・フランスとともに，遼東半島を清に返還するように要求しました(**三国干渉**)。三国に対抗する力のなかった日本は，賠償金の追加と引きかえに，これを受け入れました。

その後ロシアは，遼東半島の一部を清から租借[2]して軍事施設をつくり，日本はロシアの南下に備え，賠償金をもとに大規模な軍備の拡張を進めていきました[6]。また，日清戦争の勝利により，東アジアで勢いを強めた日本では，ロシアへの対抗心とともに，中国や朝鮮に対する優越感や差別意識も広まりました[5]。

政党政治の基礎

日清戦争後には，国内政治の安定が図られるなかで，政党の力がしだいに大きくなりました。1898年，民権派の流れをくむ憲政党が結成され，大隈重信を首相とする日本で最初の政党内閣が生まれました。1900年には，伊藤博文を総裁とする**立憲政友会**が結成され，衆議院の第一党として政党内閣をつくりました。こうして，政府と政党の協力により，日本の政党政治の基礎が築かれました。

←p.167
←p.168



※総額には，遼東半島返還の追加分と利子を含む。

6 賠償金の使いみち　総額は，当時の国家予算の３倍あまりに相当しました。

ふりかえる

ステップ 1 下関条約によって，日本が得たものを確かめよう。

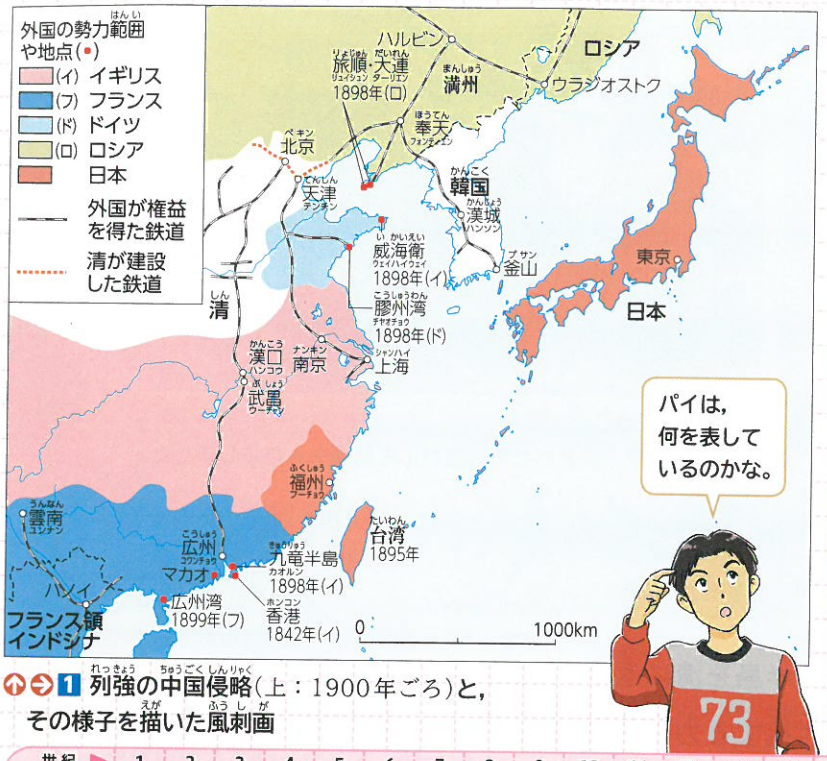
ステップ 2 日清戦争ののち，日本では，どのような動きがあったか説明しよう。

歴史の窓　台湾の植民地化

下関条約によって，日本は台湾を植民地とし，総督府をおいて約50年にわたって統治しました。鉄道・ダムの建設や，産業の発展を図る一方で，日本の支配に反対する台湾の人々の運動を厳しく取りしまりました。しかし，日本からの独立を求める運動は，その後も長く続きました。



台湾の烏山頭ダムの建設に力を尽くした八田與一の像



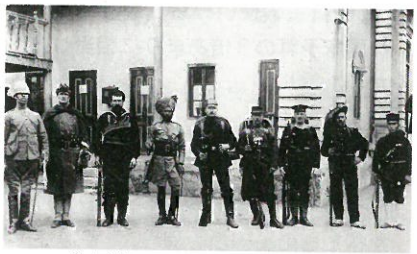


1 列強の中国侵略(上：1900年ごろ)と，その様子を描いた風刺画

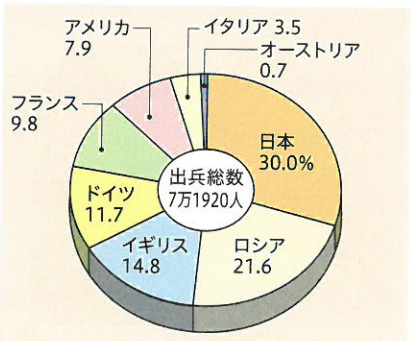
世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

⑩「眠れる獅子」に迫る列強 ▶義和団事件と日英同盟

学習課題 日清戦争ののち，東アジアではどのような動きが起こり，日本はどのように対応したのでしょうか。



2 義和団事件に出兵した各国の兵士たち 日本の兵士は，どこにいるでしょうか。



3 義和団事件に出兵した軍隊の国別の割合

分割される中国

それまで「眠れる獅子」とよばれ，その実力を恐れられていた清が，日清戦争で日本に敗れたことから，欧米列強はいっせいに清へ勢力を伸ばし始めました。19世紀の末に，ロシアをはじめ，ドイツ・イギリス・フランスが，次々に清の領土の一部を租借して，港や軍事施設をつくり，鉄道の建設や鉱山の開発などの権益(権利とその利益)を獲得しました[1]。

←p.174

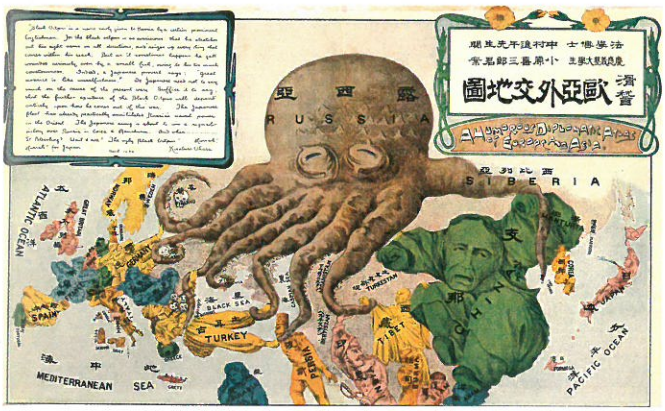
義和団事件

このような列強の勢力拡大に対して，清の国内では，日本にならって立憲政治を取り入れようとする改革が始まりましたが，保守派の反発にあって失敗しました。

また，山東省の各地で，義和団[1]を中心とする民衆が，外国人を追い出そうとしてキリスト教の教会や鉄道の施設を襲いました[4]。1900(明治33)年，義和団は北京に入り，これを支援した清の軍隊とともに各国の公使館を包囲しました。日本やロシア



4 外国軍と戦う義和団



5 国際関係を風刺した地図

読み解こう

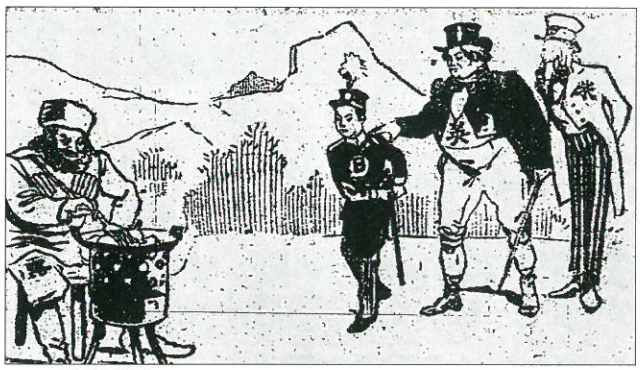
1 5の地図のたこは，どの国の，どのような動きを表しているのだろう。

また，6の絵には，左からロシア，日本，イギリス，アメリカを示す人物が描かれています。ロシアは，栗を火でいっています。

2 イギリスは，日本になんと言っているのだろう。

3 栗にたとえられているのは，なんだろう。

4 この絵は，日英同盟のどのような面を表しているのか，5の地図も参考にして説明してみよう。



6 日英同盟の風刺画(『中央新聞』1903年)

を中心とする8か国は，軍隊を送ってこれをしずめました[2][3](**義和団事件**)。翌年，清は，各国に賠償金の支払いと軍隊の駐留を認め，その力はしだいに弱まっていきました。

日英同盟の成立

義和団事件で満州(中国の東北部)に大軍を送ったロシアは，その後も兵をとどめて満州を占領し，遼東半島の軍事施設をいっそう強化しました。韓国[2]を勢力下におこうとしていた日本政府は，ロシアのこうした動きが韓国にまで及ぶことに，大きな脅威を感じました。一方，ロシアと対立していたイギリスは，ロシアが東アジアで勢力を拡大すること[5]に警戒を強め，日本と協力してロシアをおさえようと考えていました[6]。日本も，イギリスの後ろだてによって，ロシアの南下に対抗しようとしました[6]。

こうして，日本とイギリスは，1902年に**日英同盟**を結びました[7]。そこでは，どちらかの国が他国と戦争をした場合には中立を守り，さらに別の国が参戦してきた場合には，共同で戦争に当たることが取り決められていました。



7 日英同盟を記念して発行された絵はがき

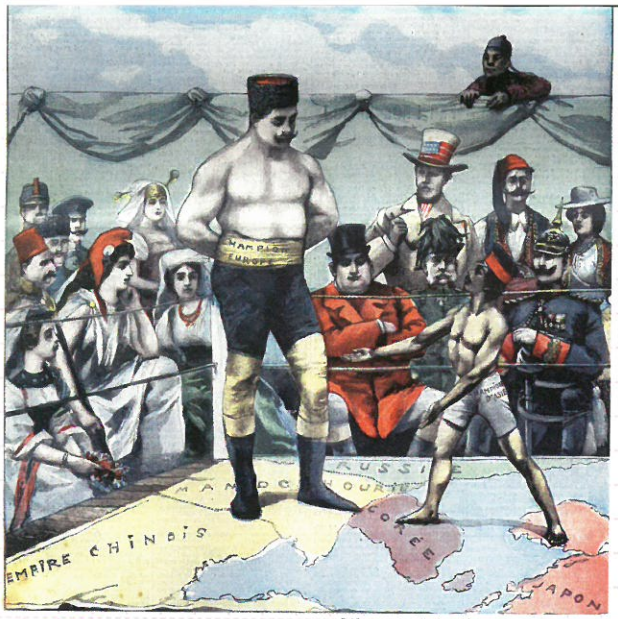
1 民間信仰の流れをくむ，農民を中心とする自衛組織で，「扶清滅洋(清を扶けて外国勢力を滅ぼす)」を唱えました。

2 朝鮮は，1897年に，国号を大韓帝国(韓国)と改めました。

ふりかえる

ステップ 1 清の領土に勢力を伸ばした国をあげよう。

ステップ 2 日英同盟を結んだころの日本と，韓国，清，ロシア，イギリスの関係を，図に表して説明しよう。



1 日本とロシアの関係を描いた風刺画(左)と，
2 戦争前の日本国内の世論

●主戦論～東京帝国大学の７人の博士

ロシアが朝鮮で問題を起こそうとしているのは，満州はすでにロシアの勢力内にあるとみなしているからだ。もし朝鮮で争い，一歩でもゆずれば，一挙に朝鮮も満州も失うことになるだろう。……日本は，この好機を逃せば，国の存立を危うくしてしまうことを自覚するべきである。（『東京朝日新聞』1903年６月24日　一部の要約）

●非戦論～内村鑑三

私は，日露の非開戦論者であるばかりでなく，戦争の絶対的な反対論者である。……日清戦争で２億の富と１万の生命を費やし，日本が得たものは何か。その目的だった朝鮮の独立はかえって弱められ，中国の分割が始まり，日本国民の負担は非常に増え，東洋全体を危機におちいらせたではないか。（『万朝報』1903年６月30日　一部の要約）



日本とロシアは，何をめぐって対立したのかな。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

11 列強との戦い ▶日露戦争とその影響

学習課題　日露戦争は，なぜ起こり，国内や国際社会にどのような影響を与えたのでしょうか。



3 与謝野晶子と，日露戦争に出兵した弟の身を案じてよんだ詩

君死にたまふことなかれ
あゝをとうとよ　君を泣く
君死にたまふことなかれ
末に生れし君なれば
親のなさけはまさりしも
親は刃をにぎらせて
人を殺せとをしへしや
人を殺して死ねよとて
二十四までをそだてしや
…(略)…

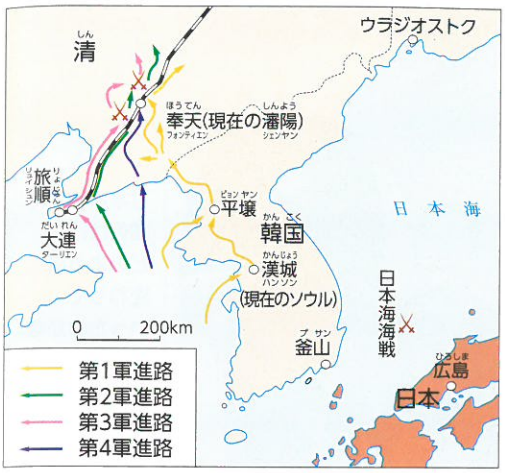
日露戦争の始まり

満州を占領したロシアは，清との条約で兵を引きあげることを約束しましたが，その期限が来ても撤兵せず，韓国にも軍事施設をつくり始めました。危機感を強めた日本政府は，外交による交渉で，満州でのロシアの権益を認めるかわりに，韓国に対する日本の支配権を認めさせようとしました[1]。日本の国内では，多くの有力な新聞が，ロシアとすぐにでも戦うことを主張し[2]，開戦の世論が強まりました。一方，経済界は開戦に慎重論を唱え，キリスト教徒の内村鑑三や社会主義者の幸徳秋水らは，非戦論を唱えて戦争に反対しましたが[2][3]，世論を動かすことはできませんでした。←p.137

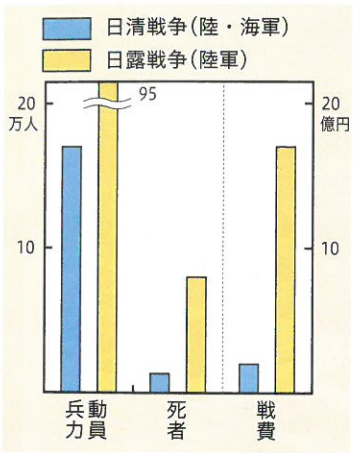
結局，ロシアとの交渉はまとまらず，1904(明治37)年２月，日本軍はロシアの軍事拠点である旅順を攻撃し，中立を宣言していた韓国の仁川に上陸して，**日露戦争**が始まりました。

戦争と国民生活

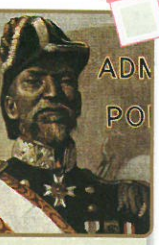
戦争は，韓国と満州が主な戦場となりました。日本軍は，ロシア軍を破って旅順や奉天を占領し[4]，また，**東郷平八郎**[6]の率いる日本艦隊が，日本海海戦でロシア艦隊を全滅させるなど，戦いを有利に進めました。



4 日露戦争での日本軍の進路

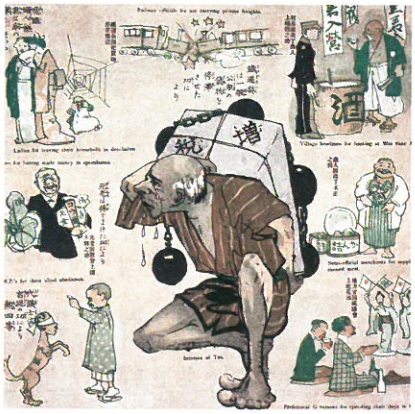


5 日清・日露戦争の比較



6 東郷平八郎

日清・日露戦争で活躍し，アメリカの雑誌の表紙に掲載されるなど，外国からも注目されました。



7 **増税に泣く国民**(さいたま市立まんが会館蔵)

しかし，日本は多数の死傷者を出したうえに，戦費や物資が不足していました。[1][5] 国民生活も苦しくなり，戦争をこれ以上続けることは難しくなりました。ロシアの国内でも，国民生活が悪化するなか，皇帝による専制政治と戦争への反対から革命運動が起こり，日本との和平を求める声が高まりました。

戦争の講和と影響

そこで日本政府は，アメリカ大統領に講和の仲立ちを求めました。1905年9月，アメリカのポーツマスで講和会議が開かれ，**ポーツマス条約**が結ばれました。ロシアは，韓国における日本の優越権，遼東半島の租借権や南満州鉄道の権益を日本にゆずること，樺太(サハリン)の南半分を日本の領土とすること，などを認めました。←p.165

しかし，大きな犠牲や増税に耐えて戦争に協力してきた日本国民[7]からは，賠償金が取れなかったことなどに対して，強い不満の声が上がりました。多くの有力な新聞が，講和反対や戦争継続を主張したほか，各地で民衆の騒動も起こりました。[2]

一方で，日露戦争の勝利によって，日本も列強の仲間入りを果たしたという意識が国内に広がりました。また，日本の勝利は，列強の侵略や支配に苦しんでいた中国，インド，トルコなどの人々に希望を与え，アジア諸国で民族独立や近代化の動きが活発になりました。東アジアでの日本の影響力が強まるなか，欧米諸国は，日本の勢力拡大を警戒するようになりました。

1 日露戦争の戦費は，国の予算のほぼ6年分に当たる約17億円で，アメリカやイギリスからの借金(約7億円)，増税(約3億円)などでまかないました。外国からの戦費調達で活躍したのが，日本銀行(p.184→)副総裁の高橋是清でした。

2 東京の日比谷公園では，講和反対・戦争継続をかかげる国民大会が開かれ，デモ隊の一部が，政府高官の家，交番，講和を支持する新聞社などを破壊したり，放火したりする騒動が起こりました(日比谷焼き打ち事件)。

ふりかえる

ステップ1 ポーツマス条約によって，日本が得た領土や権益について確かめよう。

ステップ2 日露戦争が，国内・国外に及ぼした影響を説明しよう。



1 朝鮮王朝時代の王宮内に建てられた，かつての朝鮮総督府の建物
朝鮮総督府は，京城(漢城を改称，現在のソウル)におかれました。この建物は1996年に撤去され，そのあとに王宮の門が復元されています。



2 伊藤博文と韓国の皇太子
1907年，伊藤は，皇太子を日本に留学させました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

12 変わりゆく東アジア ▶ 韓国併合と辛亥革命

学習課題 日露戦争のあと，東アジアではどのような動きがあったのでしょうか。

韓国併合

日本は，ポーツマス条約を結んでまもなく，韓国を保護国としました。韓国の外交権を握り，韓国に統監府をおいて，統監が外交を監督しました。初代の統監は，伊藤博文でした[2]。日本は，やがて韓国の内政の実権も握り，軍隊を解散させるなど，韓国に対する支配を強めました。国としての権利をうばわれた韓国では，武器を取って日本と戦う義兵などの抵抗運動が広がりました[1]。←p.101

日本はその抵抗をおさえ，1910(明治43)年，韓国を領有して朝鮮と改めました。これを**韓国併合**[3]といいます。日本は，朝鮮に朝鮮総督府をおき[1]，武力を背景に植民地支配を行いました。

日本の植民地政策

朝鮮では，朝鮮の人々を，天皇や国家に忠誠を誓う日本人と同じようにする，同化政策が進められました[5]。学校では，朝鮮語や朝鮮の歴史より，日本語や日本の歴史，修身[2]が重視されました。

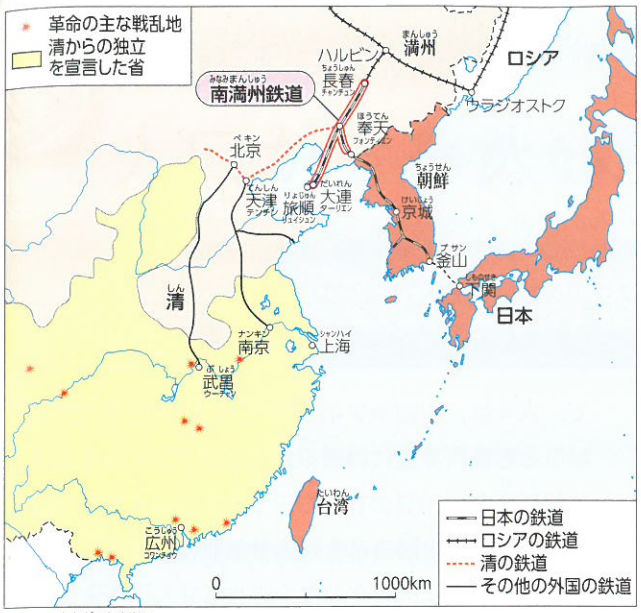
また，土地調査事業[3]が行われた結果，近代的な土地所有権が確立されました。土地の払い下げなどを受け，朝鮮で大土地を所有する日本人の地主も現れた一方で，朝鮮の小作人などの農

❶ 伊藤博文が，韓国の運動家の安重根に射殺される事件も起こりました。
❷ 教育勅語に基づいて，日本国民としての道徳を学ぶ教科です。
❸ 日本の地租改正と同じような目的をもち，8年をかけて行われました。

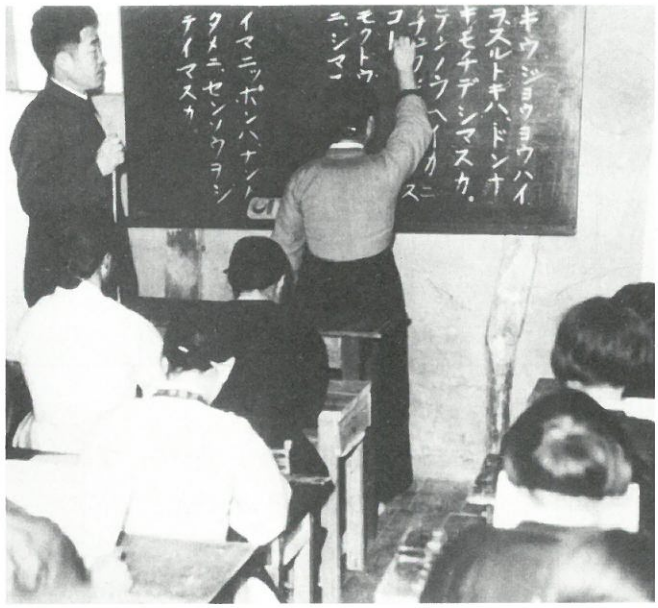
寺内正毅(初代朝鮮総督)の歌
小早川・加藤・小西※が世にあらば
今宵の月を　いかに見るらむ
※豊臣秀吉の朝鮮侵略(←p.101)に出兵した大名

石川啄木(歌人)の歌
地図の上　朝鮮国に黒々と
墨をぬりつつ　秋風を聴く

3 韓国併合を歌った二つの短歌



4 辛亥革命のころの東アジア



5 日本語の教育を受ける朝鮮の人々

民は生活が苦しく，農村を離れたり，日本や満州に移住したりする人々もいました。

関東州と満鉄

日本は，ポーツマス条約で獲得した遼東半島の租借地を関東州とし，旅順に関東都督府をおいて支配しました。[4] さらに，南満州鉄道株式会社(満鉄)を設立し，鉄道のほか，炭鉱や製鉄所などの経営も始めました。こうして日本は，満州にも勢力を広げていきましたが，これに反発したアメリカとの対立が深まりました。

中華民国の成立

日清戦争や義和団事件によって清の国力がおとろえるなか，中国では，清の支配を打倒しようとする運動が高まりました。欧米や日本で活動していた**孫文**[6]は，三民主義[5]を唱えて革命運動を進めました。1911年，武昌で軍隊の一部が蜂起したのをきっかけに，多くの省が清からの独立を宣言しました。[4] これを**辛亥革命**といいます。翌年，南京で孫文を臨時大総統とする**中華民国**の建国が宣言され，孫文は，有力な軍人の袁世凱と結んで清をほろぼしました。

こうして，アジアで最初の共和国が誕生しました。しかし，その後は，孫文に代わって実権を握った袁世凱が，首都を北京に移し，革命勢力をおさえて独裁政治を行いました。袁世凱の死後も，各地で軍閥の勢力争いがやまず，混乱が続きました。

←p.174 ←p.176, 177



6 孫文

孫文は，1905年に東京で，辛亥革命の中心となる中国同盟会を結成しました。袁世凱との対立後は日本に亡命し，1924年には神戸で講演を行い，アジア民族の地位回復のために，各民族が連合する大アジア主義を説きました。

4 1919年には，関東都督府に代わり，行政を担当する関東庁と，軍事を担当する関東軍がおかれました。

5 民族主義(民族の独立)，民権主義(国民の政治参加)，民生主義(土地改革や工業化などによる民衆の生活の安定)の三つをさします。

ふりかえる

ステップ 1 朝鮮で進められた同化政策は，どのような内容か確かめよう。

ステップ 2 韓国併合や辛亥革命の前後で，東アジアの地図がどのように変わったか説明しよう。

世界から歴史を探ろう ②

海外へ移住した日本人

明治時代になると，新たな土地や仕事を求めて，多くの日本人が海外へ移住しました。移住した人たちは，日本とは異なる社会や文化のなかで，どのような暮らしをしていたのでしょうか。移住者の多かったハワイとブラジルを例に探ってみましょう。

ハワイへの移住

北太平洋のほぼ中央部に位置するハワイに，日本人がはじめて移住したのは，1868(明治元)年のことです。捕鯨船の基地でもあったハワイでは，さとうきびなどを栽培する大農園(プランテーション)が広がるにつれて，多くの労働力が求められるようになりました。

中国に加えて，日本からも移住者を受け入れたいという要請があり，19世紀の後半には，日本政府が契約した人たちのほか，民間からもハワイに渡る人たちが増えていきました。主に山口県や広島県，沖縄県などから，7万人近くの人たちが移住し，1896年にはホノルルに日本人小学校も設立されました。

しかし，現地での労働は，想像以上に厳しいものでした。さとうきび畑では，むちを持った監督官のもとで，炎天下のなか長時間働き，切り倒したさとうきびは，女性たちが束にして貨車まで運びました。暑さや厳しい労働に耐えかねて脱走したり，監督官に従わないとして監獄に入れられたりする人たちもいました。

こうした過酷な労働条件や，低い賃金の改善を求めて，人々は，中国やフィリピンなどから移住した人たちとともに，2度にわたる大きなストライキを起こしました。この動きのなかで，1万人をこえる労働者が農園から追放されることもありましたが，労働条件や賃金はしだいに改善されていきました。



ハワイのサイザルアサをつくる農園で働く日本からの移住者



ハワイでよく見かけるアロハシャツのデザインは，日本から移住した人たちと関係があるそうよ。

ブラジルへの移住

その後，アメリカでは排日運動が高まり，アメリカ本土やハワイへ移住することが難しくなっていきました。そのような状況のなか，初めてのブラジル移住船「笠戸丸」が神戸を出航したのは，1908年のことでした。当時，奴隷制を廃止したブラジルでは，コーヒー農園などで奴隷に代わる労働力を求めていました。その両国の利害が一致し，地球の正反対にあるブラジルへの移住が増加していきました。

移住した日本人は当初，土地をもたない過酷な契約労働が主でしたが，しだいに土地を購入して自営農になる人や，町へ出て雑貨屋や食堂，旅館などを始める人も増えました。日本人の働きぶりは高い評価を得て，「ジャポネース・ガランチード」(日本人は信用できる)といわれるまでになり，ブラジル社会に定着していきました。



ブラジルへの移住をよびかけるポスター(海外移住資料館蔵)

資料から歴史を探ろう ⑤

人口からみた日本の歴史

明治時代以降，日本の人口はほぼ一貫して増加してきましたが，近年になって減少に転じました。人口の視点で歴史をみると，私たちは時代の転換点に立っているといえます。人口の移り変わりには，どのような特徴や背景があるのか探ってみましょう。

過去の人口を知る方法

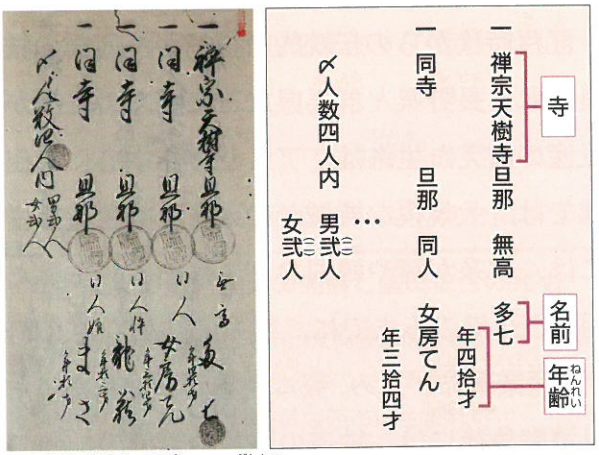
今から約8000年前の縄文時代，日本列島の人口はわずか2万人ほどで，その後，弥生時代から奈良時代にかけて，稲作の開始や大陸からの渡来人などにより，およそ450万人に増えたと考えられています。

ところで，このように昔の人口を知るためには，どのような方法があるのでしょうか。

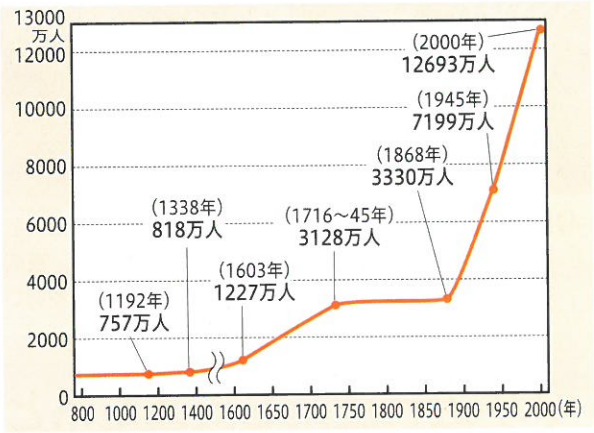
現在の日本では，子どもが生まれたり，人々が結婚や離婚をしたり，死んだりすると，役所に届けを出すことになっています。こうした近代の戸籍制度が始まったのは，1872(明治5)年のことです。

それ以前の時代のうち，奈良時代から江戸時代までは，古文書などが残っています。古文書は，すべての地域や身分を対象として記されているわけではないため，古文書をもとに当時の人口を推定します。

さらに時代をさかのぼって，縄文時代から古墳時代の人口については，現在までに発見された，それぞれの時代の全国の遺跡の数などをもとに推定します。



宗門改帳(新潟県立文書館蔵)　江戸時代に，人々がどの寺に属するかを記録するために，寺が作成したもので，戸籍の役割も果たしました(←p.109)。



800年以降の人口の移り変わり(国土交通省ほか)

日本の歴史と人口の移り変わり

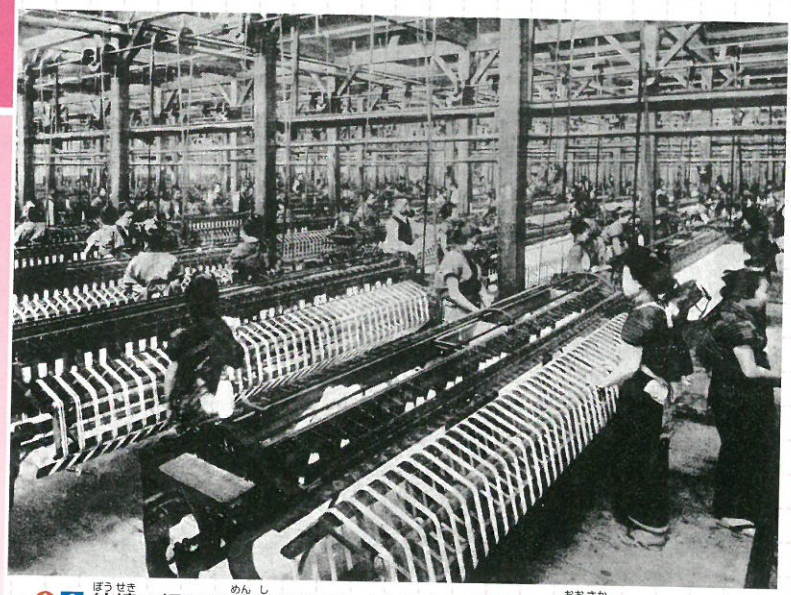
上のグラフを見てみると，日本列島の人口は，江戸時代になってからの100年間で倍以上に増加していることが読み取れます。また，その後，飢饉や幕府の政治改革(←p.122)が続いた18世紀の初めからは人口が停滞している，ということもわかります。

「富国強兵」を目ざした明治時代以降は，工業化や医療・公衆衛生の向上などによって，人口が増加します。しかし，大正時代になると，人口が過剰となり，海外への移住(←p.182)が積極的に行われるようになりました。

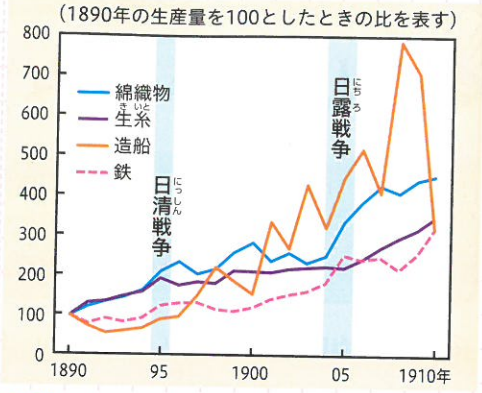
第二次世界大戦によって，一時的に人口は減少しますが，1970年ごろになると，1億人をこえています。日本の人口が現在のような規模に達したのは，比較的最近のことだということがわかります。



3 近代の産業と文化の発展



1 紡績工場での綿糸の生産　1883年に開業した大阪紡績会社の工場では，イギリス製の最新式紡績機械を導入し，夜間には電灯をつけて，女子工員たちが昼夜二交替で24時間生産を行いました。



2 工業の生産量の移り変わり
(『近現代日本経済史要覧』)

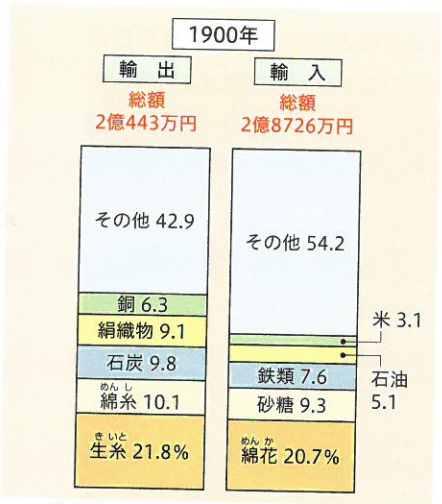


世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

13 近代産業を支えた糸と鉄 ▶日本の産業革命

学習課題　日本の近代産業は，いつごろ，どのように発展していったのでしょうか。

1 実業家の渋沢栄一は，大阪紡績会社や札幌麦酒会社など500に及ぶ企業の設立に関わり，近代産業の発展に力を尽くしました。
2 まゆから生糸をつくることを製糸といい，綿花から綿糸をつくることを紡績といいます。



3 日清戦争後の輸出品・輸入品の割合
(『日本貿易精覧』)　開国したころの貿易品(←p.146)と比べてみましょう。

製糸業と紡績業の発展

1880年代に入ると，政府は殖産興業(←p.162)をさらに推し進めるために，中央銀行として日本銀行を設立し，紙幣を発行するなど，金融制度を整備しました。また，官営の工場や鉱山などの事業を，三井・三菱などの実業家に払い下げて(←p.162 1)，民間の産業の育成を図りました。5

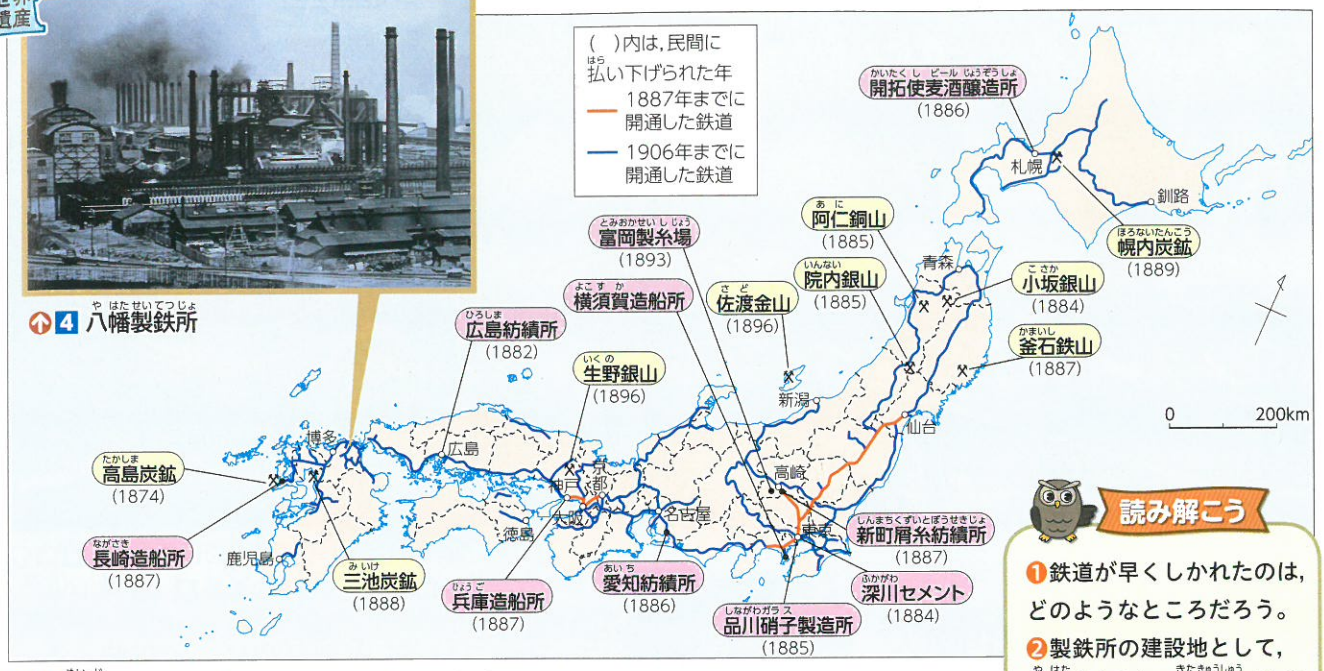
1880年代後半になると，製糸業と紡績業2が急速に発展しました。製糸業では，江戸時代からの伝統的な技術が，西洋の技術を取り入れて改良され，長野県・群馬県などに多くの工場がつくられました。生産の増えた生糸は，アメリカを中心に輸出されました。3 紡績業では，大規模な機械が輸入されて生産を増やし，1 日清戦争(←p.174)後には，綿糸が清や韓国などに輸出されました。3

こうして1900(明治33)年ごろまでに，製糸・紡績などの軽工業を中心に日本でも**産業革命**(←p.136)が進み，資本主義(←p.137)が確立しました。

重工業の発達

日清戦争後には，鉄道の建設や軍備の拡張のために，鉄鋼の需要が高まりました。政府は，清から得た賠償金などを用いて官営の**八幡製鉄所**4を設立し，

4 八幡製鉄所



5 明治時代の主な工場や鉱山と，鉄道の広がり

読み解こう

1 鉄道が早くしかれたのは，どのようなところだろう。

2 製鉄所の建設地として，八幡村(現在の北九州市)が選ばれた理由はなんだろう。

1901年に鉄鋼の生産を始めました。[3] 日露戦争(←p.178)後には，鉄鋼業や造船業を中心に，民間の重工業もしだいに発達していきました。[2] 一方で，工業原料や軍需品[4]などの輸入も増えたため，貿易全体では，輸入が輸出を大幅に上回る状態が続きました。

鉄道や海運の広がり

1872年に初めて開通した鉄道は，その後，官営に加えて民間による建設が進み，全国に鉄道網が広がりました。[5] 日露戦争後には，経営の統一や軍事輸送の目的から，民間の主な鉄道は国有化されました。海運も発達し，国内・外国航路が次々に開設されました。こうした鉄道や海運の広がりによって，人や物資が短時間で大量に輸送できるようになりました。交通機関の発達は，通信網の広がりとともに，経済の発展を支え，人々の生活する範囲を広げました。

3 原料の鉄鉱石は，主に中国の大冶から輸入し，石炭は，九州北部の筑豊炭田のものを使いました。

4 軍隊や戦争に必要な物資のこと。

ふりかえる

ステップ1 日本の産業革命は，いつごろ，どんな産業を中心に進んだか確かめよう。

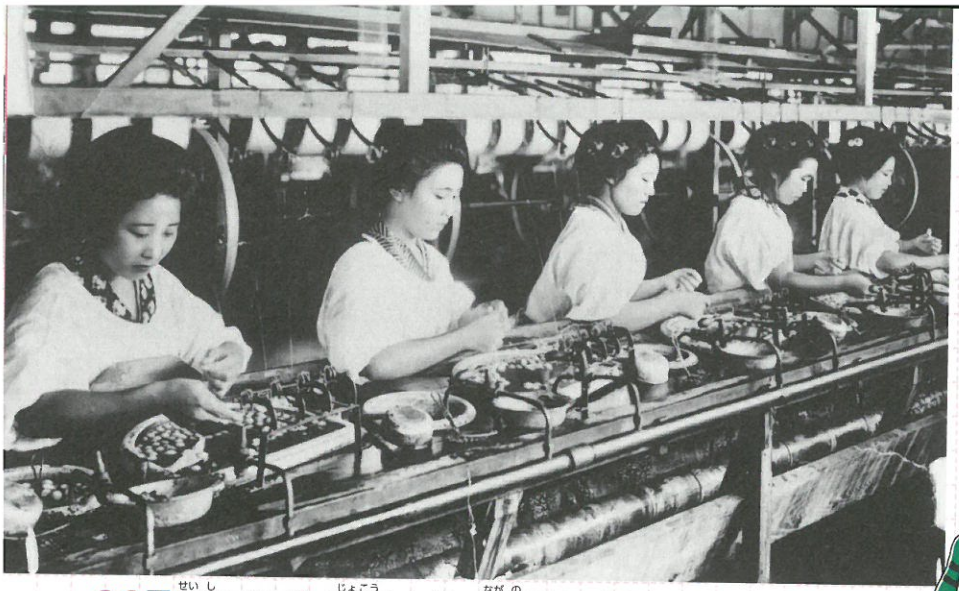
ステップ2 日露戦争ののち，日本の産業や貿易は，どのように変化したか説明しよう。

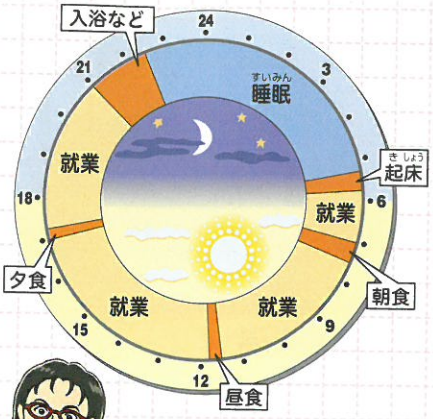
歴史の窓　産業の発展と豊田佐吉の発明

近代産業が発展していった背景には，数多くの技術革新や，発明家の努力がありました。1867年，現在の静岡県湖西市に生まれた豊田佐吉は，手織りで行われていた織機の改良を志します。官営工場や博覧会(←p.162)を見学した成果をもとに，1890年に「豊田式木製人力織機」を，その6年後に動力で動く織機を発明しました。これに続き，各地の発明家もさまざまな工夫を加えるなかで，動力織機が普及し，織物業は機械生産の時代に入りました。また晩年の佐吉は自動車産業に着目し，その発展の基礎をつくりました。



G型自動織機
佐吉が1924年に発明し，当時，世界一の性能と評価されました。







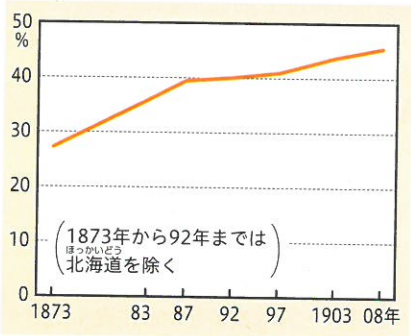
女工たちは，どのくらい働いていたのかな。

1 製糸工場で働く女工たち（上：長野県）と，2 その1日の生活

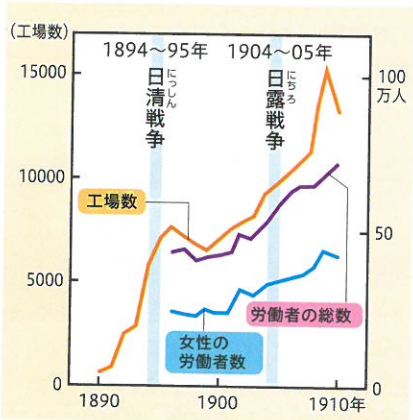
世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

14 工業化のかげで ▶ 社会問題の発生

学習課題 産業が急速に発展した一方で，どのような問題が起こったのでしょうか。



3 全耕地に占める小作地の割合の移り変わり（『近現代日本経済史要覧』）



4 工場数と工場の労働者数の移り変わり（『日本経済統計総観』）

農村と都市の変化

産業が発展するにつれて，農村でも，肥料や衣料などを現金で購入することが増え，商品経済が深く浸透していきました。農地を買い集めて大きな地主となる農民が現れた一方で，農地を手放して小作人になったり[3]，工場に出かせぎに出たりする人々も増えました。また，土地や仕事を求めて，ハワイなど，海外に移住する人々も現れました。

都市では，工場で働く労働者の増加[4]によって，人口が大きく増えました。そのため，東京や大阪のような大都市では，不衛生な生活環境のなかで暮らす貧しい人々が増えるなど，新たな問題が発生しました。

←p.182

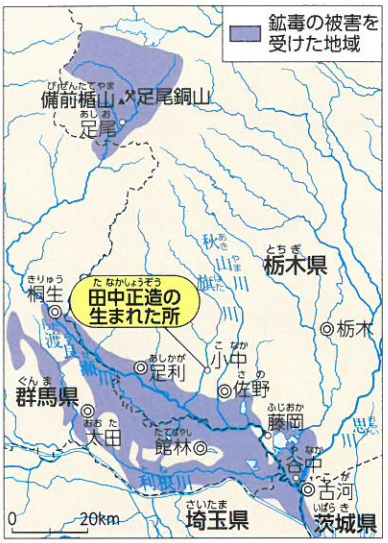
厳しい労働条件

工場労働者のうち，特に，産業革命の中心となった製糸業や紡績業では，その大半を女工とよばれる女性たちが占めていました[1]。女工たちの多くは農村からの出かせぎで，苦しい家計を助けるために，労働時間が長いわりに賃金が低いなど，厳しい条件のもとで就業しました[2]。

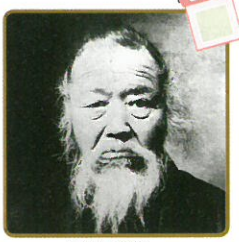
社会運動の始まり

日清戦争後には，労働者が団結して労働条件を改善しようとする運動が，片山潜らの指導で進められました。労働組合が結成され，**労働争議**も起こりま





5 明治のころの足尾銅山付近(上：『風俗画報増刊』1901年)**と，6 鉱毒の被害を受けた地域**



7 田中正造

した。政府は，1900(明治33)年に治安警察法を制定し，労働運動を取りしまる一方，日露戦争後には，労働条件の改善を目ざした工場法[1]を制定しました。

また，幸徳秋水らは，日本で最初の社会主義政党である社会民主党を結成しました。しかし，治安警察法によって直ちに解散させられるなど，社会主義運動は厳しく弾圧されました。1910年には，明治天皇の暗殺を計画したとして，多くの社会主義者が政府に捕らえられ，幸徳秋水らが死刑になるという大逆事件も起こりました。

←p.178

足尾鉱毒事件

産業の急速な発展は，環境や人々の生活にも大きな影響を与え始めました。

1877年に民間に払い下げられた足尾銅山(栃木県)は，西洋式の技術改良によって，産出量が急に増えました。一方で，鉱毒を含む廃水が渡良瀬川に流出し，農作物は枯れ，魚は死滅し，死者も発生するなど，流域の住民は大きな被害を受けていました。地元の衆議院議員だった田中正造は，住民とともに，操業の停止や被害者の救済を求める運動を進めました。政府は，銅山の会社に鉱毒の防止を指示しましたが，対策が不十分だったため，その後も被害は続き，深刻な公害問題となりました。

←p.184

年	できごと
1880年代	鉱毒が流出し始める。
1890	大洪水が起こり，鉱毒の被害が広がる。
1891	田中正造が，事件について議会で取り上げ，政府を追及する。
1901	田中が議員を辞職し，天皇への直訴を試みる。
1907	政府が谷中村を廃村とし，住民を移転させて遊水地を建設する。
1957	植林による緑化活動が始まる。
1973	足尾銅山が閉山となる。

8 足尾鉱毒事件に関連する主なできごと　足尾鉱毒事件は，日本の公害問題の原点といわれ，現在も緑化活動が続けられています。

1 12歳未満の就業を禁止すること，年少者と女性の1日12時間をこえる就業や深夜業を禁止することが決められましたが，小規模な工場には適用されないなど，不十分な面もありました。

ふりかえる

ステップ1 政府が，治安警察法を制定した目的を確かめよう。

ステップ2 前の時間の学習と合わせ，産業革命がもたらした光の面と，かげの面について説明しよう。



重文





重文

3 高村光雲「老猿」
（東京国立博物館蔵）

1 黒田清輝「湖畔」（上：東京文化財研究所蔵）と，
2 横山大観「無我」（右：東京国立博物館蔵）



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

15 西洋文化と伝統文化 ▶明治時代の教育と文化

学習課題 明治時代には，どのような文化が生まれたのでしょうか。

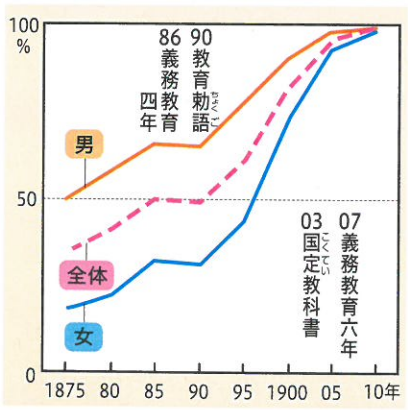
教育の普及

政府は，学校での教育を通じて生活に必要な知識や道徳を広めようと，1886(明治19)年に学校令を制定し，小学校の４年間を義務教育とするなど，教育制度を整備しました。日露戦争後になると，義務教育が６年間に延長され，就学率も100%に近づいて，男女の差もほとんどなくなりました[4]。一方で，小学校の教科書が国定になるなど，教育内容の統一が強まっていきました。

高等教育[1]では，国立の東京大学や，女性教員を養成するための女子師範学校(現在のお茶の水女子大学)が設立されました。また，民間でも，独自の校風をもつ私立学校[2]が発展するなか，津田梅子が女子英学塾(現在の津田塾大学)を設立するなど，女子教育が盛んになりました。 ←p.170

新しい近代文化の誕生

こうした教育の普及に支えられて，新しい文化が花開きました。その多くは，西洋の文化に学んだものや，その刺激を受けて，これまでの伝統文化を独自に発展させたものでした。 ←p.162, 163



4 義務教育の就学率の移り変わり

1 初めは，主に外国人教師によって外国語で授業が進められていましたが，しだいに日本人教師によって日本語で行われるようになりました。
2 福沢諭吉の慶應義塾，新島襄の同志社英学校，大隈重信の東京専門学校(現在の早稲田大学)などがあります。

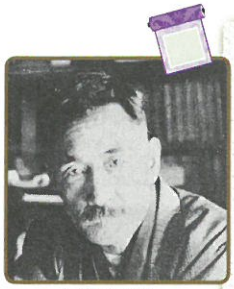


5 野口英世
黄熱病などの病原体の研究で，世界から注目されました。



7 樋口一葉と，『にごりえ』
（冒頭の部分）

おい、木村さん信さん寄っておいでよ、お寄りといったら寄ってもいいではないか、また素通りで二葉やへ行く気だろう、……

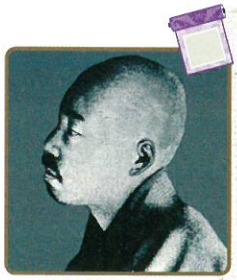


8 夏目漱石と，『坊っちゃん』
（冒頭の部分）

親ゆずりの無鉄砲で、子どもの時から損ばかりしている。小学校にいる時分、学校の二階から飛び降りて、一週間ほど腰を抜かしたことがある。……

医学	北里柴三郎	破傷風の血清療法を発見
	志賀潔	赤痢菌の発見
薬学	高峰譲吉	タカジアスターゼを創製
	鈴木梅太郎	ビタミンB_1を抽出
天文学	木村栄	緯度変化の研究
地震学	大森房吉	地震計を発明
物理学	長岡半太郎	原子構造の研究

6 主な医学者・自然科学者とその業績



9 正岡子規と，子規のよんだ俳句

柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺

いくたびも雪の深さを尋ねけり

坪内逍遙	『小説神髄』
二葉亭四迷	『浮雲』
森鷗外	『舞姫』
島崎藤村	『若菜集』
石川啄木	『一握の砂』
与謝野晶子	『みだれ髪』

10 主な文学者とその作品

学問では，ドイツの影響を強く受けた，医学や哲学などが発達しました。物理学や化学をはじめとする自然科学の研究も進み，**野口英世**[5]や北里柴三郎，長岡半太郎らにより，世界で最先端の研究や発見が生まれました[6]。

文学では，勧善懲悪[3]の考え方に基づくこれまでの物語を批判し，西洋の文芸理論を取り入れた新たな小説を目ざす動きが現れました[4][10]。日清戦争のころには，森鷗外[10]や**樋口一葉**[7]らが，自由な感情や個性を尊重する作品を発表し，日露戦争のころになると，**夏目漱石**[8]が個人の生き方を深く見つめる作品で，多くの読者を獲得しました。また，島崎藤村や石川啄木[10]らは，清新な詩をつくり，正岡子規[9]は，俳句の革新に力を尽くしました。

美術では，フランスの画風に学んだ黒田清輝らが，新たな洋画[1]を発展させました。一方で，岡倉天心やフェノロサにより，伝統的な日本の美術の価値も見直され，横山大観[2]の日本画や高村光雲の彫刻[3]などは，海外でも高い評価を受けました。音楽では，学校の唱歌などを作曲した滝廉太郎[11]らが活躍しました。



11 滝廉太郎
代表的な唱歌に，「お正月」「荒城の月」などがあります。

3 善を勧め，悪をこらしめること。
4 二葉亭四迷は，文語ではなく，話し言葉で文章を表現する言文一致を主張しました。

ふりかえる

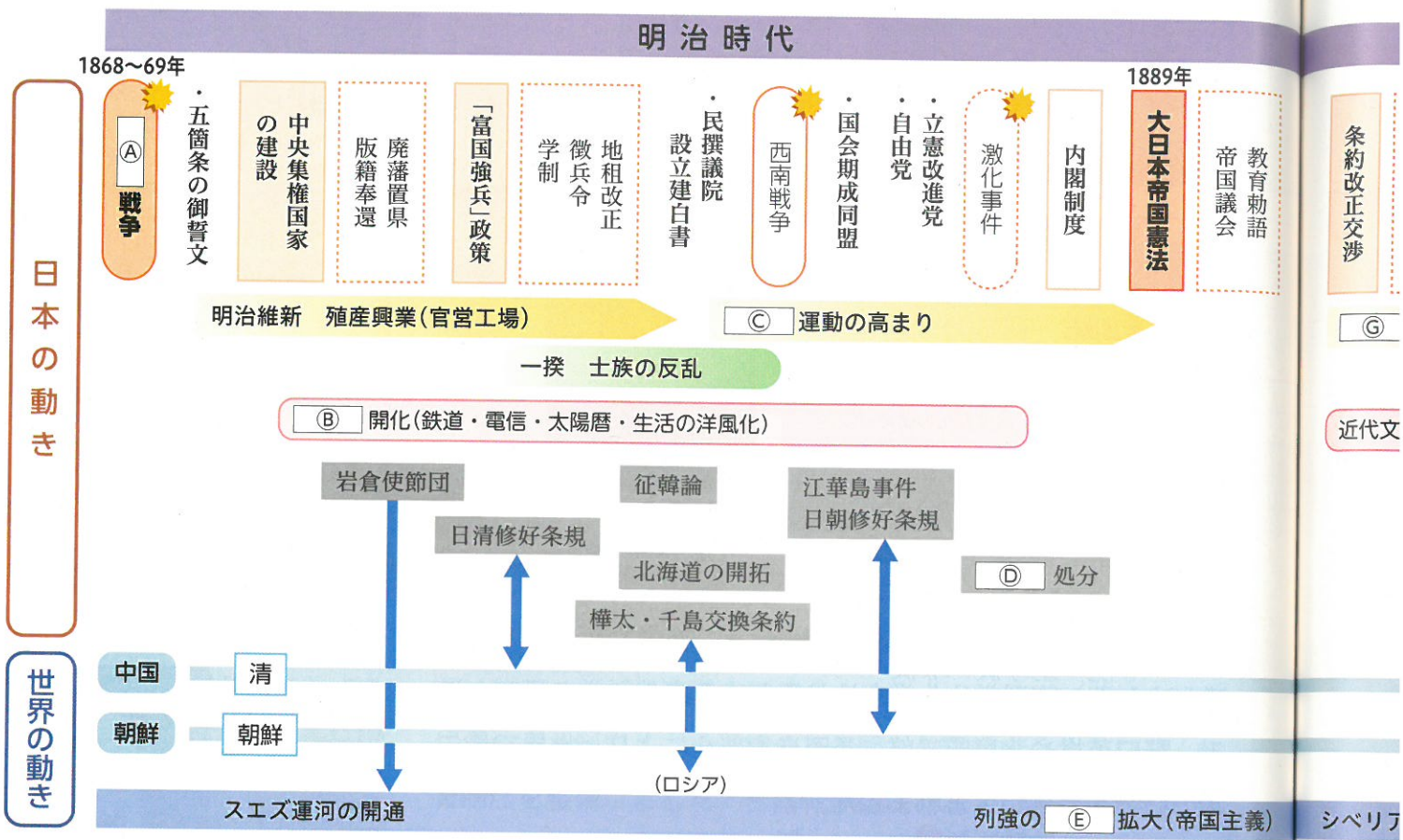
ステップ 1 学制の公布(←p.160)のころと比べて，教育の政策がどのように変化したか確かめよう。

ステップ 2 明治時代の文化の特色について説明しよう。

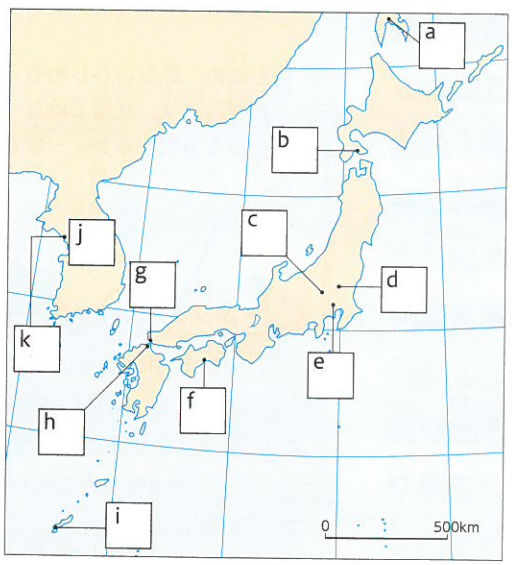
学習のまとめと表現　～第6章　近代の日本と世界～

近代の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図のⒶ～Ⓙにあてはまる語句を書き出そう。



近代の舞台を地図で確かめよう。

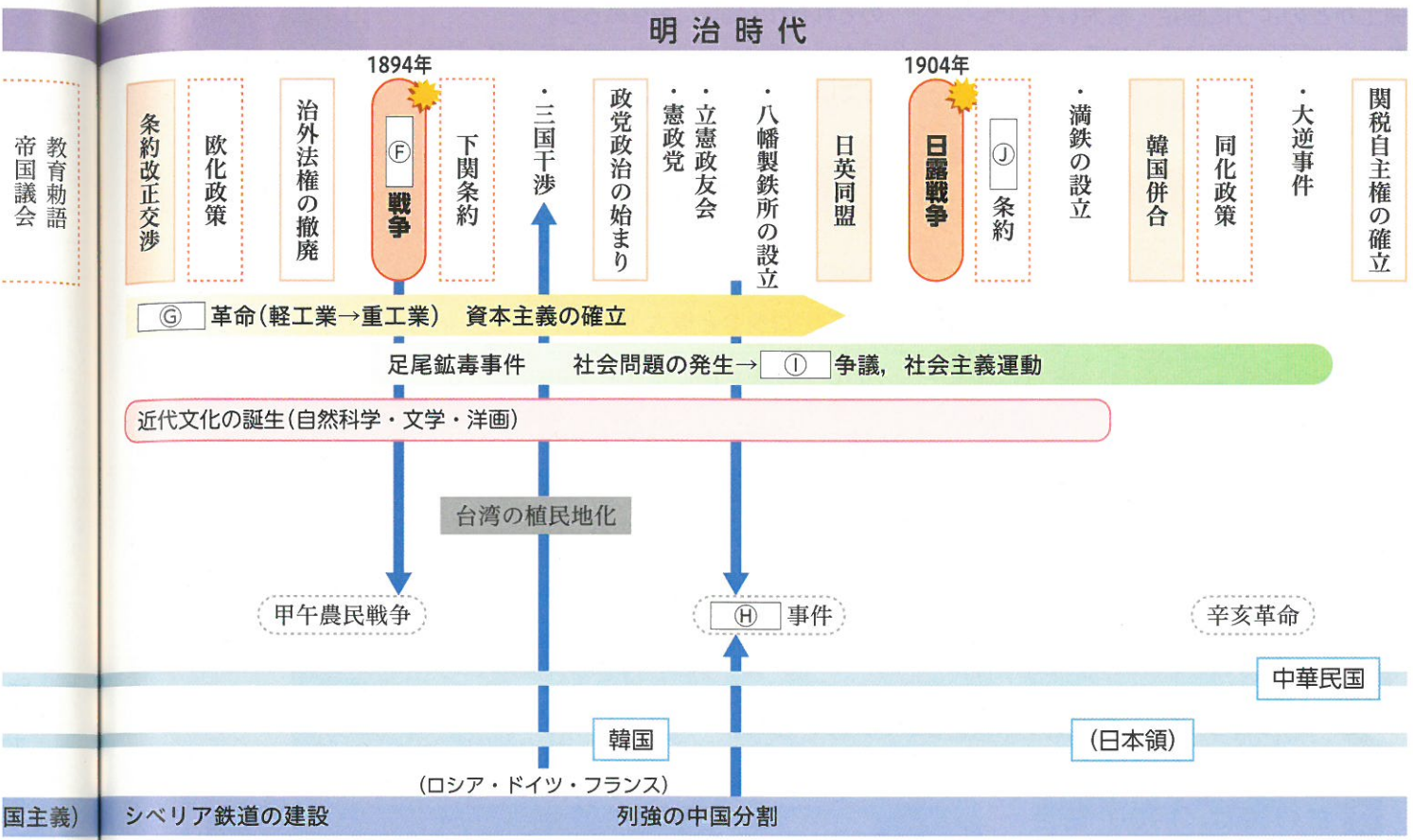


3 左の地図中に，次の場所を番号で記入しよう。

①五稜郭…戊辰戦争の最後の戦いの地。（←p.156）
②富岡製糸場…官営模範工場の一つ。（←p.162）
③江華島…日本が朝鮮の砲台を占拠した。（←p.165）
④沖縄県…琉球藩を廃止して設けた。（←p.165）
⑤樺太…ロシアとの条約で千島と交換した。（←p.165）
⑥高知…板垣退助が立志社を設立した。（←p.166）
⑦五日市町…五日市憲法がつくられた。（←p.167）
⑧下関…日清戦争の講和会議が開かれた。（←p.174）
⑨朝鮮…日本が植民地として支配した。（←p.180）
⑩八幡製鉄所…鉄鋼を生産する官営の工場。（←p.184）
⑪足尾銅山…鉱毒による公害が起こった。（←p.187）

2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

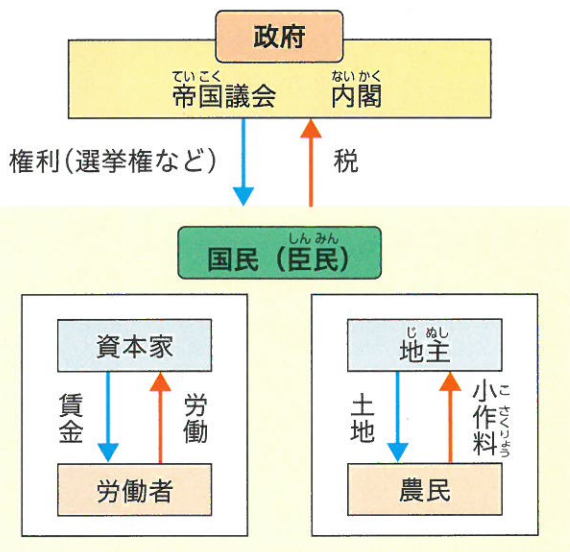
明治天皇	岩倉具視	西郷隆盛	板垣退助	伊藤博文	福沢諭吉
陸奥宗光	与謝野晶子	田中正造	野口英世	孫文	



近代のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 右の図と次の用語を使って，明治時代に政治のしくみが整えられた過程を説明しよう。

キーワード　大日本帝国憲法　自由民権運動　国民の権利



5 日本は，日清戦争ののち，日露戦争を戦うまでの間に，どのような対応や準備をしたか，次の用語を使って説明しよう。

キーワード　賠償金　戦費　日英同盟



近代の時代の特色を考えよう！

みささきさんは，明治時代の特色について，外国との関係に注目し，日本の領土がどのように画定・拡大していったかを地図と年表にまとめて，考えることにしました。



①日本の領土の画定・拡大について，年表の〔　　〕にあてはまる語句を記入し，地図のそれぞれの地域に色をぬろう。
②日本が，明治維新ののちに領土を画定・拡大していったのはなぜか，班で話し合おう。



年	できごと
1869	蝦夷地を〔　　〕と改め，開拓使という役所をおいた。
1875	ロシアと樺太・〔　　〕交換条約を結んだ。
1879	琉球王国を廃止して，〔　　〕を設けた。
1895	日清戦争後の下関条約で，〔　　〕を植民地とした。
1905	日露戦争後のポーツマス条約で，〔　　〕の南半分を領土とした。
1910	韓国を併合して〔　　〕と改め，植民地とした。

時代の変化に注目しよう！

1 右の絵は，1900(明治33)年に中国(清)の北京で起こった，中国側と外国軍の戦いを描いています。日本も出兵したこの事件を，なんといいますか。外国軍は，何か国から，どのぐらいの人数が出兵したか確認しましょう。
また，次のページの絵は，やがてヨーロッパで起こった大きな戦争を描いています。戦い方にどのような違いがあるか見比べて，気がついたことを発表し合いましょう。



第7章

二度の世界大戦と日本



連合国軍とドイツ軍の戦い



ずいぶん激しそうな戦いだけれど，空を飛んでいるのは，なんだろう。

上の絵は，1914年にヨーロッパで起こった，第一次世界大戦での戦いの様子です。この戦争は，アジアの国々やアメリカも巻き込んで，大きな被害をもたらしました。その原因や，日本はどのように関わることになったのかについて，これから学習していくことにしましょう。



これから学習する時代

年表

年代	1900	1910	1920	1930	1940	1950
日本	明治時代		大正時代	昭和時代		
中国	清		中華民国			
朝鮮	韓国		（日本領）			

1 第一次世界大戦と民族独立の動き







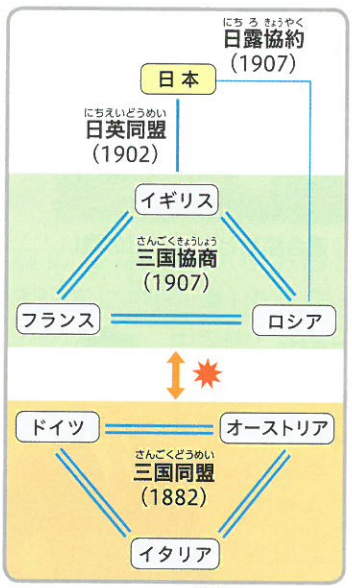
1 新兵器の飛行機(左上)，戦車(左下)と，2 ざんごうで戦う兵士たち



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

① クリスマスまでには帰れるさ ▶ 第一次世界大戦の始まり

学習課題 第一次世界大戦は，なぜ起こり，これまでの戦争とどのような違いがあったのでしょうか。



3 ヨーロッパの列強諸国の対立と，日本との関係

ヨーロッパの火薬庫

20世紀に入ると，**三国同盟**を結んでいたドイツ・オーストリア・イタリアは，植民地の再分割などを求めて勢力の拡大を図りました。すでに多くの植民地や勢力圏をもつイギリス・フランス・ロシアは，こうした動きを警戒し，**三国協商**を結んで対抗しました。こうしてヨーロッパの列強諸国は，二つの陣営に分かれて対立しました。[3]

ヨーロッパのバルカン半島では，オーストリアが，セルビアに隣接する地域を併合したため，両国の関係が悪化しました。さらに，ロシアと結ぶバルカンの国々と，オスマン帝国(トルコ)の間で，またバルカンの国どうしでも，民族の対立や領土をめぐって戦争があい次ぎました。ロシアとオーストリア・ドイツの対立を背景に，こうした不安定な国際情勢が続いたことから，バルカン半島は「ヨーロッパの火薬庫」とよばれました。[4]

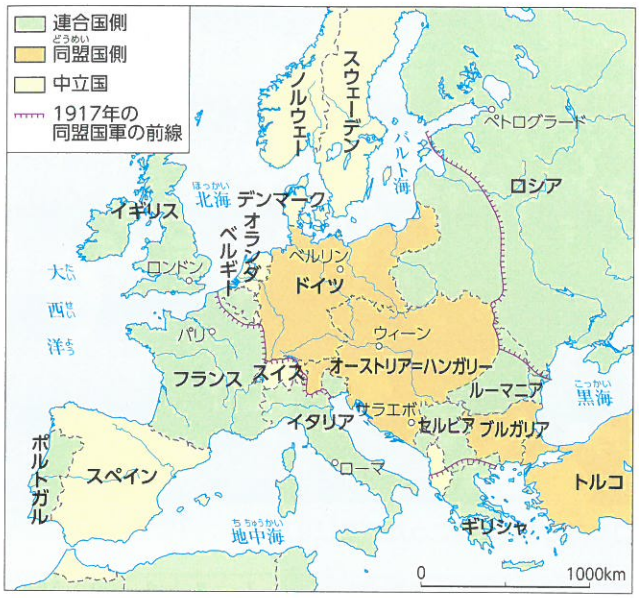
第一次世界大戦の始まり

1914(大正3)年6月，オーストリアの皇太子夫妻が，サラエボ[1]でセルビアの青年に暗殺される事件が起こりました。オーストリアがセルビアに宣戦すると，8月，ドイツはオーストリアに，ロシア・イギリス・フ

1 サラエボは，オーストリアが併合した地域の中心都市でした。



4 バルカン半島の状況を描いた風刺画



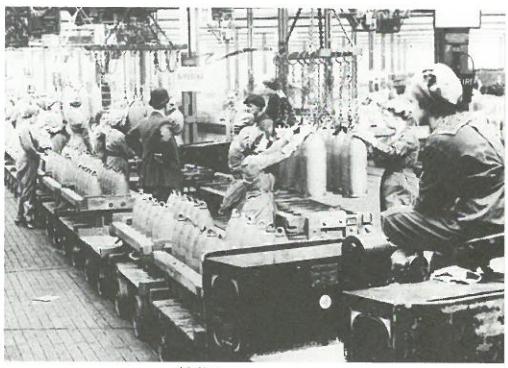
5 第一次世界大戦のころのヨーロッパ

ランスはセルビアについて参戦し，同盟国側と協商国(連合国)側との間で**第一次世界大戦**が始まりました。[2][5] さらに日本が，日英同盟を理由に連合国側に加わり，[3] トルコが同盟国側に加わったため，戦場は地中海地域からアジアにまで拡大しました。 ←p.177

新兵器と総力戦

大戦が始まった時，多くの人々は，戦争はすぐに終わり，兵士も年末には家に帰れると考えていました。しかし，戦争は予想をこえて長引き，兵士の動員がますます増え，軍需品も大量に使われました。飛行機・戦車・潜水艦や毒ガスなどの新兵器[1]が登場したことで，死傷者が増大し，戦争の様子もこれまでとは大きく変わりました。[2] ←p.185 p.197→

このため，参戦した国々では，軍需産業を優先する政策がとられ，徴兵された男性に代わり，女性や青少年が軍需工場で働かされました。[6] 食料や生活品の配給制が実施されるなど，国民の日常生活も，さまざまな統制を受けました。また，イギリスやフランスは，植民地からも人々を兵士や労働力として動員しました。こうして，国力のすべてを戦争につぎ込み，社会全体を戦争協力に巻き込む，**総力戦**の体制がつくられました。総力戦には国民の協力を必要としたため，政府も，参政権の拡大などを求める国民の声を無視できなくなりました。 ←p.137



6 イギリスの軍需工場で働く女性
つくっている物は，なんでしょうか。

2 三国同盟に属していたイタリアは，初めは中立の立場を表明していましたが，その後，領土をもらうことを条件に，連合国側について参戦しました。

ふりかえる

ステップ 1 第一次世界大戦と，これまでの戦争との違いを二つあげよう。

ステップ 2 戦争が総力戦になったことで，どのような人々に，どのような影響をもたらしたか話し合おう。



↑1 ロシアの首都で起こったデモ(1917年)



↷2 兵士を募集するアメリカ海軍のポスター

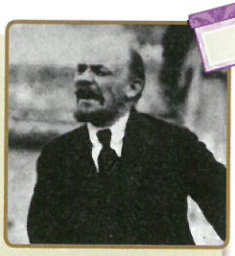
ロシアの人々は，なぜ抗議行動を起こしたのだろう。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

② パンと平和，民主主義を求めて ▶ロシア革命とアメリカの参戦

学習課題 ロシア革命やアメリカの参戦は，世界にどのような影響を与えたのでしょうか。



3 レーニン
「すべての権力をソビエトに」と訴えました。ロシア語で「議会・評議会」を意味するソビエトは，革命のなかで，労働者・兵士・農民の自治組織となり，革命政府の基礎とされました。

ロシア革命

第一次世界大戦の開戦直後から，ロシアは前線で敗北を続け，やがて都市では，食料や燃料の不足が深刻になりました。国民は，戦争をやめない皇帝・政府を非難し，中央アジアやウクライナでは，ロシアから分離して独立を目ざす民族運動も広がりました。

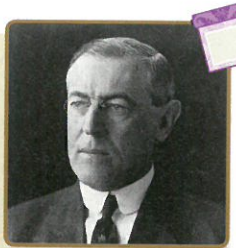
1917(大正6)年3月，首都のペトログラード(現在のサンクトペテルブルク)で，女性や労働者などが，パンと平和を求める抗議行動[1]に立ち上がりました。軍の兵士もこれに加わって，ソビエトという自治組織を結成すると，皇帝は退位し，帝政は倒れました[7]。しかし，臨時政府も戦争を続けたため，同年11月，レーニン[3]らが蜂起し，臨時政府を倒して，ソビエト政府を樹立しました。これを**ロシア革命**といいます。

社会主義と講和原則

ソビエト政府は，地主の土地を農民に分配し，資本家の工場や銀行を国有にして，社会主義を目ざすことを宣言しました。また，すべての交戦国[5]に対して，「無併合・無賠償・**民族自決**」の原則[1]に基づく講和を呼びかけました[7]が，聞き入れられませんでした。そこで，不利な条件を受け入れ，単独で同盟国側と講和を結びました[7]。

←p.137

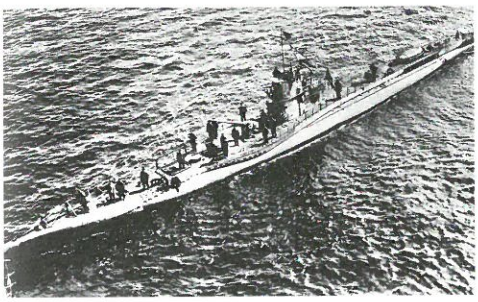
1 無併合・無賠償は，戦勝国が敗戦国に対し，領土の一部をゆずらせたり，賠償金を払わせたりしないという提案です。民族自決は，それぞれの民族のことは，自分たちで決める権利がある，という主張です。

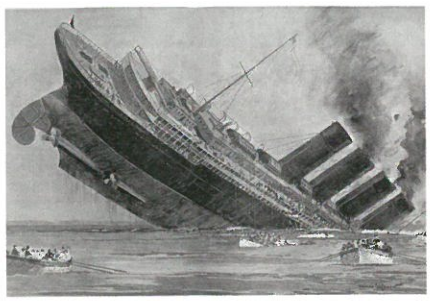


4 ウィルソン
十四か条の平和原則のなかで，公海航行の自由，軍備縮小，民族自決の原則，国際平和機関の設立などを示しました。



5 第一次世界大戦中の世界





6 ドイツの潜水艦Uボート(左)と，イギリス船ルシタニア号(右)
1915年，ルシタニア号はUボートに撃沈され，アメリカ人の乗客にも多数の犠牲者が出ました。

アメリカの参戦

一方，アメリカは，開戦当初は中立を守っていました。しかし，ドイツが，連合国の船に対して潜水艦[6]による無差別の攻撃を強め，アメリカ人にも被害が及んだことなどから，1917年，連合国側に加わって参戦しました[2][7]。翌年1月には，アメリカのウィルソン大統領[4]が，ソビエト政府に対抗して「十四か条の平和原則」を発表し[7]，議会制民主主義が戦後の政治の基礎となるべきだと主張しました。

ソビエト政府とアメリカが示した原則や，新しい政治・社会についての考え方は，世界に大きな影響を与えました。

干渉戦争とソ連の成立

連合国側は，ロシア革命の影響が，自国の労働運動や植民地の解放運動に及ぶことを恐れました。1918年，イギリス・アメリカ・フランス・日本は，p.198➡共同でロシア各地に軍隊を派遣し，ロシア国内の反ソビエト勢力を支援して，ソビエト政府を倒そうとしました[7]。

ソビエト政府はこの干渉戦争を乗り切り，1922年，**ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)**を結成しました。

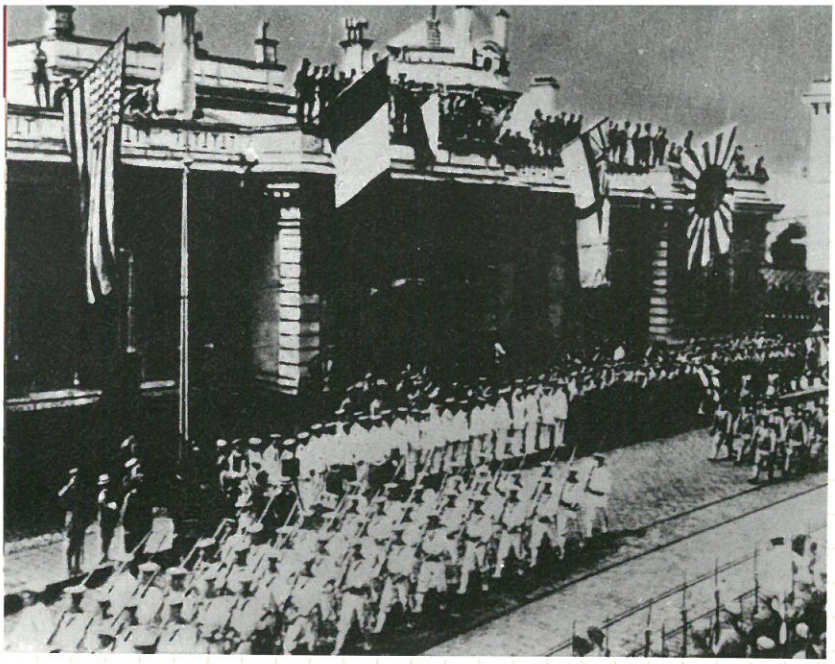
年	月	できごと
1914		第一次世界大戦が始まる。
	8	日本が参戦する。
1915	5	イタリアが参戦する。
1917	3	ロシア革命が起こる。
	4	アメリカが参戦する。
	11	ソビエト政府が「無併合・無賠償・民族自決」を呼びかける。
1918	1	ウィルソン大統領が平和原則を発表する。
	3	ソビエト政府がドイツと講和する。
	4	ソビエト政府に対する干渉戦争が始まる(～1922年)。

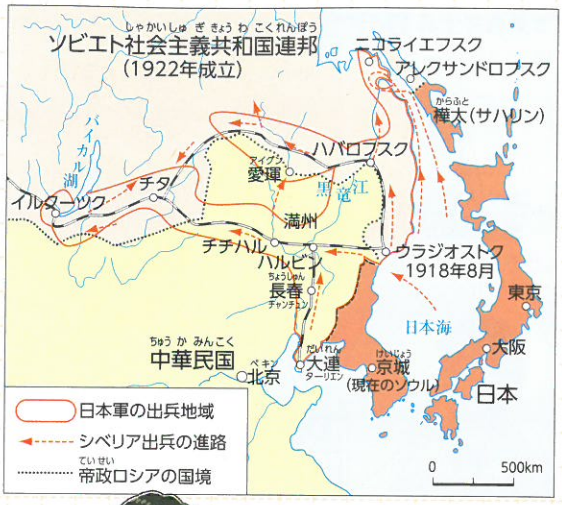
7 第一次世界大戦の経過

ふりかえる

ステップ1 ソビエト政府とアメリカが示した原則で，共通している点をあげよう。

ステップ2 連合国側が，干渉戦争に乗り出したわけを説明しよう。







日本が，シベリアに多くの兵力を送ったのは，なぜかな。

1 ウラジオストクを行進する日本軍(上：1918年)と，出兵した地域
日本は，約７万人の軍隊をシベリアに派遣しました。

世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

③ 成金の出現 ▶第一次世界大戦と日本

学習課題 第一次世界大戦は，日本にどのような影響を与えたのでしょうか。

日本の参戦と二十一か条の要求

日本は，日英同盟(←p.177)を理由に，1914(大正３)年８月，ドイツに宣戦し，連合国として第一次世界大戦に参戦しました。中国の山東半島にあるドイツの軍事拠点や，太平洋にあるドイツ領の南洋諸島(p.200→)を占領しました。

大戦によって，欧米列強がアジアへの関心を弱めたことを背景に，日本政府は，1915年，中国政府に対して**二十一か条の要求**を提出しました。その内容は，山東省でのドイツの権益を日本にゆずること，日本の旅順・大連の租借期間を延長することなど，大陸での日本の権益を拡大しようとするものでした。中国側は，これを主権の侵害(←p.181)であるとして強く反発しました[2]が，日本は，軍事力を後ろだてに要求の多くを認めさせました。

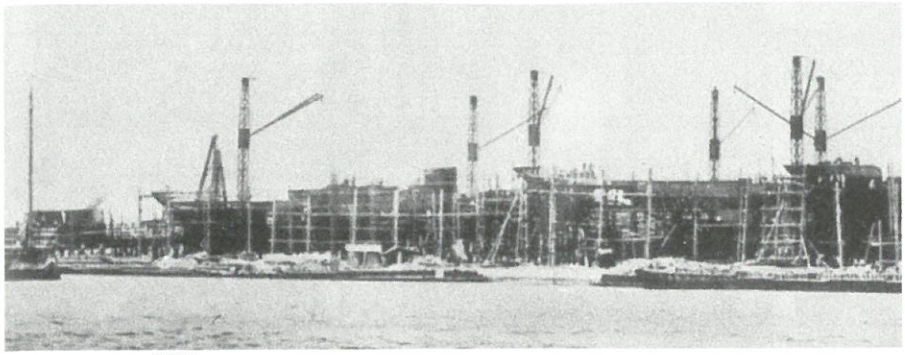
シベリア出兵

また，1918年，連合国がロシア革命の干渉に乗り出すと(←p.197)，日本もこれに加わって出兵し，シベリアでの勢力を拡大しようとしました[1](**シベリア出兵**)。

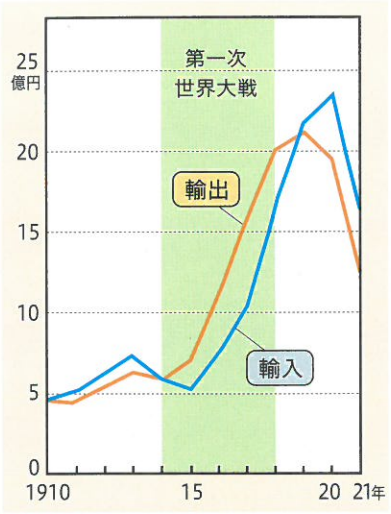
しかし，この干渉は失敗し，大戦が終わってまもなく，連合国は兵を引きあげました。日本は最後まで兵力をとどめたこと



2 二十一か条の要求に抗議する中国のポスター



3 大戦中の大阪造船所
日本の造船量は，アメリカ・イギリスに次いで世界第３位となりました。



4 大戦前後の貿易額の移り変わり
（『明治以降本邦主要経済統計』）

から，国内外で批判が高まり，1922年に撤兵しました。

大戦景気

大戦中には，世界各国で船が不足し，日本の船が盛んに使われました。そのため国内では，海運業や造船業[3]がめざましい発展をとげたほか，ドイツからの輸入がとだえた，薬品や化学肥料の国産化も進むなど，重化学工業が急成長しました。また，アメリカへの生糸の輸出や，中国への綿糸・綿織物の輸出が急増し，繊維業もいっそう活発になりました。蒸気に代わる動力源として，電力が広く用いられるようになり，各地に水力発電所が建設されました。

←p.184
←p.184

こうして日本の経済は，かつてない好景気を迎え，貿易は，輸入が輸出を上回る状態から，輸出が輸入を大幅に上回る状態になりました[4]。この**大戦景気**によって，にわかに大金持ちとなった「成金」とよばれる人々が生まれました[5]。また，大きな利益を上げた三井・三菱・住友・安田などの大企業も，事業をさらに広げ，経済界を支配する**財閥**へと成長していきました。

←p.184



5「成金」の風刺画
（炎まん美術館蔵）
男性客が，明かりの代わりに燃やしているのは，なんでしょうか。

歴史の窓　財閥と日本の経済発展

財閥とは，一族が独占的に出資した資本により，中核となる親会社と，その子会社が結びつき，さまざまな分野の産業を経営する企業グループのことです。日本最大の三井財閥は，江戸時代の両替商三井家(←p.115)に始まります。また，三菱財閥は，1870年に岩崎弥太郎が創立した三菱会社に始まり，海運業を中心に，造船・鉱山・銀行などの事業にも次々と進出しました。財閥は，政府や政党と強く結びつくなかで特権も与えられ，莫大な利益をあげました。多角的な経営により日本の経済発展を担う一方，大戦景気を機にコンツェルンとよばれる体制を固め，多くの産業で独占的な地位を築いていきました。

ふりかえる

ステップ 1 第一次世界大戦中の日本と，ドイツ・中国・ロシア(ソビエト政府)との関係を確かめよう。

ステップ 2 日本で，「成金」とよばれる人々が生まれたのはなぜか説明しよう。





2 ベルサイユ条約の調印

1 第一次世界大戦の終結を喜ぶロンドンの人々



世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

4 不戦の誓い ▶国際協調と民主主義の広がり

学習課題 国際社会は，第一次世界大戦の経験をどのように生かそうとしたのでしょうか。

	国	戦死者数(人)
連合国側	ロシア	1700000
	フランス	1357800
	イギリス	908371
	イタリア	650000
	アメリカ	116516
	セルビア	45000
	日本	300
同盟国側	ドイツ	1773700
	オーストリア	1200000
	トルコ	325000

3 大戦での主な国の戦死者数(概数)



4 日本の委任統治領

1 敗戦国の植民地や領土のうち，国際連盟から治めることを任された地域のこと。

第一次世界大戦の終結

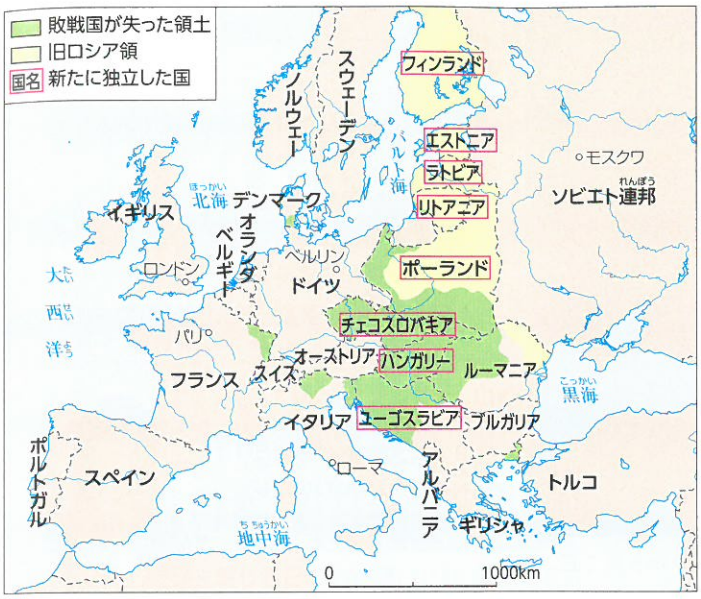
1918(大正7)年秋になると，同盟国側はあい次いで降伏し，休戦を申し出たドイツでも革命が起こり，帝政が倒れました。こうして，多くの犠牲者を出した第一次世界大戦は，連合国側の勝利で終わりました[1][3]。

1919年，パリで講和会議が開かれました。講和は，アメリカのウィルソン大統領の平和原則を基礎としましたが，戦勝国の要求を認めたため，原則は部分的にしか実現しませんでした。会議で結ばれた**ベルサイユ条約**[2]により，ドイツは，領土の一部と植民地のすべてを失い[5]，軍備の制限や巨額の賠償金の支払いを命じられました[7]。日本は，中国におけるドイツの権益を受け継ぎ，ドイツ領の南洋諸島を委任統治領[1]として獲得しました[4]。←p.196 ←p.198

また，東ヨーロッパでは，ポーランドなど多くの国の独立が認められました[5]が，アジア・アフリカの植民地の独立や，日本の二十一か条の要求に対する中国の抗議は，退けられました。

国際連盟の設立

講和会議では，**国際連盟**の設立も決まりました。国際連盟は，世界の国々が協力して，国際社会の平和と安全を守ろうとする，歴史上初めての組織でした。1920年，日本も含め42か国が参加して発足し，スイス



5 第一次世界大戦後のヨーロッパ

読み解こう

❶ヨーロッパで新たに独立した国を確かめよう。
❷一方で，アジア各国の民族自決は，なぜ認められなかったのだろう。
❸講和会議ののち，中国や朝鮮ではどのような動きが起こったか話し合おう。

6 新渡戸稲造

国際連盟本部の事務次長として活躍しました。肖像が5千円札に使われたことがあります(←巻頭2)。



のジュネーブに本部がおかれました[6]。しかし，初めは敗戦国やロシアが加盟を認められず，アメリカも議会の反対で加盟しなかったので，ヨーロッパの大国を中心に運営されました[2]。

軍縮と国際協調

さらに，大戦の反省から軍備の縮小を目ざす動きが強まり，1921～22年，アメリカの提案で**ワシントン会議**が開かれました。日本は，海軍の主力艦の保有を制限する条約をはじめ，太平洋地域の現状維持や，中国の主権尊重・領土保全などを取り決めた条約に調印しました。この結果，日英同盟は解消され，また，日中間の直接交渉により，山東省での日本の権益が中国に返還されました。

その後も，国際連盟の総会が外交の重要な場となり，1928年には，国際紛争を平和的な手段で解決することを誓う，不戦条約も結ばれるなど，国際協調の気運が高まりました。

民主主義の拡大

大戦後，参戦各国や新たな独立国では，戦時下の国民の協力にこたえる一方，ロシア革命の影響に対抗するために，国民の意思を政治に反映させようとする議会制民主主義が広がりました。共和国となったドイツでは，**ワイマール憲法**により，20歳以上のすべての男女に選挙権が認められ，労働者の団結権も保障されました。

←p.196

❷ 日本も常任理事国となりました。ドイツは1926年，ソ連は1934年に加盟が認められました。



7 紙幣の束で遊ぶ子どもたち
(1923年　ドイツ)
ドイツでは，戦費や賠償金などの重い負担から経済が破たんし，価格のなかには1兆倍にも上昇したものもあり，紙幣の価値が紙くず同然になりました。

ふりかえる

ステップ1 ベルサイユ条約で，ドイツはどのようなことを要求されたか確かめよう。
ステップ2 大戦後に国際社会で起こった大きな動きを三つあげて，大戦前との違いを説明しよう。



われらはここに，わが朝鮮が独立国であること，および朝鮮人が自由民であることを宣言する。…(略)…
今日わが朝鮮が独立することによって，朝鮮人が正当な生活の繁栄をとげ，…(略)…東洋の平和を重要な一部とする世界平和，人類の幸福に必要な一歩となるのである。



1 独立運動のレリーフ(上)と，独立宣言書(一部)　1919年3月1日，
現在のソウル市内にある公園で，日本からの独立を宣言する書が読まれました。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

5 わきあがる独立の声 ▶ アジアの民族運動

学習課題　第一次世界大戦ののち，アジアの人々はどのような運動を起こしたのか調べよう。

朝鮮の三・一独立運動

第一次世界大戦が終わると，日本の植民地とされていた朝鮮では，独立への希望が高まりました。1919(大正8)年3月1日，京城(現在のソウル)[1]で朝鮮の独立が宣言され[1]，人々が「独立万歳」を叫んで行進したのをきっかけに，独立を求める運動が朝鮮全土に広がりました[2]。朝鮮総督府が，軍隊や警察の力でこれをおさえつけると，運動は激しくなり，人々は役所を襲撃したり，軍隊や警察と衝突したりしました。多くの死傷者や逮捕者を出しながらも，独立運動は5月まで続きました。これを**三・一独立運動**といいます。

日本政府は，朝鮮の人々の権利を一部認め，統治のしかたを改めましたが[2]，同化政策に基づく植民地支配は続けられました。←p.180

中国の五・四運動

中国では，パリ講和会議により，山東省でのドイツの権益が返還されると期待されていました。しかし，日本が権益を受け継ぐことが決まると，1919年5月4日，北京の学生たちがこれに抗議し，←p.200日本製品を使わないことを訴えるなど，反日運動を起こしました[3]。この運動は全国に広がり，帝国主義に反対する運動へと発展しました。こ



2 朝鮮での独立運動
約200万人が参加し，自由と独立を求める民族の意思を国内外に示しました。

[1] 日本は，韓国を併合した1910年に，漢城を京城と改称しました。

[2] 言論や集会の自由などを限られた範囲で認めました。



北京排日暴動

千餘名の學生曹汝霖邸燒打
章公使重傷を負ふ

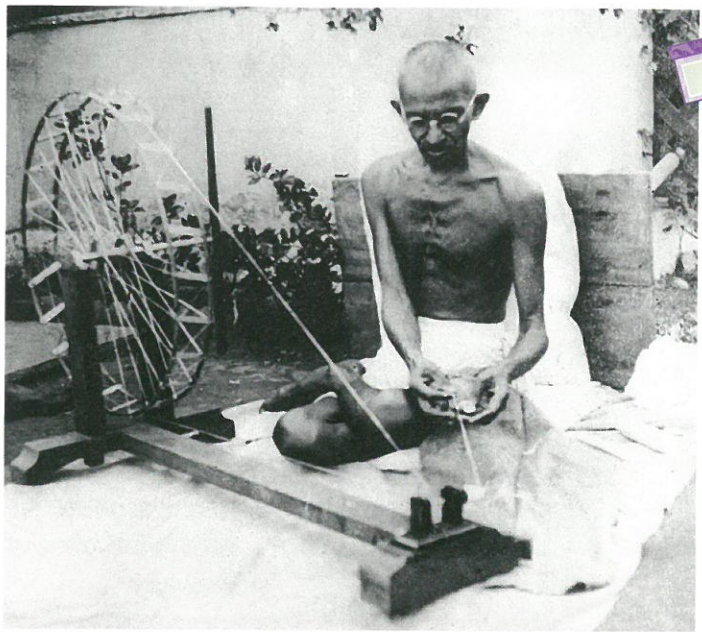
第一報 四日正午より北京大學學生を初め千餘名の學生示威運動を爲すとて天安門に集まり國賊曹汝霖、賣國奴陸宗輿、章宗祥、山東を返せ等書きたる旗を押立て示威運動を爲し其の一部は遂に曹汝霖邸を襲ひ今や同邸を燒打ちしとの報あり警察は全く無力なりと云ふ（四日北京特派員發）

第二報 曹汝霖邸の燒打は警察當局の全く無力に依り惹起されたるものにして（中略）

山東問題經過
四日中發表

山東問題の經過は四日中に外務當局より發表すべしと云へるが（中略）

日本に對して非常の侮辱的言辭を書き（中略）



3 五・四運動を報じる日本の新聞（1919年5月6日）

4 糸をつむぐガンディー
ガンディーは，機械を使わず，手つむぎ機で糸をつむぎました。それは，「自分の必要とする以上に綿糸を生産しない。」「手つむぎ機で織られる綿布を身につけることで，イギリスの綿製品を利用しないようにする。」という抗議行動でした。

れを**五・四運動**といいます。

このの ち，孫文は中国国民党をつくり，ソ連や，1921年に結成された中国共産党と協力して，民族の独立と国家の統一を目ざす国民革命を進めました。しかし孫文の死後，国民党の実権を握った**蔣介石**は，1927年に南京に国民政府をつくり，中国共産党と対立するようになりました。

←p.181

インドの民族運動

インドを植民地にしていたイギリスは，インドに自治を与える約束と引きかえに，第一次世界大戦で多くのインド人兵士を戦場に動員しました。しかし，大戦後にイギリスが行った統治の改革は，インドの人々の期待に及ばないもので，民族運動を弾圧する法律も含まれていました。**ガンディー**[4]らは，完全な自治を求めて「非暴力・不服従」の運動を起こし，イギリスからの独立運動を推し進めました。

←p.195

ふりかえる

ステップ 1 朝鮮・中国・インドでは，それぞれ何を要求して民族運動が起こったのか確かめよう。

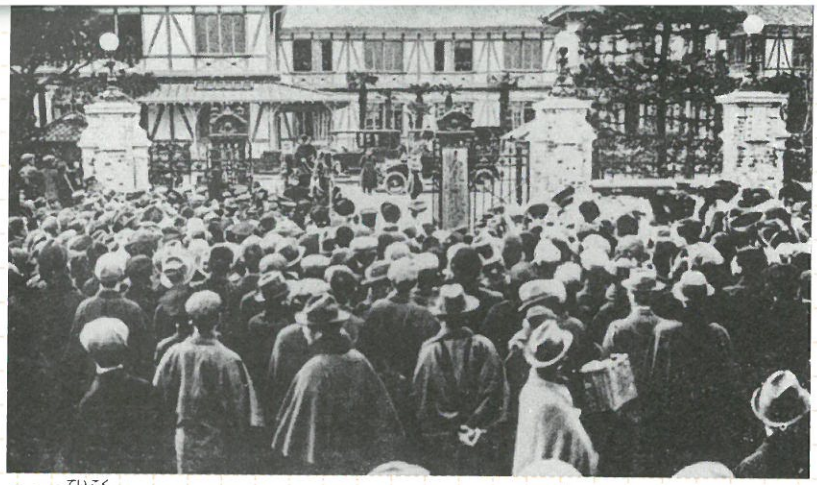
ステップ 2 アジアで民族運動があい次いだ背景について，「第一次世界大戦，民族自決，独立」の用語を使って説明しよう。

歴史の窓　日本人がみた三・一独立運動

当時の日本では，三・一独立運動を暴動とみていた人がほとんどでした。しかし，朝鮮の芸術に深い関心をもっていた民芸評論家の柳宗悦は，「独立が朝鮮人の理想となるのは当然である。」「日本にとっての兄弟である朝鮮が，日本の奴隷であってはならない。それは朝鮮の不名誉であるよりも，日本にとっての恥である。」と主張して，独立運動を武力でおさえた日本の行動を批判しました。また，ジャーナリストの石橋湛山も，「朝鮮問題の解決のかぎは，朝鮮の独立や自治にあり，朝鮮人は独立を得るまで，断じてその反抗をやめるものではない。」と主張しました。



柳宗悦（日本民藝館蔵）





1 帝国議会の議事堂を取り囲む民衆 1913年2月，護憲運動を支持する数万人の民衆が議事堂を取り囲み，桂内閣の退陣を要求して，警官隊と衝突するなどの大きな騒動となりました。



世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 **19** 1900年 **20** 21

6 憲政の本義を説いて ▶民衆運動の高まりと政党政治の確立

学習課題 大正時代に政党政治が発展していった背景には，どのような動きがあったのでしょうか。

護憲運動

日露戦争の前後は，藩閥や官僚を後ろだてとする桂太郎と，立憲政友会の総裁の西園寺公望が，交互に内閣を組織していました。1912(大正元)年，軍備の拡張をおさえようとした西園寺内閣が，陸軍の反対で倒れると，陸軍大将の桂太郎が3度めの組閣を行いました。

←p.178 ←p.175

❶ 1912(明治45)年7月，明治天皇が亡くなり，大正天皇が即位しました。

❷ これを大正政変といいます。

これに対し，尾崎行雄・犬養毅らの政治家や新聞記者たちは，立憲政治に反したやり方であるとして，桂内閣打倒の運動を起こし，民衆の支持を広く集めました(**第一次護憲運動**❶)。そのため，桂内閣はわずか50日あまりで総辞職に追い込まれ❷，その後，政党の勢力がしだいに強まっていきました。

p.218→

民本主義

第一次世界大戦を機に，デモクラシーの風潮が世界的に高まるなかで，政治学者の吉野作造❷は**民本主義**を唱えました。吉野は，デモクラシーを民本主義と訳し，民意に基づいた政治を大日本帝国憲法の枠内で実現していくための方法を説きました。この思想は，憲法学者の美濃部達吉❸が主張した憲法についての学説とともに，大戦の末期から戦後にかけて言論界の支持を集め，政党を中心とした政治の確立を求める世論が高まっていきました。

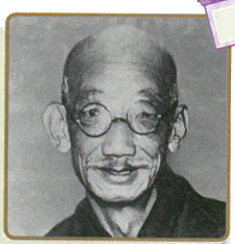
←p.201 ←p.168

❷ 吉野作造



1916年，雑誌『中央公論』に，論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」を発表し，反響をよびました。

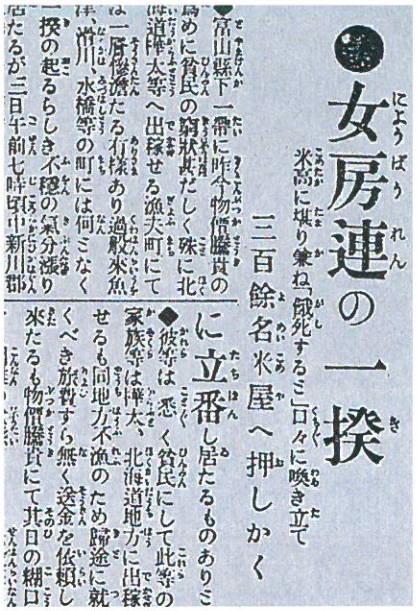
❸ 美濃部達吉



天皇は国家の最高機関であり，憲法に従って統治を行うものとする学説(天皇機関説)を主張しました。



4 名古屋での米騒動（徳川美術館蔵） 米騒動には，42道府県で約70万人が参加しました。労働者や，部落差別を受けて生活に苦しんでいた人々も加わりました。



女房連の一揆

米高に買り集ね，餓死する二口々に喚き立て

三百餘名米屋へ押しかく

富山縣下一帯に昨今物價騰貴の爲めに貧民の窮狀甚だしく殊に北…道傳大等へ出稼せる漁夫町にては一層困窮たる有様あり過般來魚津、滑川、水橋等の町には何ごとなく一揆の起るらしき不穏の氣分漲り…たるが三日午前七時頃中新川郡…

に立番し居たるものありこ

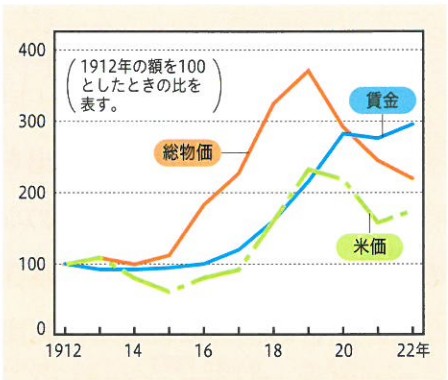
◆彼等は悉く貧民にして此等の家族等は皆、北海道地方に出稼せるも同地方不漁のため歸途に就くべき旅費すら無く送金を依頼し來たるも物價騰貴にて其日の糊口

6 富山で起こった騒動を報じる新聞（1918年8月）

米騒動

大戦中は好景気が続き，労働者の賃金は上がりましたが，物価もそれ以上に上昇しました[5]。特に，戦争の長期化や，シベリア出兵をあてこんだ米の買い占めなどで，米価が急に高くなり[5]，人々の生活は大きな打撃を受けました。

←p.199
←p.198



5 総物価・米価と賃金の移り変わり（『日本経済統計総観』）

読み解こう

❶グラフに，第一次世界大戦とシベリア出兵の期間を書き入れてみよう。

❷1918年の前後で，総物価・米価と賃金は，それぞれどのように変動しただろう。

1918年の夏，富山県の漁村で女性たちが，米の安売りなどを要求する運動を起こしました。運動が新聞で報道されると[6]，この動きは全国に広がり，各地で民衆が米屋や精米会社を襲う，大規模な**米騒動**に発展しました[4]。政府は米の安売りをする一方，軍隊を出動させて，２か月近く続いた騒動をしずめました。

政党政治の確立

米騒動の責任をとって，陸軍出身の寺内正毅首相が辞職すると，1918年９月，立憲政友会の総裁で衆議院議員の**原敬**[7]が，首相に指名されました。原は，華族の爵位をもたず，軍人出身でもない初めての首相でした。

←p.159

原内閣は，外務・陸軍・海軍の３大臣以外の閣僚をすべて，衆議院の第一党である立憲政友会の党員が占める本格的な**政党内閣**で，選挙権を拡張する[3]など，政党政治を強く推し進めました。

p.207→



7 原敬
藩閥とは縁のない盛岡藩（岩手県）出身で，「平民宰相」として国民の期待を集めました。

3 1919年に選挙法を改正し，選挙権の資格に必要な直接国税（←p.169）の納税額を，10円以上から３円以上に引き下げました。

ふりかえる

ステップ1 原内閣と，それ以前の内閣との違いを確かめよう。

ステップ2 大正時代に政党政治が発展していった背景を，「藩閥，護憲運動，デモクラシー」の用語を使って説明しよう。





日本では，どのようにして普通選挙が実現したのかな。



1 第1回普通選挙のポスター（上）と，投票所に並ぶ人々（東京） 1928年に行われた衆議院議員選挙の様子です。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

7 デモクラシーのうねり ▶社会運動の高まりと普通選挙

学習課題 第一次世界大戦ののち，日本の社会ではどのような変化が生まれたのでしょうか。



2 「龍の鳥を救へ」 1927年，紡績工場で働く女工たちが，労働条件の改善を求めてストライキを起こしました。

❶ 私有財産制度や君主制の廃止，8時間労働制などを主張して活動しました。



3 労働争議と小作争議の発生件数（『日本経済統計集』）

社会運動の高まり

第一次世界大戦が終わると，日本の貿易は再び輸入が輸出を上回り，景気が悪化しました。戦後恐慌とよばれる経済不況のなか，ロシア革命（←p.196）や米騒動などの影響も受けて，社会運動が活発になりました。

労働組合の指導によって，賃上げや労働時間の短縮を要求する労働争議（←p.186）が頻発し，1920（大正9）年には日本で最初のメーデーが行われました。社会主義者の活動も活発になり，1922年に日本共産党がひそかに結成されました❶。農村では，地主に対して小作料の引き下げや耕作の権利を要求する**小作争議**が盛んになり，1922年に日本農民組合が結成されました。

女性を社会的な差別から解放し，その地位を高めようとする運動は，明治時代の末から（←p.169）**平塚らいてう**らが進めていました。大戦後には，市川房枝らによって，女性の参政権の獲得を目ざす運動も起こりました。また，厳しい部落差別に苦しんでいた人々は，1922年に**全国水平社**を設立し，差別からの解放と自由・平等を求める運動を進めました。北海道では，アイヌの人たちを差別から解放しようとする運動が始まり，1930年に北海道アイヌ協会が設立されました。

普通選挙と治安維持法

1920年代に入ると，出身・身分・財産・納税額などで選挙権を制限しない，普通選挙の



4 平塚らいてう　女性だけで編集した，女性のための雑誌『青鞜』を発刊しました。



5 全国水平社の演説会で，差別との闘いを訴える山田孝野次郎（1924年　大阪市）

『青鞜』の宣言（一部）

元始，女性は実に太陽であった。真正の人であった。今，女性は月である。他によって生き，他の光によって輝く，病人のようなあお白い顔の月である。……わたくしどもは，隠されてしまったわが太陽を今や取りもどさなければならぬ。もはや女性は月ではない。

読み解こう

❶『青鞜』の宣言で，女性が月にたとえられているのは，なぜだろう。

❷水平社宣言が，フランスの人権宣言（←p.135）になぞらえて「日本の人権宣言」といわれるわけを考えてみよう。

水平社宣言（一部）

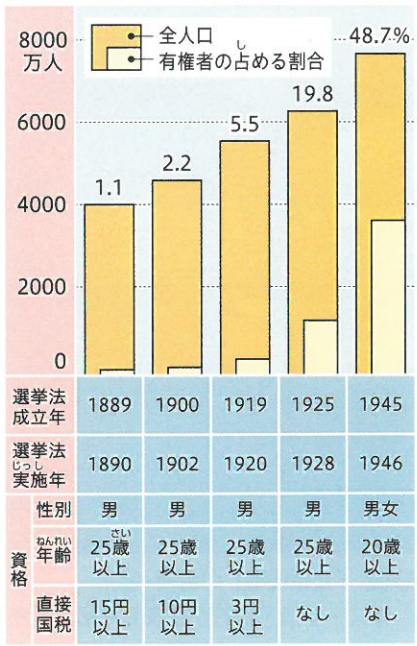
吾々は，かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行為によって，祖先を辱め，人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが，何んなに冷たいか，人間を勦る事が何んであるかをよく知っている吾々は，心から人生の熱と光を願求礼讃するものである。

水平社は，かくして生れた。

人の世に熱あれ，人間に光りあれ。

実現を目ざす普選運動が活発になりました。1924年，政党から閣僚を入れず，貴族院を中心に組閣した内閣が成立すると，第二次護憲運動が起こり，護憲派の政党の連立によって加藤高明内閣がつくられました。こののち1932年まで，衆議院の二大政党の総裁が交代で組閣する，政党内閣の時代が続きました。1925年，加藤内閣のもとで**普通選挙法**が成立し，満25歳以上のすべての男子に衆議院議員の選挙権が与えられました。1 6 p.218➡

一方で政府は，天皇中心の国のあり方を変革したり，私有財産制度を否定したりする運動を取りしまるため，同じ年に**治安維持法**を制定しました。これにより，社会主義運動はおさえられ，やがて社会運動全体も制約を受けるようになりました。



選挙法成立年		1889	1900	1919	1925	1945
選挙法実施年		1890	1902	1920	1928	1946
資格	性別	男	男	男	男	男女
	年齢	25歳以上	25歳以上	25歳以上	25歳以上	20歳以上
	直接国税	15円以上	10円以上	3円以上	なし	なし

6 有権者数の移り変わり

協調外交

大戦後，戦争の再発を防ぐさまざまな努力がなされるなか，国際連盟の常任理事国となった日本は，アメリカ・イギリスなどとの国際協調を重視する外交を進めました。政府は，中国への武力行使を抑制する政策をとり，陸軍や海軍の軍縮もあい次いで行いました。 ←p.200 ←p.201

このように，大正時代を中心として，政治や社会に広まった民主主義の風潮や動きを，**大正デモクラシー**といいます。

ふりかえる

ステップ1 第一次世界大戦ののち，日本では，どのような社会運動が起こったか確かめよう。

ステップ2 普通選挙法の成立と同じ年に，治安維持法が制定されたわけを説明しよう。







1 大正・昭和初期の東京駅前の様子(上)と，2 市電に乗務する女性の車掌

世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

8 モボ・モガの登場 ▶都市の発展と大衆文化

学習課題 大正時代には，どのような生活や文化が広まったのでしょうか。



3 「文化住宅」の台所(復元)
ガス・水道・電灯が普及し始め，台所には，立ったまま調理ができる，立ち流しが備えられました。

都市の生活

大正時代には，工場労働者や，役所・会社に勤める給与生活者(サラリーマン)が増えたことで，都市の人口が急増しました。タイピストやバスの車掌[2]，電話交換手などの職業に就く女性も増え，「職業婦人」とよばれました。東京や大阪などの大都市では，住宅地が郊外に広がり，都心と鉄道で結ばれました。市内の交通は，市電やバス・タクシー[1]が中心となり，東京では地下鉄も開通しました。

都市化にともなって，衣食住の生活様式も西洋化が進みました。男性に続いて女性にも洋服が普及し，トンカツやカレーライスといった洋食や洋菓子[1]も広まりました。郊外には，洋間を設けた「文化住宅」が建てられました[3]。こうした変化は，少しずつ農村へも及んでいきました。

文化の大衆化

大正時代になると，中学校・高等学校・大学などが増設されました。進学率が高まり，「インテリ[2]」とよばれた知識層が拡大するなかで，各種のメディアが発達し，文化は大衆の間に広まっていきました。

新聞は，戦争や災害などの報道を通じて，急速に発行部数を伸ばしました[3]。総合雑誌や女性・子ども向けの雑誌が次々と発

1 大正の末から昭和の初めにかけて，キャラメルやミルクチョコレート，ドロップなどがあい次いで発売されました。
2 ロシア語で知識層を意味するインテリゲンチアの略語です。
3 1日に100万部以上を発行する有力紙も現れました。



4 家庭に普及したラジオ　1931年には，聴取者が100万人をこえました。



5 大正時代に発行された雑誌

行され[5]，文庫本や1冊1円の文学全集も盛んに出版されました。1925(大正14)年にラジオ放送が始まる[4]と，国内外のできごとがすぐに全国に伝えられるようになりました。また，大衆の娯楽として，映画や歌謡曲，野球などのスポーツが人気を集めました。映画やジャズなどの音楽を通じて，アメリカの大衆文化も流入し，「モダン(近代)」という言葉が流行しました[4]。

新しい学問と文学・芸術

学問や文学・芸術にも，新たな傾向が表れました。西洋と東洋の哲学の融合を試みて『善の研究』を著した西田幾多郎や，庶民の生活や伝承を研究し，民俗学を提唱した柳田国男など，独創的な研究者が現れました。

文学では，人道主義の理想をかかげる志賀直哉らの白樺派をはじめ，谷崎潤一郎や芥川龍之介[6]などの作品が，人々に親しまれました。労働者や農民の立場で社会問題を描く，小林多喜二[6]らのプロレタリア文学も生まれました。また美術では，洋画の岸田劉生，音楽では，洋楽の山田耕筰らが活躍しました。

4 洋装でおしゃれをした男女の若者たちは，当時，モボ(モダンボーイ)・モガ(モダンガール)とよばれました。



6 芥川龍之介(左)と，小林多喜二(右)

ふりかえる

ステップ1 大正時代に発達・普及したメディアをあげよう。

ステップ2 大正時代の生活や文化の特色について，明治時代との違いをあげながら説明しよう。

歴史の窓　関東大震災

1923年9月1日，関東地方を大地震が襲い，東京・横浜をはじめ，関東一円は地震と火災による大きな被害を受けました。被災した家屋は約37万戸，死者・行方不明者は10万人以上に達しました。混乱のなかで，「朝鮮人が暴動を起こす」などの流言が広がり，住民の組織した自警団や警察・軍隊によって，多くの朝鮮人や中国人が殺害される事件が起こりました。また，社会主義者や労働運動家のなかにも，殺害された人がいました。関東大震災からの復興の過程で，鉄筋コンクリート造りの建物が増えるなど，首都・東京の景観は大きく変わっていきました(p.230→)。



関東大震災直後の東京・日比谷

郷土の歴史を探ろう ④

大正・昭和初期の面影を訪ねて

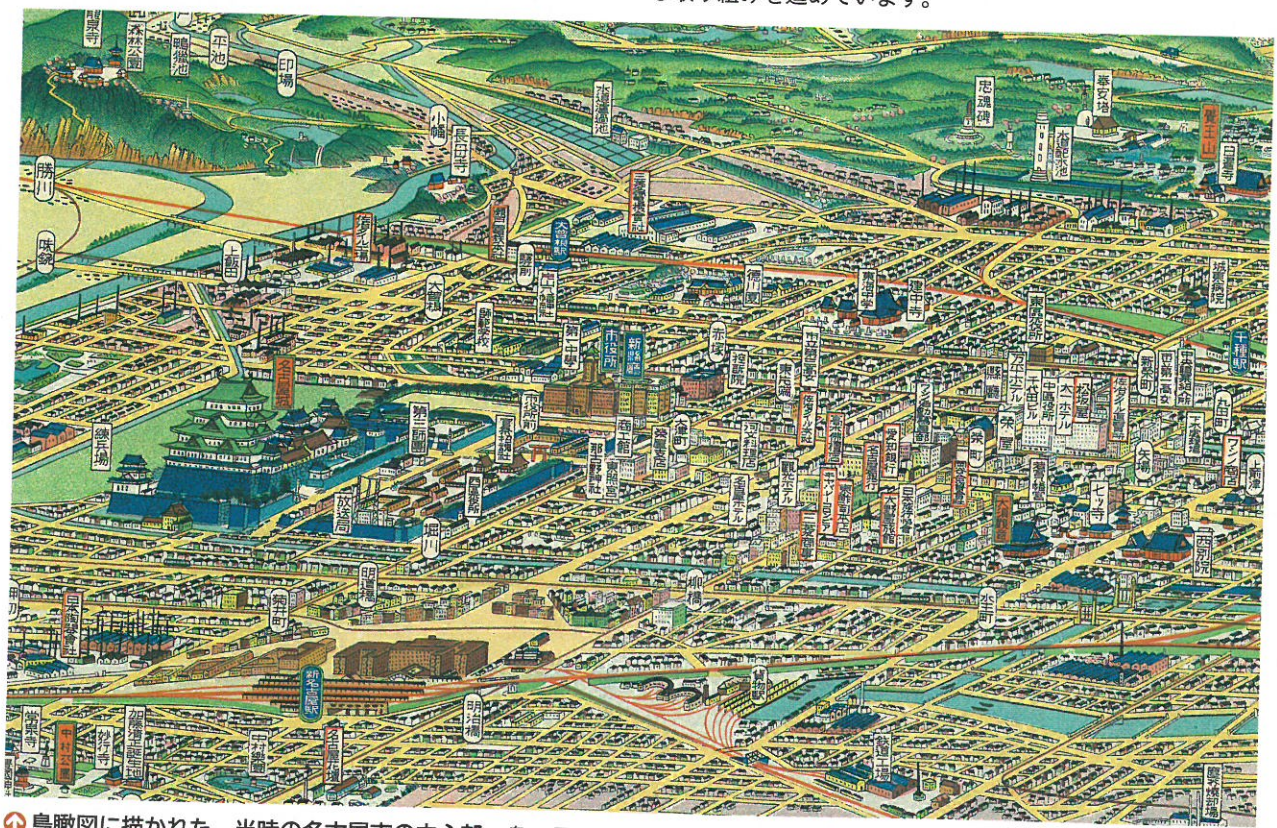
愛知県名古屋市に住むけんたさんは，昭和の初めごろに描かれた，市の鳥瞰図を見つけました。そこには，ふだん見かける建物や町並みも描かれていて，比べてみるとさまざまな発見がありました。各地の都市で計画的なまちづくりが進められた，大正から昭和初期のころ。その面影を探しに，地域を歩いてみましょう。



れんが造りの市政資料館　1922(大正11)年に建てられた，旧名古屋控訴院(裁判所)の庁舎です。



「文化のみち」の案内板　名古屋市では，近代化の歩みを伝える建物や町並みを保存し，現在のまちづくりにも活用する取り組みを進めています。



鳥瞰図に描かれた，当時の名古屋市の中心部　鳥の目でながめたような絵の構図から，鳥瞰図とよばれています。

ポイント　調査したことを整理してまとめよう

これまでに集めた資料や，調査したことを整理して，発表の準備をしましょう。日本の歴史の大きな流れを意識しながら，右の「地域調査の手引き」を参考に，わかりやすい発表作品をつくりましょう。

地域調査の手引き④

◆資料を整理するときは

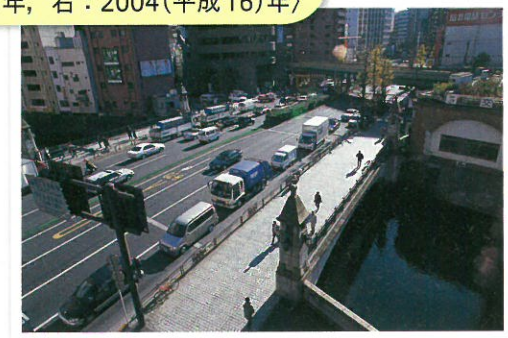
集めた資料や調査した結果から，事実としてわかったことや，考えられること，わからなかったことを区別しましょう。

◆発表作品にまとめるときは

地図や写真を利用し，現在との違いや，移り変わりがわかりやすい作品に工夫しましょう。

万世橋の移り変わり（東京都千代田区）
〈左：1930（昭和５）年，右：2004（平成16）年〉





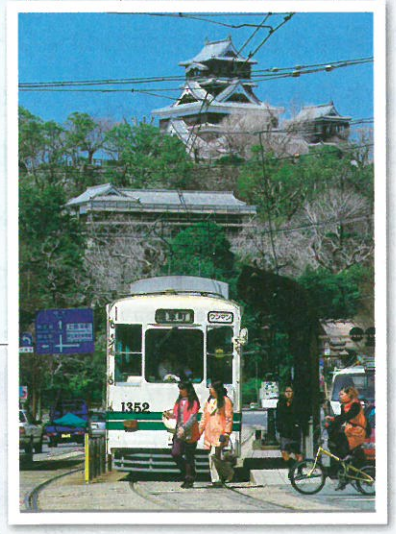
（『東京市電名所図絵』より）

列島探検～北から南から





鉄道の開通や，駅の歴史を調べてみる方法もあります。



路面電車（熊本県熊本市）

重文



赤れんが郷土館（秋田県秋田市）

もとは，銀行の建物でした。
このころは，震災に強いという理由もあって，れんが造りの建物が多くつくられたそうよ。



3 恐慌から戦争へ



1 1920年代のニューヨーク
立ち並ぶ高層ビル群は，アメリカの繁栄の象徴とされました。



2 パンの配給を求めて並ぶ失業者たち
（1930年　アメリカ）



世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

9 独裁者の出現 ▶世界恐慌とファシズムの台頭

学習課題　世界恐慌によって，各国の政治や社会はどのような影響を受けたのでしょうか。

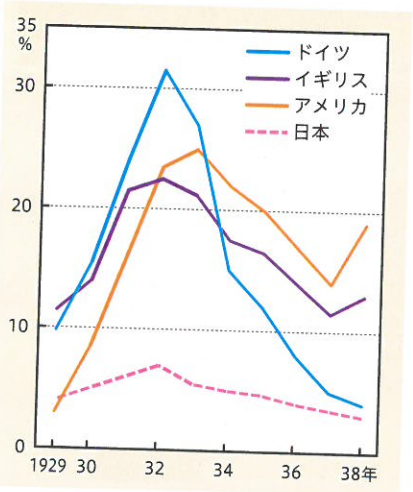
アメリカの繁栄と世界恐慌

第一次世界大戦中，アメリカ合衆国は，連合国に軍需品や資金を提供して，大きな利益を得ました。戦後には世界一の経済大国に躍進し，国際経済の中心として繁栄しました[1]。国民の生活も，自動車の普及や映画などの大衆文化の発展に支えられて，豊かになりました。

ところが，1929(昭和４)年，ニューヨークの株式市場で株価の暴落が起こると，アメリカの景気は急速に悪化しました。工業製品や農産物が売れなくなり，多くの企業や銀行が倒産して，失業者があふれました[2]。この不景気は，ヨーロッパをはじめ世界中に広がった[4]ことから，**世界恐慌**とよばれました。



3 フランクリン＝ローズベルト
ラジオを通じて，直接国民に新しい政策を訴えかけました。

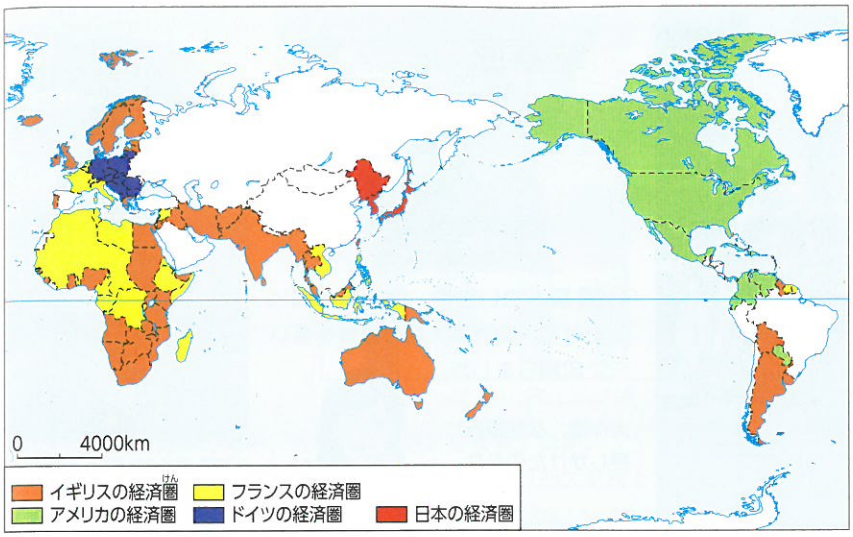


4 主な国の失業率の移り変わり

恐慌への対策

アメリカでは，1933年，ローズベルト大統領[3]が**ニューディール**(新規まき直し)政策をかかげ，景気の回復を図りました。ダム建設などの公共事業をおこして失業者を助け，労働者の権利を保護するなど，政府が積極的な不況対策を実行しました。

イギリスは，本国と多くの植民地との貿易を拡大しながら，他国の商品をしめ出す経済圏(ブロック)をつくり，恐慌を乗り切ろうとしました。このような政策を**ブロック経済**[5]といい，フ



5 ブロック経済(1929～39年)

ランスも同じような政策をとりました。これにより，自由な貿易は難しくなり，貿易に頼る国々の経済が苦しくなりました。

ファシズムの台頭

ドイツでは，恐慌の影響で国内の政治や経済が混乱すると，民主主義を否定し，ドイツ人の優秀性を唱えるナチ党←p.201が勢力を伸ばしました。ナチ党は，1933年に指導者のヒトラー[6]が首相になると，他の政党を解散させて，独裁体制をつくり上げました。ヒトラーは，国民の言論・思想の自由をうばい，人種差別思想を唱えてユダヤ人などを迫害しましたが，軍備の拡張によって景気を回復させたので，p.223→多くの国民はヒトラーを支持しました[6]。また，イタリアでは，大戦後の混乱から，1922年にムッソリーニの率いるファシスト党が政権につき，独裁政治を行っていました。恐慌の影響で経済が行きづまると，エチオピアを侵略して併合しました。

このように，民主主義や基本的人権を否定し，軍事力で領土を拡大しようとする独裁政治を，**ファシズム**といいます。

ソ連の計画経済

ソ連では，レーニンの死後，スターリンが独裁体制を築き，←p.196工業化や農業の集団化による社会主義政策を進めていました。「五か年計画」とよばれる計画経済によって，恐慌の影響は受けませんでしたが，強引な政策に反対したり，スターリンを批判したとみなされたりした人々が，多数弾圧されました。

●ヒトラーの言葉

「大衆は，感情と本能のかたまりである。だから知的にではなく，一方的で，厚かましい宣伝を強調しなければならない。われわれは議会に反対し，(　　)にではなく，(　　)だけに従う運動である。」

●ムッソリーニの言葉

「ファシズムにとって，国家がすべてである。個人はその中だけで存在し，国家の要求に従わなければならない。ファシズムは，民主主義や1789年の【　　】革命の理念に反対する。」

読み解こう

❶(　　)の中には，「指導者，多数決」のどちらの言葉が入るか考えてみよう。

❷【　　】の中にあてはまる言葉はなんだろう。

❸二人の言葉に共通する考え方は，なんだろう。



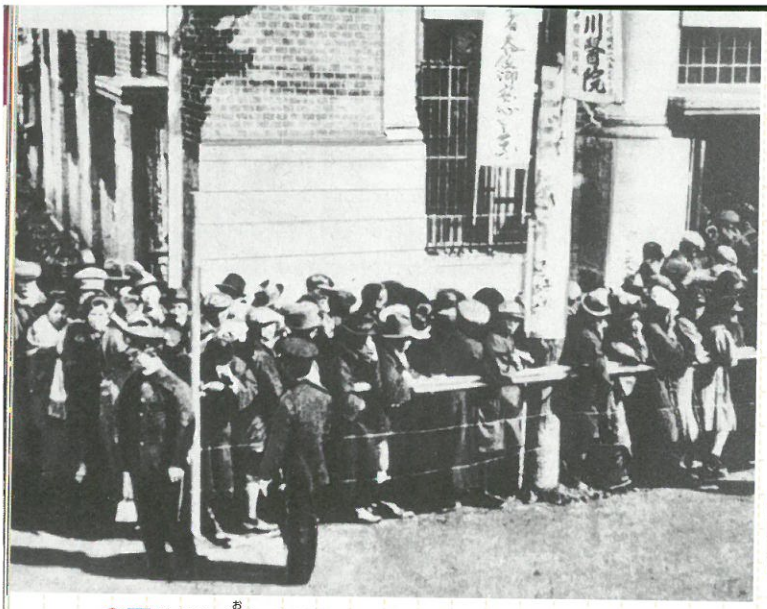
6 集会で握手にこたえるヒトラー

ナチ党(国民社会主義ドイツ労働者党)は，集会やポスターなどで宣伝を行い，大衆をひきつけました。

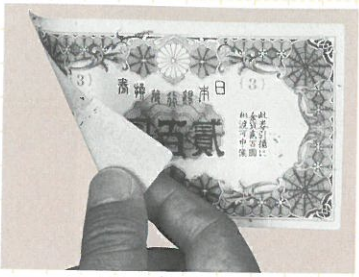
ふりかえる

ステップ 1 世界恐慌後の各国の動きを，三つのグループに分けてまとめよう。

ステップ 2 ファシズムが台頭してきた背景や，ファシズムを人々が支持したわけを説明しよう。



1 銀行に押しかけた人々（1927年　東京）



2 裏が白い紙幣　銀行の再開に向けて，政府は大量の紙幣を急いで印刷しました。



3 駅前で職を探す失業者



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

10 日本を襲う不景気 ▶経済と外交の行きづまり

学習課題　世界恐慌は，日本にどのような影響をもたらしたのでしょうか。

経済の混乱

第一次世界大戦後から続いていた日本経済の不景気は，関東大震災（←p.209, 230→）による打撃も受けて，いっそう深刻になりました。1920年代の後半には，中小銀行が不良債権[1]を抱えて経営に行きづまり，預金の引き出しで倒産に追い込まれる銀行があい次ぎました[1][2]（金融恐慌）。

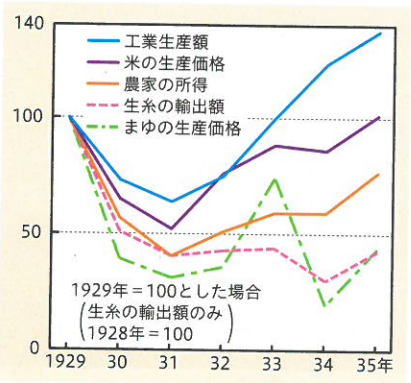
さらに世界恐慌が起こると，都市では多くの企業が倒産し，失業者があふれました[3]。農村では農産物が値下がりしたほか，アメリカへの生糸の輸出も減ったため[4]，特に養蚕農家が大きな打撃を受けました。また，冷害で大凶作に見まわれた北海道や東北地方などでは，借金のための「娘の身売り」や，学校に弁当を持参できない「欠食児童」が社会問題となりました。

国民の不満

こうしたなか，都市では，賃金の切り下げや解雇に反対する労働争議が頻発し[5]，農村でも小作争議が激しくなりました。政府は，治安維持法（←p.207）を改めて最高刑を死刑とし，社会運動の取りしまりを強化しました。

一方で，三井・三菱などの大銀行は，中小銀行を合併し，財閥の中核（←p.199）としてますます大きな力をふるうようになりました[6]。財閥は，政党政治家と選挙資金などを通じて強く結びつき，汚

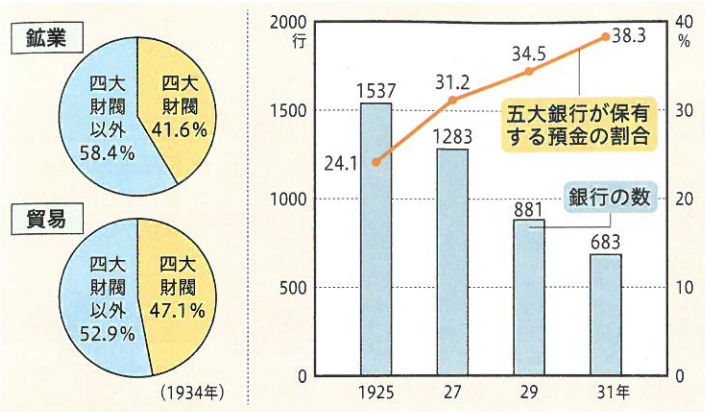
1 企業などに貸し出した資金のうち，返済される見こみがないもの。



4 恐慌期の日本経済の移り変わり（『近現代日本経済史要覧』）



5 市電のストライキ突入で，炊き出しをする女性の車掌たち



6 財閥への資本の集中(『近現代日本経済史要覧』ほか)
四大財閥(三井・三菱・住友・安田)や，五大銀行(四大財閥と第一)が，産業・銀行での支配的な地位を占めていました。


るせ發突に外驛天奉朝昨
景光の難遭氏霖作張
送輸中空の號風初社本—影撮員派特内宮
車列別特の行一氏霖作張るあ、つえ燃にん盛し起を災火に共と破爆大(上)
車寶貴るれ乘の氏霖作張たつなと妻るな殘無てれさば飛しけを根屋(下)
【ぜせ發再に紙本は外號本】

7 張作霖の列車の爆破事件を報じる新聞(1928年)

職もしばしば行われたため，国民の間には，政党政治や財閥に対する不満と不信が広まっていきました。

中国統一の動き

そのころ中国では，蔣介石の率いる国民政府軍が，共産党をおさえて各地の軍閥を倒し，国内の統一を進めていました。そして，民族運動の高まりを背景に，これまで日本や欧米列強に認めてきたさまざまな権益を取りもどそうとしました。←p.203

1927(昭和2)年，国民政府軍が南京で外国の領事館などを襲撃すると，イギリスとアメリカは武力で報復をしましたが，政党内閣のもとで協調外交を進める日本は加わりませんでした。←p.207 これに対し，日本国内では，軍部や国家主義団体などの間から，政府の外交政策は軟弱であると非難する声があがりました。

協調外交の行きづまり

国民政府軍の勢力が北京に近づくと，日本政府はこれを阻止しようとして，山東省に出兵しました。また，満州(中国の東北部)では，現地の日本軍(関東軍)が，軍閥の指導者の張作霖を爆殺する事件を起こし[7]，満州占領のきっかけにしようとしましたが失敗しました。

その後，日本政府は，ロンドン海軍軍縮条約に調印し，アメリカやイギリスとの協調に努めました。しかし，海軍の一部や国家主義団体が激しく反対し，浜口雄幸首相が狙撃を受けて退陣に追い込まれる[8]など，協調外交は行きづまっていきました。

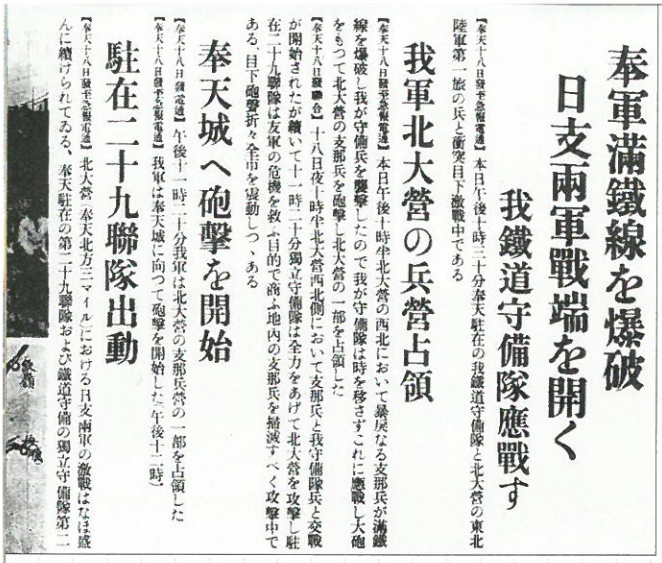


8 狙撃された直後の浜口首相
(1930年　東京駅)　海軍軍縮条約への調印が，天皇の権限を侵すものとして反発した青年に狙撃され，重傷を負いました。中央で，両側から抱き抱えられているのが首相です。

ふりかえる

ステップ1 経済の混乱によって，日本では，どのような問題が起こったか確かめよう。

ステップ2 1930年ごろ，国民の不満や，日本政府への非難が高まったわけを説明しよう。



奉軍滿鐵線を爆破
日支兩軍戰端を開く
我鐵道守備隊應戰す

【奉天十八日發至急報電通】本日午後十時三十分奉天駐在の我鐵道守備隊と北大營の東北陸軍第一旅の兵と衝突目下激戰中である

我軍北大營の兵營占領

【奉天十八日發至急報電通】本日午後十時半北大營の西北において暴戾なる支那兵が滿鐵線を爆破し我が守備兵を襲撃したので我が守備隊は時を移さずこれに應戰し大砲をもつて北大營の支那兵を砲撃し北大營の一部を占領した

【奉天十八日發電通】十八日夜十時半北大營西北側において支那兵と我守備隊兵と交戰が開始されたが續いて十一時二十分獨立守備隊は全力をあげて北大營を攻撃し駐在二十九聯隊は友軍の危機を救ふ目的で商埠地内の支那兵を撃滅すべく攻撃中である、目下砲聲折々全市を震動しつゝある

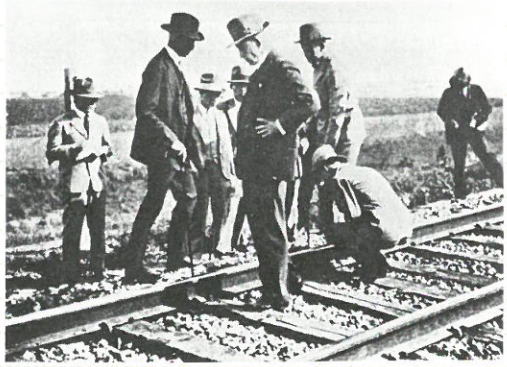
奉天城へ砲撃を開始

【奉天十八日發電通】午後十一時二十分我軍は北大營の支那兵營の一部を占領した

【奉天十八日發至急報電通】我軍は奉天城に向つて砲撃を開始した（午後十二時）

駐在二十九聯隊出動

【奉天十八日發至急報電通】北大營、奉天北方三マイルにおける日支兩軍の激戰はなほ盛んに續けられてゐる、奉天駐在の第二十九聯隊および鐵道守備の獨立守備隊第二





1 満州事変を報じる新聞（左：1931年9月19日）と，2 爆破地点を調査する国際連盟の調査団（上：1932年）

世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

11 満州は日本の生命線 ▶満州事変から国際連盟脱退へ

学習課題 満州事変によって，国際社会での日本の立場は，どのように変わっていったのでしょうか。

満州事変

中国が国民政府によってほぼ統一されると，南満州鉄道などの日本の権益が集中する満州にも影響が及ぶようになりました。←p.181 日本国内では，「満州は日本の生命線である」として，武力を用いてでも日本の権益を守り，さらにそれを広げようとする主張が高まりました。1

1931（昭和6）年9月18日，満州に駐留していた日本軍（関東軍）は，奉天（現在の瀋陽）付近の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し（柳条湖事件），これを中国側の仕業であるとして攻撃を始めました。1 日本政府は，戦線をこれ以上広げないという方針を表明しましたが，日本軍はこれを無視して軍事行動を拡大し，約半年のうちに満州の大部分を占領しました（**満州事変**）。

続いて日本軍は，清の最後の皇帝だった溥儀を元首とする「**満州国**」3をつくらせ，多数の日本人が政府の重要な役職に就くなど，その実権を日本が握りました。5 7 満州国には，恐慌で生活に苦しむ数十万人の農民が，日本から集団で移住しました。4 6

国際連盟脱退

満州事変が起こると，日本国内では，多くの新聞が日本軍の行動を支持する記事をかかげ，より強い姿勢で中国との外交に臨むよう，政府に求める世論が高まりました。一方，中国は，こうした動きを日本の侵略であ

1 一方で，第二次世界大戦後に首相となった石橋湛山は，「満州を日本の領土にすれば，中国の全国民，ひいては世界列国を敵に回すことになる。この取り引きに利益があるとは考えられない。」と主張しました。



3 溥儀の「満州国」執政就任式
中央で座っているのが溥儀です。



4 満州での開拓の様子



読み解こう

❶「満州国」の建国ポスターで日本が主張したのは，どのようなことだろう。
❷清の皇帝を元首としたのは，なぜだろう。
❸少年たちが「義勇軍」とよばれたのは，なぜだろう。

5「満州国」の建国ポスター　並んで描かれている人々は，右から順に，日本・モンゴル・満州・朝鮮・中国(漢民族)の五つの民族です。



6 満蒙開拓青少年義勇軍を募集するポスター(1942年につくられたもの)
満州への移民の確保が難しくなると，少年たちを義勇軍として募集しました。



7 満州国の範囲



8 国際連盟総会での勧告の可決を報じる新聞(1933年2月)　国際連盟の勧告は，「賛成42，反対1，棄権1」で可決されました。日本の代表松岡洋右は，その決議に抗議して退場しました。

るとして，国際連盟に訴えました。国際社会も，日本軍が満州の各地を次々に占領していったことから，日本に対して強い不信感をもつようになりました。←p.200

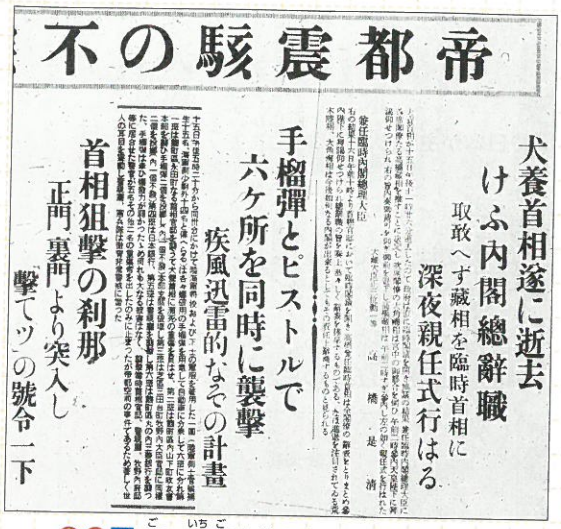
国際連盟は，イギリスなど5か国の代表者からなる調査団を現地に派遣して，実情を調査させました。[2] そして，その報告をもとに，1933年2月，「満州での日本の権益は認めるが，満州国は日本がつくらせたもので独立国と認められず，日本軍は占領地から撤兵するように。」という勧告を可決しました。[8] しかし，日本はこれを受け入れず，3月に国際連盟の脱退を通告しました。やがてドイツも国際連盟を脱退したため，国際紛争を調停するという国際連盟の役割は，弱まることになりました。←p.213

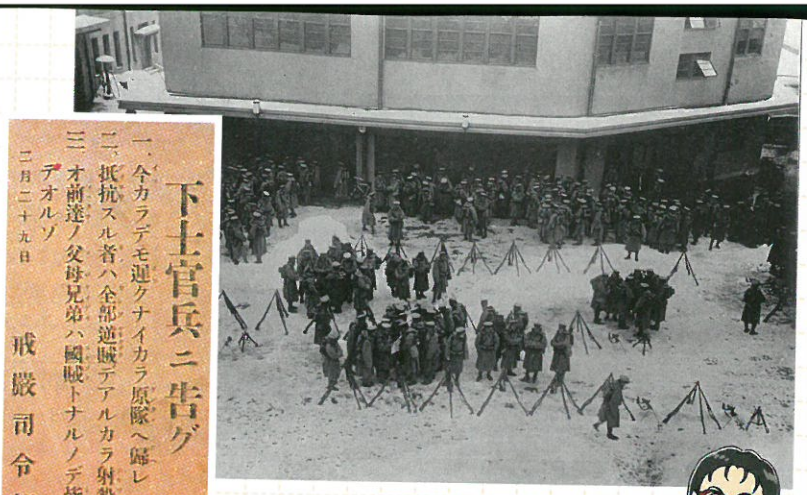
国際社会からの孤立

その後，日本は，アメリカ・イギリスなどと結んでいた軍縮条約の廃棄を通告し，海軍の軍縮会議からも脱退して，軍備の増強を始めました。こうして，日本は，しだいに国際社会から孤立していきました。←p.201

ふりかえる

ステップ1 日本が，国際社会から孤立していった原因を確かめよう。
ステップ2 国内で，日本軍の行動を支持する世論が高まったのはなぜか話し合おう。







1 五・一五事件を報じる新聞(左：1932年)と，2 二・二六事件で，東京の警視庁を占拠する反乱軍(右)に，投降を呼びかけるビラ(防衛研究所図書館蔵)

世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

12 「話せばわかる」 ▶軍国主義の高まりと日中戦争

学習課題 満州事変ののち，日本はどのような道を進んでいったのでしょうか。

政党政治の終わり

満州事変をきっかけに，日本国内では軍部への支持が高まり，国民は軍部による政治の革新に期待するようになりました。こうした風潮のなか，政党政治家や財閥の要人が暗殺される事件もあい次ぎました。

1932(昭和7)年5月15日には，海軍の青年将校らが首相官邸などを襲い，**3犬養毅**首相を射殺しました。[1] この**五・一五事件**によって，政党内閣の時代は終わりを告げました。←p.204 ←p.207

軍国主義の高まり

さらに1936年2月26日には，陸軍の青年将校らが約1400人の兵士を率いて反乱を起こし，大臣の斎藤実や高橋是清らを殺傷して，一時，東京の中心部を占拠するという事件が起こりました[2](**二・二六事件**)。反乱軍は，日本の行きづまりの原因は腐敗した政治家や財閥などにあるとし，これらを倒して天皇中心の新しい国をつくり，内外の危機を打ち破ろうと主張しました。この反乱は，まもなく軍隊によって鎮圧されましたが[2]，これ以後，軍部は政治への発言力をいっそう強めていきました。[4]

こうして，軍国主義の動きが国内で高まるなか，日本は，共産主義の勢力に対抗するという理由から，ファシズムを進める

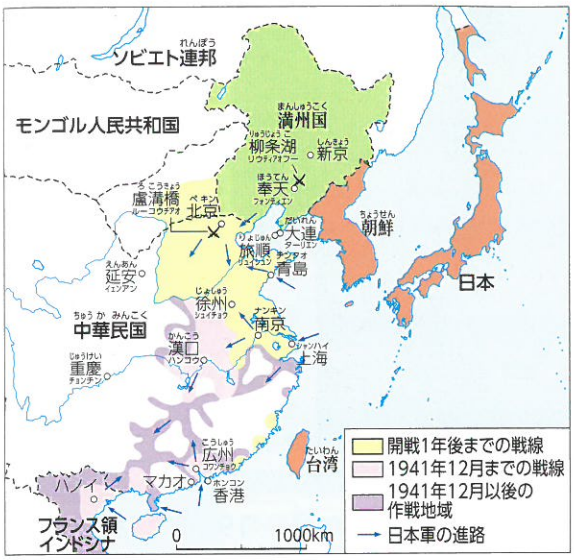
3 犬養毅



五・一五事件で襲撃してきた将校に，「話せばわかる」と語ったといわれています。犬養首相は，満州国の承認に反対していましたが，後継の斎藤実内閣は満州国を承認しました。



4 1930年代の政治の様子を描いた風刺画　議事堂と靴は，それぞれ何を表しているのでしょうか。





5 日中戦争の広がり(左)と，中国を進軍する日本兵

ドイツに接近し，1936年に日独防共協定を結びました。

←p.213

日中戦争の始まり

そのころ中国では，国民政府と，**毛沢東**の指導する中国共産党との間で内戦が続いていました。根拠地を延安に移した共産党は，国民政府に対し，協力して日本に抵抗することを呼びかけ，1936年，内戦は停止されました。そして，中国は，満州から中国北部へ勢力を拡大しようとする日本と，対立を深めるようになりました。

1937年7月，北京郊外の盧溝橋で，日本軍と中国軍の武力衝突(盧溝橋事件)が起こったのをきっかけに，**日中戦争**が始まりました。8月には上海にも戦闘が広がり，宣戦布告のないままに，日本軍は次々に兵力を増強して戦線を拡大しました。[5] 12月に占領した首都の南京[6]では，捕虜や住民を巻き込んで多数の死傷者を出しました。[1]

長期化する戦争

戦争が始まると，中国では，国民政府が共産党と抗日民族統一戦線を結成するとともに，首都を漢口，次いで重慶に移し，アメリカ・イギリス・ソ連などの援助も受けて日本軍と戦いました。その間，和平を実現しようとする動きもありましたが，近衛文麿内閣は，それを自ら打ち切ってしまいました。日本軍は，重慶を爆撃し，中国各地を占領しましたが，中国民衆のねばり強い抵抗により，戦争は泥沼のような長期戦となっていきました。



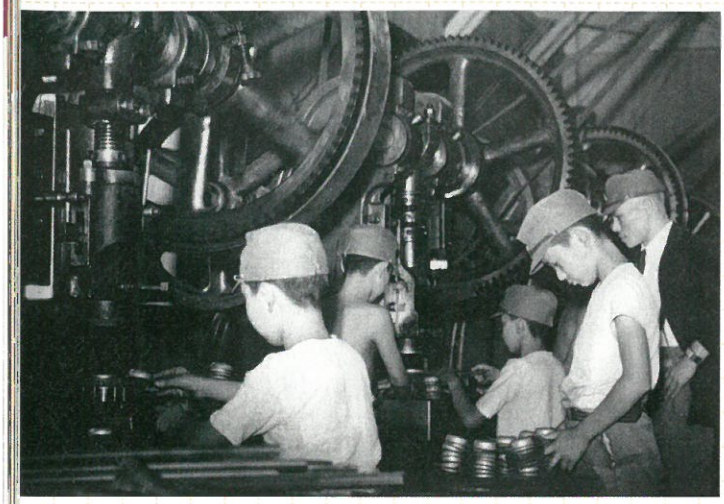
6 南京の占領を祝う東京の街の様子

1 このできごと(南京事件)は，戦後の極東国際軍事裁判(東京裁判)で明らかにされました。犠牲者の数などについては，さまざまな説があります。

ふりかえる

ステップ1 二・二六事件を起こした反乱軍は，どのような主張をしていたか確かめよう。

ステップ2 五・一五事件と二・二六事件の前後で，日本の政治や外交はどのように変わったか説明しよう。





1 軍需工場で働く中学生(左：名古屋市)と，2 プラカードを持って行進する女性たち(大阪市)

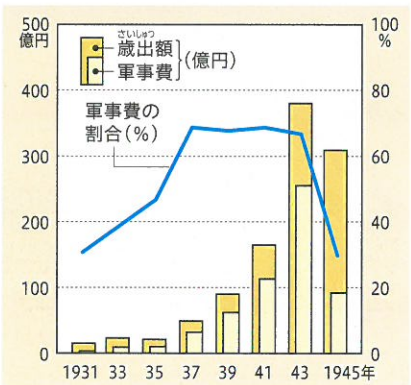


世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

⑬ ぜいたくは敵だ ▶戦時体制と国民生活の統制

学習課題 戦争によって，日本の国民や植民地の人々の生活は，どのように変わっていったのでしょうか。

1 憲法で定められた議会の立法権が大きな制約を受け，憲法が制定された当初の立憲主義の精神は失われました。



3 国の予算に占める軍事費の割合の移り変わり



4 隣組の消火訓練(1941年)
生活物資の配給なども，隣組を通じて行われました。

国家総動員法の成立

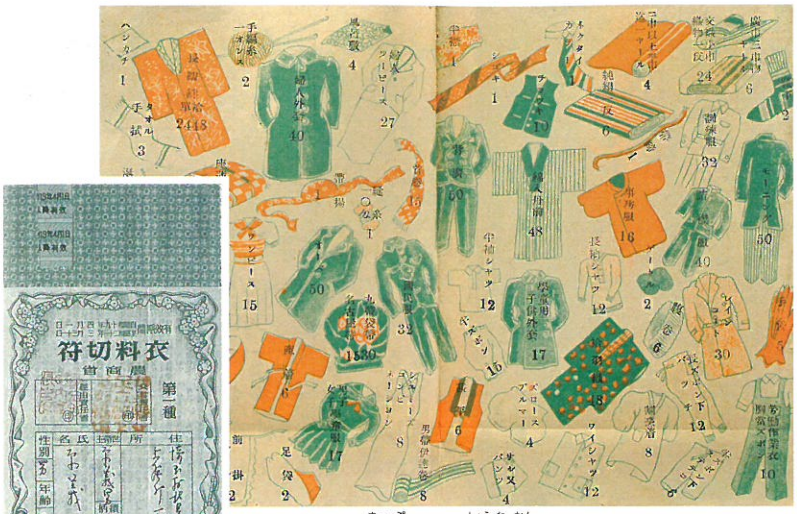
戦争が長引くなか，国内では，国の予算の大半が軍事費にあてられるようになり[3]，生活物資も不足し始めました。国民は，「国民精神総動員」のかけ声のもとで，節約によって物資の不足に耐え，戦争に協力しなければならないという風潮が強まっていきました。

1938(昭和13)年，軍部の強い要求により，政党や経済界の反対をおさえて，**国家総動員法**が制定されました。これによって政府は，議会の議決を経ず[1]に，戦争遂行のために必要な人や物資を動員できるようになりました。国民は，軍需品の工場などに動員されて働かされたり[1]，生活全体にわたって厳しい統制を受けたりしました。 ←p.185

強まる戦時体制

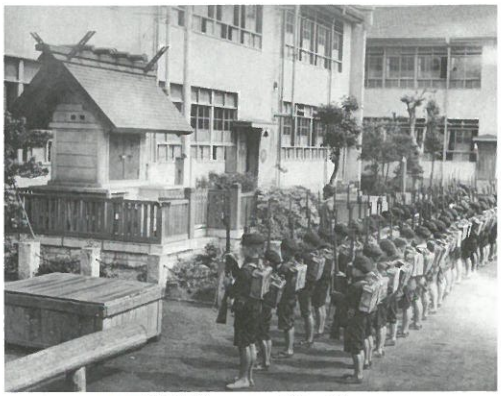
1939年にヨーロッパで戦争が始まり，ドイツが勝利を重ねると，日本でも，ナチ党のような強力な政治体制をつくろうとする動きが活発になりました。 p.222→ ←p.213

近衛内閣のもとで新体制運動が進められ，1940年には，ほとんどの政党や政治団体が解散して，**大政翼賛会**にまとめられました。大政翼賛会のもとには，さまざまな組織がつくられ，国民が組み込まれることになりました。特に，10戸ほどで構成された**隣組**は，住民どうしの助け合いを目的とする[4]一方で，政





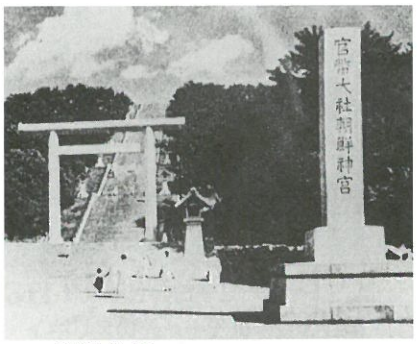
5 衣料切符(左：昭和館蔵)**と，衣料切符の早見表**
1年分で一人何点までと決められ，入手できる量が制限されました。



6 奉安殿への「捧げ銃」
(1942年　東京中目黒国民学校)



7 検閲を受けた写真　軍部にとって不利な写真や記事などには，「不許可」の印が押され，発表が禁止されました。



8 朝鮮神宮に参拝する朝鮮の人々

府の意向を一人一人にまで伝えたり，住民を互いに監視させたりする役割を果たしました。また，これまでの労働組合は解散させられ，経営者と労働者が戦争遂行のために協力し合うように，大日本産業報国会が結成されました。

国民生活の統制

新聞・雑誌・放送・映画などのメディアも政府の統制を受け，戦意を高めるために利用されました。従軍体験を記録した戦争文学が盛んになった一方で，戦争や軍部，政府を批判する思想や言論は，厳しく取りしまられるようになりました[7]。また，小学校は，1941年に国民学校と改称され，軍国主義を支える教育が進められました[6]。

←p.208, 209

国民生活では，米をはじめ，木炭・砂糖・衣料などの生活物資が配給制や切符制[5]となり，価格も統制されました。さらに，「ぜいたくは敵だ」という標語[2]のもとで，高価な洋服や宝石の指輪などの製造・販売は禁止になりました。

皇民化政策

日本政府は，植民地の朝鮮の人々に対しては，日本人に同化させる皇民化政策を強めました。日本語の使用や神社への参拝などが強制され，日本式の氏名を名のらせる創氏改名が推し進められました[8]。こうした政策は，台湾でも同じように進められました。

ふりかえる

ステップ1　国家総動員法の制定と，大政翼賛会の結成のそれぞれの目的を確かめよう。

ステップ2　戦時体制の下で，国民の生活がどのように変化したか説明しよう。

4 第二次世界大戦と日本の敗戦



1 居住区から連行されるユダヤ人（1943年　ポーランド）
ドイツは，占領したポーランドのワルシャワなどにせまい居住区をつくり，ユダヤ人を押し込めました。



2 アウシュビッツ強制収容所
（ポーランド）　入口には，「働けば自由になる」と書かれています。ここでは，毒ガスなどによって多くのユダヤ人が殺害されました。「人類が二度と繰り返してはならない負の遺産」として，世界遺産に登録されています。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

⑭ 枢軸国と連合国の戦い ▶ 第二次世界大戦の始まり

学習課題　ヨーロッパで再び戦争が起こったのは，なぜでしょうか。

第二次世界大戦の始まり

1930年代の後半になると，ファシズムや軍国主義（←p.213）による政治を進める国々と，民主主義（←p.218）を守ろうとする国々との対立が激しくなりました。日本・ドイツ・イタリアの三国は，国際協調を否定して国際連盟を脱退するとともに，1937(昭和12)年に三国防共協定（←p.217）を結びました[3]。これらの国は，後に枢軸国とよばれました。



3 三国防共協定の祝賀会

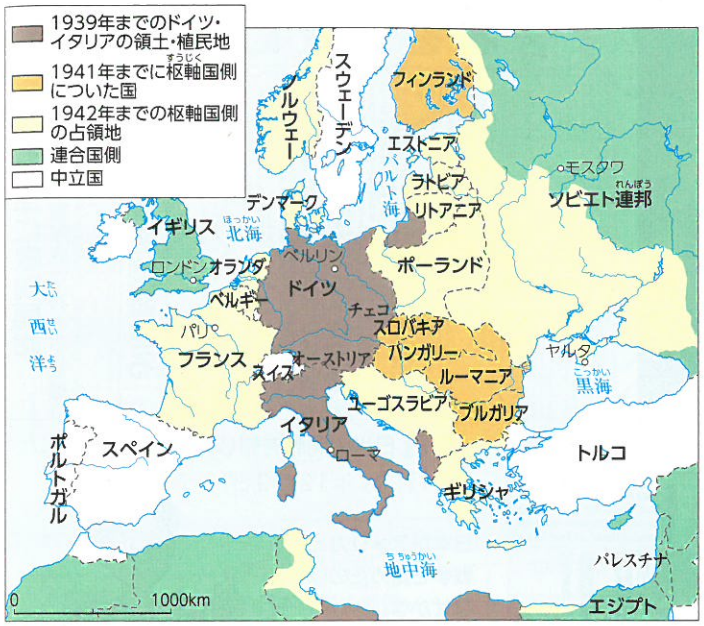
1938年，ヒトラーの率いるドイツは，軍事力を背景に，オーストリアや，チェコスロバキアの一部を併合しました。ドイツがポーランドの領土の一部まで要求すると，それまでドイツの拡大を認めていたイギリスとフランスは，方針を変えてポーランドの支援を表明しました。ドイツは，ソ連と不可侵条約を結び，1939年9月，ポーランドに侵入しました。イギリスとフランスはドイツに宣戦し，**第二次世界大戦**が始まりました。

ドイツの侵攻と抵抗運動

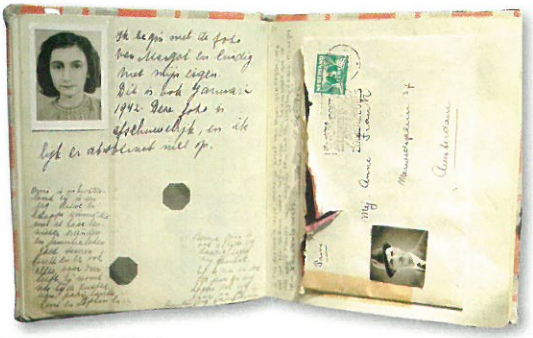
ポーランドを破ったドイツは，北ヨーロッパ諸国やオランダを占領し，フランスを降伏させて，バルカン半島に軍を進めました。イタリアもドイツについて参戦したため，戦場は北アフリカにも広がり，枢軸国側は，



4 ソ連に侵攻するドイツ軍



5 第二次世界大戦中のヨーロッパ





6 アンネ＝フランク(左)と，『アンネの日記』

ユダヤ人の少女アンネは，強制収容所に送られ，15歳で亡くなりました。ドイツ側に捕らえられるまでの，隠れ家での生活などを書きつづった日記を残しています(←巻頭1)。

イギリスをのぞくヨーロッパの大部分を支配するようになりました[5]。1941年には，ドイツが不可侵条約を破ってソ連に侵攻し，独ソ戦が始まりました[4]。

ドイツは，占領した国々から，戦争遂行に必要な資源や食料をうばったり，住民をドイツに連行して強制的に働かせたりしました。特に，ユダヤ人を敵視し，各地のユダヤ人をアウシュビッツなどの強制収容所に集めて[1][6]，数百万人の命をうばいました[2]。ドイツの過酷な支配に対する反発から，フランスなどの占領地では，ドイツ軍の作戦を妨害したり，迫害された人々を助けたりする**レジスタンス**とよばれる抵抗運動が起こりました。

大西洋憲章

このようなファシズム諸国の攻勢に対抗するため，1941年8月，中立の立場にあったアメリカのローズベルト大統領と，イギリスのチャーチル首相(←巻頭1)は大西洋上で会談し[7]，民主主義を守る，国際社会の新たな原則を発表しました。これは**大西洋憲章**とよばれ，「領土の拡大は行わないこと，領土の変更は住民の自由な意志に基づく場合に限ること，すべての国民は，恐怖や貧困におびやかされずに生きる権利があること」などを定めていました。この憲章は，枢軸国に反対する国々(連合国)の共通の目的になりました。



7 アメリカのローズベルト(左)とイギリスのチャーチル(右)の会談

ふりかえる

ステップ1 第二次世界大戦は，どのようにして始まったか確かめよう。

ステップ2 枢軸国と連合国のそれぞれのつながりや，両者の対立の関係を，図に表して説明しよう。



1 日本軍の真珠湾攻撃で炎上するアメリカの戦艦(上)と，真珠湾攻撃を報じるハワイの新聞

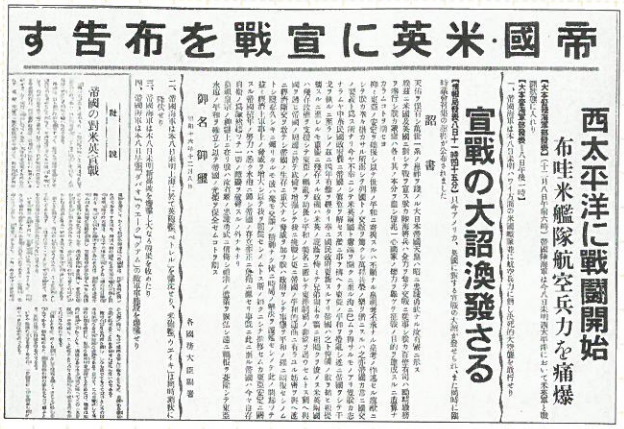

Honolulu Star-Bulletin 1st EXTRA

WAR!

OAHU BOMBED BY JAPANESE PLANES

SAN FRANCISCO, Dec. 7.– President Roosevelt announced this morning that Japanese planes had attacked Manila and Pearl Harbor.

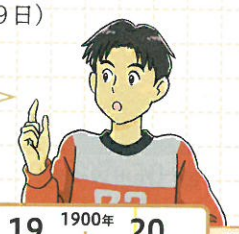
SIX KNOWN DEAD, 21 INJURED AT EMERGENCY HOSPITAL


西太平洋に戦闘開始

布哇米艦隊航空兵力を痛爆

宣戦の大詔渙発さる

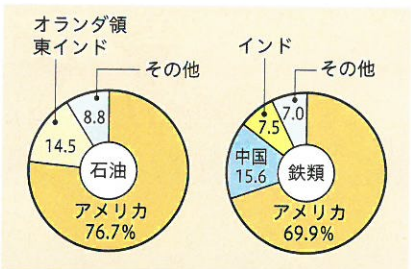
2 日米の開戦を報じる新聞
(1941年12月9日)



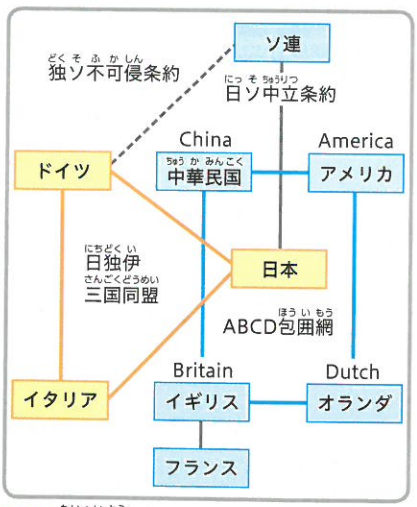
世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

15 米・英への宣戦布告 ▶太平洋戦争の始まり

学習課題 第二次世界大戦は，どのようにしてアジア・太平洋に広がっていったのでしょうか。



3 日本の資源の輸入先の割合
(1940年)



4 太平洋戦争中の国際関係

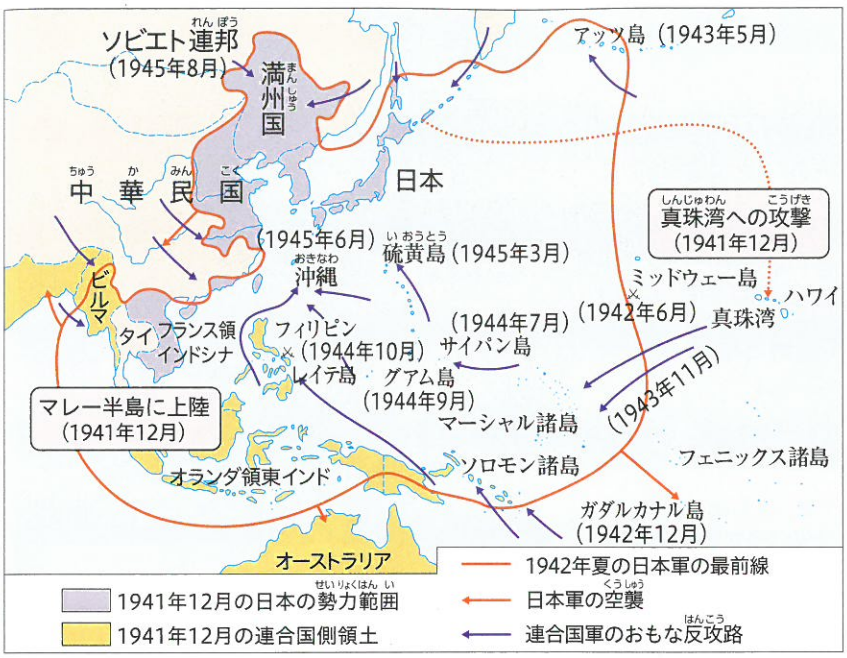
日本の南進と日米の対立

中国との戦争が長引いていた日本は，行きづまりを打開するため，1940(昭和15)年，フランス領インドシナ北部への侵攻を始めました。これは，中国を援助しているアメリカやイギリスの補給路を断ち，あわせて石油やゴムなどの資源を得ることをねらいとしていました[3]。

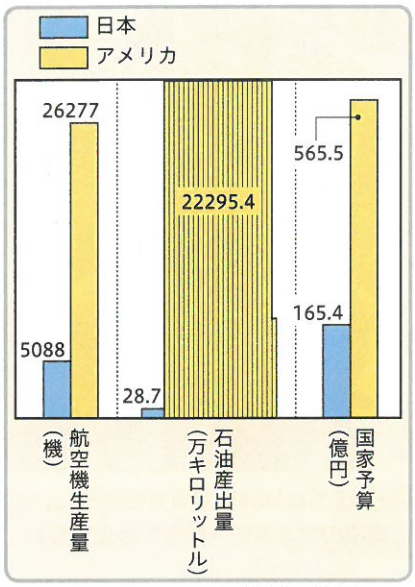
さらに日本は，三国防共協定のつながりを強めるとともに，アメリカの参戦をおさえるため，ドイツ・イタリアと**日独伊三国同盟**を結成しました。そして，アジアから欧米の勢力を追い出し，アジア民族だけで繁栄していこうとする「大東亜共栄圏」を提唱しました。翌年には，北方の安全を確保しながら南進を続けるため，ソ連と日ソ中立条約を結びました。

日本がインドシナ南部に侵攻すると，アメリカは日本への石油・鉄などの輸出を禁止し，イギリスやオランダも協力して，日本を経済的に孤立させようとしました[4]。国内では，この「ABCD包囲網」を打ち破るには早期の開戦しかない，という強硬論が高まりました。この緊張の解決のために日米交渉が続け

←p.219 ←p.219 ←p.222



5 太平洋戦争　戦場となった地域から，「アジア太平洋戦争」ともよばれています。オーストラリアも連合国として日本と戦いました。



6 日本とアメリカの国力の比較
(1941年)

られましたが，アメリカは，中国や東南アジアからの日本軍の撤兵を求めたことから，交渉はなかなかまとまりませんでした。

太平洋戦争の始まり

1941年10月，陸軍大臣の東条英機が首相になると，政府は戦争の準備を進め，昭和天皇が臨席する御前会議で開戦を決定しました。12月8日，陸軍はイギリス領のマレー半島に上陸し，海軍はハワイの真珠湾にあるアメリカ軍基地を奇襲攻撃しました[1][2]。そして，日本はアメリカ・イギリスに宣戦し，**太平洋戦争**[1]が始まりました。

開戦してまもなく，日本軍は，東南アジア各地や南太平洋の島々を次々に占領しました[5]。しかし，日米間の戦力の差は大きく[6]，1942年にはアメリカの反撃が始まり[5]，6月のミッドウェー海戦の敗北を境に，戦況はしだいに不利になっていきました。

日本の占領政策

長い間，欧米諸国の植民地とされてきたアジアの人々は，当初，日本軍に植民地解放を期待しました。しかし，占領地では，住民に厳しい労働をさせたり[7]，戦争に必要な資源や食料を取り立てたりしたほか，占領に反対する住民を弾圧することもありました。このため，日本軍に抵抗し，独立を目ざす運動が各地で強まっていきました。

←p.141, 172



7 鉄道建設に動員された占領地の人々
日本軍は，インドへの侵攻に向け，タイからビルマ(現在のミャンマー)への輸送路として鉄道を建設しました。

1 政府は，「大東亜共栄圏」を建設するための戦争であると主張し，この戦争を中国での戦争も含めて「大東亜戦争」とよびました。

ふりかえる

ステップ1 日本が，東南アジアにも侵攻した目的を確かめよう。

ステップ2 太平洋戦争が始まったことで，第二次世界大戦はどのような戦いになったか説明しよう。







「撃ちてし止まむ」とは，どのような意味かな。

1 竹槍訓練をする女性たち（上）と，陸軍のポスター「撃ちてし止まむ」

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

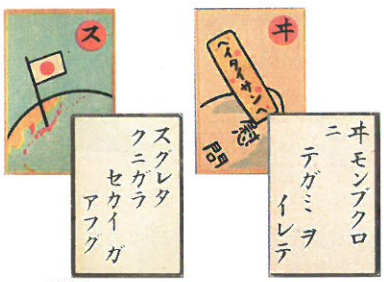
16 欲しがりません勝つまでは ▶戦況の悪化と国民生活

学習課題 悪化する戦況のなかで，国民や植民地の人々の生活はどのように変わっていったのでしょうか。



2 ミッドウェー海戦を報じる新聞（1942年6月11日）
実際には，アメリカ軍は航空母艦（空母）1隻と駆逐艦1隻を失い，日本軍は空母4隻と巡洋艦1隻を失いました。

1 学問・思想・芸術・娯楽などでも自由がなくなり，天皇を神とあがめるようになっていきました。



3 愛国イロハカルタ（1943年）
子どもたちの戦意を高めるために売り出されました。

お国のために

戦況が不利になっても，ほとんどの国民は真実の情報を知らされないまま[2]，「正しい戦争」と信じ，政府の政策[3]にすすんで協力しました[1]。戦争に批判的だったり，消極的だったりすると，「非国民」と非難されました[1]。

徴兵された兵士たちは，日本人は優秀な民族だと教えられたこともあり，中国や東南アジアの人々を見下し，軍の命令に従わないなどの理由で処罰することもありました。一方で，天皇の軍隊の一員として，生きて捕虜になることは恥であると教えられた兵士たちは，絶望的な戦況下でも戦うことを命じられ，太平洋の島々などでは，部隊が全滅することもありました。

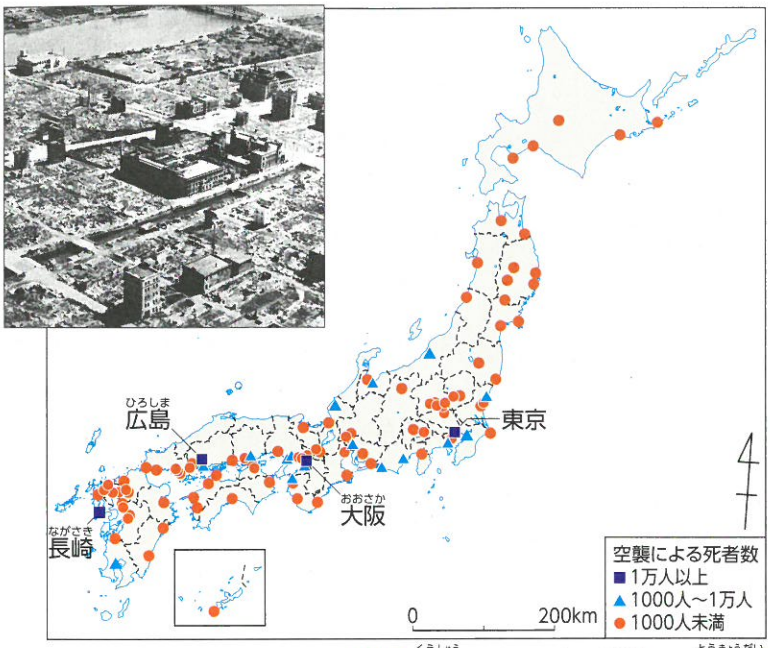
戦時下の国民生活

戦争が激しくなるにつれて，国民の生活はますます苦しくなりました。軍需品の生産が優先され，政府や軍部の注文を受ける一部の企業は大きな利益をあげましたが，生活物資は欠乏し，戦争末期にはすべての食料が配給制となりました。農村でも，農具や肥料が足りないうえ，徴兵で働き手が減ったために，食料は不足していきました。

また，工場や鉱山などでも，多くの労働者が戦地に召集されたために労働力が不足し，中学生や女学生までが動員されまし



4 学徒出陣壮行会(1943年　東京)



5 空襲を受けた主な地域と，東京大空襲の焼け跡(左上：1945年)
300機をこえるアメリカのB29爆撃機が来襲し，十数万といわれる爆弾が投下されました。

た(**勤労動員**)。さらに政府は，理科系や教員養成系以外の大学生・専門学校生に対しても，徴兵の猶予を停止し，多くの学生が学業半ばで戦場に送り出されました(**学徒出陣**)[4]。

国外からの動員

戦争が総力戦となるなか，日本国内ばかりでなく，植民地や占領地の人々も，労働力や兵力として動員されるようになりました。労働力の不足を補うために，多数の朝鮮人や中国人が日本の鉱山や工場に連れてこられ，低い賃金で厳しい労働を強いられました。また戦争末期になると，朝鮮や台湾では，志願兵制度が改められて徴兵制がしかれ，植民地の人々も「日本軍兵士」として戦場に送られました。多くの朝鮮人女性なども，工場などに送り出されました。

←p.195

空襲と疎開

1944(昭和19)年7月，日本を直接爆撃できる距離にあるサイパン島が，アメリカに占領されました。これ以後，日本の多くの都市や軍事施設が，激しい空襲にさらされるようになりました[5]。特に，1945年3月10日の東京大空襲では，一夜で約10万人が犠牲になり，約100万人の人々が焼け出されました[5]。空襲が激しくなると，都市部の小学生は親もとを離れ，地方の農村などに集団で疎開させられました(**学童疎開**)[6]。



6 疎開先で食事をとる子どもたち
この日の献立は，海草入りのおかゆと，小麦粉の団子汁などでした。

ふりかえる

ステップ1 戦争が長期化するなかで，国民や植民地の人々は，どのように戦争に動員されたか確かめよう。

ステップ2 太平洋戦争の開戦前とその後の国民生活で，大きく変化した点は何か説明しよう。





1 火炎放射で洞窟を攻撃するアメリカ軍の兵士(左)と，投降した日本兵たち(上)
(1945年　沖縄)



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

17 軍国主義の敗北 ▶第二次世界大戦の終結

学習課題　第二次世界大戦は，どのようにして終結したのでしょうか。

イタリア・ドイツの降伏

ヨーロッパでは，1942(昭和17)年の後半から連合国軍の反撃が強まりました。ソ連軍はドイツ軍を破り，アメリカ・イギリス軍も1943年にイタリアを降伏させました。翌年には，パリがドイツ軍の占領から解放されました。1945年，ついにヒトラーは自殺し，5月にドイツが降伏して，ヨーロッパでの戦争は終わりました。

戦場となった沖縄

日本では，1945年3月，アメリカ軍が沖縄に上陸しました。本土の「防壁」とされた沖縄では，中学生や女学生を含む多くの県民が，守備隊に配置されるなど，激しい戦闘に巻き込まれました[1]。アメリカ軍の攻撃が続くなか，日本軍によって，集団で「自決」に追い込まれた人々もいました[1]。6月後半に，日本軍の組織的な抵抗は終わりましたが，戦闘は，日本が降伏したのちも9月7日まで散発的に続きました。この**沖縄戦**では，約60万人の県民のうち，死者が12万人に達しました。

原爆投下と日本の降伏

1945年2月，アメリカ・イギリス・ソ連の首脳は，黒海沿岸のヤルタで会談し[2]，ソ連が日本に対して参戦することや，千島列島を領有することなどを

1 沖縄方言を使用した住民は，スパイとみなされ処罰されることもありました。



2 三国の首脳によるヤルタ会談
左からチャーチル(イギリス)，ローズベルト(アメリカ)，スターリン(ソ連)

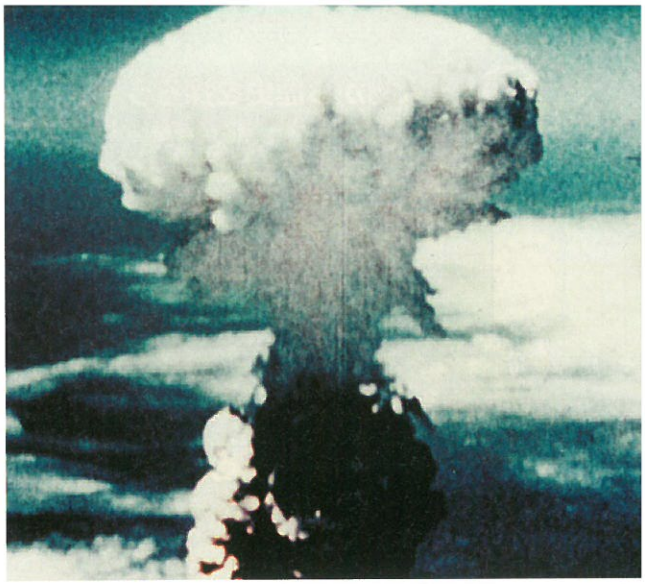
ポツダム宣言(一部の要約)

6　日本国民をだまして，世界征服に乗り出すという過ちを犯させた者の権力と勢力は，永久に除去する。

8　日本国の主権は，本州・北海道・九州・四国および連合国の決定する諸小島に限定される。

10　いっさいの戦争犯罪人には，厳重な処罰が加えられる。言論，宗教および思想の自由，ならびに基本的人権の尊重は確立される。





㋐㋑3 被爆後の広島の街(上)と，長崎に投下された原子爆弾(右)
人々は，数千度の高熱や猛烈な爆風にさらされ，大量の放射線を浴びました。

秘密に取り決めていました。7月には，三国の首脳が再びドイツのポツダムで会談し，日本の降伏の条件を示す**ポツダム宣言**を発表しましたが，日本はこれを無視しました。アメリカは，戦後の世界でソ連より優位に立つねらいもあって，8月6日には広島に，8月9日には長崎に，**原子爆弾**(原爆)を投下しました[3]。原爆による死者は，被爆後の死者を含めて，広島が20万人以上，長崎が10万人以上に及び，街は廃墟になりました[3]。

一方，8月8日には，ソ連がヤルタ会談の取り決めをもとに，日ソ中立条約を破棄して日本に宣戦し，満州や南樺太などに攻め込みました。こうしたなかで日本は，8月14日，ポツダム宣言を受け入れて降伏しました。国民は，この敗戦を，翌15日の昭和天皇のラジオ放送で初めて知りました[4]。

←p.224
←巻頭2

戦争の傷あと

こうして第二次世界大戦は終わりましたが，中国にいた日本人のなかには飢えなどで亡くなったり，残留孤児として現地に残されたりした人々も数多くいました[5]。また，満州などで降伏した約60万人の日本兵が，ソ連軍によってシベリアに送られ，強制労働などで5万人以上が犠牲となりました(シベリア抑留)。この大戦での死者は，日本人が約310万人，アジアでは2000万人以上，世界では約6000万人に達したといわれています。



㋐4 ラジオで玉音放送を聞く人々
玉音とは，天皇の声のことです。



㋐5 日本の家族との再会を喜ぶ残留孤児(1982年)

ふりかえる

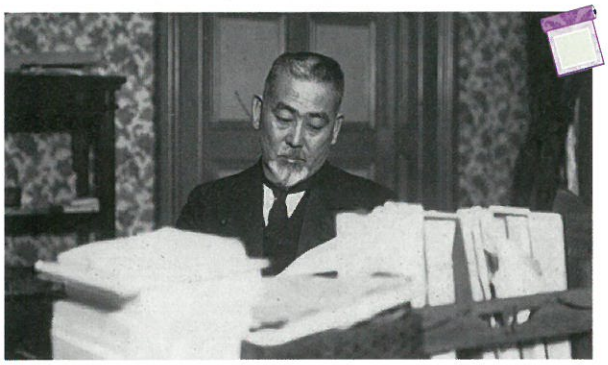
ステップ1 第二次世界大戦がどのように終結したか，年表に整理しよう。

ステップ2 沖縄戦は，日本のほかの地域での戦いと，どのような点が大きく異なるか説明しよう。

人物から歴史を探ろう ⑥ ～大戦期に生きた人々

後藤新平と杉原千畝

1923(大正12)年に起こった関東大震災により，当時の東京市では，市の面積の約44%が焼失しました。そのような大災害から，当時帝都とよばれた東京はどのように立ち直り，発展していったのでしょうか。東京の復興計画を立案した後藤新平に注目して，現在につながる都市づくりについて探ってみましょう。



震災復興の構想を練る後藤新平

関東大震災と後藤新平

1923年9月1日午前11時58分，マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲いました。地震と火災により東京・神奈川をはじめとする関東一円は大きな被害を受けました。被災した家屋は約37万戸，焼け出された市民は約340万人とされ，そのうち死者・行方不明者は10万人以上に達しました。

人々が途方に暮れるなか，帝都の復興計画にいち早く取り組んだのが後藤新平です。後藤は，東京市長を務めていたときに，東京を細部にわたり調査し，「8億円の東京大改造計画」を発表しました。大風呂敷ともいわれたこの案が，その後の「東京復興」の基盤となり，震災復興計画は早期に立案・実行されました。

震災翌日，山本権兵衛内閣の内務大臣を引き受けた後藤は，東京を元に戻す「復旧」ではなく，新たによりよい都市づくりをする，東京の「復興」をしていかなければならないと考えます。

同年9月29日，帝都復興院総裁を兼任し，復興のための基本方針として，①遷都はしない，②復興費は30億円，③欧米最新式の都市計画を採用する，④新都市計画実施のために地主に断固たる態度をとる，という4原則を策定し，早期に発表することで人々に希望を与えました。こうした方針をもとに，焼けた土地を買い上げ，広く大きな道路や公園をつくることで防災・防火に優れた都市づくりを目ざします。

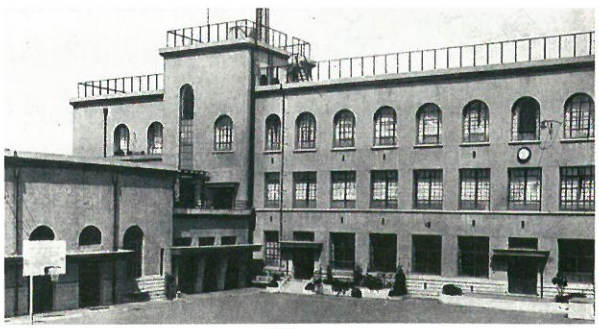
その後，歳入が減少するなかで復興院の予算は大幅に削減され，山本内閣の総辞職を受けて，後藤は復興計画の途中で内閣を去ることとなりました。

現在につながる復興事業

しかし，縮小されたとはいえ，後藤の立てた計画に基づく復興事業は，各要所に配置された技術者たちによって実行されます。

都市における区画整理の実現，舗装された広い街路と緑化，優れたデザインの橋や運河の整備が進められました。また，近代的な様式を取り入れた鉄筋コンクリート造りのアパートや小学校が建設され，小学校の隣接地には，災害時の避難場所ともなる小公園が設置されました。これらの復興事業による都市機能の整備は，現在の東京のまちの原型となりました。

こうした関東大震災後の復興事業は，その後，阪神・淡路大震災後の復興事業でも参考にされるなど，災害復興の都市計画のモデルとなりました。



復興事業で建設された常盤小学校
(東京都中央区：東京都立中央図書館蔵)

第二次世界大戦中，ヨーロッパのリトアニアという国で外交官を務めていた杉原千畝は，後藤新平らが創立した日露協会学校で学んだ人物です。後にリトアニアの切手には，杉原の肖像が使われました。また，イスラエルには杉原の顕彰碑が建てられ，イスラエル政府から勲章も授与されています。杉原が，なぜこのように外国から慕われたのか，大戦中の行動から探ってみましょう。



日本領事館の前でビザの発行を求めるユダヤ人たち



杉原千畝
（1900～1986年）

ビザを求める人たち

1940(昭和15)年7月，リトアニアの都市カウナスの日本領事館前に，何百人もの人々が集まっていました。ドイツに占領されたポーランド(←p.222)から，命からがら逃げてきたユダヤ人たちでした。この人たちに残された方法は，シベリア鉄道でソ連を横切り，日本に渡ってアメリカなどへ逃げることでした。そのためには，日本を通過してもよいことを証明するビザ(査証)が必要でした。

そこで杉原千畝は，日本の外務省に，日本を通過するためのビザを発行してよいか問い合わせました。外務省から電報が来ると，杉原は食い入るように見つめました。そこにはこう書かれていました。「ユダヤ人たちは，日本からどこに行こうとしているのか。その国の入国許可証がないかぎり，ビザを発行してはならない。」杉原は，また電報を打ちました。「今は，入国許可証はありませんが，日本に着くころまでには取れるでしょう。」

しかし，外務省の返事は同じでした。そのころ日本は，ドイツ・イタリアと軍事面で互いに協力する三国同盟(←p.224)を結ぼうとしていたからでした。



リトアニアとその周辺の国々(1940年)

杉原の決断

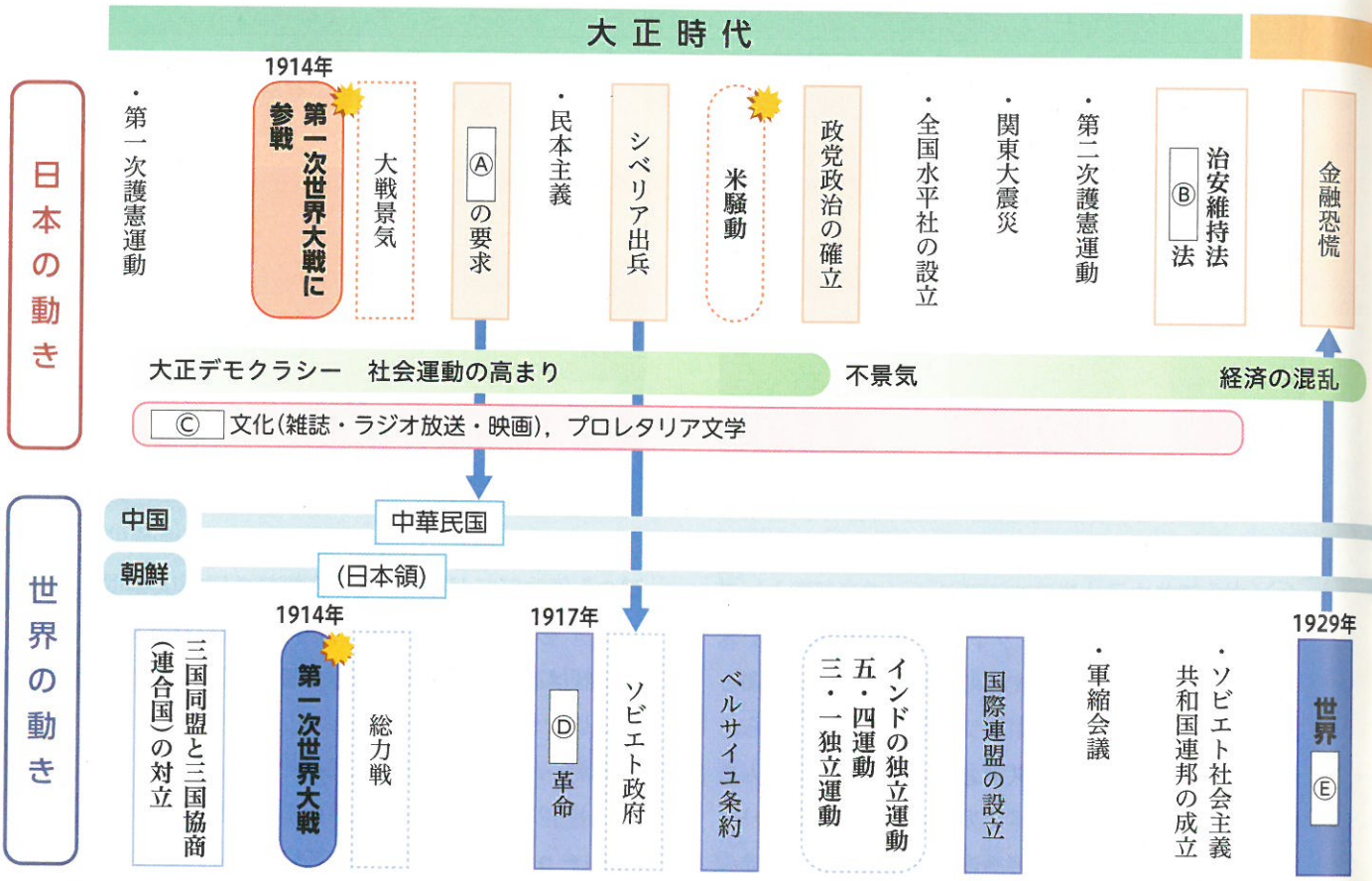
杉原は外交官なので，外務省の指示には従わなければなりませんが，杉原は，もし自分がビザを発行しなければ，ここに集まっている大勢のユダヤ人たちがどうなるか知っていました。そして，悩みぬいた末に，ビザを発行することを決断しました。それから約1か月の間，杉原は，夜も徹してビザを書き続けました。そのおかげで，ユダヤ人たちは，シベリアを経由して，敦賀(福井県)から日本に入国し，神戸や横浜からアメリカなどへ渡りました。こうして約6000人ものユダヤ人の命が救われることになったのです。

第二次世界大戦が終わって帰国した杉原は，外務省を辞めるように勧められました。理由は，カウナスで外務省の指示に従わなかったからでした。

学習のまとめと表現　～第７章　二度の世界大戦と日本～

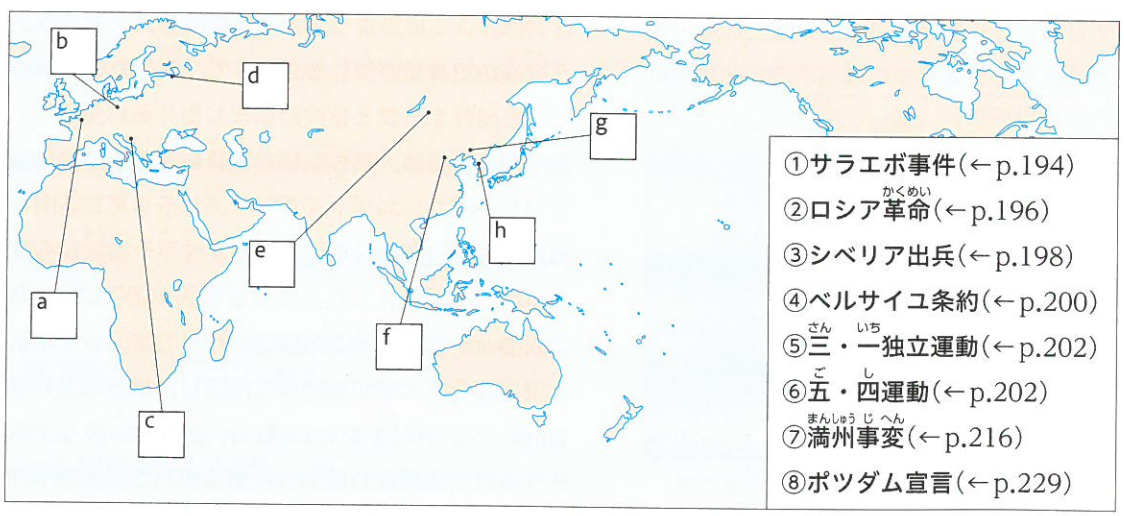
「大戦期」の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の［Ⓐ］～［Ⓙ］にあてはまる語句を記入しよう。



「大戦期」の舞台（ぶたい）を地図で確かめよう。

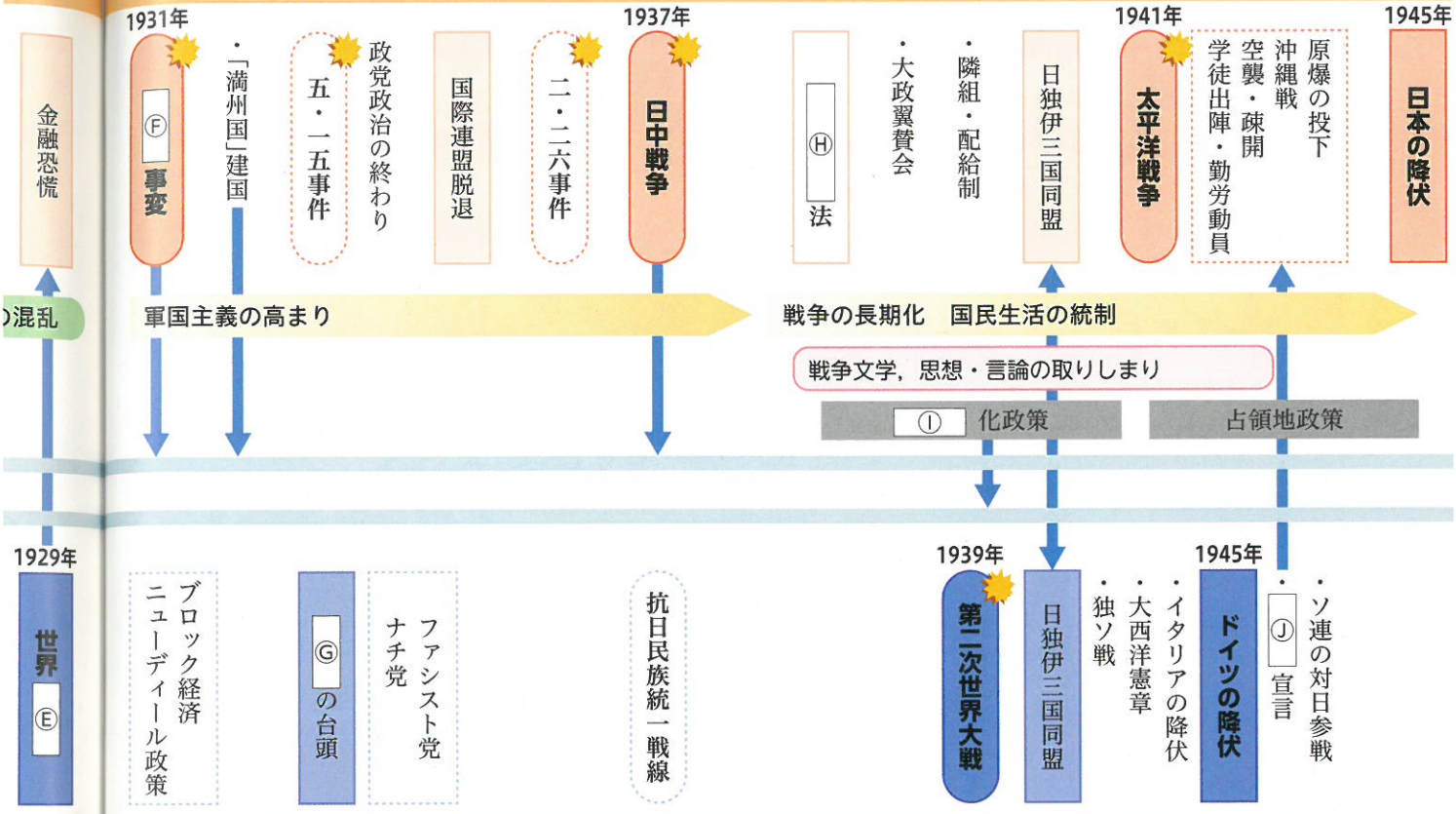
3 下の地図中に，次のできごとと関係の深い場所を番号で記入しよう。



2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

原敬	平塚らいてう	小林多喜二	レーニン	蔣介石（チャンチェシー）	ガンディー
犬養毅	東条英機	ローズベルト	ヒトラー	毛沢東（マオツォトン）	

昭和時代



「大戦期」のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 日本でのデモクラシーの風潮の広まりと衰退（すいたい）について，次の用語を使って説明しよう。

キーワード　護憲（ごけん）運動　選挙権の拡張　軍部への期待

5 下の２枚の写真をもとに，大正（たいしょう）から昭和（しょうわ）にかけての時期に，社会や人々の生活がどのように変化したか説明しよう。



1930年ごろ



1940年ごろ



「大戦期」の時代の特色を考えよう！

なおきさんの班では，大戦期の特色について，「戦争と関わりの深いできごと」と「平和や自由，民主主義を求めるできごと」の二つの動きがあったことに注目し，二つの立場に分かれて意見を発表することにしました。

①どちらの立場で発表するか考えよう。
②キーワードを参考に，大戦期をどのような時代と考えるか，根拠を示しながら発表しよう。
③みんなの発表が終わったら，大戦期の特色について，最終的な自分の考えをまとめよう。

立場	「戦争や革命の時代」	「平和や自由を求めて，民主主義が広がった時代」
自分の考えと根拠	私は，大戦期は（ 戦争や革命の時代 ・ 平和や自由を求めて，民主主義が広がった時代 ）だと考えます。 それは，……	

キーワード 護憲運動，第一次世界大戦，ロシア革命，独立運動，国際連盟の設立，日中戦争，大西洋憲章，太平洋戦争



時代の変化に注目しよう！

1 右の写真は，太平洋戦争で日本への空襲が激しくなったころに，都市部の子どもたちが集団で地方の農村に向かう場面です。これを，なんといいますか。親もとを離れた子どもたちは，どのような生活をしたのかも確認しましょう。
また，次のページの写真は，戦争が終わってまもなく再開された，学校の授業の様子です。子どもたちは，どのような思いだったか想像してみましょう。



第8章

現代の日本と世界



青空教室で学ぶ子どもたち



空襲で校舎を焼かれた都市部の学校では，教室の不足が深刻でした。
このような戦争の焼け跡から，日本はどのように社会や人々の暮らしを立て直していったのか，これから学習していくことにしましょう。

今の教室とはずいぶん様子が違うね。
子どもたちは，どんな表情をしているかな。



これから学習する時代

年表

年代	1940	1960	1980	2000
日本	昭和時代			平成
中国	中華民国	中華人民共和国		
		台湾		
朝鮮	（日本領）	朝鮮民主主義人民共和国		
		大韓民国		

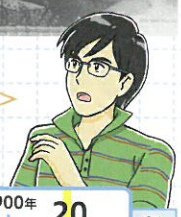
1 日本の民主化と冷戦





2 国会議事堂の周辺に建てられたアメリカ軍の兵舎(1946年)

1 アメリカ軍のマッカーサー(左)と昭和天皇の会見(1945年9月)



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

① 敗戦からの再出発 ▶日本占領と国民生活

学習課題 戦後の日本は，どのような道を歩み始めたのでしょうか。



3 極東国際軍事裁判(東京裁判) 1948年の判決で，日本の政治家や軍人が，「平和に対する罪」などにより，戦争犯罪人として裁かれました。



4 女性の国会議員の誕生
1946年4月，戦後初の衆議院議員選挙が行われ，当選者464名のうち，39名が女性でした。有権者数は，約3688万人に拡大しました(←p.207)。

連合国軍の日本占領

1945(昭和20)年8月末，日本は，アメリカ軍を主力とする連合国軍に占領されることになりました[2]。日本の主権は，本州・北海道・九州・四国とその周辺の島々に限られ，沖縄や奄美群島，小笠原諸島は，日本から切り離されて，アメリカ軍の軍政下におかれました。また，南樺太や千島列島などは，ソ連軍によって占領されました。

民主化政策の始まり

マッカーサー[1]を最高司令官とする**連合国軍総司令部(GHQ)**は，日本政府にポツダム宣言に基づく指令を出して，軍国主義を取り除き，民主主義を推し進める政策を実行しました。まず，軍隊を解散し，戦争の責任者を**極東国際軍事裁判**にかけて処罰しました[3]。戦争中に重要な地位にあった人々は，公職から追放されました。昭和天皇[1]は，自分は神の子孫ではないとする「人間宣言」を出しました。

次に，連合国軍総司令部は，治安維持法を廃止して政治活動の自由を認め，満20歳以上の男女すべてに選挙権を認めました[4]。政党の活動も再開され，日本社会党や日本自由党が結成され，戦争中に抑圧されていた日本共産党も再建されました。ま

←p.229 ←p.218 ←p.226 ←p.207



5 戦後の闇市（1945年　東京）



6 買い出し列車
都市の人々は，買い出し列車に乗って農村に出かけ，衣類などと，米やいもなどの食料を交換しました。

た，労働組合をつくり，ストライキを行う権利を守る**労働組合法**や，労働条件の最低基準を定めた**労働基準法**も制定されました。差別の撤廃を目ざす運動では，全国水平社の伝統を引き継いで，部落解放運動が再建され，女性解放の運動も活発になりました。北海道では，アイヌの人たちの解放を目ざす北海道アイヌ協会が再び組織されました。

←p.206
←巻頭1

国民生活と大衆文化

敗戦後の人々の生活は，とても苦しいものでした。戦争で街は焼かれ，生産は底をつき，食料もとぼしく，物価だけが急上昇していました。焼け跡の街には，失業者に加えて，軍隊の召集を解かれた兵士や海外からの引きあげ者，戦災で親を亡くした孤児[7]があふれていました。政府が指定した公定価格によらないで品物の売り買いをする闇市[5]が広がり，都市の人々が食料を得るために農村に出かけていく，買い出し[6]も盛んに行われました。

しかし，戦争中の統制が解かれ，人々の間には自由と平和になった解放感が広がっていました。街には「リンゴの歌」などの明るいメロディが流れ，娯楽や文化もしだいに復興しました。NHKラジオでは「のど自慢素人演芸会」が始まり，マイクを持って街の人々の声を聞く「街頭録音」では，自由な意見が語られました。また，黒澤明監督などの映画が海外でも高く評価され，1949年に，物理学者の湯川秀樹が日本人として初めてノーベル賞を受賞する[1]など，人々をはげますできごともありました。



7 満州から引きあげてきた子どもたち

1 その後も，日本からは，川端康成が文学賞（1968年）を，佐藤栄作（p.249→）が平和賞（1974年）を受賞するなど，2014年までに22人がノーベル賞を受賞しています。

ふりかえる

ステップ1 日本の主権や民主化について，戦時中のポツダム宣言の条文（←p.228）とどのように対応するか確かめよう。

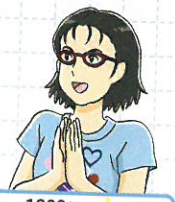
ステップ2 敗戦後の生活のなかで，人々はどのような思いや願いをもっていたか話し合おう。



1 『あたらしい憲法のはなし』(一部)　1947年に文部省(現在の文部科学省)が発行し，主に中学校で使用された教科書です。



2 皇居前広場で行われた憲法公布の記念式典



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

2 平和国家を目ざして ▶日本国憲法の公布と諸改革

学習課題　新しい社会をつくるために，どのような改革が行われたのでしょうか。

日本国憲法(部分)

〔前文〕日本国民は，正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し，われらとわれらの子孫のために，諸国民との協和による成果と，わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し，政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し，ここに主権が国民に存することを宣言し，この憲法を確定する。

…(略)…

日本国民は，国家の名誉にかけ，全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

第1条　天皇は，日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて，この地位は，主権の存する日本国民の総意に基く。

第11条　国民は，すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は，侵すことのできない永久の権利として，現在及び将来の国民に与へられる。

日本国憲法

民主化を進めるうえで，非軍事化と並ぶ重要な柱は，憲法の改正でした。連合国軍総司令部は，日本政府に対し，憲法の改正を指示しましたが，政府の改正案は大日本帝国憲法の一部を修正しただけでした。そこで連合国軍総司令部は，民間の憲法研究会案などを参考にした草案をつくって政府に示し，政府はこれをもとに新たな改正案を作成しました。この案は，議会での審議と修正を経て，1946(昭和21)年11月3日，**日本国憲法**として公布され[2]，1947年5月3日から施行されました。

←p.168

日本国憲法は，**国民主権・基本的人権の尊重・平和主義(戦争の放棄)**の三原則をかかげ[1]，天皇は，日本国および国民統合の象徴と定められました。国民を代表する国会が国権の最高機関となり，内閣が国会に対して責任を負う議院内閣制が採用されました。また，地方自治が重視され，都道府県の知事も住民の直接選挙で選ばれることになりました。

新しい民法

また，明治時代につくられた民法の改正が行われ，「家」の制度が改革されて，男女同権

←p.169

1 結婚(婚姻)は，男子は18歳以上，女子は16歳以上と定められ，20歳以上は，父母の同意がなくても結婚できるようになりました。



3 中学校の学級活動(1948年　東京都)

の新しい家族制度が定められました。家長の支配権は否定され，結婚は両性の合意のみによって成立し[1]，法律上，夫と妻が同等の権利をもつようになりました。財産の相続でも，男子が優先されることなく，男女平等に相続することが決められました。

教育の民主化

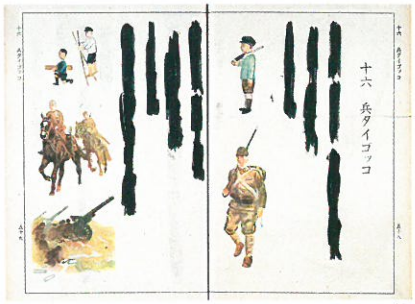
連合国軍総司令部によって，教育についても民主化が進められ，軍国主義や天皇中心の考え方が改められました[3][4]。1947年には，民主主義教育の基本を示した**教育基本法**が制定され，教育勅語(←p.169)は廃止されました。学校制度は，義務教育が小学校と中学校の９年に延長され，高等学校・大学までの年限は６・３・３・４制となり，男女共学[3]となりました。また，地域の実情にあった教育をするために，教育委員会が設けられ，教育委員は住民の直接選挙で選ばれることになりました。

財閥解体と農地改革

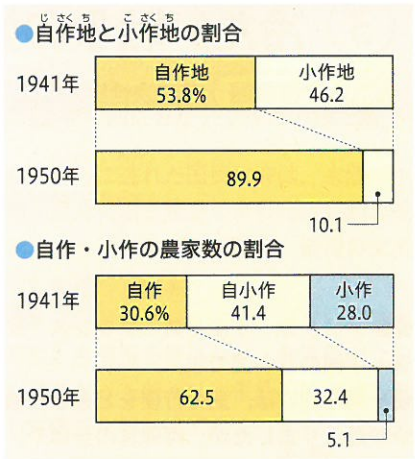
経済の面では，これまで日本の経済を支配し，軍国主義を支えてきた三井・三菱・住友・安田などの財閥は解体され，その下にある企業は独立させられました(←p.199, 214)(**財閥解体**)。

農村では，地主と小作人の関係を根本から改める，**農地改革**(←p.161)が行われました。村に住んでいない地主のすべての耕地と，村に住む地主の約１ha(北海道は４ha)をこえる耕地は，国が買い上げて小作人に安く売り渡しました。これによって自作農が大はばに増え[5]，地主が農村を支配する力はおとろえました[2]。





4 戦時中の教科書(上)**と，戦後の墨ぬりの教科書**(下)



5 農地改革による変化

[2] 小作料は，物納から金納になりました。また，解放は農地のみで，山林については行われませんでした。

ふりかえる

ステップ１ 戦後の社会のしくみは，戦前とどのように変わったか，法・教育・経済の項目ごとに確かめよう。

ステップ２ 戦後の日本では，どのような国づくりが目ざされていたのか説明しよう。



1 東西両陣営の対立(1955年)



2 西ベルリンの封鎖(ドイツ)　1948年にソ連が陸上交通を遮断したため，アメリカは西ベルリンの市民に食料や燃料を空輸しました。



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

③ 冷たい戦争の始まり ▶米ソの対立とアジア・アフリカ

学習課題　第二次世界大戦後，国際関係はどのように変わっていったのでしょうか。

国際連合の設立と米ソの対立

1945(昭和20)年10月，悲惨な戦争の反省に立ち，国際社会の平和と安全を維持するため，連合国51か国の調印によって**国際連合**(**国連**)が発足しました。その中心となる安全保障理事会では，常任理事国が一致しなければ，重要な議題は決議できないことになりました。

しかし，世界は，アメリカを中心とする資本主義陣営(西側諸国)と，ソ連を中心とする社会主義陣営(東側諸国)に分かれて，厳しく対立しました。[1] 両陣営はドイツの占領政策でも対立し，ベルリンは東西に分断され，1949年には，国家が西ドイツと東ドイツに分割されました。アメリカの陣営は1949年に北大西洋条約機構，ソ連の陣営は1955年にワルシャワ条約機構という軍事同盟をつくりました。こうしてヨーロッパでは，**冷たい戦争**(**冷戦**)[2]とよばれる緊張が高まりました。[1]

アジア諸国の独立と中国・朝鮮

アジアでは，大戦中から独立運動が進められ，大戦後にはインドネシア，フィリピン，インドなどが次々と独立し，[6] ベトナムなどが独立戦争を行いました。

←巻頭 1 2 3

1 アメリカ・イギリス・フランス・ソ連・中国の5か国です。

2 局地的には，武力行使をともなう戦争が起こりましたが，両陣営の全体や，米ソの間では武力戦争が起こらなかったので，このようによばれました。



3 ベルリンの壁　1961年には，東ドイツが，東西ベルリンの境界に「ベルリンの壁」を築きました。



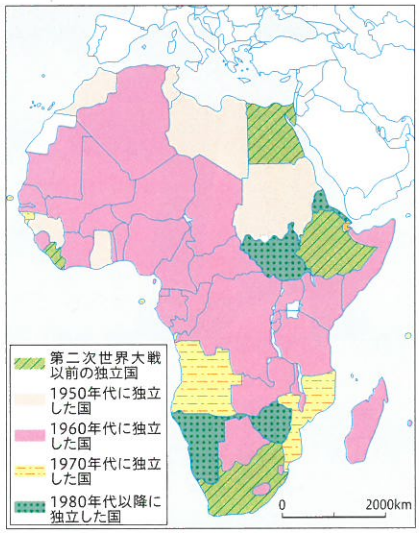
4 建国を宣言する毛沢東（マオツォトン）



5 アジア・アフリカ会議



6 独立の演説をするインドの初代首相ネルー



7 年代別にみたアフリカの独立国

中国では，国民政府と共産党との内戦が続きましたが，共産党は土地改革などで民衆の支持を集め，1949年，毛沢東（マオツォトン）を主席とする**中華人民共和国**が成立しました[4]。これにより，国民政府は台湾に追われました[3]。また朝鮮は，日本からの独立と同時に，北緯38度線を境に，南はアメリカ軍，北はソ連軍に占領されました。1948年，南に**大韓民国（韓国）**，北に**朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）**が樹立され，国家としての正当性を互いに主張して対立し，アジアでも冷戦の緊張が高まりました。

←p.219

アジア・アフリカ会議

1955年，大戦後に独立したアジア・アフリカの29か国の代表が，インドネシアのバンドンに集まり，**アジア・アフリカ会議**を開きました[5]。会議では，民族独立と平和共存を柱とする平和10原則が決議され，その後，アジアやアフリカで自主的な動きが高まりました[4]。特にアフリカでは，1960年に17の国が独立しました。この年は「アフリカの年」とよばれ，1970年代には旧植民地はほとんどなくなりました[7]。しかし，平和の実現と政治・経済の安定は難しく，紛争や飢餓などの問題も残されました。

←巻頭1

3 台湾に逃れた国民政府は，大陸の中華人民共和国と対立しました。しかし近年は，大陸と台湾との間で，経済の交流などが進んでいます。

4 アジア・アフリカで，米ソいずれの陣営とも同盟を結ばない，非同盟中立の立場をとった国々は，東西の両陣営に対して第三世界とよばれました。

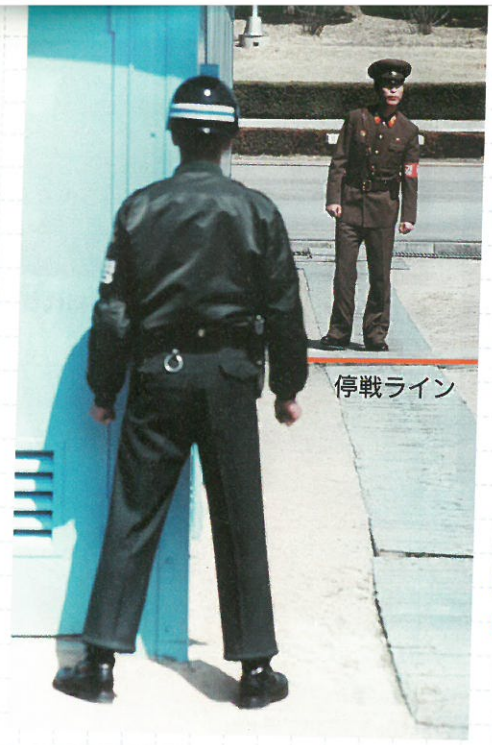
ふりかえる

ステップ1 大戦後，アジアでどのような国が成立したか確かめよう。

ステップ2 冷戦や第三世界にふれながら，大戦後の国際関係について説明しよう。

歴史の窓　中東戦争

イギリスの委任統治下にあった中東のパレスチナでは，大戦後，国連のパレスチナ分割案の決議を経て，ユダヤ人の国家イスラエルの建国が宣言されましたが，アラブ諸国はこれを認めませんでした。アラブ系のパレスチナ人が土地を追われるなか，アラブ諸国の軍がパレスチナに進み，1948年，**中東戦争**が始まりました。この第一次中東戦争は，イスラエルが勝利し，土地を追われたパレスチナ人は難民となりました（パレスチナ難民）。1956年にエジプトがスエズ運河の国有化を宣言すると，イギリス，フランス，イスラエルがエジプトに侵攻しました（第二次中東戦争）。





北緯38度線付近にある板門店に引かれた朝鮮戦争の停戦ライン
韓国の国境警備隊(手前)と，北朝鮮の兵士(奥)が警備しています。



世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

④ 38度線の緊張 ▶朝鮮戦争と日本

学習課題 冷戦は，日本と東アジアにどのような影響を与えたのでしょうか。

占領政策の転換

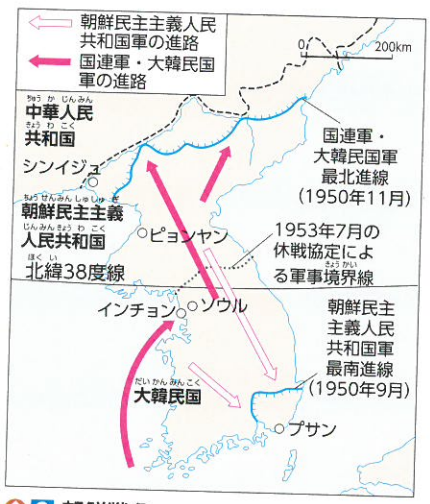
冷戦の緊張の高まりを背景に，連合国軍総司令部は，日本を非軍事化・民主化する方向から，中華人民共和国などのアジアの共産主義に対抗する勢力に育てる方向へと，日本の占領政策を転換させていきました。

1948年，官公庁の労働者の争議権が禁止され，1949年には，財政の引きしめや増税の政策がとられ，多くの中小企業が倒産しました。失業者が増大し[1]，労働運動が高まるなか，総司令部と日本政府は，共産党の党員・支持者を官公庁や民間の職場から追放しました。一方で，大戦中に重要な地位にあった，旧軍人や政財界人の追放を解除し，公職への復帰を認めました。 ←p.236

朝鮮戦争

冷戦は，ついに朝鮮半島で火を噴きました。1950年6月，ソ連の支援を受けた北朝鮮が，武力統一を目ざし，北緯38度線を越えて南下したのをきっかけに，**朝鮮戦争**が始まりました[2]。国連は，ソ連が欠席のまま，北朝鮮への制裁を決め，アメリカ軍を中心とする国連軍を派遣して，韓国を支援しました。その後，中国が参戦し，北朝鮮を ←p.240

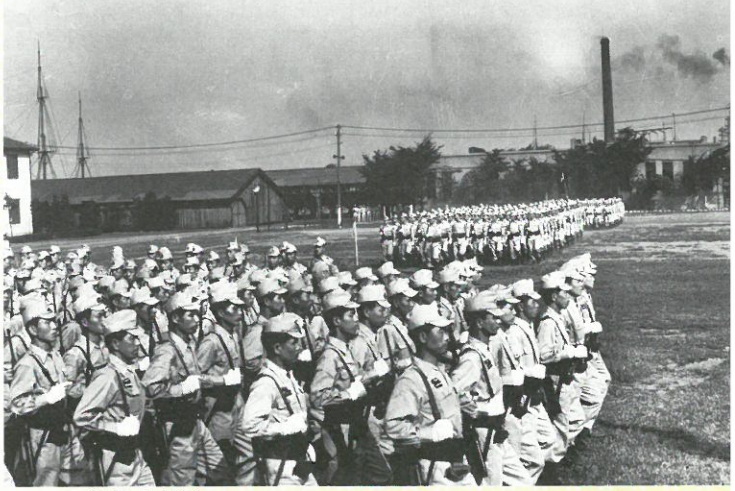
[1] 国鉄(日本国有鉄道，現在のJR)などの大規模な人員整理も行われ，40万人以上の労働者が解雇されました。



2 朝鮮戦争



警察力増強を指令
―マ元帥、政府へ書簡―
豫備隊七萬五千名
海上保安庁も八千増員 政府直属で新設
米、徴兵法を発動
朝鮮の現戦局に対応
書簡の内容
國警、全国



3 警察予備隊の新設を報じる新聞（左：1950年7月）と，警察予備隊の訓練の様子

支援しました。世界の人々は，この戦争が第三次世界大戦に発展することを恐れ，休戦を呼びかける動きが広がりました。しかし，戦争は，1953年に休戦協定が成立する[1]まで続き，大きな被害を及ぼしました[2]。

朝鮮戦争が始まると，アメリカは，日本の本土や沖縄にある米軍基地を利用して出兵し，毛布・鉄線・トラックなどの大量の軍需物資を日本に注文しました。これによっておこった**特需（特殊需要）景気**は，日本の経済を活気づかせ，戦後の復興を早める役割を果たしました。

また，開戦後まもなく，総司令部の指令により，日本に警察予備隊が新設されました[3]。警察予備隊は，保安隊を経て1954年に**自衛隊**となり，人員や装備が増強されました。

←p.236

読み解こう

1 警察予備隊の新設は，いつ，だれが，だれに指令したのか確かめよう。
2 その規模は，どれぐらいだろう。隊員になったのは，どのような人たちだろう。
3 総司令部が警察予備隊を新設させた目的について，説明しよう。

2 アメリカは，この戦争で原子爆弾を使用することをいったんは考えました。

ふりかえる

ステップ1 連合国軍総司令部は，日本の占領政策をどのように転換させたか確かめよう。

ステップ2 朝鮮戦争は，日本にどのような影響を与えたか説明しよう。

歴史の窓　歴史のなかの在日韓国・朝鮮人

1910年の韓国併合のころから，生活苦のために日本に移住して労働者になったり，朝鮮内で制限されていた高等教育を受けるために日本に渡ったりする朝鮮の人々が増えていきました。日中戦争・太平洋戦争の時期には，不足する労働力を補うため，多数の朝鮮人が日本の工場や鉱山などに動員されました。その結果，1945年8月の時点で，約200万人の朝鮮人が日本に住んでいました。

戦後，約60万人の朝鮮人が日本にとどまりましたが，日本国籍を失って，外国人登録の対象者とされるなど，不安定な地位におかれました。現在でも，約36万人の韓国籍・朝鮮籍を有する人々が，特別永住者として日本で暮らしています。そして，このような在日韓国・朝鮮人が，民族差別を受けたり，さまざまな制度で不平等な扱いを受けたりするなどの課題が残されており，その是正に向けた努力がなされています。こうした歴史をふまえて，ともに生きる社会を築いていくことが大切です。



1 平和条約に調印する吉田茂首相(1951年)

不参加 インドなどの主張	①台湾を中華人民共和国に返すこと。 ②アメリカ軍の日本駐留をやめること。 ③沖縄や小笠原諸島などを日本に返すこと。
反対 ソ連などの主張	①中華人民共和国・インド・ビルマの参加のもとで開催すること。 ②外国の軍隊は，日本から引きあげること。 ③日本は，交戦国のどこの国とも軍事同盟を結ばないこと。

2 講和会議に参加しなかった国や，反対した国の主張



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

5 独立から復興へ ▶国際社会への復帰と経済復興

学習課題 日本は，どのようにして独立を回復したのでしょうか。

独立と国際社会への復帰

朝鮮戦争が始まると，アメリカは東アジアでの日本の役割を重んじ，日本との講和を急ぎました。←p.242 1951(昭和26)年9月，アメリカのサンフランシスコで52か国による講和会議が開かれ，日本からは吉田茂首相らが出席しました[1]。しかし，戦争の最大の被害国である中国は招かれず，インド・ビルマは参加せず，ソ連など3か国は条約の草案に反対して，調印を拒否しました[2]。日本国内でも，すべての連合国と講和を結ぶべきだという批判がありました。

日本は，**サンフランシスコ平和条約**を結び，独立を回復しました。日本は朝鮮の独立を認め，台湾・千島列島[1]・南樺太などを放棄して，沖縄や奄美群島，小笠原諸島は，引き続きアメリカの統治下におく[3]ことに同意しました。同時に，アメリカと**日米安全保障条約(安保条約)**←p.236を結び，日本の安全と東アジアの平和を守るという理由で，引き続き国内にアメリカ軍が駐留し，軍事基地(施設・区域)を使用することを認めました。

ソ連とは，**北方領土問題**[1][4]が未解決のまま，1956年，**日ソ共同宣言**に調印して国交を回復しました。同じ年，日本は国際連

1 ソ連が調印を拒否したことから，千島列島の帰属については平和条約で決められませんでした。歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は，日本固有の領土であり，日本はこれまでソ連に対して返還を要求してきました。ソ連の解体(p.254→)後は，ロシア連邦と交渉を続けており，これを北方領土問題といいます。



3 沖縄と日本の本土(北緯27度以北)との行き来に使用されたパスポート



4 北海道の東端から見た北方領土　手前は，根室市の納沙布岬です。ここから見える歯舞群島のいちばん近い島までは，4kmほどしかありません。



5 原水爆反対の署名運動（神奈川県横浜市）

合への加盟も認められ[6]，国際社会に復帰しました。しかし，中華人民共和国とは，1972年まで国交が開かれませんでした。

原水爆禁止運動

米ソ両国は，1950年代になると競って水爆実験を開始し，人類は大きな危機に直面しました[2]。1954年には，太平洋のビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験により，第五福龍丸などの漁船が「死の灰」を浴びるという事件が起こりました。このため，国内では母親たちなど市民の運動をきっかけに**原水爆禁止運動**が広がり[5]，1955年8月，最初の原水爆禁止世界大会が広島で開かれました。

p.249➡　p.262➡　⬅p.229

戦後の経済復興と政治体制

日本の経済は，朝鮮戦争の特需景気をきっかけに活気づき，政府が電力・造船・鉄鋼など，経済の中心となる産業に資金を投入したことから，急速に技術革新が進みました。1955年ごろには，ほぼ戦前の生産水準に達し，人々の暮らしも徐々に回復しました。1956年の『経済白書』は，こうした動きを「もはや戦後ではない」と表現しました。

1955年に，講和条約をめぐって分裂していた社会党が統一すると，保守政党も，自由党と日本民主党が合同して**自由民主党**（自民党）を結成しました。こうして，政権を担当する自民党と，社会党などの野党が対立する政治体制が築かれ，1990年代まで日本の政治を動かしました（**55年体制**）。

p.258➡

[2] 水爆は水素爆弾の略で，原子爆弾よりも大きな破壊力がある核兵器です。こうした動きに対して，1950年の平和擁護世界大会で採択された，核兵器の禁止を呼びかけるストックホルム・アピールは，世界中から5億をこえる署名を集めました。



6 国連本部前にかかげられた日本の国旗（1956年）

ふりかえる

ステップ1　1951年に結ばれた二つの条約の名前と，それぞれの内容を確かめよう。

ステップ2　独立を回復し，国際社会に復帰した日本に残された課題について説明しよう。







この若者は，なぜこのようなことをしているのかな。

ア 1 ベトナム戦争で避難する親子(1965年)と，
2 アメリカ国内で高まったベトナム反戦運動(1967年)

6 自主・独立・平和を求めて ▶1960～70年代の世界

学習課題 米ソ中心の国際社会のなかで，ほかの国々ではどのような動きが起こったのでしょうか。

ベトナム戦争

大戦後のインドシナでは，ベトナム民主共和国が独立を宣言しましたが，フランスは認めず，別の国を建てて戦争が続きました。1954年の休戦協定により，将来の南北の統一が約束されましたが，ソ連や中国はベトナム民主共和国(北ベトナム)を，アメリカは南ベトナム政府を支持して対立しました。統一と独立を求める人々は，南ベトナム解放民族戦線を結成し，中国・ソ連などの支援を受けながら，南ベトナム政府軍と米軍を相手に抵抗を続けました。

1965(昭和40)年，アメリカが大軍を送って北ベトナムへの爆撃を開始したため，激しい戦争になりました(**ベトナム戦争**[1])。多数の人々が殺害され，アメリカは内外から批判を浴びて，反戦運動は世界に広がりました[1][2]。日本政府はアメリカの立場を支持し，沖縄の米軍基地からは北ベトナムに向けて爆撃機が出撃しました[3]。戦争は日本経済が発展する一因になりましたが，アメリカは軍事費の増大に苦しみ，1973年にはベトナムから撤退しました。1976年に南北は統一され，ベトナム社会主義共和国が成立しました。

1 ベトナム戦争への反対は，アメリカや日本での学生運動，チェコスロバキアでのソ連に対する抵抗運動などともつながり，世界の大きな動きとなりました。



ア 3 沖縄の米軍基地から飛び立つアメリカの爆撃機
(1968年　嘉手納飛行場)

歴史の窓　キューバ危機

1959年，キューバでカストロやゲバラらによる革命が起こり，キューバは社会主義国家の建設に向かいました。1962年10月，ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設していることを知ったアメリカのケネディ大統領は，キューバの海上封鎖に踏みきりました。これにより，米ソ両国の間で，核兵器による全面戦争の危機が高まりました。ソ連のフルシチョフ首相が，アメリカの要求を受け入れ，ミサイルの撤去を発表したため，この危機は回避され，その後両国は関係を改善していきました。



ミサイルをキューバに運ぶソ連船と，上空から監視する米軍機

ECの発足とプラハの春

西ヨーロッパでは，1960年代に入ると，経済協力を強めて，米ソ中心の国際社会に対する発言力を高めようという動きが活発になりました。1967年には，人・物・資本の移動の自由化と市場統合を目ざし，**ヨーロッパ共同体(EC)**が発足しました。

米ソ両大国への対抗は，東ヨーロッパの社会主義諸国のなかからも起こりました。大戦後まもないユーゴスラビアや，1950年代のポーランド，ハンガリーなどで，ソ連に対抗する民主化の動きが広がり，特に1968年のチェコスロバキアでは，自主と自由を求める動きが高まりました(プラハの春)。ソ連は，首都プラハに軍隊を送ってこれを弾圧したため[4]，世界の世論の批判を浴びました。また，1980年代の初めには，ポーランドで，労働組合の「連帯」を中心に，労働者の自主的な権利を求める運動が起こりました。



4 プラハの街でソ連軍の戦車を取り囲む人々(1968年)

中東の紛争と石油戦略

中東では，イスラエルに土地を追われたパレスチナ人が，パレスチナ解放機構(PLO)をつくって対抗し，武力衝突が続きました。1973年に起こった第四次中東戦争の時には，石油を産出するアラブ諸国が，日本も含めたイスラエル寄りの先進工業国に対し，原油の値上げや輸出停止などの対抗手段をとりました。さらに1979年，イスラムの復興を目ざすイラン革命が起こった時にも，同じような石油戦略がとられ，先進工業国に大きな影響を与えました。

←p.241

その後，1990年代には和平交渉が進み，イスラエルとPLOは，イスラエル占領地でのパレスチナ人の暫定自治を認める協定を結びましたが，暴力の応酬は依然として続いています[5]。

p.251→



5 イスラエル軍の装甲車に逃げまどうパレスチナの子ども(パレスチナ自治区)

ふりかえる

ステップ1 1960～70年代に世界で起こった動きを，地図に表して整理しよう。

ステップ2 ベトナム戦争は，日本にどのような影響を及ぼしたか説明しよう。



1 新安保条約に反対して，国会を取り巻く人々（1960年）
連日，10万人をこえる人々が国会議事堂周辺に集まり，反対運動を繰り広げました。



2 新安保条約に調印する岸信介首相（左）と，アメリカのアイゼンハワー大統領（右）（1960年　アメリカ）



このような反対運動が起こったのは，なぜかな。

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

7 国際関係の変化 ▶ 安保改定と国交正常化

学習課題 国際社会に復帰したのち，日本の国際関係にはどのような動きがあったのでしょうか。

安保改定と反対運動

日本政府は，1960（昭和35）年に新しい日米安全保障条約を結び[2]，アメリカとの関係を強化しようとしました。新条約では，アメリカ軍は引き続き日本に駐留し，日本の領域内で，日本・アメリカのどちらかが攻撃を受けたときは，両国は共同行動をとること，また相互の防衛力を強化することが決められました[1]。

←p.244

これに対し，国民の間からは，日本がアメリカの軍事行動に巻き込まれる危険がある，という強い反対の声があがりました。政府が十分な審議をしないまま，衆議院で採決を強行したこともあって，国会を取り巻く大規模な反対運動が起こり[1]，「議会制民主主義を守れ」という声が全国に広がりました。緊迫した状況のなか，沖縄まで来ていたアメリカ大統領の訪日は中止され，与党の自民党内部からも批判的な動きが表れました。新安保条約は，参議院の承認を経ないまま自然成立し，岸信介内閣は批准書を交換したのち，総辞職しました。

←p.245

韓国・中国との国交正常化

1960年代以降，日本と韓国・中国との関係にも変化が生まれました。1965年，日本は韓国と**日韓基本条約**を結び，韓国政府を朝鮮半島にある唯一の合法的な政府と認め，経済協力を推し進めました。しかし，北

1 ただし，10年を期限として，その後は，一方の国が通告すれば1年後には廃止できることになりました。



3 中国の毛沢東主席（中央）・周恩来首相（左）と会談する田中角栄首相（右）（1972年　中国）



4 沖縄復帰記念式典（那覇市）
式典は，沖縄と東京の2か所で同時に開催されました。



5 沖縄で通貨として使用された，アメリカ軍発行の軍票「B円」1958年に廃止され，アメリカの通貨ドルに交換されました。



6 本土復帰後，銀行に並ぶ沖縄の人々（1972年）
何をするために並んでいるのでしょうか。





7 沖縄にある米軍基地（下：2008年3月現在）と，学校のそばを飛ぶ軍用機（上）

朝鮮との国交は，現在も開かれないままになっています。

中国に対しては，1972年，アメリカ大統領の中国訪問に続き，日本の田中角栄首相が中国を訪問し[3]，**日中共同声明**に調印して国交を正常化しました。このなかで日本は，戦争で中国国民に重大な損害を与えたことについて深い反省を表明し，中華人民共和国政府が中国を代表する政府であることを認めました。さらに1978年には，**日中平和友好条約**が結ばれました。

沖縄の本土復帰

サンフランシスコ平和条約の締結後も，アメリカによる統治が続いた沖縄[5]では，1960年に祖国復帰協議会が結成されるなど，住民による復帰運動が続けられていました。アメリカがベトナム戦争で沖縄の米軍基地を活用したことから，復帰運動は反戦運動とも結びついて高まりました。←p.246 佐藤栄作首相は，アメリカと沖縄返還協定を結び，1972年5月，沖縄の本土復帰が実現しました[2][4][6]。しかし，沖縄の米軍基地は，一部が自衛隊の基地とされたものの，安保条約上の施設・区域として残されたため，その後も県民の生活や自然環境に大きな影響を与え続けています[7]。←p.243

また1971年，沖縄返還協定の議決の際には，核兵器を「持たず，つくらず，持ち込ませず」という**非核三原則**が，衆議院で決議されました。この決議は画期的なものでしたが，当時，米軍によって核兵器が持ち込まれていたのではないかという疑惑があり，それは現在でも消えていません。←p.245

2 奄美群島は1953年，小笠原諸島は1968年に本土復帰を果たしました。

ふりかえる

ステップ1 沖縄はどのようにして本土復帰したか，また，復帰後にどのような課題が残されたか確かめよう。

ステップ2 1960～70年代の日本と，アメリカ・韓国・中国との関係を図に表して説明しよう。







このころ，人々の暮らしは，どのように変わったのかな。

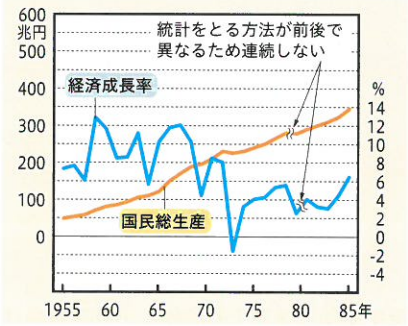
↑↗ 1 東京オリンピックの開会式(左)と，2 開会に合わせて開通した東海道新幹線(1964年)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1900年 20 21

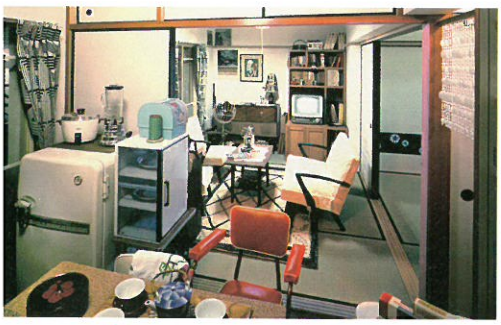
8 高度経済成長の光とかげ ▶豊かな国民生活と公害

学習課題 経済の急速な発展は，人々の暮らしにどのような影響をもたらしたのでしょうか。

1 国の経済水準を測るための指標のことで，国全体で1年間に生産された物や，提供されたサービスなどの価値を総計したもの(GNP)です。現在は，国内総生産(GDP)が指標になっています。



↑↗ 3 日本の国民総生産と経済成長率の移り変わり(『近現代日本経済史要覧』)



↑↗ 4 1960年代の団地の部屋(復元)

日本経済の高度成長

1960年代に入ると，日本の経済は，さらに発展しました。池田勇人内閣(←p.245)は，所得倍増をスローガンにかかげ，経済の急成長を目ざす政策を進めました。産業界では，技術革新が進み，重化学工業への投資も増え，各地に巨大なコンビナートが建設されました。1964(昭和39)年に開催された東京オリンピック[1][2]以後は，輸出の好調に支えられて貿易収支が黒字を続け，1968年の国民総生産[1]は，アメリカに次ぎ資本主義世界で第2位を記録しました。

国民生活の変化

こうした高度経済成長[3]のなか，人々の収入は増え，テレビ・電気洗濯機などの家庭電化製品や自動車などが普及し，暮らしは快適で便利になりました[4]。人々の間には，休日などに余暇を楽しむ余裕も生まれた一方で，マスコミの発達が人々の生活や考え方に大きな影響を及ぼすようになり，自分の生活の程度はほかの人と比べて上でも下でもなく人並みと考える，「中流意識」が広がっていきました。

また，都会に働きに出る人が増え，専業農家は急減していきました。大都市では人口の集中による過密化と，それにともなう住宅不足やごみの処理，農村や山村では人口の流出による過



5 工場に囲まれた学校の校庭で遊ぶ子どもたち（1972年　三重県四日市市）　現在では，公害を克服して，その経験や技術を海外にも発信しています。



6 トイレットペーパーの売り場に殺到する人々（1973年　東京都）　石油危機の影響で物価が急上昇し，品不足への不安から混乱も起こりました。

疎化などが，新たな社会問題となりました。

公害の発生

高度経済成長期に，企業や政府が生産と利益を優先するなかで，廃棄物の処理は十分に行われませんでした。そのため，大気や川・海・大地が有害物質によって汚染され，人々の生命や健康がおびやかされる**公害**の問題が起こりました[5]。特に，水俣病・四日市ぜんそく・イタイイタイ病・新潟水俣病の被害は深刻でした。洗剤・食品・薬品の公害や自動車の排出ガスも問題になり，公害反対の住民運動は全国に広がりました。そこで政府は，1967年に公害対策基本法[2]を制定し，1971年には環境庁（現在の環境省）を発足させ，公害防止と環境保護を目ざすようになりました。

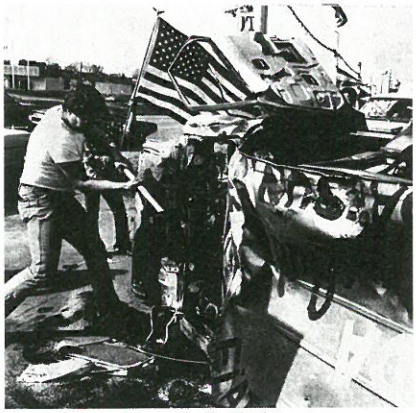
石油危機と貿易摩擦

日本の経済成長は，大量の輸入原油に支えられてきました。そのため，1973年にアラブ諸国がとった石油戦略は，日本にも大きな打撃を与えました（**石油危機**[6]）。←p.247これによって高度経済成長は終わりを告げ，日本の産業構造は，鉄鋼・造船・石油化学などに代わり，自動車・精密機械・コンピュータ関連産業などが中心になりました。

また，日本の輸出超過によって生じたアメリカとの貿易摩擦は，1970年代の繊維製品の規制に始まり，1980年代になると，自動車・半導体などの輸出の規制をめぐって激しくなりました[3][7]。

[2] この法律を発展的に受け継ぐ形で，1993年には環境基本法が制定されました。

[3] このような貿易摩擦は，EC諸国や発展途上国との間にも生じました。



7 日本車を壊して抗議するアメリカ人

ふりかえる

ステップ1 高度経済成長の前後で，日本の産業構造はどのように変わったか確かめよう。

ステップ2 高度経済成長がもたらしたものを，光の面とかげの面に分けて説明しよう。

郷土の歴史を探ろう ⑤

移り変わる戦後の街を訪ねて ～未来に向かって歩み続ける川崎市

なおこさんが住む神奈川県川崎市は，戦前から京浜工業地帯の中心地で，戦後の高度経済成長を経て急速に発展しました。現在では，高度経済成長期に問題となった公害を乗り越えて，環境都市づくりに取り組んでいます。なおこさんのクラスでは，戦後の地域の移り変わりを班に分かれて調査し，ポスターにまとめて発表会を行っています。その一部を見てみましょう。

なおこさんの班

私たちは，高度経済成長のころ(←p.250)の様子を，写真や祖父へのインタビューから調べました。

なおこ：高度経済成長のころ，街や子どもの様子はどうでしたか。

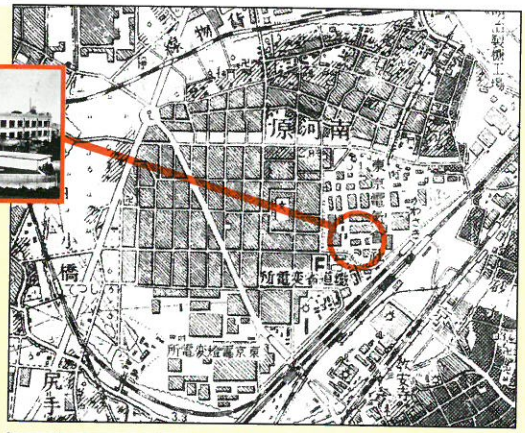
祖　父：当時は，コンビナートに近い臨海部は，工場から出る排煙で大気が汚染され，ぜんそくになる人も多かったよ。
子どもたちは，街のあちらこちらにあった工事のための資材置き場などを遊び場にして，よく外で遊んでいたな。



遊具で遊ぶ子どもたち



東京電気会社の工場(1939年)

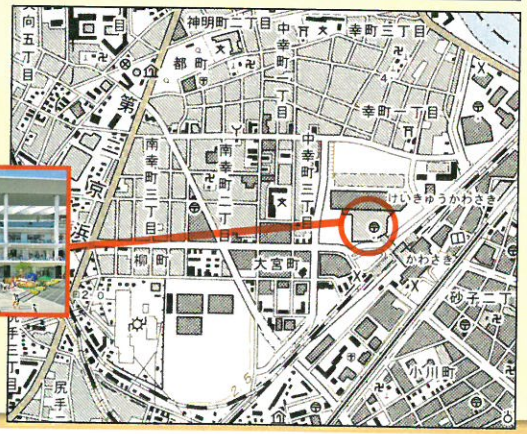


どのようなところが変わったのかな。





大型商業施設(2011年)



JR川崎駅付近の移り変わり(川崎市幸区)〔上：1960(昭和35)年，下：2009(平成21)年〕

ひでおさんの班

私たちは，地域の土地利用の移り変わりを，高度経済成長期と現在の地形図を比較して調べました。

- もともと工場があった場所が，商業施設になっていること
- 工場の近くを通っていた貨物線が，なくなっていること

以上のことから，この地域は，再開発によって，工業から商業へと産業の中心が変わったことがわかります。

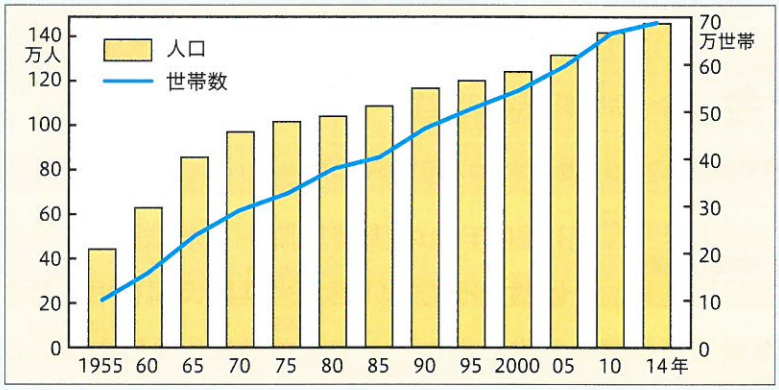
ゆうたさんの班

私たちは，高度経済成長期のころから現在までの地域の人口や産業の移り変わりを，統計資料をもとに調べました。

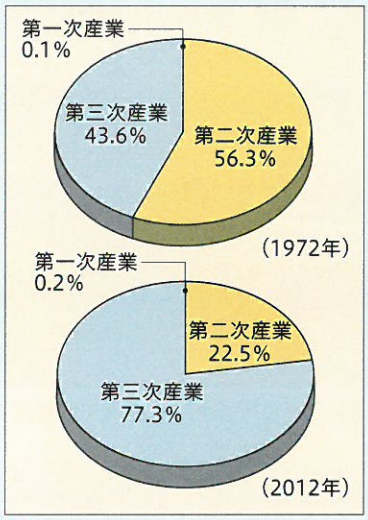
右のグラフを見ると，川崎市では，第二次産業の従業者の割合が減って，第三次産業の従業者の割合が増えていることがわかります。

また，下のグラフを見ると，川崎市の人口は，高度経済成長期に急速に増加していることがわかります。

二つのグラフをあわせて見ると，工業が発展していた時期に，工場での仕事を求めて多くの人が集まったのではないかと考えられます。



川崎市の人口と世帯数の移り変わり(『川崎市統計書』)



川崎市の産業別従業者数の割合の変化(『川崎市の経済』)



ポイント　発表から新たな課題を見つけよう

発表会が終わったら，下のなおこさんの例を参考にして，調査や発表でわかったことや考えたことを振り返りましょう。

[なおこさんのわかったこと，考えたこと]

私は，高度経済成長期の地域の様子の調査から，当時は工場などの建設が急速に進められていて，地域の様子や子どもたちの遊びが，現在とは大きく異なっていたことがわかりました。

また，ほかの班の発表を聞いて，高度経済成長期から現在までの間の土地利用の変化には，産業構造の変化が表れているということがわかりました。

一方で，今回の調査や発表だけでは，高度経済成長期の後も人口が増え続けている理由まではわかりませんでした。

今後は，地域の再開発や環境への取り組みが，人口の増加とどのように関連しているかを課題として，資料館などに行って調査を続けていきたいです。



臨海部に位置するメガソーラー(太陽光発電施設)(2012年)

地域調査の手引き⑤

◆発表をするときは

初めて見る人にもわかるように説明し，資料を読み解いた視点も紹介しましょう。

◆発表を聞くときは

気づいたことや疑問に思ったことは，メモしておきましょう。

◆発表会が終わったら

自分やほかの人の発表を振り返って，新たに追究したい課題を見つけましょう。

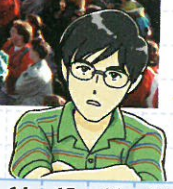
3 冷戦の終結とこれからの日本



1 「ベルリンの壁」の崩壊を喜ぶ人々(1989年)



2 マルタ会談(1989年)
アメリカのブッシュ大統領(左)と，ソ連のゴルバチョフ共産党書記長(右)が，冷戦の終結を宣言しました。



ベルリンの壁は，なんのためにつくられたものだったかな。

世紀 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 2000年 21

9 変動する国際社会 ▶冷戦終結後の世界

学習課題 1980年代以降の世界では，どのような動きがあったのでしょうか。

1 1979年から89年にかけて，ソ連軍がアフガニスタンに軍事介入した事件で，難民(p.265→)の流出が急激に増えました。



3 日本・韓国の首脳と会談するアメリカのオバマ大統領(中央)(2014年) アメリカでは，2009年に史上初めてアフリカ系の大統領が就任しました。

冷戦の終結

1980年代の後半以降，それまで40年以上にわたって続いた，米ソ両大国を中心とする国際関係が急速に変化しました[2]。ドイツでは，冷戦の象徴だった「ベルリンの壁」(←p.240)が取り壊され[1]，1990(平成2)年には東西ドイツが統一されました。ソ連は，アフガニスタンへの侵攻[1]や国内の政治・経済の改革に失敗し，1991年，**ロシア連邦**などの各共和国の独立によって解体しました。

一方，アメリカは一時，世界一の赤字国に転落しましたが，冷戦後の唯一の大国として，新たな世界秩序の中心的な役割を担おうとし，世界に大きな影響を与えてきています[3]。

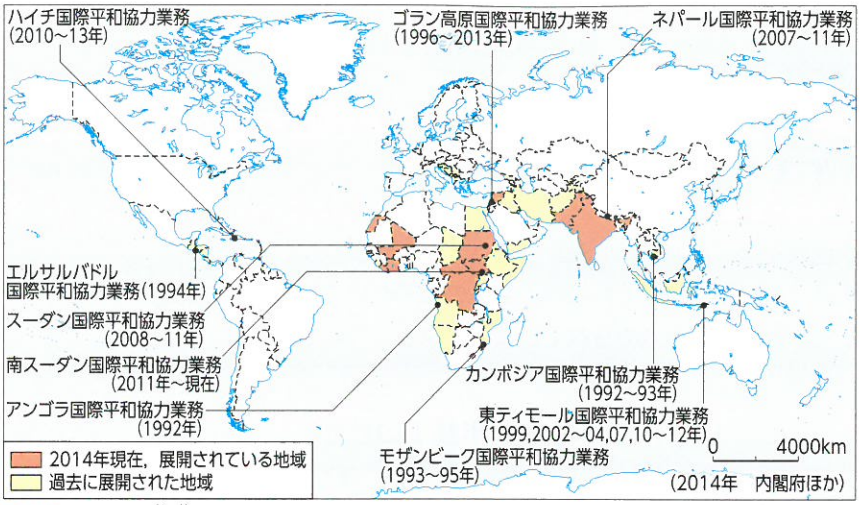
EUの結成と進展

ヨーロッパでは，1993年，経済や通貨の統合に加え，共通の外交・防衛政策を通した政治の統合を目ざして，EC加盟の12か国により**ヨーロッパ連合(EU)**(←p.247)が結成されました。2014年現在，加盟国は28か国となり，18か国が共通の通貨であるユーロを導入しています[4]。

これは，世界を動かす力がアメリカ一国に集中することに対抗した，独自の動きの一つです。一方で，不況が続くなか，各国の経済を支えてきた移民労働者が排斥される動きもあります。



4 EUで使われているユーロ紙幣と硬貨



5 国連平和維持活動(PKO)の展開地域と，PKOへの日本の協力

地域紛争とテロ事件

国際政治に大きな影響を及ぼす中東では，石油資源をねらうイラクが，クウェートに侵攻したのをきっかけに，1991年，**湾岸戦争**が起こりました[6]。イラクを制裁する国連決議に基づいて，アメリカを主力とする多国籍軍が派遣され，イラクをクウェートから撤退させました。

また，2001年には，アメリカで同時多発テロ事件[2]が起こり，多くの犠牲者が出ました[7]。アメリカは「対テロ戦争」を宣言し，事件の容疑者をかくまっているとしてアフガニスタンを攻撃しました。2003年には，大量破壊兵器を保有しているとしてイラクを攻撃し，政権を崩壊させました(**イラク戦争**[3])。

国連は，主に紛争の平和的な解決を目的とする**国連平和維持活動(PKO)**を，世界各地で展開してきました[5]。日本も1992年に，初めて自衛隊が参加しました。しかし，イスラエルとパレスチナの紛争のように，民族や宗教の対立などに起因する深刻な地域紛争は，アフリカなど各地で現在も続いています。←p.247

歴史の窓　アラブの春

2011年，中東や北アフリカの国々では民主化運動が急速に展開し，チュニジア，エジプト，リビアなどで政権交代があい次ぎました。「アラブの春」とよばれるこの動きの背景には，独裁政治による統制や経済格差などに対する人々の不満の高まりがありました。それまで政治に参加できなかった人々が，ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)や衛星放送などのメディアを通じ，国境を越えてつながったことも大きく影響しました。しかし，2013年には旧独裁政権側の巻き返しも起こり，その行方が注目されています。



6 湾岸戦争で炎上する油井(1991年)



7 同時多発テロ事件で爆破された，アメリカの世界貿易センタービル(2001年)

[2] 社会の秩序を混乱させたり，政治上の目的を実現したりするために，特定の相手に対し，または無差別に暴力を行使することをテロといいます。

[3] 日本政府は，アメリカを支持してイラク復興支援特別措置法を可決し，賛否のあるなか，陸上自衛隊がサマワでの復興支援活動に派遣されました。

ふりかえる

ステップ1 冷戦終結の前と後で，国際関係がどのように変わったか，「対立・紛争」の用語を使って説明しよう。

ステップ2 なぜ，世界各地で紛争が続いているのか話し合おう。

世界から歴史を探ろう ③

隣国と向き合うために

冷戦後，東アジアの国や地域では，どのような動きがあったのでしょうか。日本と東アジアの国や地域との関係について，相互の交流の様子や現在に残された課題から，今後，どのように向き合うことが求められているのか探ってみましょう。

中国の改革・開放



天安門広場に集まり，民主化を要求する市民たち（1989年　北京）

中国は，1970年代の後半以降，農業・工業・科学技術・国防の「四つの現代化」をかかげて，国内の改革と外への開放を進めました。これにより，中国の経済は，南部の沿岸地域を中心に発展しました。しかし，1989(平成元)年，北京で学生や市民による民主化運動が起こると，中国政府は軍隊を使ってこれをおさえこみました(天安門事件)。

その後も中国は，社会主義の体制のもとで市場経済を導入する政策を進めて，「世界の工場」ともよばれるようになり，2008年には，北京でオリンピックが開かれました。

1997年には香港(←p.140)がイギリスから，1999年にはマカオがポルトガルから返還されました。また，台湾(←p.241)とは対立を繰り返しましたが，中国の経済発展や台湾の民主化の進展とともに，交流も増えるようになりました。近年，中国は，軍事力でも国際的な影響力を高めています。

朝鮮半島での動き

韓国は，1960年代に入ると急速な経済成長をとげ，1980年代の後半には軍事政権からの民主化も達成しました。その後，北朝鮮との緊張関係がやわらぎ，1991年，韓国と北朝鮮は国連(←p.240)に同時加盟しました。2000年には，韓国の大統領が北朝鮮を訪問して，南北首脳会談が実現し，東アジアの安定につながる動きとして注目されました。

また2002年，日本の小泉純一郎首相が北朝鮮を訪問して，日朝首脳会談を行い，両国は国交の正常化を目ざす日朝平壌宣言に署名しました。会談で，北朝鮮側は日本人拉致の事実を認めて謝罪し，まもなく一部の拉致被害者の帰国が実現しました。しかし，いまだに行方のわからない被害者も多くいるため，日本政府は，その消息と帰国を求める交渉を続けています。また，北朝鮮の核実験やミサイル発射などによって，朝鮮半島の緊張が再び高まっています。





初の首脳会談に臨む，日本の小泉純一郎首相（右）と北朝鮮の金正日国防委員長（左）（2002年平壌）

北朝鮮から帰国した拉致被害者（2002年）

現在に残された課題　～日本の領土をめぐって

竹島（島根県）　竹島は，日本海に位置する東島や西島などからなる群島で，1905（明治38）年の閣議決定で「竹島」と命名され，島根県に編入された日本固有の領土です。

しかし，韓国は，1954（昭和29）年から島に警備隊を常駐させて，不法な占拠を続けています。

日本は，これに抗議するとともに，国際司法裁判所での話し合いによる解決を提案してきていますが，実現していません。


①



日本の領土
日本の領海
日本の排他的経済水域
（国連海洋法条約及び国内法による。排他的経済水域の一部は関係国と交渉中。）



日本がロシア連邦に返還を求めている北方領土

②



北方領土（北海道）　歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は，1855年の日露通好条約で確認された日本固有の領土です。

1945年にソ連が占領して，その後も不法な占拠を続けたため，日本はソ連（現在は，ロシア連邦）に対して領土の返還を要求して交渉を重ねていますが，返還はいまだに実現していません。

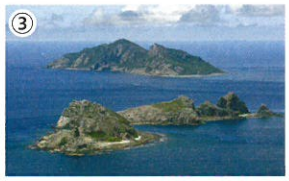
日本は，この問題を解決して平和条約を締結することが必要との考えに立ち，これまでに到達した合意や，法と正義の原則に基づいて，粘り強く交渉を続けています。

尖閣諸島（沖縄県）　尖閣諸島は，南西諸島西端に位置する魚釣島，北小島，南小島などから成る島々の総称で，1895年の閣議決定で沖縄県に編入された日本固有の領土です。

しかし，1970年代から，中国が自国の領土であると主張し始めました。その後，中国船が領海に侵入するなどの事件が起こっていることから，日本は中国に抗議し，警戒や取り締まりを強めています。

日本は，尖閣諸島をめぐり，解決すべき領有権の問題は存在しないとの立場をとっています。

③



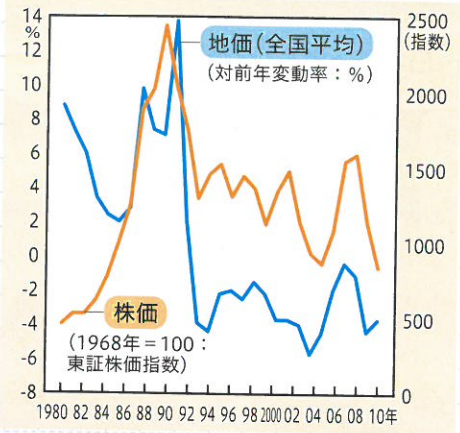
東アジアのなかの日本

東アジアの国や地域の発展にともない，相互の交流はますます活発になっています。今後は環境問題や保健衛生などの分野でも連携を進めていく必要があります。一方で，日本と東アジアの国や地域との間には，先の戦争や植民地支配をめぐる補償の問題，領土問題などで，しばしば対立も生じています。日本の立場をふまえたうえで，相手の考えも尊重し，武力に頼らず，対話と法に基づいてその解決を目ざしていくことが求められています。


日本と韓国が共同で開催したサッカー・ワールドカップ大会の開会式（2002年）



↑1 高級車の展示が注目を集めた東京モーターショー(1989年)



↑2 日本の地価と株価の移り変わり(国土交通省ほか)



世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 2000年 21

⑩ 私たちの生きる時代へ ▶ バブル経済と55年体制の崩壊

学習課題 冷戦終結後の日本では，どのような動きがあったのでしょうか。

バブル経済とその影響

1987(昭和62)年，日本の一人当たりの国民総生産は，アメリカを抜きました。←p.250 多くの企業が，巨額の貿易黒字などによる利益で，土地や株式を買い集めたことから，地価や株価が上がり続けました[2]。1980年代の後半に起こったこれらの動きは，**バブル経済**とよばれました[1][1]。一方で，資産をもつ人ともたない人との格差が広がり，また，東京が国際金融の中心の一つとなるなかで，経済・情報・文化の東京への一極集中が進み，地方との格差も広がりました。

しかし，1990年代の初めにバブル経済は崩壊し，日本の経済は長い不況に入りました。投機に走った企業の一部は倒産し，新卒者の就職難や，中高年の労働者を対象にしたリストラ[2]，金融機関の不良債権問題も表面化しました。←p.214 1995(平成7)年になると，完全失業者も増え，雇用不安が深刻になりました[3]。

55年体制の崩壊と政権交代

こうしたなか，1955年以来政権を担ってきた自民党は，←p.245 財政再建や政治改革などの難問を抱え，また政・財・官にからんだ汚職が明るみに出るなど，苦境に立たされました。そして1993年，自民党・共産党を除く党派が連立内閣をつくり，55年体制は終わりました。←p.245

その後，自民党は連立を組んで再び政権につき，企業活動の規制緩和や郵政事業の民営化など，国際競争力を高めるための

[1] 資金の一部は海外にも投資され，1988年には，日本の国際資産は世界で最大となりました。

[2] 英語のリストラクチャリングの略語で，本来は「組織や事業の再構築」という意味ですが，「人員整理・解雇」を表す慣用語としても使われています。



↑3 年越し派遣村(2008年)
年末年始に，NPO(非営利組織)やボランティアなどが，失業者に対する炊き出しなどの支援活動を行いました。



4 震災の教訓を生かし，防災設備を備えた「みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園)」(兵庫県神戸市)





5 津波によって建物の上に乗り上げたバス(右：宮城県石巻市)と，被災者の救援活動を行う自衛隊(下：岩手県宮古市)(2011年)

政策を推し進めました。一方で，地域経済の衰退や生活格差の拡大が進み，年金問題の不安も広がりました。こうしたなか，2009年には民主党が総選挙で勝利し，**政権交代**が起こりました。その民主党連立政権も，沖縄の基地移設問題などで迷走し，2012年の総選挙で，政権は再び自民党にもどりました。[6]



6 ロシアのプーチン大統領(左)と会談する安倍晋三首相
(2014年　ロシア)

不安定な時代

この間に，社会も大きくゆれ動きました。1995年1月，兵庫県南部を中心に発生した大地震は，死者6400人をこえる大きな被害をもたらしました(阪神・淡路大震災)。[4] 3月には，東京の地下鉄で猛毒のサリンがまかれる事件が起こり，さらに，事件を起こした宗教団体による数々の犯罪も明らかにされ，社会に衝撃と不安を与えました。また，2011年3月に起こった東日本大震災[5]は，戦後最大の被害をもたらし，人々の生活に深刻な影響を及ぼしています。

ふりかえる

ステップ1 バブル経済の前と後で，日本の経済はどのように変わったか確かめよう。

ステップ2 自分が生まれ育ってきた15年間の社会のできごとを，年表にまとめて発表しよう。

歴史の窓　東日本大震災

2011年3月11日，宮城県牡鹿半島沖を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震で押し寄せた津波は，高さ10m以上，防潮堤を越えて最大で標高約40mの地点に達しました。この東日本大震災による死者・行方不明者は約1万9000人，全半壊した建物は約40万戸に上りました。被災地には，国内だけでなく世界各地からも多くの支援が寄せられ，復興に向けた取り組みは，現在も進められています。

また震災の際に，福島第一原子力発電所で深刻な事故が発生し，大量の放射性物質が原子炉の外に漏れ出しました。この事故は，1986年のチェルノブイリ原子力発電所(ウクライナ)の事故に匹敵する深刻な事態をもたらしました。広範囲に拡散した放射性物質は除染が難しく，人体や環境への影響が心配されており，住み慣れた土地を離れて避難生活を余儀なくされている人たちもいます。この事故は，今後のエネルギー政策に，改めて課題を投げかけています。







「平和への誓い」には，どのようなことがうたわれているのかな。

1 毎年夏に広島で開催される平和記念式典と原爆ドーム(上)と，式典で「平和への誓い」を読み上げる子ども代表(右)

世紀 ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 2000年 21

11 未来をひらくために ▶ 世界のなかの市民の一人として

学習課題 より豊かで平和な世界を築くために，私たちはどのように社会とかかわればよいのでしょうか。



2 地元の子どもたちに日本語を教える青年海外協力隊員(セネガル)



3 地雷除去機による対人地雷の処理(アンゴラ) 日本の企業が開発した技術により，手作業よりも早く，安全に地雷を処理できるようになりました。

社会の変化のなかで

現在，世界はますます一体化し，**グローバル化**と**情報化**が進んでいます。国際金融市場では，巨額の投資マネーが動き，多国籍企業の活動が活発化しています。また，日常生活でも，インターネット・電子メール・携帯電話などが普及し，情報は一瞬のうちに国境を越えていくようになりました。物流や情報通信機器の発達によって，私たちの生活・文化も大きく変わってきています。

日本は，第二次世界大戦後，世界有数の経済力をもつ国に発展しました。しかし，長引く経済不況や近年の**少子高齢化**のなかで，家庭・学校・社会では，人と人とのつながりが弱まっています。そうしたなかで，自分と異なる考えをもつ人々との間にも，新たなつながりをつくり出すことが求められています。

地球環境問題

また，地球規模での環境も，多くの課題を抱えています[4]。先進工業国と発展途上国の格差の広がりとも関わって，オゾン層の破壊，酸性雨，砂漠化，熱帯雨林の減少，二酸化炭素等による地球温暖化などが深刻になっています。地球温暖化については，世界の国や地域ごとに定められた，二酸化炭素の排出量を削減する目標[1]に基づき，日本



4 子ども環境サミットでメッセージを発表する，世界各国から集まった子どもたち(2008年)



5 パラリンピックに参加する日本人選手(2014年　ロシア)

でも温暖化防止を目ざす取り組みが進められています。

人権を尊ぶ

人類は，長い歴史を通して，差別をなくし，人権と民主主義の確立を求めてきました。しかし，日本においてもまだ差別や偏見が残っており，部落差別の撤廃は，国や地方自治体の責務であるとともに，国民の課題でもあります。アイヌの人たち[2]や在日外国人，外国人労働者への差別や偏見をなくすことも同様です。さらに，女性や子どもをはじめ，障がいのある人々や高齢者などの人権を尊重し，生きがいが保障される社会をつくる努力が必要です[5]。そして，世界のあらゆる地域に住む人々の人権や文化を守るために，私たちが積極的な役割を果たすことも大切です[2][3]。

平和を築く

日本は，第二次世界大戦を最後に，これまでどの国とも，直接には戦争をすることなく歩んできました。戦争被爆国としての経験や，非核三原則をふまえ，世界の核廃絶に向けて，リーダーシップを発揮していくことが期待されています。←p.249 戦争の放棄を宣言した日本国憲法の精神にのっとり，世界の平和[1]と，あらゆる国や地域の人々との平等なつながりを求めて，いかに行動するかが問われています。←巻頭1

これからの未来をひらくために，私たちは，長い歴史のなかで培われてきた教訓や知恵を生かし，いま生きる場所から，ともに力を出し合っていきましょう。

世界人権宣言(1948年)

第2条　すべて人は，人種，皮膚の色，性，言語，宗教，政治上その他の意見，国民的もしくは社会的出身，財産，門地その他の地位またはこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく，この宣言にかかげるすべての権利と自由とを享有することができる。

1 1997年の地球温暖化防止京都会議で採択された「京都議定書」が，日本・EU諸国・ロシアなどを含む141の国と地域で批准され，2005年に発効しました。

2 2007年に，国連総会で「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択されたことを受けて，2008年には国会で，政府に対して「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択されました。

ふりかえる

ステップ1　現代の社会に残されている課題を確かめよう。

ステップ2　未来をひらくために，自分たちにどのようなことができるか話し合おう。

人物から歴史を探ろう ⑦

平和を願う人々と平和の祭典「オリンピック」

核兵器のない，平和な世界を実現させようとする動きは，どのように進められてきたのでしょうか。尊い命が失われた過去の不幸なできごとを今日に伝えているものを通して，平和を願う人々の思いを探ってみましょう。

◉第五福竜丸展示館

「原水爆の被害者は，私を最後にしてほしい」。東京都江東区にある第五福竜丸展示館の前には，久保山愛吉さんの言葉が刻まれた石碑が建っています。

1954(昭和29)年３月，ビキニ環礁から北東へ160kmのところで操業していたまぐろ漁船の第五福竜丸は，アメリカが行った水爆実験による「死の灰」を浴びました(←p.245)。乗組員は，焼津(静岡県)に帰港して治療を受けましたが，そのうちの一人の久保山さんは，半年後に亡くなりました。

第五福竜丸は，検査や放射線除去が行われたあと，練習船として使われました。その後，老朽化により廃船処分となっていましたが，1967年，原水爆による被害が再び起こらないようにと願う人々によって保存運動が起こり，この展示館がつくられました。



第五福竜丸の保存運動

◉原爆の子の像

広島市の平和記念公園にある「原爆の子の像」の前には，今でもたくさんの千羽鶴が供えられています。

1945年８月，２歳だった佐々木禎子さんは，広島で被爆しました。戦争が終わり，元気に小学校生活を送っていた禎子さんの体調が悪くなったのは，被爆してから10年がたったころでした。白血病と診断され



原爆の子の像の除幕式

た禎子さんは，入院中の病室で，「元気になりたい」という願いをこめ，千羽鶴を一生懸命折り続けましたが，その願いは届かず，12歳の短い生涯を閉じました。

禎子さんの同級生たちは，「禎子さんや，原爆の犠牲になった子どもたちみんなのために，像をつくろう。」という運動を始め，全国の中学校に賛同を呼びかけました。この呼びかけにこたえて，3000をこえる学校から，像の建設に協力する募金が集まり，平和記念公園に「原爆の子の像」を建てる計画が決まったのです。禎子さんが亡くなってから２年半後の1958年，「原爆の子の像」が完成し，除幕式が行われました。

◉平和首長会議

原爆の大きな被害を受けた広島市と長崎市は，同じような悲劇を二度と繰り返さないために，核兵器の恐ろしさを伝え，その廃絶を求める運動を続けています。

1982年にニューヨークで開かれた国連軍縮特別総会で，当時の広島市長が，世界中の都市が連帯して，核兵器廃絶に向けて取り組もうという計画を唱えました。広島・長崎両市長が中心となって進めているこの計画に賛同した，各都市の首長で構成される平和首長会議には，158の国や地域から，約6000の都市が加盟しています(2014年４月現在)。

戦争や紛争，さまざまな対立を乗り越えて平和な世界を実現するための取り組みには，どのようなものがあるでしょうか。スポーツを通じて平和を実現しようとする，オリンピックとパラリンピックについて探ってみましょう。

◉オリンピックとパラリンピックの始まり

第１回オリンピックは，1896年，ギリシャのアテネで開催されました。フランスのクーベルタンが，古代ギリシャのオリンピア地方で行われていた「オリンピア祭典競技」の復活を提案したのが，近代オリンピックの始まりです。その後オリンピックは，人間育成と世界平和を目的として，夏季・冬季大会が４年に一度開催される世界的なスポーツの祭典となりました。

パラリンピックは，第二次世界大戦で負傷した兵士のリハビリの一環として，1948年にイギリスの病院で開かれたのが始まりで，1952年に国際大会となりました。その後，障がい者アスリートによる競技スポーツへと発展し，1988年のソウル大会からは，現在のようにオリンピックの直後に同じ場所で開催されるようになりました。

◉日本で初めてのオリンピック

ヨーロッパで始まったオリンピックを，日本で開催させようと取り組んだのは，嘉納治五郎という教育者でした。嘉納は，東京高等師範学校の校長として，学校体育の充実を図ったほか，中国からの留学生を受け入れ，スポーツを通した国際交流を実践していました。また，伝統的な柔術を再編して講道館柔道を創設し，柔道を通じた人間教育にも取り組んでいました。

このような活動が認められ，嘉納は1909年にアジアで初めての国際オリンピック委員会の委員に就任することになりました。その後，ヨーロッパの文化であるオリンピックを世界の文化とするために，オリンピックを日本で開催することをはたらきかけます。嘉納の活動が実を結び，1940年に東京でオリンピックが開催されることが一度は決定されますが，日中戦争が激しくなるなか，日本は開催を辞退し，この東京オリンピックは幻となりました。



嘉納治五郎（国立国会図書館蔵）　自身のもつ力を有効に使用する「精力善用」や，自分も他人も共に栄えるよう社会の発展に貢献する「自他共栄」の考え方を示しました。



オリンピックの開会式で空に描かれた五輪のマーク（1964年　東京都）

その後，日本で，またアジアで初めてのオリンピックが，1964年に東京で開催されました。この大会は，所得が増え，物質的な豊かさを手に入れた日本が，戦争による荒廃からの復興と，平和国家としての姿を世界に示す機会となりました。また，このオリンピックを契機に整備された新幹線や高速道路は，その後の日本の経済発展（←p.250）を支えました。

◉これからのオリンピックとパラリンピック

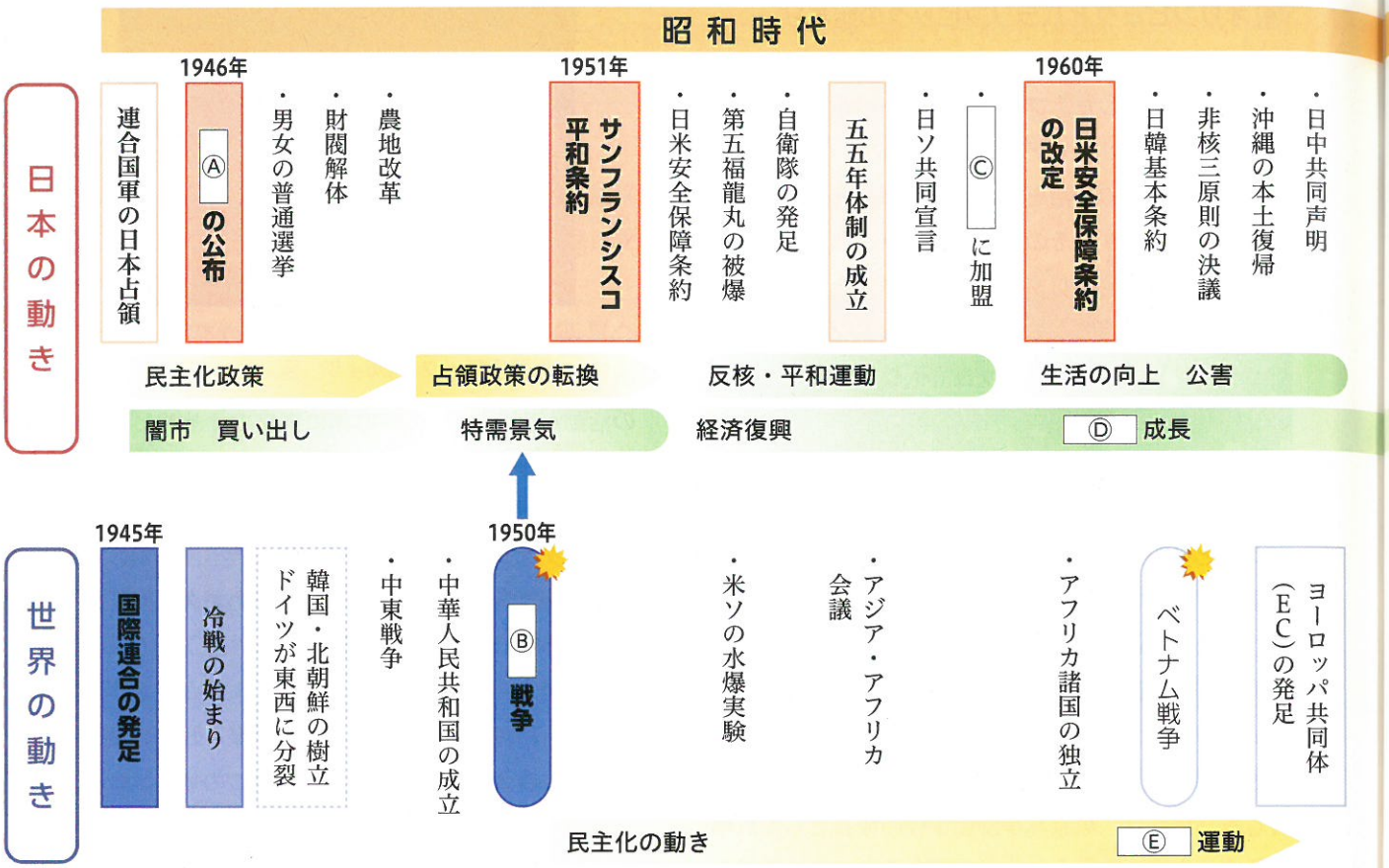
このような歴史の上に，2020年のオリンピックとパラリンピックが，再び東京で開催されることになりました。1964年の大会ののち，日本は，先進国の一つとなりました。現在，世界や日本が抱えている，貧困や紛争，地球環境問題，少子高齢化などの課題について，世界のさまざまな国や地域，人々と知恵や力を出し合いながら解決していくモデルを示すことが，日本には求められています。

オリンピック憲章の根本原則には，次のような一文があります。「オリンピズムの目標は，スポーツを人類の調和のとれた発達に役立てることにあり，その目的は，人間の尊厳保持に重きを置く，平和な社会を推進することにある。」

学習のまとめと表現　～第８章　現代の日本と世界～

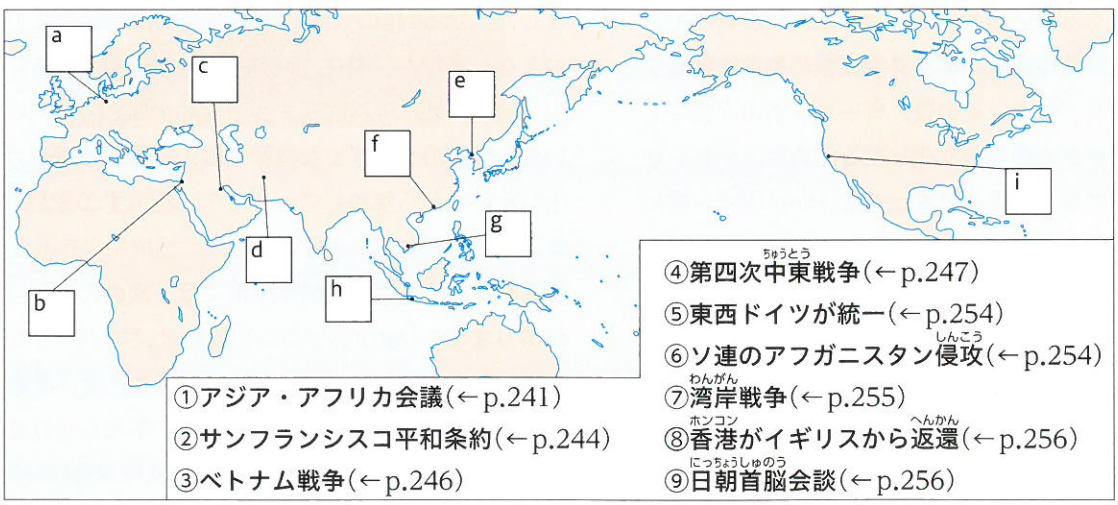
現代の時代の移り変わりを確かめよう。

1 本文や年表を参考にしながら，下の図の［Ⓐ］～［Ⓙ］にあてはまる語句を書き出そう。



現代の舞台（ぶたい）を地図で確かめよう。

3 下の地図中に，次のできごとと関係の深い場所を番号で記入しよう。



2 次の人物と関わりの深いことがらを，下の図から探して結びつけよう。

マッカーサー　毛沢東（マオツォトン）　吉田茂　佐藤栄作　田中角栄

昭和時代　**平成**　**現在の日本**

1978年
- Ⓕ 危機
- **日中平和友好条約**
- バブル経済
- 格差の広がり 株価・地価の上昇 貿易黒字
- バブル経済の崩壊

1993年
- Ⓘ **の終わり**
- 国連平和維持活動
- 阪神・淡路大震災
- 日朝首脳会談
- 自衛隊のイラク派遣
- 民主党への政権交代
- 東日本大震災

経済摩擦 → 不安定な社会　政治の変革

Ⓖ 経済　経済不況　雇用不安

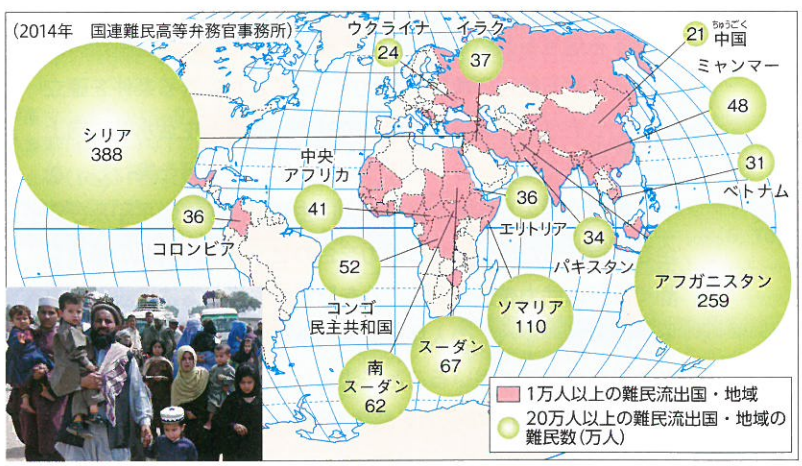
現在の世界

1989〜91年
- 第四次中東戦争
- Ⓗ **の終結**
- ソ連のアフガニスタン侵攻
- 南北ベトナムの統一
- 東西ドイツの統一
- ソ連の崩壊とロシア連邦の成立
- 韓国と北朝鮮の国連加盟
- 湾岸戦争
- ヨーロッパ連合（EU）の発足
- 香港の中国返還
- アメリカで同時多発テロ事件
- イラク戦争
- アラブの春

石油戦略　地域 Ⓙ 民族対立　テロ事件

現代のできごとや動きについて，自分なりの言葉で説明しよう。

4 上の図の「現在の日本，現在の世界」のところに，近年起こった重要なできごとを記入して発表しよう。





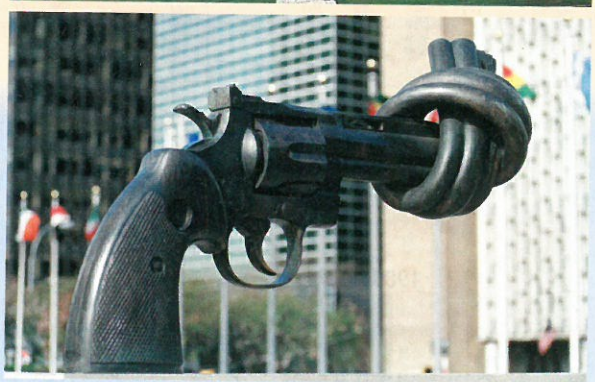
5 左の地図は，「世界の難民の出身国別人数」を表しています。これまでに学習したことや上の図も参考にしながら，なぜこれらの国々で難民数が多いのか説明しよう。

時代の変化に注目しよう！

1 右上の写真は，第一次世界大戦後の1920年に設立された国際的な組織の本部です。スイスのジュネーブに本部がおかれたこの組織を，なんといいますか。その設立には，どのような目的があったかも確認しましょう。
また，その後この組織が機能しなくなったのは，いつごろからで，どのような理由が考えられますか。前の章の学習を振り返りながら，話し合ってみましょう。

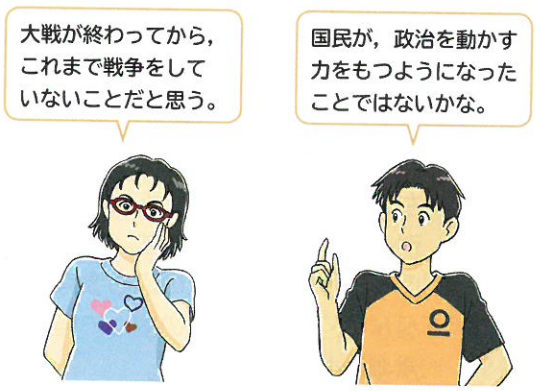


2 第二次世界大戦後の1945年には，上の組織に代わり，新たな組織が発足しました。右下の写真は，アメリカのニューヨークにある本部の前に設置されたモニュメントです。ルクセンブルクの政府が寄贈したものですが，このモニュメントには，どのようなメッセージがこめられているのでしょうか。この写真のタイトルを考えて，発表し合いましょう。



現代の時代の特色と，これからの時代について考えよう！

あすかさんの班では，第二次世界大戦の前後の日本で，最も大きく変わった点は何かをテーマに話し合いました。そして，右の資料や日本国憲法(←p.238)をもとに，これからどのような時代を築いていったらよいかまとめることにしました。



国際連合憲章　前文（1945年調印）

われら連合国の人民は，われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い，基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念を改めて確認し，正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる義務の尊重とを維持することができる条件を確立し，いっそう大きな自由のなかで社会的進歩と生活水準の向上とを促進すること，ならびに，このために，寛容を実行し，かつ，善良な隣人として互いに平和に生活し，国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ，共同の利益の場合を除くほかは武力を用いないことを原則の受諾と方法の設定によって確保し，すべての人民の経済的及び社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して，これらの目的を達成するために，われらの努力を結集することに決定した。……(略)